

アーツカウンシル東京

平成28年(2016年)度事業報告書

アーツカウンシル東京

平成28年(2016年)度事業報告書

目次

| | | | |
|----------------------------------|-----|---------------------------------|-----|
| ■アーツカウンシル東京の役割と事業展開 | 4 | 29 外国人向け伝統文化・芸能 | |
| ■平成28年度の活動を振り返って | 6 | 体験・鑑賞プログラム | 106 |
| I. 2020年に向けた展開 | | | |
| 01 東京文化プログラム助成 | 39 | 東京アートポイント計画 | |
| 02 東京キャラバン | 40 | 30 TERATOTERA | 108 |
| 03 TURN | 42 | 31 小金井アートフル・アクション! | 111 |
| 04 リオ伝統芸能公演 | | 32 としまアートステーション構想 | 113 |
| TOHOKU & TOKYO in RIO | 46 | 33 アートアクセスあだち 音まち千住の縁 | 116 |
| 05 TOKYO SHINTORA MATSURI | | 34 汐入タワープログラム | 121 |
| 東京 新虎まつり | 47 | 35 Art Bridge Institute | 122 |
| II. 芸術文化支援事業 | | | |
| 06 東京芸術文化創造発信助成、東京地域芸術 | | 36 トッピンググイースト | 124 |
| 文化助成、芸術文化による社会支援助成 | 49 | 37 三原色〔ミハライロ〕 | 127 |
| III. 芸術文化創造・発信事業 | | | |
| 07 伝統芸能公演 | 53 | 38 リライトプロジェクト | 128 |
| 08 日本橋 熙代祭 江戸あそび | | 39 東京迂回路研究 | 130 |
| ～伝統文化フェスティバル～ | 55 | 40 東京スूपとブランケット紀行 | 133 |
| 09 伝承のたまてばこ | | 41 東京ステイ | 134 |
| ～多摩伝統文化フェスティバル2016 | 56 | 42 Betweens Passport Initiative | 135 |
| 10 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2016 | 59 | 43 Artpoint Meeting | 137 |
| 11 東京大茶会2016 | 61 | IV. 東京の文化力による震災からの復興 | |
| 12 プレミアムコンサート | | 44 東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 | |
| ～未来へのハーモニー～ | 62 | Art Support Tohoku-Tokyo | 138 |
| 13 Music Program TOKYO | 65 | V. 人材育成事業 | |
| 14 アンサンブルズ東京 | 72 | 45 タレント・トーキョー 2016 | 143 |
| 15 ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン | | 46 アーツアカデミー | 144 |
| 「熱狂の日」音楽祭2016連携事業 | 73 | 47 Tokyo Art Research Lab | 145 |
| 16 上野「文化の社」新構想 | 75 | VI. 国際ネットワーク事業 | |
| 17 六本木アートナイト2016 | 76 | 48 アーツカウンシル・フォーラム | |
| 18 MOTサテライト 2017春 往来往来 | 80 | オープン・フォーラム2017 | 150 |
| 19 第9回恵比寿映像祭 | 82 | VII. 企画戦略事業 | |
| 20 芸劇セレクション | 85 | 49 企画戦略事業 | 151 |
| 21 東京芸術祭2016 | 87 | 50 広報活動 | 152 |
| 22 Shibuya StreetDance Week 2016 | 90 | | |
| 23 キッズ伝統芸能体験 | 92 | | |
| 24 子供のための伝統文化・芸能体験事業 | 95 | | |
| 25 パフォーマンスキッズ・トーキョー | 97 | | |
| 26 Museum Start あいうえの | 100 | | |
| 27 TACT/FESTIVAL 2016 | 103 | | |
| 28 外国人向け伝統文化・芸能 | | | |
| 短時間体験プログラム | 104 | | |

アーツカウンシル東京の役割と事業展開

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。

アーツカウンシル東京は新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、2020年に向けて、文化プログラムを牽引するプロジェクトを展開しています。

設立趣旨

1. アーツカウンシル東京は、芸術団体や民間団体、NPO等と協力し、東京における芸術文化創造のさらなる促進や東京の魅力向上を図ります。

2. 国際都市東京にふさわしい個性豊かな芸術文化創造や、創造性に満ちた潤いのある地域社会の構築に貢献していきます。

3. 芸術文化の自主性と創造性を尊重しつつ、専門的かつ長期的な視点にたち、新たな芸術文化創造の仕組み・環境を整えます。

I. 2020年に向けた展開

2020年に向けて、助成事業を拡充するとともに、東京キャラバン、TURNといった文化プログラムを牽引する事業を展開することで、より多くの都民が文化プログラムに参加できる機会づくりを進め、「東京文化プログラム」を展開していきます。

II. 芸術文化支援事業

東京の芸術文化の魅力を向上させ世界に発信していく創造活動を支援するため、東京の芸術文化の創造と発信、芸術創造環境の向上に資する活動を行う団体に対する助成を実施します。また、対象事業の評価等をふまえ、現場ニーズに応じた効果的な助成システムを整えていきます。

III. 芸術文化創造・発信事業

芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施する事業です。都内各地での文化創造拠点の形成や、子供・青少年等への創造体験の機会の提供により、多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、伝統文化・芸能、音楽、美術・映像、演劇等の幅広い分野におけるフェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。また、文化の面でのレガシーを2020年以降に継承し、文化の魅力であふれる都市東京の実現をめざします。

フェスティバルや参加・体験プログラムの開催

伝統文化・芸能、音楽、美術・映像、演劇、舞踊等幅広い分野におけるフェスティバルの開催や子供・青少年、外国人向けの参加・体験プログラムの実施を通して、芸術文化の創造活動を拡充・発信し、継承しています。

文化創造拠点の形成（東京アートポイント計画）

地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す取り組みです。日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクトを実施し、その担い手となるNPO育成や活動基盤を整えながら、東京の多様な魅力の創造・発信を目指します。

IV. 東京の文化力による震災からの復興

東京都による芸術文化を活用した東日本大震災被災地支援のための事業です。被災地域のコミュニティに対して、現地のアートNPO等の団体やコーディネーターと連携しながら、アートプログラムを実施し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。

V. 人材育成事業

未来を見据え、東京の芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成していきます。

VI. 国際ネットワーク事業

海外の芸術文化団体や文化施設・機関等とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力を高めていきます。

VII. 企画戦略事業

東京の芸術文化環境を向上させる様々なテーマに基づいた調査研究を新たなプロジェクトを立ち上げて実施するとともに、多彩な東京の芸術文化の魅力およびアーツカウンシル東京の取り組みを国内外に発信していきます。

平成28年度の活動を振り返って

アーツカウンシル東京は、東京都の文化政策を実現するための中核的役割を果たす組織として、芸術文化支援事業、芸術文化創造・発信事業、人材育成事業などを実施してきました。

平成28年度は、オリンピック・パラリンピックがリオ2016大会から東京2020大会へ引き継がれ、文化プログラムにおいても積極的な事業展開をしました。さらに、2020年の先を見据えて取り組みを進めました。

■リオ2016オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムの実施

リオ・デ・ジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック競技大会における現地での取り組みとして、「東京キャラバン」「TURN」「リオ伝統芸能公演 TOHOKU & TOKYO in RIO」を実施しました。「東京キャラバン」は、ブラジルのアーティストとの「文化混流」を経て東北へ巡回し東京で成果を披露し、キャラバンらしく動き始めました。「TURN」は、大会2か月前からサンパウロの福祉施設で交流プログラムを行い、その成果としてリオで体験型展示やカンファレンスを実施して、多くの参加者が訪れました。「リオ伝統芸能公演 TOHOKU & TOKYO in RIO」では、江戸鳶木遣り、東北の郷土芸能などをライブサイトで披露しました。

■文化オリンピアードの開幕と「東京文化プログラム」

リオ大会の閉幕後、東京大会に向けた文化プログラムが始まり、キックオフイベントとして「幕開き ～日本橋東京2020文化オリンピアードキックオフ～」を東京都および2020東京大会組織委員会などと共催し、「日本橋伝統文化フェスティバル」と同時開催しました。また、東京文化プログラムに参画する事業を民間から募り、オリンピックへの気運を醸成するための助成を新たに開始しました。

■東京芸術祭が起動

池袋を中心に事業を展開してきたフェスティバル／トーキョーをはじめとする舞台芸術を統合して新たな都市型芸術祭の構築に向けた「東京芸術祭2016」を開始し、共通広報やブランディングなどに着手しました。

■人材育成

アートプロジェクトの担い手を育成する「思考と技術と対話の学校」は3年目を迎え、創造活動を支援する活動に携わるプログラムオフィサーへの道を開く「アーツアカデミー」は5期を終了しました。これらの人材は、東京に限らず全国様々なアートプロジェクトや、新しく設立される地域アーツカウンシルの担い手として活動を始めています。

1年を振り返って、東京が持つ魅力を芸術文化の視点で顕在化させるために、多岐にわたる事業を実施しました。その成果が実を結び、東京の活力が一層高まる道筋を示すことができました。今後の展開にご理解とご協力をお願いします。

公益財団法人東京都歴史文化財団
アーツカウンシル東京
機構長

三好勝則

東京文化プログラム助成

▶ 詳細p.39

TRANS ARTS TOKYO 2016 UP TOKYO



ミュージカル『わたしは真悟』
撮影：渡部孝弘



NIHONBASHI NIGHT PROGRAM SAKURA
— JAPAN IN THE BOX — 2016→2020



第17回東京フィルメックス
© TOKYO FILMeX

東京キャラバン

▶ 詳細p.40



東京キャラバン in RIO



東京キャラバン in 東北 (仙台)



東京キャラバン in 東北 (相馬)



東京キャラバン in 六本木
撮影：篠山紀信



TURN



TURN in BRAZIL
(リオデジャネイロ)

▶ 詳細p.42



TURN in BRAZIL (サンパウロ)
交流プログラム
撮影：RAFAEL SALVADOR



TURN in BRAZIL 帰国報告 (国立新美術館)
撮影：ただ



TURN in BRAZIL 帰国報告 (国立新美術館)
撮影：池ノ谷侑花



中間報告会
撮影：富田了平



TURN フェス2「角銅真実×大田区立障がい者総合サポートセンター」
撮影：富田了平



TURN フェス2「永岡大輔×こども会議」
撮影：富田了平



TURN フェス2「James Jack×ハーモニー」
撮影：富田了平

リオ伝統芸能公演 TOHOKU & TOKYO in RIO

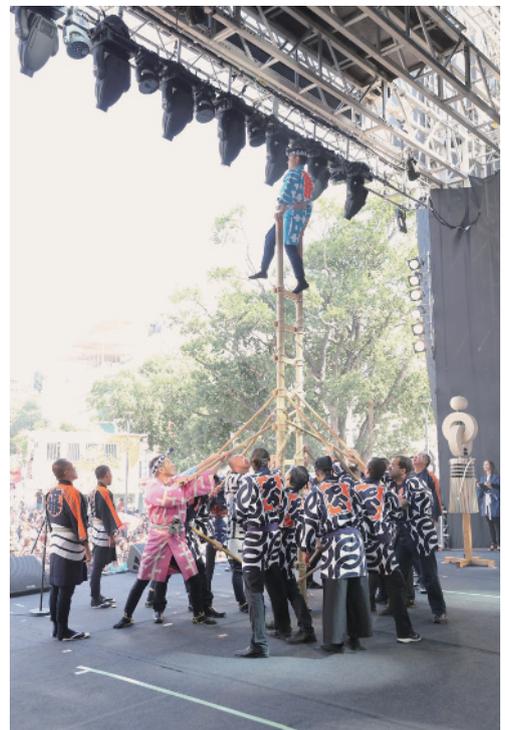
▶ 詳細p.46



ライブサイトの様子 (Praça Mauá)



じゃんがら念仏踊り



江戸鳶木遣り



鬼剣舞



フィナーレの様子

TOKYO SHINTORA MATSURI 東京 新虎まつり

▶ 詳細p.47



青森ねぶた祭



盛岡さんさ踊り



秋田竿燈まつり



山形花笠まつり



福島わらじまつり



仙台すずめ踊り

伝統芸能公演

▶ 詳細p.53



大江戸寄席と花街のおどり その六
©横井洋司



第17回多摩川流域郷土芸能フェスティバル
府中市 雛子

平成28年度 J-CULTURE FEST「FORM」
Photo by Hiroyuki Takahashi/NEP



伝統芸能普及公演 ケルティック能「鷹姫」
撮影：石田昌隆



日本橋 熙代祭 江戸あそび ～伝統文化フェスティバル～



まちなか伝統パフォーマンス

[▶ 詳細p.55](#)



熙代ステージ



伝統体験塾



伝統芸能公演「紅葉 日本橋
～日本美と伝統の饗宴～」

伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2016～



八王子車人形 (西川古柳座)

[▶ 詳細p.56](#)



秋川歌舞伎あきる野座



三ツ目囃子振興会



お練り (八王子芸妓衆)

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2016

▶ 詳細p.59



店めぐり・古典芸能ライブ



神楽坂路上界隈 城瑞曳山祭<庵唄>



神楽坂楽座～講釈場



神楽坂芸能めぐり街角ライブ



覗いてみようお座敷遊び

東京大茶会2016

▶ 詳細p.61

野点 (江戸東京たてもの園)



野点 (浜離宮恩賜庭園)



WELCOME ! 英語で楽しむ野点 (浜離宮恩賜庭園)



茶席 (浜離宮恩賜庭園)



茶道はじめて体験 (浜離宮恩賜庭園)



子供のための茶道教室 (江戸東京たてもの園)

プレミアムコンサート～未来へのハーモニー～



オーケストラ公演の様子（立川公演）

▶ 詳細p.62



室内楽公演の様子（神津島公演）



楽器体験の様子（町田公演）



室内楽公演の様子
（檜原村公演）

Music Program TOKYO



ミュージック・ワークショップ・フェスタ
ワークショップコンサート「クラシックであそぼう！」
撮影：Mino Inoue

▶ 詳細p.65



まちなかコンサート
芸術の秋、音楽さんぽ（恩賜上野動物公園）



ミュージック・ワークショップ・フェスタ
「One Dayセッション」



小曾根真 & ゴンサロ・ルバルカ
“Jazz meets Classic”
with 東京都交響楽団
撮影：堀田力丸

アンサンブルズ東京

▶ 詳細p.72



©Kiyoshi ARAI



©Kiyoshi ARAI



©Kiyoshi ARAI



©Kiyoshi ARAI



©Kiyoshi ARAI



©Kiyoshi ARAI

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2016連携事業

▶ 詳細p.73



こどもたちの音楽アトリエ
© team Miura



マスタークラス
© team Miura



キオスクコンサート（ホールE）
© team Miura



キオスクコンサート（地上広場）
© team Miura



熱狂のプレナイト
© team Miura



みんなでジュピター
© team Miura

上野「文化の杜」新構想

▶ 詳細p.75



TOKYO 数寄フェス



トークセッション



地域連携プログラム

六本木アートナイト2016



©六本木アートナイト実行委員会

[▶ 詳細p.76](#)



©六本木アートナイト実行委員会



©六本木アートナイト実行委員会



©六本木アートナイト実行委員会

MOTサテライト 2017春 往来往来



クサナギシンバイ作品展示風景
撮影：白井晴幸

[▶ 詳細p.80](#)



カニエ・ナハ+大原
大次郎作品展示風景
撮影：白井晴幸

吉増剛造作品展示風景
撮影：白井晴幸



第9回恵比寿映像祭



ガブリエラ・マンガノ & シルヴァーナ・マンガノ
《そこはそこにはない》
第9回恵比寿映像祭「マルチプルな未来」展示関連パフォーマンスより
提供：東京都写真美術館
撮影：新井孝明

▶ 詳細p.82



豊嶋康子《色調補正-1》2005年-
第9回恵比寿映像祭「マルチプルな未来」展示より
提供：東京都写真美術館
撮影：新井孝明

金氏徹平《White Discharge (公園)》2017年
第9回恵比寿映像祭「マルチプルな未来」オフサイト展示より
提供：東京都写真美術館
撮影：大島健一郎

芸劇セレクション



『あの大鴉、さえも』
撮影：山崎泰治

▶ 詳細p.85

コドモ発射プロジェクト
『なむはむだはむ』
撮影：平岩享



ローベル・ルパージュ
『887』
Photos by Érick Labbé



東京芸術祭2016 オープニングセレモニー



フェスティバルFUKUSHIMA! (池袋西口公園)
撮影：Ryosuke Kikuchi



Woodcutters - 伐採 -
撮影：Jun Ishikawa



としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム「ノイズの海」
撮影：池上直哉



芸劇dance 勅使川原三郎×山下洋輔「up」
撮影：Akihito Abe

Shibuya StreetDance Week 2016

LECTURE SPOT

[▶ 詳細p.90](#)



BATTLE PARK



SSDW CONTEST



SHIBUYA STREET SHOW



キッズ伝統芸能体験



長期プログラム お稽古 (謡・仕舞)

[▶ 詳細p.92](#)



長期プログラム お稽古 (日本舞踊)



短期プログラム お稽古 (箏曲)



平成29年3月 長期プログラム
発表会 (三味線)

子供のための伝統文化・芸能体験事業



江戸友禅

[▶ 詳細p.95](#)



茶道

パフォーマンススキッズ・トーキョー

▶ 詳細p.97



くにたち市民芸術小ホール 発表公演
「今ここなぞる、こどもの世界」
(アーティスト 村本すみれ)
撮影：泉山朗土



狛江エコルマホール 発表公演
「ピノッキオ」
(アーティスト 小野寺修二)
撮影：bozzo



三鷹市公会堂 発表公演
「ザ・スタッキングタイムス」
(アーティスト 平原慎太郎)
撮影：松本和幸



ひの煉瓦ホール 発表公演
「かえると一緒に宇宙にとびだせ」
(アーティスト かえるP)
撮影：松本和幸



東大和市民会館ハミングホール 発表公演
「たいこたたいうたっておどろう！
真夏の大サンシャイン音頭☆ヤホホイ！！」
(アーティスト SUNDRUM)
撮影：金子愛帆



Museum Start あいうえの



うえの!ふしぎ発見:アニマル部(恩賜上野動物園) [▶ 詳細p.100](#)



スペシャル・マンデー・コース(東京都美術館)



ミュージアム・トリップ
(東京国立博物館 東洋館)



あいうえのスペシャル
(東京都美術館)

TACT/FESTIVAL2016

[▶ 詳細p.103](#)



劇団コープス『キャンプしましょう!おひめさま』
© Isorine Marc



ソラス・デ・ヴェント『空飛ぶ男たち』
© Mariana Chama



劇団コープス『ひつじ』
© Gary Mulcahey



カンパニー・レ・ギューム
『スティック』
© Dominique Hogard



カンパニー・
ドウシュドゥスウ
『Linea-
ダンシングロープ!』
© Art Eos

外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム



歌舞伎
(東銀座 歌舞伎座
ギャラリー)

▶ 詳細 p.104



獅子舞
(羽田空港国際線旅客ターミナル)



着物着付け
(浜離宮恩賜庭園)



日本舞踊
(浅草文化観光センター)

外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム

▶ 詳細 p.106

「みんなで楽しむ日本舞踊の世界～The 日本～」
公演の様子



「みんなで楽しむ日本舞踊の世界～The 日本～」
体験プログラムの様子



「芝能 ～日本の雅、東京から世界へ～」
公演の様子



「芝能 ～日本の雅、東京から世界へ～」
体験プログラムの様子

TERATOTERA

▶ 詳細p.108



TERATOSEA トークイベント
Photo : Takafumi Sakanaka



TERATOSEA Thawiphat Praengoen 「Brackish Tomorrow」
Photo : Takafumi Sakanaka



TERATOTERA 祭り2016 浅井裕介、遠藤一郎
Photo : Hako Hosokawa



TERATOTERA SOUND FES. 宇治野宗輝
Photo : Takafumi Sakanaka



TERATOTERA 祭り2016 阿目虎南 (大駱駝艦)
Photo : Ujin Matsuo



トークイベント 暮らすアート

小金井アートフル・アクション！



小金井と私 秘かな表現 市民生活展「想起のボタン」

[▶ 詳細p.111](#)



学校連携事業
「6年生のわたし」
本町小自画像展



小金井と私 秘かな表現
「ワークショップ」



としまアートステーション構想



アートステーション構想推進課
パフォーマンス窓口
撮影：富田了平

[▶ 詳細p.113](#)



としまアートステーションW
パフォーマンス待合室
撮影：富田了平



オノコラーフェス2016
撮影：富田了平

アートアクセスあだち 音まち千住の縁

▶ 細p.116



イミグレーション・ミュージアム・東京
「フィリピンからの、ひとりひとり マキララ ー知り、会い、踊るー」パーティ：フィリパビポ!!
Photo：富田了平



イミグレーション・ミュージアム・東京
「フィリピンからの、ひとりひとり マキララ ー知り、会い、踊るー」
映像展示：Their history, to be our story
Photo：富田了平



イミグレーション・ミュージアム・東京
写真展「銭湯哀歌（エレジー）、人情屋台、消えゆく昭和 ～ケント・ダールが歩いた千住～」
Photo：富田了平



大巻伸嗣
「Memorial Rebirth
千住 2016 青葉」
Photo：高田洋三



野村誠 千住だじゃれ音楽祭「第1回 だじゃれ音楽研究大会」
Photo：高田洋三



野村誠 千住だじゃれ音楽祭 国際交流企画第4弾：インドネシア
調査篇 レクチャー&コンサート「ジャワで交流したんじゃわ」
Photo：富田了平



千住・縁レジデンス
友政麻理子
「知らない路地の映画祭」

アサダワタル「千住タウンレーベル」
試作品（デモ）発表会
Photo：富田了平



汐入タワープログラム

▶ 詳細p.121



撮影：renko isowa



撮影：renko isowa



撮影：田口まき



撮影：田口まき

Art Bridge Institute

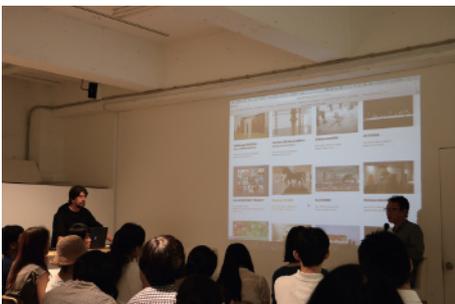


インターンプログラム活動日の様子

▶ 詳細p.122



機関誌『ART BRIDGE』



ブリッジの作り方シリーズ11「トランスコンセプチュアルー移動と創造の方法論」



ブリッジの作り方シリーズ12「トリエンナーレ・シンドローム編」

トッピングイースト

▶ 詳細 p.124



和田永「エレクトロニクス・ファンタスティコス！」
NICOS LAB オープンミーティング
撮影：山本マオ



和田永「エレクトロニクス・ファンタスティコス！」
トッピングイースト トライアルレジデンス
<NICOS LAB>



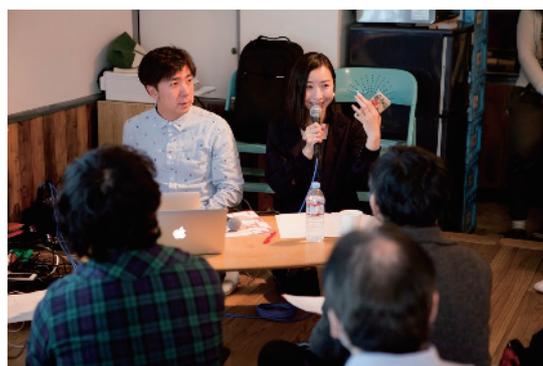
ほくさい音楽博「開会式～相撲体操」
撮影：三田村亮



ほくさい音楽博「義太夫」
撮影：三田村亮



ほくさい音楽博「ウクレレ」
撮影：三田村亮



BLOOMING EAST「オープンキャンパス」

三原色（ミハライロ）

▶ 詳細p.127



フリーペーパー
『12 class』 Vol.23
撮影：トウオンデザイン



キッズプログラム Vol.5
撮影：トウオンデザイン



キッズプログラム Vol.4
撮影：トウオンデザイン

キッズプログラム Vol.5
撮影：トウオンデザイン

リライトプロジェクト

▶ 詳細p.128

「Relight Days 2017」



社会彫刻家を育成する市民大学
「Relight Committee」



ワークショップ「3.11が■ている。」
(Relight Days 2017)



3月11日～13日の3日間点灯した「Counter Void」
(Relight Days 2017)

東京迂回路研究

▶ 詳細p.130

現場から言葉をつむぐ
ゼミナール



もやもやフィールドワーク 報告と対話編



東京迂回路研究 オープンラボ
撮影：冨田了平

東京スープとブランケット紀行

▶ 詳細p.133



対談紀行2016 紫陽花篇



リサーチプログラム「江古田スープ」



東京ステイ

▶ 詳細 p.134

東京ステイ レクチャー&ディスカッション
「東京の物語にチェックインする」
撮影：菅原康太



場所の発掘・調査
フィールドワークの様子



Between's Passport Initiative

▶ 詳細 p.135



シェアリングセッション (Sharing Session)



定時制高校：「言葉のワークショップ」



東京の多文化をめぐる旅「Secret Tour」



東京の多文化をめぐる旅「Secret Tour」



ラジオ下神白
—あのときあのまちの音楽からいまここへ—



マナビバ。～文化政策から、地域の未来をつくる～
トーク「文化の対象は、どこまで広がっているのか？」



マナビバ。～文化政策から、地域の未来をつくる～
ディスカッション「地域の多様性を大切にするためには？」



マナビバ。～文化政策から、地域の未来をつくる～
フォーラム「なぜ、文化に政策が必要なのか？」

タレンツ・トーキョー 2016



▶ 詳細 p.143



実施の様子

アーツアカデミー



▶ 詳細 p.144



東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修制度の研修の様子

調査員制度の研修会の様子

Tokyo Art Research Lab



▶ 詳細 p.145

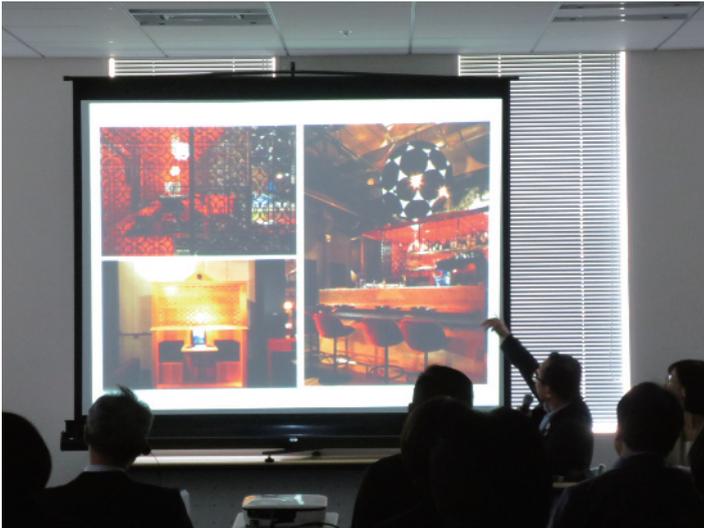


思考と技術と対話の学校

撮影：加藤健

アーツカウンシル・フォーラム オープン・フォーラム2017

▶ 詳細 p.150



パネルディスカッション

プレゼンテーション

企画戦略事業

▶ 詳細 p.151



メディアアート国際シンポジウム
「アート&テクノロジー」
一時代の変遷、同時代の動向、
これからのプラットフォーム」

広報活動

▶ 詳細 p.152

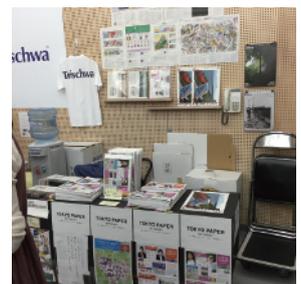


記者懇談会



Arts Council Tokyo
Bridge Meeting
(芸術文化団体広報
ネットワーク会)

THE TOKYO ART BOOK
FAIR 2016出展



01

東京文化プログラム助成

【事業概要】

東京都が主導する文化プログラムの考え方を踏まえ、2020年に向け、より多くの人々が文化プログラムに参加できること、また2020年以降の東京の芸術創造環境の向上を目的とした助成事業を実施する。

【事業趣旨（目的）】

〈気運醸成プロジェクト支援〉では、民間企業など様々なセクターによる話題性・祝祭性のある芸術文化事業を支援し、文化プログラムを人々へ周知するとともに、2020年に向けた気運の醸成を図る。

平成28年度実績

申請件数：38件

採択数：5件

交付決定総額：60,000千円

気運醸成プロジェクト支援（対象期間：平成28年9月19日～平成29年3月31日）

| 申請団体名 | 申請活動名 |
|-------------------------|--|
| 一般社団法人非営利芸術活動団体コマンドN | TRANS ARTS TOKYO 2016 UP TOKYO |
| 株式会社ホリプロ 公演事業部 | ミュージカル『わたしは真悟』 |
| 株式会社明治座 | NIHONBASHI NIGHT PROGRAM SAKURA-JAPAN IN THE BOX- 2016→2020 presented by MEIJIJA |
| TOKYO DESIGN WEEK 株式会社 | TOKYO DESIGN WEEK ~ IMAGINE FUTURE |
| 特定非営利活動法人東京フィルメックス実行委員会 | 第17回東京フィルメックス/TOKYO FILMeX 2016 |

※申請団体名および申請活動名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

02

東京キャラバン

【事業概要】

| | |
|------|---------------------------------|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）8月～10月 |
| 会場 | ブラジル連邦共和国及び東北並びに東京都内 |
| 主催 | 東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） |
| 観覧者数 | 延べ23,580人 |

【事業趣旨（目的）】

東京2020 オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを先導する東京都のリーディングプロジェクトとして、劇作家・演出家・役者である野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げた新たなムーブメント。2016（平成28）年夏、オリンピック開催に湧くりオデジャネイロを出発点として、国内外各地に「東京キャラバン」が出現、「文化サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を越えた交流を継続的に図っていく。

【開催状況】

平成28年度は、野田秀樹の監修の下、オリンピックの熱狂に沸いたリオデジャネイロで事業を実施。そして、リオデジャネイロを出発した「東京キャラバン」は、国内展開の第一歩として東北（仙台・相馬）に赴き、さらに東京2020公認文化オリンピアドとして東京・六本木に登場した。

1 東京キャラバン in RIO

リオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック競技大会時に現地で開催した東京都の文化事業「CULTURE & TOKYO in RIO」の1プログラムとして実施。才能溢れる様々なジャンルの日本人アーティストが、現地のアーティストと出会い、国境、言語、文化や、それぞれのジャンルを超えた文化混流ワークショップおよび創作を行った。

開催期間：8月18日（金）～21日（日）

会場：パソ・インペリアル（Paço Imperial, Praça Quinze de Novembro, 48 - Centro, Rio de Janeiro）

観覧：無料

参加アーティスト：

野田秀樹（劇作家、演出家、役者、東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授）、東京スカパラダイスオーケストラ（ミュージシャン）、津村禮次郎（能楽師・観世流シテ方／観世流緑泉会代表、重要無形文化財保持者）、井手茂太（振付家・ダンサー）、“東京キャラバン”アンサンブル、原 摩利彦（音楽家）、Arto Lindsay（ミュージシャン・プロデューサー）、ブラジルのアーティスト8人

2 東京キャラバン in 東北（仙台・相馬）

リオデジャネイロを出発した「東京キャラバン」は、国内展開の第一歩として震災により甚大な被害を受けた東北（仙台・相馬）に赴いた。そして、東京キャラバンアーティストが、地元の小学生吹奏楽部やライブペイントアーティスト、そして継承が困難な伝統芸能やお祭りの担い手など、それぞれの表現の枠を超えた文化と出会い、交わりながら、新たな表現に取り組んだ。

●仙台

開催期間：9月3日（土）・4日（日）

会場：宮城県仙台市立沖野東小学校

観覧：無料

参加アーティスト：

野田秀樹（劇作家、演出家、役者、東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授）、東京スカパラダイスオーケストラ（ミュージシャン）※9/3のみ、津村禮次郎（能楽師・観世流シテ方／観世流緑泉会代表、重要無形文化財保持者）、井手茂太（振付家・ダンサー）、“東京キャラバン”アンサンブル、仙台市立沖野東小学校合奏団（吹奏楽団）、仙台すずめ踊り・高橋組、TAKESHI SATO（ペイントアーティスト）

●相馬

開催期間：9月17日（土）・18日（日）

会場：音屋ホール ほか ※9/17は参加アーティストらが「相馬を知る」ために、相馬市各地や地元の伝統を受け継ぐ人々を訪れた。

観覧：無料

参加アーティスト：

野田秀樹（劇作家、演出家、役者、東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授）、松たか子（女優・歌手）※9/18のみ、津村禮次郎（能楽師・観世流シテ方／観世流緑泉会代表、重要無形文化財保持者）、井手茂太（振付家・ダンサー）、“東京キャラバン”アンサンブル、相馬野馬追 宇多郷騎馬会 陣螺研究部、磯部敬神会、相馬相撲甚句会

3 東京キャラバン in 六本木

東京2020オリンピック・パラリンピックの文化プログラムの先導的役割を果たすプログラムとして始まった「東京キャラバン」が、「東京2020公認文化オリンピアド」として六本木に登場。8月にオリンピック開催に沸くりオデジャネイロおよび9月に東北において、様々なジャンルのアーティストが文化混流を繰り広げ生まれたパフォーマンスを、平成27年度に駒沢公園で実施した「東京キャラバン～プロローグ～」と融合し、今までにない多様性溢れるパフォーマンスを六本木アートナイト開催中の六本木ヒルズアリーナで披露した。

開催期間：10月21日（金）・22日（土）

会場：六本木ヒルズアリーナ

観覧：無料

参加アーティスト：

野田秀樹（劇作家、演出家、役者、東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授）、東京スカパラダイスオーケストラ（ミュージシャン）、宮沢りえ（女優）、津村禮次郎（能楽師・観世流シテ方／観世流緑泉会代表、重要無形文化財保持者）、“東京キャラバン”アンサンブル、原 摩利彦（音楽家）、Otto Nascarella（ミュージシャン／JONGO パーカッション）、Cridemar Aquino（JONGO ダンサー）、Suellen Tavares Onixegum（JONGO ダンサー）、Mestre Garrincha（カポエイラ パフォーマー）、TAKESHI SATO（ペイントアーティスト）、仙台すずめ踊り・高橋組、金津流獅子躍、マダム・レジーヌ（ドラッグクィーン）、レイチェル・ダ・ムール（ドラッグクィーン）、松坂牛子（ドラッグクィーン）、ジャスミン（ドラッグクィーン）、Daisy Balloon（バルーン・アーティスト）ほか

03

TURN

【事業概要】

| | |
|------|---|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | ブラジル連邦共和国及び東京都内近郊 ほか |
| 主催 | 東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／特定非営利活動法人 Art's Embrace（国内事業のみ） |
| 監修 | 日比野克彦（アーティスト、東京藝術大学美術学部長・美術学部先端芸術表現科教授） |

【事業趣旨（目的）】

異なる背景や習慣を持った人々が関わり合い、さまざまな「個」の出会いを生み出すアートプロジェクト。東京2020オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムの先導的役割を果たすリーディング・プロジェクトとして、平成27年度より開始した。造形および身体表現、多様性に関する対話を含めた複合的な内容を盛り込み、「TURN」の根幹を成す「交流プログラム」、各地の「交流プログラム」が一堂に会す「TURNフェス」、そして通年活動の拠点としての「TURN LAND」を様々な場所で展開し、一人ひとり異なる全ての人に届く新たな文化的体験をつくり出すことを目指す。

【開催状況】

平成28年度は、日本国内での実施に加え、リオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック競技大会を機にブラジルのサンパウロおよびリオデジャネイロで事業を展開した。

1 TURN in BRAZIL

リオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック競技大会時に現地で開催した東京都の文化事業「CULTURE & TOKYO in RIO」の1プログラムとして実施。日本およびブラジルを拠点に活動する4人のアーティストたちが伝統工芸を携えて、サンパウロに滞在しながら福祉施設に通い、施設利用者の日常に触れながら関わり合っていく交流プログラムを実施した。そして、そのプロセスを通して生まれた作品等をリオデジャネイロのパソ・インペリアルで発表するとともに、ワークショップやカンファレンスを開催した。

また、帰国後には、文化庁が主催する「ここから—アート・デザイン・障害を考える3日間—」と連携して帰国報告を国立新美術館で開催。ブラジルで展開した交流プログラムや展覧会の成果を、映像等を通して紹介するとともに、アートや福祉の実践者をゲストに迎えてプロジェクトメンバーが語り合う「帰国報告会」を実施した。

(1) トークシリーズ「私があなたにTURNする7日間」

ブラジルでの展開に先駆け、監修者である日比野克彦が、1週間にわたって多彩なゲストと共にトークセッションを開催。障害、福祉、移民、震災、文化、創造、オリンピックをキーワードにTURNならではの多様な視座から、対話を通じて思考を深めた。

開催期間：6月17日（金）～23日（木）19：00～21：00

会場：アーツカウンシル東京 ROOM302（アーツ千代田3331）

入場：無料 ※一部手話通訳あり

参加者数：224人

| 開催日 | テーマ | 出演 |
|------|---------------------------|--|
| 6/17 | 「バリアフリーバラエティ」から考える障害とイメージ | 日比野和雅（NHKプラネット近畿エグゼクティブプロデューサー） |
| 6/18 | 「情報科学」から考える人間の可能性 | ドミニク・チェン（情報学研究者、IT起業家、『シンギュラリティ：人工知能から超知能へ』翻訳者） |
| 6/19 | 「学びの場」から考える固有性と多様性 | 小貫大輔（東海大学教養学部国際学科教授） |
| 6/20 | 「メディア社会学」から考える当事者性 | アンジェロ・イシ（武蔵大学社会学部メディア社会学科教授） |
| 6/21 | 「臨床哲学」から考える対話のあり方 | 西川勝（臨床哲学者） |
| 6/22 | 「TURN」から考える文化プログラム論 | 太下義之（三菱UFJリサーチ&コンサルティング芸術・文化政策センター主席研究員/センター長） |
| 6/23 | 「ブラジル」でTURNする | 五十嵐靖晃（「TURN」参加アーティスト） 瀧口幸恵（「TURN」参加ワークショップファシリテーター） |

ファシリテーター：日比野克彦

(2) TURN in Sao Paulo (交流プログラム)

日本およびブラジルを拠点に活動する4人のアーティストたちが、江戸組紐、江戸つまみ、東北切り紙「きりこ」、セスタリーアという4つの伝統的な手法を学んだ。それらを携えてサンパウロに滞在し、それぞれ約1か月間、福祉施設に通った。そして、施設の利用者や支援者、そして地域住民の日常に触れながら、交流を重ね、関係を深めた。

実施期間：5月～8月

協力：龍工房、つまみ堂、上山八幡宮（南三陸町）、入谷八幡神社（南三陸町）、二渡神社（南三陸町）、荒澤神社（南三陸町）、北野神社（気仙沼市）、小泉八幡神社（気仙沼市）、中森熊野神社（大船渡市）

| 参加者 | 交流施設 | 題材（伝統工芸） |
|--------------------------|------------|----------------------|
| ジュン・ナカオ（アーティスト/ブラジル） | 憩の園 | セスタリーア（ブラジルの伝統的な籠編み） |
| タチ・ボロ（アーティスト/ブラジル） | こどものその | 江戸つまみ |
| 五十嵐靖晃（アーティスト/日本） | PIPA | 江戸組紐 |
| 瀧口幸恵（ワークショップファシリテーター/日本） | Monte Azul | 東北切り紙「きりこ」 |

(3) TURN in RIO

サンパウロで展開した「交流プログラム」での交流を通して生まれた作品や経験を、リオデジャネイロのパソ・インペリアルで公開するとともに、アーティストらによるワークショップや多彩なゲストを招いてカンファレンスを開催した。

開催期間：8月18日（木）～9月7日（水）12：00～19：00（月曜日休館）

会場：パソ・インペリアル（Paço Imperial, Praça Quinze de Novembro, 48 - Centro, Rio de Janeiro）

入場：無料

来場者数：延べ40,134人

カンファレンス：8月27日（土）、28日（日）14：00～17：00

| 開催日 | テーマ | 出演 |
|------|---|--|
| 8/27 | 「私があなたにTURNするとき/本来私たちが持っている人の力を」 4人のアーティストらによる活動報告 | ・五十嵐靖晃 ・ジュン・ナカオ ・タチ・ボロ ・瀧口幸恵 |
| 8/28 | 「五輪の役割がTURNするとき/新たな文化の基礎作りへ」 文化活動や文化政策における実践者・専門家を招き、TURNの可能性について議論した。 | ・平田・アンジェラ・多美子（ジャパンハウス・サンパウロ プレジデント） ・吉本光宏（ニッセイ基礎研究所研究理事） ・太下義之（三菱UFJリサーチ&コンサルティング芸術文化政策センター主席研究員/センター長） ・森司（アーツカウンシル東京リーディングプロジェクトディレクター） |

ファシリテーター：日比野克彦

(4) TURN in BRAZIL 帰国報告

文化庁主催「ここから—アート・デザイン・障害を考える3日間—」展の連携事業として実施。ブラジルで展開した交流プログラムや展覧会の成果を、作品の展示や映像等で紹介した。また、会期中に開催した帰国報告会「地球の裏側でTURNする」では、国を越え、コミュニティ特性を超えて出会い、交流したブラジルでの経験を報告すると同時に、アートや福祉の実践者をゲストに迎え、アートプロジェクトを通してどのような社会を目指すのかを語り合った。

開催期間：10月21日（金）～23日（日）

会場：国立新美術館 企画展示室2E

入場：無料 ※手話通訳あり

入場者数：5,758人

| 開催日 | テーマ | 出演 |
|--------|---|--|
| 10/21 | レポート：TURN in BRAZIL | ・日比野克彦 ・五十嵐靖晃 ・瀧口幸恵 ・畑まりあ（アーツカウンシル東京） |
| 10/22① | AutistaとArtista ～自閉症児療育施設「PIPA」で糸と向き合う～ | ・高野賢二（クラフト工房 La Mano 施設長） ・五十嵐靖晃 |

| 開催日 | テーマ | 出演 |
|--------|--------------------------------------|---|
| 10/22② | 参加と共有 ～伝統工芸に集まった新しい人々～ | ・ 太下義之（三菱UFJリサーチ&コンサルティング芸術文化センター 主席研究員/センター長） ・ 西山マルセーロ（竹中大工道具館主任研究員） ・ James Jack（TURN参加アーティスト） |
| 10/22③ | 余白と未完 ～異なる他者との過ごし方～ | ・ 佐藤慎也（日本大学教授・建築家） ・ 福森伸（知的障がい者支援施設しょうぶ学園統括施設長/工房しょうぶ主宰） ・ 日比野克彦 |
| 10/23① | 小さなまちと福祉施設 ～地域に寄り添う、人に寄り添うアートプロジェクト～ | ・ 芹沢高志（P3 art and environment 統括ディレクター） ・ 山野真悟（黄金町バザールディレクター） ・ 吉本光宏（ニッセイ基礎研究所研究理事） |
| 10/23② | クロージングトーク：言葉にする、言葉に残す | ・ 日比野克彦 ・ 奥山理子（アーツカウンシル東京 TURN コーディネーター、みずのき美術館キュレーター） |

各回のファシリテーター：日比野克彦、森司、もしくは奥山理子

2 交流プログラム

「TURN」の中核をなす「交流プログラム」では、アーティストが、福祉施設やフリースクールなどコミュニティ特性の異なる場所へ赴き、その場所を利用する人や職員、家族等との交流を重ねている。平成28年度は17組のアーティストが施設やコミュニティの日常と出会い、そこに集う一人一人ひとりとの関係を紡いだ。

実施期間：5月～3月

| アーティスト | 交流施設・コミュニティ |
|---|---------------------------|
| 五十嵐靖晃 | クラフト工房 La Mano |
| 池田晶紀、川瀬一絵 | 社会福祉法人きょうされん リサイクル洗びんセンター |
| 今井ざつき | シュレ大学 |
| 大西健太郎 | 板橋区立小茂根福祉園 |
| 角銅真実 | 大田区立障がい者総合サポートセンター |
| 高本敦基 | 社会福祉法人旭川荘 |
| 永岡大輔 | 子ども食堂（大田区） |
| 山縣良和 | しょうぶ学園 |
| 山城大督 | アプロース南青山 |
| James Jack | ハーモニー |
| Sam Stocker | ハーモニー |
| 大崎晴地 現代芸術活動チーム目【め】 富塚絵美 森山開次 EAT & ART TARO | 複数の福祉施設・コミュニティを対象にリサーチ、交流 |

3 中間報告会

「交流プログラム」に参加しているアーティストと交流先のメンバーが一堂に会し、一組ずつ、自分たちの交流の経過や3月の「TURNフェス2」に向けたビジョンをプレゼンテーションした。また、監修者・日比野克彦による、これからの「TURN」についての講演を行い、活動の共有と意見交換を行った。

開催日時：1月14日（土） 10：00～18：00

会場：東京藝術大学 美術学部中央棟2階 第3講義室

入場料：無料 ※手話通訳・文字支援あり

参加者数：約130人

4 TURNフェス2

アーティストが、「交流プログラム」をとおして福祉施設やフリースクールなどコミュニティ特性の異なる場所へ赴き、その場所を利用する人や職員、家族等と関係を深めた「交流」の姿を作品やパフォーマンス、ワークショップなどの表現として、あるいは「交流」そのものを公開。また、5日にはゲストを招いたカンファレンスを開催した。

開催期間：3月3日（金）～5日（日）

会場：東京都美術館 1階 第2・3公募展示室、講堂

協力：東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」

入場料：無料 ※手話通訳・文字支援あり

入場者数：約1,290人

TURNフェス・サポーター：延べ98人

(1) エキシビジョン

平成28年度の「交流プログラム」に参加しているアーティストと交流施設・コミュニティから、15組が参加。会期中には、交流施設のメンバーが多数来場し、アーティストとともに朗読会やワークショップ、ギャラリートークなど、3日間にわたって様々なプログラムを実施した。また、「TURN」コーナーを設け、「TURN」プロジェクトそのものを展示や映像を通して紹介するとともに、アクセシビリティ支援を考える講座を実施した。

開催期間：3月3日（金）～5日（日）

会場：東京都美術館 1階 第2・3公募展示室

(2) カンファレンス

2年目を迎えた「TURN」の展開を振り返るとともに、第一線で活躍するゲストを迎えて、まちづくり・社会制度などのキーワードの下、多様な経験や価値観を共有した。

開催期間：3月5日（日）14：00～17：00

会場：東京都美術館講堂

出演：

山出淳也（特定非営利活動法人 BEPPU PROJECT 代表理事、アーティスト）

榎本重秋（ぜんち共済株式会社 代表取締役社長）

日比野克彦（TURN 監修者、東京藝術大学美術学部長・美術学部先端芸術表現科教授）

(3) TURN フェス・サポーター

福祉的なサポートを必要とする方を含め、様々な背景を持つ来場者が心地よく TURN フェスを楽しむことができるよう、TURN フェスの事前準備から当日の運営（事前準備、受付、参加型作品のオペレーション、誘導等）を担うサポーターを募集し、活動した。

5 TURN センター構想会議

「TURN センター（現「TURN LAND」）」開設に向けた検討、検証、計画する参加型の会議「TURN センター構想会議」を実施。「交流プログラム」の交流施設・コミュニティのメンバーとともに TURN センターの運営方法やコンテンツ等について具体的な検討や意見交換を行った。

開催期間：5月～3月

会場：アーツカウンスル東京 ROOM302（アーツ千代田3331）ほか

【参加者の声】

● TURN in BRAZIL

- ・このプロジェクトが世界中で継続されていき、人生に変化をもたらしていくことを願っています。小さな活動は、大きな結果をもたらさないようにも思いますが、大きな結果をもたらすためには、このように小さくても何か変化しはじめる必要があるのだと思います。
- ・糸は、人を起動させる。わたしはしばらく絵を描けなくなりましたが、組紐に接して、また描くことができそうな気がします。
- ・それぞれがこの新しい人生のかたちを、自身の家庭内や地域に植えていくことは可能で、それがブラジルで継続していけば素晴らしいことだと思います。

● TURN フェス2

- ・見ると言うより触れる。考えるというより想像する。誰かや、どこかと向き合うことは、いつも自分の反応や行動を転がして、新しい所に運んでくれることを可能にするんだなあと思いました。
- ・美術館が苦手でも、演劇に縁がなくても、こんな形なら楽しめます。
- ・森山開次さんの映像は、日常に訪れた踊りや、動きと生活者の方の反応が呼応しあった瞬間がとてもよかった！
- ・ドキドキして入って、色んな人と話をしてワクワクしている。どこにでもあるようで、特別なようで、でもやっぱりこういう場があるといいな。
- ・見ているだけじゃ平たいけれど、入ってみると奥深い。ワープしている人は楽しそうだった。

04 リオ伝統芸能公演 TOHOKU & TOKYO in RIO

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催日 | 平成28年（2016年）8月18日（木）・19日（金） |
| 会場 | Rio 2016 Live Sites／Tokyo 2020 JAPAN HOUSE |
| 主催 | 東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） |
| 参加者数 | 延べ97,322人 |

【事業趣旨（目的）】

世界中から多くの注目が集まるリオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック大会は、東京と日本の多彩な文化の魅力を世界に発信する絶好の機会である。当事業は東京2020大会の大きなテーマでもある「被災地の復興支援」という視点も踏まえ、東京および東北の郷土芸能パフォーマンスを通じて、世界各国からの大震災への支援に対する感謝の気持ちを表すとともに、被災地が力強く復興へ進む姿と東京と日本の文化の魅力を世界に向けてアピールする。

【開催状況】

リオデジャネイロのライブサイトステージおよび日本政府、東京2020大会組織委員会、東京都が主催するジャパンハウスにおいて、「東京」と東日本大震災の被災地「東北」の復興と世界に向けた感謝をアピールすることを目的に実施。東京からは、江戸文化を現代に受け継ぐ伝統芸能「江戸鳶木遣り」、東北からは、土地を浄め鎮魂を意味する郷土芸能「じゃんがら念仏踊り」（福島県）と「鬼剣舞」（岩手県）が参加。また日本とブラジルの友好の証として「サンバ」「和太鼓チーム」も参加。その他、リフティングパフォーマンス、コスプレイヤーなど今の日本文化も発信した。ステージ外では、折り紙のワークショップや日本のシーンをパネルにしたフォトスポットも展開した。

開催日：8月18日（木）・19日（金）

会場：Rio 2016 Live Sites (Praça Mauá, Praça XV)（8月18日）
Tokyo 2020 JAPAN HOUSE（8月19日）

入場料：無料

主な演目（出演者）：

- ①江戸鳶木遣り（江戸消防記念会／東京都）
 - ②じゃんがら念仏踊り（磐城じゃんがら彩志会／福島県）
 - ③鬼剣舞（鬼柳鬼剣舞／岩手県）
 - ④サンバ（工藤めぐみ）
 - ⑤和太鼓（「生（しょう）」／ブラジル）
 - ⑥リフティングパフォーマンス（球舞）
- その他、コスプレイヤーや太鼓の練り歩きなど。

【参加者の声】

来場者アンケート集計結果（8月19日）回答数140件

・イベント満足度について

「非常に面白かった」 112

「面白かった」 25

無回答 3

→「非常に面白かった」「面白かった」と回答した人が98%であった。

05

TOKYO SHINTORA MATSURI
東京 新虎まつり

【事業概要】

| | |
|------|---|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）11月15日（火）～20日（日） |
| 会場 | 環状第2号線 新虎通り（愛宕下通り～日比谷通り間）および虎ノ門ヒルズ |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京 新虎まつり実行委員会 [一般社団法人新虎通りエリアマネジメント、株式会社クオラス] |
| 補助 | JLOP（経済産業省） |
| 後援 | 新虎通りエリアマネジメント協議会 |
| 特別協力 | 特別区全国連携プロジェクト（東京23区・特別区長会） |
| 協力 | 東北六魂祭実行委員会、港区 |
| 参加者数 | 延べ30,000人 |

【事業趣旨（目的）】

東京を代表する都市空間、新橋・虎ノ門エリアを舞台に、東京や東北などの持つ文化の魅力を世界に向けて発信し、東北の復興および地方創生に貢献するとともに、文化の祭典でもある2020年大会への期待と気運を高めることに繋げていくことを目的とする。

【開催状況】

「東北×東京」と「伝統×革新」をテーマに、東北6市の祭りを披露。

「東北六魂祭パレード」、東京の伝統芸能と東北の観光情報やゆるキャラなどを紹介する「東北×東京フェスタ」、そして日本のゲーム・アニメ・音楽などの最前線に関するトークセッションなどを通して、東日本大震災から立ち上がった東北の姿と日本の魅力ある文化を国内外に発信。

1. 実施プログラム

(1) 東北六魂祭パレード

開催日 11月20日（日）1回目10：15～、2回目15：00～各回約80分
会場 新虎通り
出演者数 370人
観覧者数 16,000人
観覧料 無料（※事前応募制）

新虎通りを封鎖し、東北の6大祭り一青森ねぶた祭・秋田竿燈まつり・盛岡さんさ踊り・山形花笠まつり・仙台七夕まつり（パレードにははずめ踊りが参加）・福島わらじまつりーによる復興と鎮魂のパレードを実施した。また、1回目のパレード冒頭には出発式を行い、主催者、来賓、協力団体の各代表より開会の挨拶および東北6市のゆるキャラを交えたフォトセッションを設けた。

(2) 東北×東京フェスタ

①仙台七夕飾りの展示装飾／総合インフォメーション／東北6市（県）の観光情報カウンター

開催日 11月15日（火）～20日（日） 各日11：00～23：00
会場 虎ノ門ヒルズ アトリウム（2F）

②ステージイベント

開催日 11月19日（土）、20日（日） 各日11：00～18：00
会場 虎ノ門ヒルズ オーバル広場（2F） 各コンテンツ20分（※江戸鳶木遣りのみ20日のみ）
・東北6市（県）のご当地PRおよび東京都の江戸鳶木遣りを披露するエンターテインメントステージ
・ステージ周辺には協賛ブースを展開

③伝統工芸ワークショップ

開催日 11月20日（日）11：00～18：00
会場 虎ノ門ヒルズフォーラム（4F） ホールB
参加者数 60人

東京都の“匠”達による実演披露とワークショップ

- ・「男仕立て」の和裁体験 12:00~13:30
- ・タイルモザイクアート体験 14:00~15:30
- ・和紙などを使ったミニランプシェード作り体験 16:00~17:30

④東北6県および東京都のPRブース

開催日 11月20日(日) 11:00~18:00
会場 虎ノ門ヒルズフォーラム(4F) エントランス

東北のご当地名産品の展示や、サイコロゲーム、ご当地キャラクターとのフォトブースなど、子供と一緒に楽しめるイベントを展開した。

(3) Japan Culture Future Forum - 先端クリエイターによるトークセッション -

開催日 11月20日(日) 13:00~16:30
会場 虎ノ門ヒルズフォーラム(5F) メインホール
参加者数 150人
参加料 2,000円

「伝統×革新」をキーワードに、日本の強みであるジャパンコンテンツを常に革新させ、世界へ発信し続けている著名クリエイターを迎え、どのような未来を創りだそうとしているのかをトークセッションにて披露。

- ①オープニングトーク 13:00~13:15
スピーカー: 齋藤精一(ライゾマティクス代表)
「“祭り”の新しいカタチ~伝統×革新~」
- ②トークセッション1 13:15~14:45
スピーカー: 塩田周三(ポリゴン・ピクチュアズ代表)
聞き手: 若林恵(「WIRED」日本版 編集長)
「CGはいかに「映像業界」の外へ拡張できるのか」
- ③トークセッション2 15:00~16:30
スピーカー: 水口哲也(クリエイター/ゲームデザイナー)
ゲスト: 河崎高之(Epic Games Japan 代表)
聞き手: 齋藤精一(ライゾマティクス代表)
「ゲームクリエイティブ&ビヨンド ~VRとゲームエンジンがもたらす創造の拡張~」

2. 同時開催プログラム

- (1) Taste of TOHOKU
- (2) MINATO 70th × TOHOKU PARK

【参加者の声】

来場者アンケート集計結果(11月20日) 回答数239件

- ・イベント満足度について
「満足」 78.6%
「やや満足」 17.6%
「どちらともいえない」 3.4%
「不満」 0.4%
→「満足」「やや満足」と回答した人が96.2%であった。

06 東京芸術文化創造発信助成、東京地域芸術文化助成、 芸術文化による社会支援助成

【事業概要】

東京の芸術文化の魅力を世界に発信する創造活動を支援するため、発信力のある創造活動を行う団体に対する助成を実施している。

【事業趣旨（目的）】

東京芸術文化創造発信助成（単年助成プログラム、長期助成プログラム）

「東京芸術文化創造発信助成」は、東京の都市魅力の向上に寄与する多様な創造活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成する。

【単年助成プログラム】では、1年間を対象期間とし、東京都内において実施される公演・展示・アートプロジェクト等の創造活動や、国際的な芸術交流活動、また東京の芸術創造環境の向上に資する各種活動を支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成する。

【長期助成プログラム】では、最長3年間を対象期間とし、これまでにない意欲的なプロジェクトや、東京を代表する国際的な芸術団体へのステップアップとなる活動、また東京の芸術創造環境の向上に資する各種活動を最長3年間継続して支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成する。

東京地域芸術文化助成

多彩な文化的特徴を持ったそれぞれの地域における文化拠点としての場の魅力を向上させることで、東京の芸術文化を広く国内外に発信するとともに、観光振興にも繋がる優れた芸術文化活動を支援するため、東京を拠点とするNPOや実行委員会、芸術団体等に対して支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成する。

芸術文化による社会支援助成

東京を拠点とする芸術団体やNPO、福祉団体等が実施する、障害者や高齢者、子供、青少年、外国人等の創造活動や体験機会の拡充と、その環境整備に資する活動を支援する。また、芸術文化を通して教育や福祉、医療、コミュニティ形成等、社会や都市の課題に向き合う活動を支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成する。

平成28年度実績

東京芸術文化創造発信助成

申請件数：単年助成プログラム258件、長期助成プログラム37件
採 択 数：単年助成プログラム114件、長期助成プログラム6件
交付決定総額：153,105千円

単年助成第1期（対象期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日）

| 活動分野 | 申請者名 | 申請活動名 |
|---------------------------|-------------------------------------|---|
| 音楽 | NPO法人 JML 音楽研究所 | 入野義朗生誕95年記念コンサート |
| | "げん" 結び実行委員会 | "げん" 結び ―音楽と文学― |
| | Half the Sky | Half the Sky ロック・イン・オポジション・フランス及び東京公演とワークショップ |
| | 株式会社 MUNIQUE | 藤原道山×SINSKE ヨーロッパツアー 2016 |
| | 柴田南雄生誕100年・没後20年記念演奏会実行委員会 | 柴田南雄生誕100年・没後20年記念演奏会 |
| | 辺境の歌コンサート実行委員会 | 辺境の歌コンサート |
| | アンサンブル・ノマド | アンサンブル・ノマド定期演奏会 第56～58回「照らし合うもの Vol.1-3」 |
| | インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン組織委員会 | 第26回「インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン」2016 |
| 會田瑞樹バーカッションリサイタル2016実行委員会 | 會田瑞樹バーカッションリサイタル2016の開催 | |
| 演劇 | 大道寺梨乃 | 2016年大道寺梨乃「Socialstrip」アジアツアー |
| | ロロ | ロロいつ高シリーズ2017 |
| | 岡崎藝術座 | +51 アピアシオン、サンボルハ バリ公演 |
| | ARICA | ARICA ・インド「ワークショップ・ショーイング」国際プロジェクト |
| | 一般社団法人 サンプル | サンプル「離陸」台湾公演 |

| 活動分野 | 申請者名 | 申請活動名 |
|---------------------|-----------------------------|--|
| 演劇 | シアター風姿花伝 | シアター風姿花伝 若手支援事業 プロミシングカンパニー「カクシンハン」 |
| | 新聞家 | 新聞家新作公演『帰る』 |
| | 有限会社 劇団銅鑼 | 劇団銅鑼「あやなす」セルビア・クロアチア公演+ワークショップ |
| | ベッド&メイキングス | ベッド&メイキングス 第5回公演「あたらしいエクスポーション」 |
| | 有限会社 ブーク人形劇場 | ブーク人形劇場企画 欧州相互国際交流事業 |
| | 一般社団法人 shelf | Low Fat Art Fest 2016 - Antigone/border-line |
| | 鳥公園 | 鳥公園 #13 「ヨブ呼んでるよ」 |
| 舞踊 | Baobab | Baobab 第10回公演ツアー『靴屑の塔』 |
| | ながめくらしつ | ジャグリング&音楽集団 ながめくらしつ シアタートラム新作公演「心を置いて飛んでゆく」 |
| | OrganWorks | OrganWorks主催公演「Reason to Believe」 |
| | 黒須 育海+ | シビウ国際演劇祭 新作ダンス公演(仮) |
| | ニプロール | ニプロール「リアルリアリティ」IKJ International Festival 公演 |
| | 一般社団法人C o.山田うん | 「季節のない街」2017年版 |
| | 「ダンスがみたい!」実行委員会 | ダンスがみたい! 18 エリック・サティを踊る |
| | BONUS | BONUS 第4回連結クリエイション テクノロジー×ダンス×X編 |
| | セッションハウス企画室 | セッションハウス若手ダンサー支援プロジェクト |
| | クリエイティブ・アート実行委員会 | Integrated Dance Company響-Kyo 第4回公演 二作品上演「パワボル」『les gens de Tokyo』 |
| | 川口隆夫 | 「大野一雄について」欧州ツアー |
| 美術・映像 | 国立奥多摩美術館 | 国立奥多摩映画館 美術でもない映画でもない映像 |
| | ボリス・グロイス日本招聘プロジェクト実行委員会 | ボリス・グロイス日本招聘プロジェクト |
| | 視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ | 視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ |
| | 飯田 将茂 | 全天周映像上映会「After Cherenkov」 |
| | 蓮沼執太展実行委員会 | 蓮沼執太展(仮) |
| | 学校法人武蔵野美術大学 | αMプロジェクト2016「トランス/リアルー 非実体的美術の可能性」 |
| | 大成 哲 | ルーマニア・ブカレストにおける個展 |
| | 金井 学 | Fremantle Arts Centre レジデンスプログラムへの参加及び展覧会の開催 |
| | 活動写真実演会 | 欧米における活動写真文化の普及事業 |
| | 小鷹拓郎 | Artist in Residence Program in Hong Kong 2016 |
| | 伝統芸能 | 公益財団法人 正派邦楽会 |
| (有) サウンドポット | | 時空を越える虚無僧尺八の世界 ~虚無僧尺八の最大の寺・越後明暗寺所縁の虚無僧を迎えて~ — 中村明一尺八リサイタルー |
| 創邦21 | | 創邦21 第14回作品演奏会 |
| 全国竹友会 | | 祝傘寿 川瀬順輔の会 |
| 福田 輝久 | | 邦楽聖会公演 No19 |
| 現代邦楽作曲家連盟 | | 第30回 現代邦楽作曲家連盟作品演奏会 |
| 公益社団法人 能楽協会 | | 第13回 ユネスコ記念能 |
| 一般社団法人 日本伝統芸術国際交流協会 | | ざくらこまち和楽団・イタリア公演2016 |
| 吉村 七重 | | 邦楽展28 koto Collection Today |
| 代々木果迺会 | | 代々木果迺会別会「一之輔落語×竹灯籠能『菊慈童』」 |
| 複合・その他 | | Interdisciplinary Art Festival Tokyo |
| | 特定非営利活動法人 舞台芸術制作者オープンネットワーク | 舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)による創造環境整備事業 |
| | スロームーブメント実行委員会 | スロームーブメント豊洲公演 |
| | 河崎 純 音楽詩劇研究所 | 河崎 純 音楽詩劇公演プロジェクト |
| | 特定非営利活動法人 国際舞台芸術交流センター | サウンド・ライブ・トーキョー |
| | 一般社団法人 伶楽舎 | 伶楽舎 第十三回雅楽演奏会 ~武満徹「秋庭歌一具」 |
| | 《障害の家》プロジェクト | 《障害の家》プロジェクト |
| | カルチュラル・タイフーン2016実行委員会 | カルチュラル・タイフーン 2016「それを感じられるか?」Can You Feel It? — グローバル化する都市への文化的介入 |
| | 一般社団法人日本建築文化保存協会 | 建築模型を語る——日本の建築家10人が考える建築模型のこれから |
| | 株式会社 シャ・ラ・ラ・カンパニー | Worldwide : Japan Project |

単年助成第2期(対象期間:平成28年10月1日~平成29年9月30日)

| 活動分野 | 申請者名 | 申請活動名 |
|------|------------------------|---|
| 音楽 | 北とびありゲティ・プロジェクト実行委員会 | 北とびあり国際音楽祭2016参加公演「リゲティのホルン・トリオをめぐって」 |
| | ミュージック・フロム・ジャパン推進実行委員会 | ミュージック・フロム・ジャパン2017年音楽祭 |
| | 栗コーダーカルテット | 栗コーダー&フレンズ アジア6カ国 ミュージック&アート 共同制作プロジェクト |

| 活動分野 | 申請者名 | 申請活動名 |
|---------------------|--------------------------------------|--|
| 音楽 | kuniko kato arts project | inc. - artist incubation project 2017 |
| | 21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」 | Tokyo Cantat 2017 |
| 演劇 | 富士山アネット | Attack On Dance WorldTour 2016 |
| | 劇団子供鉦人 | マクベス (仮) |
| | あやめ十八番 | あやめ十八番 第七回公演「霓裳羽衣」 |
| | sons wo: | シティⅢ |
| | 有限会社 名取事務所 | 現代カナダ演劇・最新作連続公演「エレファント・ソング」 |
| | 快快 | 「CATFISH」 |
| | 演劇集団 砂地 | 「アトレウス」(仮題) |
| | 20歳の国 | 花園プロジェクト「花園RED/花園BLUE」 |
| | アジア女性舞台芸術会議実行委員会 | 国際共同制作 第1弾 日本xマレーシア「ファミリー」 |
| | 一般社団法人ミクストメディア・プロダクト | 日本・パレスチナ共同創作「またさぶろう」 |
| 公益財団法人 江戸糸あやつり人形結城座 | 結城座×鄭義信「ドールスタウン」 | |
| 舞踊 | 一般社団法人C o .山田うん | C o .山田うん エストニア公演ツアー |
| | OrganWorks | OrganWorksアレコレ2「Triple Bill」 |
| | C/Ompany | C/Ompany主催公演「忘れる/ボレロ」 |
| | 一般社団法人天使館 | 花粉革命 |
| | 有限会社 カラス | 勅使川原三郎 新作 フランス・ツアー |
| | プロジェクト大山 | プロジェクト大山 新作公演「それでも おどって」 |
| | ROCK STAR 有限会社 | コンドルズ×あうるすぽっと 大赤字コンテンポラリーダンスフェスvol.1「可能性の獣たち2017」 |
| | ダンス保育園！！実行委員会 | ダンス保育園！！ |
| | 一般社団法人ハイウッド | コンテンポラリーダンス・ショーケース JAPAN + EAST ASIA |
| 美術・映像 | EBM (T) | インフラ INFRA -Between Musin and Arts, Between Tokyo and Berlin |
| | 「ホスピタルとデザイン」展実行委員会 | ホスピタルとデザイン展 |
| | AMIT実行委員会 | Art, Media and I, TOKYO (AMIT) 2017 |
| | ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエダ展実行委員会 | ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエダ展 |
| | 北條 知子 | Reborn Homes through my voice |
| | 当真さやか | 泡どねばり、どうきょう |
| | 一般社団法人 アート東京 | アート産業市場「見える化」プロジェクト |
| | 石塚 元太良 | 石塚元太良新作展「Demarcation」実行委員会 |
| | インビジブル実行委員会 | 映画をめぐる視覚のあり方を問う新作映画制作 |
| 伝統芸能 | 飛鳥山薪能実行委員会 | 第十四回 飛鳥山薪能公演 及び 飛鳥山薪能 能楽鑑賞会 |
| | 福原 徹 | 徹の笛 一第八回福原徹演奏会 |
| | 公益財団法人 十四世六平太記念財団 | 「W. B. イエーツを魅了した能の演目から」ニューヨーク公演 |
| | 今藤 政太郎 | 第2回 今藤政太郎作品演奏会 |
| | 特定非営利活動法人東京高円寺阿波おどり振興協会 | 東京高円寺阿波おどり台湾公演2017 |
| | 有限会社 邦楽ジャーナル | 野坂操壽 × 沢井一恵「変絃自在」サンフランシスコ公演 |
| | 特定非営利活動法人 チームいただきます | 伝統・技・美のライブパフォーマンス「一粒萬倍」 |
| | 藤間 貴雅 | 第七回 貴雅の会 |
| | 公益社団法人 日本三曲協会 | 日本三曲協会定期公演 第3回 日本の響 |
| | 山本 亜美 | 山本亜美 二十五絃箏リサイタル ～紡ぐ、箏 歌～ |
| 複合・その他 | 清元 志寿子太夫 | 第2回 清元志寿子太夫 清元一太夫 清元演奏会 |
| | 東京神楽坂組合 | 第三十四回 神楽坂をどり |
| | Interdisciplinary Art Festival Tokyo | IAFT16/17 |
| | 小林美術科学 | 賞道のすすめ |
| | 特定非営利活動法人 Explat | CINARS特別集中講義「カンパニーを国際化するための専門知識とメソッド」 |
| | 株式会社 演劇集団円 | 演劇集団 円 公演「Double Tomorrow」 |
| 美術・映像 | NPO法人 日本伝統文化推進協会 | 伝統文化を東京からアジアへ広げようプロジェクト (竹と竹で結ぶ・和のかけ橋) |
| | 一般社団法人 向源 | 世界最大級の寺社フェス「向源」 |

長期助成 (対象期間：平成28年4月1日～平成30年3月31日〔2年間〕または平成28年4月1日～平成31年3月31日〔3年間〕)

| 活動分野 | 申請者名 | 申請プロジェクト名 |
|-------|-------------------------|-----------------------------------|
| 音楽 | 東京現音計画 | 東京現音計画コンサート、アーカイブ |
| 演劇 | 一般社団法人チェルフィッチュ | アジアの国際共同制作プロジェクト |
| | サインアートプロジェクト・アジア | SAP.AZN プロジェクト |
| 舞踊 | RE/PLAY Dance Edit実行委員会 | 国際共同制作「RE/PLAY Dance Edit」 |
| | 株式会社 アーキタンツ | アーティスト・サポート・プログラム |
| 美術・映像 | GRINDER-MAN (株式会社イッカク) | 没入体験型作品の海外展開そして新作メディアアートパフォーマンス公演 |

平成28年度実績

東京地域芸術文化助成

応募総数：27件、採択数：11件

交付決定総額：5,100千円

(対象期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日)

| 申請者名 | 申請活動名 |
|-------------------------|--|
| 公益財団法人 江戸糸あやつり人形結城座 | 結城座 リーディングによる人形芝居～親子で楽しむ 読む・演じる・あやつる～ (仮称) |
| 有限会社ボレボレタイムス社 | 写真展「築地魚河岸ひとの町」 |
| 高円寺演芸まつり実行委員会 | 第七回 高円寺演芸まつり |
| 「染の小道」実行委員会 | 2017年 染の小道 |
| 新宿芸術天国実行委員会 | 新宿芸術天国2016 |
| 阿佐谷ジャズストリート実行委員会 | 阿佐谷ジャズストリート2016 |
| 一般社団法人ノマドプロダクション | 生活と表現2016 |
| 特定非営利活動法人東京高円寺阿波おどり振興協会 | 第60回東京高円寺阿波おどり |
| 江東区民まつり中央実行委員会 | 江東区民まつり中央まつり民俗芸能大会 |
| トロールの森実行委員会 | 野外×アート×まちなか トロールの森2016 |
| 創エネ・あかりパーク2016実行委員会 | 創エネ・あかりパーク2016 ステージプログラム |

平成28年度実績

芸術文化による社会支援助成

応募総数：48件

採 択 数：16件

交付決定総額：10,460千円

第1期 (対象期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日)

| 活動分野 | 申請者名 | 申請活動名 |
|-------|--------------------------------|--|
| 音楽 | 特定非営利活動法人 アートセラピー研究所DAM | こどもの城合唱団コンサート ～こどもたちからのサウンドメッセージ～ |
| 演劇 | 特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク | 舞台手話通訳付き公演のモデル上演および撮影会 |
| | 有限会社 劇団銅鑼 | 劇団銅鑼公演ドラマファクトリーvol.10『短編集 (仮)』 |
| 美術・映像 | NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト] | アーティストと子どものエデュケア学校 (仮) |
| | 特定非営利活動法人アート＆ソサイエティ研究センター | 子どもたちによるヘアカット 子どもと大人の関係性を問い直すソーシャリー・エンゲイジド・アート (SEA) プロジェクト (仮称) |
| | アールブリュット立川実行委員会 | アール・ブリュット立川2016～こころが描くアート展～ |
| 伝統芸能 | 公益社団法人 日本三曲協会 | オリジナル箏曲合奏プロジェクト |
| | 公益財団法人 十四世六平太記念財団 | “手話”で楽しむ能狂言鑑賞会 |

第2期 (対象期間：平成28年10月1日～平成29年9月30日)

| 活動分野 | 申請者名 | 申請活動名 |
|--------|--|--|
| 音楽 | 即興からめーる団 | うたの住む家プロジェクト in 両国 |
| 演劇 | 社会福祉法人 トット基金 日本ろう者劇団 | 清姫道成寺 ― 純愛か、狂愛か。― |
| | NPO法人シニア演劇ネットワーク | シニア劇団かんじゅく座第11回公演「ねころ！ 2017」 |
| | 特定非営利活動法人シアタープランニングネットワーク | ホスピタルシアタープロジェクト2016～インクルーシブ・シアターへの誘い (仮) |
| 舞踊 | 特定非営利活動法人 みんなのダンスフィールド | インクルーシブ・ダンスの上演をコアとする連続的な「共創」のアートプログラム開発 |
| 美術・映像 | 特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン | 「アートとソーシャルデザイン」連続トーク&フォーラム |
| 複合・その他 | DDD (Disability Driven Design) Project | 障害を起点とした新しい価値を探るデザインプロセスの実践 vol.1 |
| | よむよむ・わくわく広場 実行委員会 | よむよむ・わくわく広場 in 足立区 |

※上記の採択事業一覧は、プレス時のものです。申請者名や申請活動名は変更になっているものもあります。

07

伝統芸能公演

【事業概要】

| | |
|-------|--|
| 開催日 | 平成28年（2016年）9月19日（月・祝）、12月4日（日）、平成29年（2017年）1月2日（月・休）・3日（火）、2月16日（木） |
| 会場 | 国立劇場 大劇場、狛江エコルマホール、東京国際フォーラム、Bunkamura オーチャードホール |
| 主催 | アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） |
| 助成・協力 | 東京都 |
| 入場者数 | 延べ6,579人 |

【事業趣旨（目的）】

伝統芸能の活性化・普及およびその魅力を幅広く国内外に発信することを目的として、多様なジャンルの伝統芸能を取り上げ、若者や外国人など伝統文化・芸能に馴染みのない層にその魅力を知り楽しんでもらうよう、初心者にもわかりやすく、その魅力を様々な角度や切り口から紹介する。

【開催状況】

| 開催日 | 会場 | 公演名 | 曲目等 | 出演者等 | 入場料（円） | 入場者（人） |
|-----------------|---------------------|---------------------------------|--|---|-----------------------------------|--------|
| 9/19 | 国立劇場 大劇場 | 大江戸寄席と花街のおどり その六 | 【第一部】 大江戸寄席 太神楽 講談「大石の妻子別れ」 落語「幾代餅」 【第二部】 花街のおどり 「北州」 「江戸おけさ」 「七福神の紅葉狩り」 「奴さん」 「木遣りくずし」ほか | 【第一部】 太神楽曲芸協会、神田陽子、柳家さん喬 【第二部】 新橋芸者連中、赤坂芸者連中、浅草芸者連中、神楽坂芸者連中、芳町芸者連中、向島芸者連中 悠玄亭玉八 | S席：5,000 A席：4,000 学生：2,000 | 1,231 |
| 12/4 | 狛江エコルマホール | 第17回 多摩川流域郷土芸能フェスティバル | 丹波山村 ささら獅子舞、小菅村獅子舞、奥多摩町 獅子舞、多摩市 多摩市山王下粉屋踊り、日野市 囃子、府中市 囃子、稲城市 囃子、調布市 囃子、狛江市 おはやし | 丹波山村文化財保存会、三ヶ村 箭弓神社氏子中、大丹波青木神社獅子舞保存会、多摩市山王下粉屋踊り保存会、日野市祭ばやし連合会、府中囃子保存会東町支部、大丸囃子保存会、調布市郷土芸能祭ばやし保存会上石原ばやし連・仙川ばやし連、岩戸ばやし保存会 | 無料 | 679 |
| 1/2、3 各日2回公演 | 東京国際フォーラム ホールB7 | 「FORM」 (J-CULTURE FEST連携事業※) | 12：00公演 ・半能「高砂 八段之舞」 ・三番叟「FORM」 16：00公演 ・「能楽囃子」、狂言「末広がり」 ・三番叟「FORM」 | 野村萬斎、観世喜正、万作の会 ほか (映像演出：真鍋大度) | 3,000 | 2,625 |
| 2/16 | Bunkamura オーチャードホール | 伝統芸能普及公演 ケルティック能「鷹姫」 | 「鷹姫」 | 梅若玄祥（能楽観世流シテ方 人間国宝）、アヌーナ（ケルティック・コーラス）ほか | S席：6,000 A席：5,000 学生席：4,000 | 2,044 |

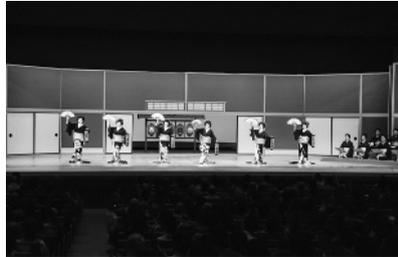
※「J-CULTURE FEST」主催：株式会社東京国際フォーラム、共催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

【参加者の声】

- 大江戸寄席と花街のおどり その六
 - ・1度にいろいろ楽しめて貴重な機会でした。プログラム構成が良かった。次回も是非来たいです。（40代・女性）
 - ・素晴らしい！神田陽子さん最高。落語に涙。曲芸にびっくり。踊りの演出構成が素晴らしかった。（60代・女性）
- 「FORM」(J-CULTURE FEST連携事業)
 - ・能は今回初めてでした。初心者なので見られて良かったです。三番叟は映像美と音の響きが映画のサラウンドのように聞こえ、後ろにも音響があるのが良かったです。萬斎さんは迫力があり、大地を踏みしめるような足踏みが素晴らしかったです。（30代・女性）

●ケルティック 能「鷹姫」

- ・日本の能をもっと観たくなっただし、アイルランドの神話にも興味が湧きました。(20代・女性)
- ・和洋のコラボ、融合が本当に素晴らしかったです。コーラスの美しいハーモニー、一人ひとりの声の美しさに感動しました。(70代以上・女性)



大江戸寄席と花街のおどり その六
©横井洋司



大江戸寄席と花街のおどり その六
©横井洋司

08

日本橋 熙代祭 江戸あそび ～伝統文化フェスティバル～

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催日 | 平成28年（2016年）10月7日（金）～9日（日） |
| 会場 | 日本橋エリア（コレド室町／福徳の森周辺 ほか） |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、日本橋文化交流フェスティバル実行委員会〔日本橋北詰商店会、名橋「日本橋」保存会、室町一丁目会、室町二丁目町会、一般社団法人日本橋室町エリアマネジメント、三井不動産株式会社〕 |
| 後援 | 中央区、中央区観光協会 |
| 協力 | 日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会 |
| 参加者数 | 延べ約18,440人 |

【事業趣旨（目的）】

東京ならではの独自性や多様性を追求しながら、伝統文化の魅力を国内外に発信し、江戸の文化の発信地であり五街道の起点として栄えた日本橋で、多くの人々が気軽に伝統文化を体験できるフェスティバルを開催する。

【開催状況】

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 演目・出演者・内容など | 料金（円） | 参加者（人） |
|--------|--------------------------|-----------------------------|---|----------------------|--------|
| 10/8 | 福徳の森内特設ステージ | 熙代ステージ | 【未来Stage】書道（大東文化大学第一高等学校） 【伝統の技Stage】伝統の古武術／居合（無外流 居合演武） 【伝統×革新 Session Stage】美悟音（みごと）with 郷音（さごね） 【伝統×革新 Special Stage】AUN J クラシック・オーケストラ | 無料 | 10,310 |
| 10/9 | | | まちなか伝統パフォーマンス（津軽三味線+尺八） 【未来Stage】リズムなぎなた（東京都立富士高等学校） 【未来Stage】箏（東京都立柏江高等学校） 【伝統×革新 Session Stage】Bob's（ボブズ） 【伝統×革新 Special Stage】鼓童 | | |
| 10/8 | 江戸桜通り地下歩道、橋楽亭（コレド室町3、3階） | 伝統体験塾 | (各3回) 華道体験教室 髪飾り作り体験教室 日本舞踊体験教室 | 各500 | 151 |
| 10/9 | | | (各3回) 江戸提灯文字入れ教室 あめ細工体験教室 茶道体験教室 | | |
| 10/8、9 | 福徳の森 | 日本橋 技あり体験熙代屋台 | (各日5回) 江戸木版画でうちわ制作 江戸型染めでトートバック制作 | 各500 | 145 |
| 10/7 | 福徳の森、福徳神社周辺 | まちなか伝統パフォーマンス | (3回) 新内流し（富士松延治太夫 ほか） | 無料 | 7,510 |
| 10/8 | | | (3回) 和太鼓+篠笛（金刺由大、玉置ひかり） | | |
| 10/9 | | | (3回) 津軽三味線+尺八（佐藤通芳、白鳥良章） | | |
| 10/9 | 日本橋三井ホール（コレド室町1、5階） | 伝統芸能公演「紅葉 日本橋～日本美と伝統芸能の饗宴～」 | 第一幕 日本舞踊・狂言・邦楽の競演 第一場 日本舞踊「麒麟と鳳凰」（藤間勘十郎、花柳凜） 第二場 長唄「日本橋」（藤間寿、藤間勘知恵、藤間三千恵） 第三場 狂言「千鳥」（大藏基誠、大藏彌太郎、大藏教義） 第四場 和太鼓演奏「繋ぎ音／邂逅」（響道宴） 第二幕 伝統芸能コラボレーション企画「鬼揃紅葉狩」（吾妻徳穂、大藏基誠、花柳美喜、花柳凜、藤間涼花、藤間勘知恵、藤間勘十郎 ほか） | 一般：3,800 学生：2,500 | 324 |
| 計 | | | | | 18,440 |

【参加者の声】

- ・ 普段馴染みの薄かった伝統芸能に触れる良いきっかけになった。（20代・男性）
- ・ 日本文化に興味がある外国人にアピールできる内容だと思いますが、英語の説明やサポートツールが必要になると思います。（50代・男性）
- ・ 楽しい時間を過ごしました。（70代以上・女性）

09

伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2016～

【事業概要】

- 開催日** 平成28年（2016年）11月26日（土）・27日（日）
- 会場** JR八王子駅周辺
（西放射線ユーロード、中町公園、横山町公園、八幡八雲神社、八王子繊維貿易館、藤本染工芸、福傳寺、いちようホール ほか）
- 主催** アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、八王子市、公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団
- 助成協力** 東京都
- 後援** 町田市、あきる野市、あきる野市教育委員会、八王子市町会自治会連合会、八王子商工会議所、公益社団法人八王子観光協会、八王子市商店会連合会、西放射線ユーロード、東京工科大学、東京造形大学
- 事業協力** 安楽山明王院 福傳寺、岡崎屋惣次郎、人力屋坂福、染色工房藤本染工芸、中町町会、八王子三業組合、八王子繊維貿易館、八幡八雲神社、本町連合町会
- 出演** 八王子車人形 西川古柳座、八王子芸妓衆、三ツ目囃子振興会、高尾山とんとんむかし語り部の会、新谷祥子、中琴裕とハッチャ・メチャーズ、秋川歌舞伎あきる野座、小林千恵子、香川良子、寿獅子舞香川社中、東京染竹団、説経節の会、八王子祭囃子連合会、染色工房藤本染工芸、東京造形大学大学院Hachioji影絵プロジェクト、本町連合町会、東京工科大学メディア学部
- 料金** 無料（一部参加費あり）
- 参加者数** 11月26日（土）17,079人、11月27日（日）12,528人、合計29,607人
※東京2020公認文化オリンピックアド

【事業趣旨（目的）】

多摩地域および八王子市が保有する地域の文化資源を活用して、まちなか演奏会や野外ステージを舞台にした本格的な公演などを行い、伝統文化に馴染みのない人々が親しめる工夫を凝らしたプログラムを提供し、多彩な伝統文化・芸能の魅力を発信する。また、フェスティバルを通じて、伝統文化の新たな鑑賞者の獲得や担い手を育成し、多摩地域および八王子市の伝統文化・芸能を次世代へ継承する。

【開催状況】

11月26日

| 会場 | プログラム名 | 出演者等 | 内容 | 来場者（人） |
|----------------------|------------------------------|--|---|--------|
| 中町公園 | ようこそ！お囃子の世界へ 三ツ目囃子 | 三ツ目囃子振興会 | 地元の祭りや、近年は八王子まつりでも、南町の山車で囃子を演奏している。町田市無形文化財「三ツ目囃子」の伝統的な囃子 | 200 |
| | “桐”と“竹”音色七色 | ①小林千恵子（箏） ②香川良子（篠笛） | ①鳥のように、粉雪、蘇州夜曲、花は咲く ②Colors of the wind「カラー・オブ・ザ・ウィンド」（ポカホンタスより） | 120 |
| | 八王子芸妓衆の華と粋 | 八王子芸妓衆（めぐみ、まどか、若葉、あやめ、小太郎、菜乃佳、理子、葉月、ひさ丸、成華、くるみ、ふみ） | 木やりくずし、紅葉の橋、なすとかぼちゃ、八王子オリヤセ節、お座敷さわぎ | 160 |
| 横山町公園 | 地芝居を楽しむ！ 秋川歌舞伎 | 秋川歌舞伎あきる野座 | 三人吉三巴白浪大川端申塚の場 | 430 |
| | ちょっと小粋にまちめぐり！ 人力車・昭和レトロ探し | 岡崎屋惣次郎 人力屋坂福 | まちなかに残る昭和の面影を、車夫の解説を聞きながら人力車で巡る | 40 |
| 八幡八雲神社 神楽殿 参集殿 | 受け継がれてゆく伝統の八王子車人形 | 八王子車人形西川古柳座 五代目家元 西川古柳、説経節の会 | 「三番叟」、「東海道中膝栗毛一赤坂並木から卵塔場の段」 | 176 |
| | とんとんむかし話 | 高尾山とんとんむかし語り部の会、 新谷祥子（マリンバ） | 1回目：とんがらし地蔵、カラスの源さん、石芋、松姫さまの糸繰ゆらり 2回目：とっくり亀屋、峠のきつね、八日ぞう、天狗つるし | 106 |
| 繊維貿易館 | 伝統の美～舞と響～ | 中琴裕とハッチャ・メチャーズ、 八王子芸妓衆 | 中之島流大正琴：荒城の月変奏曲・糸・運命、 八王子芸妓衆：木やりくずし・紅葉の橋・なすとかぼちゃ・八王子オリヤセ節、お座敷さわぎ、 芸妓衆と大正琴の共演：元禄花見踊り | 182 |
| 染色工房藤本染工芸 | 和・染物体験 ～今も生きる古き良き伝統を体験しよう！～ | 染色工房 藤本染工芸 | 日本古来より伝わる染色技法「型染め」の伝統を今も守り続ける染色工房で、型染めを体験してオリジナル作品を作る | 108 |

| 会場 | プログラム名 | 出演者等 | 内容 | 来場者(人) |
|-------|--|-----------------------------|--|--------|
| 福傳寺 | 江戸時代のアニメーション「影絵(写し絵)」影絵(写し絵)公演とワークショップ | 東京造形大学大学院 Hachioji 影絵プロジェクト | 天狗のおとしもの ※東京造形大学大学院Hachioji影絵プロジェクトが制作したオリジナル作品。本作制作の為に高尾山等にフィールドワークに出かけ、取材している。天狗を主人公にした物語 | 55 |
| 本町 | 本町連合町会山車 | 本町連合町会 | 八王子市の有形文化財に指定されており、八王子まつりの名物のひとつ。目黒流のお囃子とともに演じる | 200 |
| 各エリア | スマートフォンで歴史を知ろう! | 東京工科大学メディア学部 | 各所の情報がスマートフォンなどで見ることが出来る | 22 |
| 総合受付 | | | | 280 |
| | スタンプラリー | | スタンプラリーシート(当日配布)を使って、各所を巡る。スタンプラリーポイントは5か所あります。4か所以上、集めた方には、伝承のたまてばこクリアファイルを贈呈。(各日先着600人) | 200 |
| ユーロード | | | | 14,300 |
| | 人力車による“お練り” | 秋川歌舞伎出演者、八王子芸妓衆 | | 500 |
| | | | 1日目計 | 17,079 |

11月27日

| 会場 | プログラム名 | 出演者等 | 内容 | 来場者(人) |
|---------------|--|--|--|--------|
| 中町公園 | 聴いてみよう、日本の音 八王子祭囃子 | 八王子祭囃子連合会 | 戦前より「山車祭り」として栄えていた関東屈指の八王子の祭りでは、多様な流派の囃子連が、競って山車の「ぶっつけ」を行っている。祭りをはじめ、各所で囃子を披露している八王子祭囃子連合会による伝統の囃子 | 200 |
| | “桐”と“竹”音色七色 | ①小林千恵子(箏) ②香川良子(篠笛) | ①鳥のように、粉雪、蘇州夜曲、花は咲く ②ギターと共演でアメージング・グレース、コンドルは飛んでゆく、君をのせて、太陽がいつぱい、愛のテーマ、いそしぎ | 220 |
| | 八王子芸妓衆の華と粋 | 八王子芸妓衆(めぐみ、まどか、若葉、あやめ、小太郎、菜乃佳、理子、葉月、ひさ丸、成華、くるみ、ふみ) | 木やりくずし、紅葉の橋、なすとかぼちゃ、八王子オリヤセ節、お座敷さわぎ | 200 |
| 横山町公園 | 受け継がれてゆく伝統の八王子車人形 | 八王子車人形西川古柳座 五代目家元 西川古柳、説経節の会 | 「東海道中膝栗毛一赤坂並木から卵塔場の段」 | 240 |
| | “桐”と“竹”音色七色 | 東京楽竹団 | 戦国風、竹の大地、風になりたい、バリ〜ケチャ、童神〜天の子守唄、鳥唄、夕焼け小焼け | 60 |
| | ちょっと小粋にまぢめぐり! 人力車・昭和レトロ探し | 岡崎屋惣次郎 人力屋坂福 | まちなかに残る昭和の面影を、車夫の解説を聞きながら人力車で巡る | 40 |
| 八幡八雲神社 神楽殿 | “桐”と“竹”音色七色 | ①小林千恵子(箏) ②香川社中 | ①竹田の子守唄、鳥のように、粉雪、花は咲く ②寿獅子舞(屋台〜鎌倉〜江戸の子守唄〜投げ合い) | 114 |
| | | 東京楽竹団 | ラブソディより(序・馬子唄・八木節)、上を向いて歩こう、祭、月輝夜、バリ〜ケチャ、涙そうそう、ふるさと | 67 |
| 染色工房藤本染 工芸 | 和・染物体験 ~今も生きる古き良き伝統を体験しよう!~ | 染色工房 藤本染工芸 | 日本古来より伝わる染色技法「型染め」の伝統を今も守り続ける染色工房で、型染めを体験してオリジナル作品を作る | 87 |
| 福傳寺 | 江戸時代のアニメーション「影絵(写し絵)」種板をつくろう! ワークショップ&ミニ公演 | 東京造形大学大学院 Hachioji 影絵プロジェクト | 天狗のおとしもの ※東京造形大学大学院Hachioji影絵プロジェクトが制作したオリジナル作品。本作制作の為に高尾山等にフィールドワークに出かけ、取材している。天狗を主人公にした物語 | 47 |
| 本町 | 本町連合町会山車 | 本町連合町会 | 八王子市の有形文化財に指定されており、八王子まつりの名物のひとつ。目黒流のお囃子とともに演じる | 300 |
| 各エリア | スマートフォンで歴史を知ろう! | 東京工科大学メディア学部 | 各所の情報がスマートフォンなどで見ることが出来る | 13 |
| 総合受付 | | | | 270 |
| | スタンプラリー | | スタンプラリーシート(当日配布)を使って、各所を巡る。スタンプラリーポイントは5か所あります。4か所以上、集めた方には、伝承のたまてばこクリアファイルを贈呈。(各日先着600人) | 220 |
| ユーロード | | | | 10,100 |
| | 人力車による“お練り” | 八王子車人形出演者、八王子芸妓衆 | | 350 |
| | | | 2日目計 | 12,528 |

【参加者の声】

- ・ 普段あまり行く機会のない神社の中などを舞台にしていた良かった。(20代・女性)
- ・ 身近で芸妓さんの踊りが見られて貴重な体験でした。ありがとうございました。八王子は面白い街でした。(30代・女性)
- ・ 伝統文化の継承はとても大事だと思うので、良いイベントだと思いました。(40代・女性)
- ・ 街を回りながら普段見る機会の少ない伝統芸能に触れることができ、1日楽しめました。各演目が30分程度で色々回れるのも良いです。(50代・男性)
- ・ 伝統工芸の体験に参加しましたが、身近なところにこんなに素晴らしいものが引き継がれていることを知り、感激しました。また神社での八王子車人形も良かったです。(50代・女性)



八王子車人形 (西川古柳座)



八王子祭囃子連合会



本町連合町会山車



八王子芸伎衆

10

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2016

【事業概要】

- 開催日** 平成28年(2016年)11月12日(土)・13日(日)
- 会場** 神楽坂界限
- 主催** アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人粋なまちづくり倶楽部
- 助成・協力** 東京都
- 後援** 新宿区、一般社団法人新宿観光振興協会
- 協力** 東京神楽坂組合、毘沙門天善國寺、赤城神社、株式会社粋まち、神楽坂通り商店会、神楽坂商店街振興組合、江戸東京ガイドの会、光照寺、圓福寺、東京都消費生活総合センター、若宮町自治会、あずさ監査法人、第一勧業信用組合(神楽坂支店)、日本出版クラブ、スターバックスコーヒー神楽坂下店、ちかけん
- 来場者数** 延べ38,088人

【事業趣旨(目的)】

神楽坂エリア一帯を地域の文化資源として活用しつつ、伝統芸能に馴染みのない初心者や若年層、外国人(観光客、在住者)にも気軽に参加してもらえる構成と内容で、日本の伝統芸能や文化に親しむ端緒となることを目的とした伝統芸能の屋外型フェスティバルを実施する。

【開催状況】

<前夜祭>11月12日(土) 15:00~19:30

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 出演者等 | 料金(円) | 参加者(人) |
|-------|--------------------------------------|--------------|---|-------|--------|
| 11/12 | ザ・ロイヤル・スコッツマン、縁香園、風雅すたいるカフェ、神楽坂モノガタリ | 店めぐり・古典芸能ライブ | シシル・コビーニ(落語パフォーマンス)、神田織音(講談)、鶴賀伊勢吉 他(新内節)、岡村慎太郎(地唄)、望月晴美 他(邦楽・囃子) | 無料 | 275 |
| | 神楽坂界限 | 神楽坂路上界限 | 新内流し: 鶴賀伊勢吉 他、鶴賀若狭掾一門、城端曳山祭(庵唄): 宝槌会 | 無料 | 1,326 |

<本祭>11月13日(日) 11:30~18:00

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 出演者等 | 料金(円) | 参加者(人) |
|-------|------------------|--------------------------|---|-------|--------|
| 11/13 | 毘沙門天善國寺境内 特設ステージ | 神楽坂楽座~講釈場 | 神田山緑(講談)、琵琶デュオ(薩摩琵琶)、竹本京之助×鶴澤賀寿(義太夫節) | 無料 | 3,240 |
| | 神楽坂界限 | 神楽坂芸能めぐり 街角ライブ | 若獅子会(邦楽囃子)、雅楽三味 中村さんち(雅楽)、セ三味ストリート(津軽三味線パフォーマンス)、大多和正樹(和太鼓)×岩田卓也(尺八)、丸一仙翁社中(江戸太神楽)、こときき(津軽三味線・笛)、ブルース・ヒューバナー(尺八) マクイーン時田 深山(箏)、上条 充(江戸糸あやつり人形)、木場大輔×奥田かんな(胡弓) | 無料 | 20,350 |
| | 神楽坂界限 | 神楽坂路上界限 | 新内流し: 鶴賀伊勢吉、城端曳山祭(庵唄): 宝槌会 | 無料 | 800 |
| | 東京神楽坂組合 見番 | 覗いてみようお座敷遊び | 神楽坂芸者衆 立方: 万り、千佳、桃子 地方: 真由美(唄)、夏栄・櫻子(三味線)、由み奈(鳴物) | 2,500 | 77 |
| | 赤城神社 神楽殿 | 赤城神社 夕暮れライブ | 丸一仙翁社中(江戸太神楽)、木場大輔×奥田かんな(胡弓)、雅楽三味 中村さんち(雅楽)、芳村伊十治郎連中(長唄)×若獅子会(邦楽囃子) | 無料 | 800 |
| | 神楽坂エリア内7か所 | 神楽坂タイムスリップ スタンブラリーノ歴史ガイド | 日本大道芸・大道芸の会 | 無料 | 11,220 |

【参加者の声】

- ・楽しく出かけてきました。待ち時間にいろいろお店を楽しめました。(70代以上・女性)
- ・街角ライブは最高です!(40代・男性)

- ・街をくまなく散策できてよかったです。(40代・男性)
- ・日曜日のスタートをもう少し早くしてほしい。(50代・女性)
- ・いつも芸者遊びのチケットが売り切れるのが早い。(30代・男性)



神楽坂路上界限 新内流し



神楽坂芸能めぐり 街角ライブ

11

東京大茶会 2016

【事業概要】

| | |
|------|---|
| 開催日 | 平成28年(2016年)9月24日(土)・25日(日)、10月15日(土)・16日(日) |
| 会場 | 江戸東京たてもの園、浜離宮恩賜庭園 |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団) |
| 共催 | 公益財団法人東京都公園協会(浜離宮恩賜庭園開催のみ) |
| 後援 | 中央区(浜離宮恩賜庭園開催のみ) 小金井市、小金井市商工会(江戸東京たてもの園開催のみ) |
| 特別協力 | 東京都華道茶道連盟、東京都高等学校文化連盟茶道部門(浜離宮恩賜庭園開催のみ) 東京都茶道会(江戸東京たてもの園開催のみ) |
| 来場者数 | 約23,800人 |

【事業趣旨(目的)】

様々な流派による伝統的な茶席や野点のほか、親子で体験できる茶道教室、英語で解説をする茶席や野点、日本の伝統文化を楽しめるステージイベントやパフォーマンスを実施するなど、誰でも気軽に参加できる大規模な茶会を開催することにより、伝統ある茶文化を広く都民に普及し、また、東京を訪れる観光客に、「お茶の文化」とそれを育んできた「江戸・東京の文化」を紹介する。

| 開催日 | 会場 | 体験者(人) | | 参加料(円) | イベント | 出店 | 来場者(人) |
|----------|-----------|------------------|--------|--------|--|----------------------|---------|
| 9/24、25 | 江戸東京たてもの園 | 茶席 | 高橋是清邸 | 396 | 獅子舞、けん玉パフォーマンス、フォト川柳 | 小金井市商工会 | 約10,100 |
| | | | 西川家別邸 | 383 | | | |
| | | | 川野商店 | 227 | | | |
| | | 野点 | 980 | 300 | | | |
| | | 茶道はじめて体験 | 379 | 300 | | | |
| | | WELCOME!英語で楽しむ茶席 | 268 | 700 | | | |
| | | 子供のための茶道教室 | 168 | 200 | | | |
| 10/15、16 | 浜離宮恩賜庭園 | 茶席 | 中島の御茶屋 | 696 | ステージイベント(日英落語、三味線演奏、尺八演奏、ゲストによるトークショー) | 茶菓子、抹茶、軽食、オリジナル行灯制作等 | 約13,700 |
| | | | 芳梅亭 | 511 | | | |
| | | 野点 | 2,030 | 300 | | | |
| | | WELCOME!英語で楽しむ野点 | 737 | 300 | | | |
| | | 高校生野点 | 588 | 300 | | | |
| | | 茶道はじめて体験 | 511 | 300 | | | |
| 計 | | | 7,874 | | 計 | 約23,800 | |

【参加者の声】

●江戸東京たてもの園

- ・野外でいただくお抹茶は格別な趣があった。日本人の感性に改めて感服した。参加者が多くて驚いた。(70代以上・男性)
- ・子供が茶道を体験できる機会をありがとうございます。また参加したいのでよろしくお願いします。(30代・女性)
- ・英語で茶会ができることに感動した。とても楽しい文化体験だった。(30代・女性)

●浜離宮恩賜庭園

- ・母と弟と来ました。一度お茶点をしてみたかったのがちょうど良い機会でした。楽しく日本の伝統を体験することができて良かったです。(20歳未満・女性)
- ・普段では体験することのできない茶道等を体験できて、とても満足です。また機会があれば来たいです。(20代・男性)
- ・とても良いイベントでした。ゆったりとした気持ちでお茶を楽しむことができました。是非続けてください。高校生のお点前、素晴らしかったです。頑張ってください。(50代・男性)
- ・英語に対応した茶会にしてくれてありがとうございます。(20代・女性)

12 プレミアムコンサート～未来へのハーモニー～

【事業概要】

| | |
|------|---------------------------------|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）6月12日（日）～12月3日（土） |
| 会場 | 都内12地域 |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） |
| 入場者数 | 6,041人 |

【事業趣旨（目的）】

子供から大人まで幅広い方々にクラシック音楽を身近に楽しんでいただくため、観客参加・体験型のオーケストラ公演やアンサンブル公演を、“首都東京の音楽大使”である東京都交響楽団が多摩・島しょ地域で開催する。また、東京2020オリンピック・パラリンピックを文化五輪としても盛り上げていけるよう気運の醸成を図る。

【開催状況】

東京の音楽文化の発信に寄与することを目的として、多摩地域での10公演（オーケストラ6公演、アンサンブル4公演）、島しょ地域では神津島村、八丈町2町村でアンサンブル4公演を入場無料で実施。オーケストラ公演では、開演前にヴァイオリン、チェロの楽器体験企画も実施し、多くの方々に楽器に触れていただいた。

| 開催日 | 公演名/会場 | 曲目 | 出演 | 入場者（人） |
|------|---|---|--|--------|
| 6/12 | 瑞穂町公演（瑞穂ビューパーク・スカイホール小ホール） 共催：瑞穂町教育委員会 | エルガー：愛のあいさつ ハイドン：弦楽四重奏曲第67番 二長調《ひばり》より 第1楽章、第3楽章、第4楽章 アラン・メンケン：ディズニー映画「美女と野獣」主題歌『美女と野獣』 K.A.ロベス&R.ロベス：ディズニー映画「アナと雪の女王」主題歌『Let it go』 ベートーヴェン：忙しい人のための《第九交響曲》 黒須克彦：夢をかなえてドラえもん 小椋佳：愛燦燦 角野寿和・青葉紘季：NHK連続テレビ小説「あさが来た」主題歌『365日の紙飛行機』 宇多田ヒカル：NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」主題歌『花束を君に』 【参加体験企画】全員合唱（岡野貞一：ふるさと（高野辰之 作詞））（アンコール）八木節（日本民謡） | 東京都交響楽団による弦楽四重奏（ヴァイオリン：海和伸子・山本翔平、ヴィオラ：林康夫、チェロ：柳瀬順平） | 220 |
| 6/19 | 昭島公演（KOTORIホール（昭島市民会館）） | 今井光也：東京オリンピック・ファンファーレ グリーンカ：「ルスランとリュドミラ」序曲 ガーシュイン：パリのアメリカ人 ピゼー：アルルの女 第2組曲 【参加体験企画】指揮体験コーナー（ハンガリー舞曲 第5番）（アンコール）カルメン組曲より「前奏曲」 | 指揮：梅田俊明 司会：朝岡聡 | 915 |
| 6/25 | 奥多摩公演（奥多摩文化会館） 共催：奥多摩町教育委員会 | エルガー：愛のあいさつ ハイドン：弦楽四重奏曲第67番 二長調《ひばり》より 第1楽章、第3楽章、第4楽章 モーツァルト：モテット《踊れ、喜べ、幸いなる魂よ》K.165より第1楽章、第3楽章（アレレヤ）* ベートーヴェン：忙しい人のための《第九交響曲》 黒須克彦：夢をかなえてドラえもん 角野寿和・青葉紘季：NHK連続テレビ小説「あさが来た」主題歌『365日の紙飛行機』 宇多田ヒカル：NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」主題歌『花束を君に』 團伊玖磨：花の街（江間章子 作詞）* 【参加体験企画】全員合唱（岡野貞一：ふるさと（高野辰之 作詞）*）（アンコール）ブッチーニ：「ジャンニ・スキッキ」より『私のお父さん』 | 東京都交響楽団による弦楽四重奏&女声（ソプラノ）（ヴァイオリン：海和伸子・山本翔平、ヴィオラ：林康夫、チェロ：柳瀬順平、ソプラノ：熊田祥子（二期会）*） | 108 |
| 7/10 | 武蔵村山公演（武蔵村山市民会館（さくらホール）大ホール） | 今井光也：東京オリンピック・ファンファーレ（1964） モーツァルト：歌劇『魔笛』序曲 K.620 モーツァルト：交響曲第40番 ト短調 K.550 J.シュトラウス2世：皇帝円舞曲 op.437 【参加体験企画】ウェルカムコンサート（クライスラー：愛の喜び、愛の悲しみ、モーツァルト：ディヴェルティメント第1番 二長調 K.136（全楽章）（アンコール）J.シュトラウス：ピチカート・波尔カ | 指揮：ロッセン・ゲルゴフ 司会：山田美也子 | 972 |
| 8/9 | 町田公演（町田市民ホール） 共催：一般財団法人町田市文化・国際交流財団 | 今井光也：東京オリンピック・ファンファーレ（1964） モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 K.219《トルコ風》 メンデルスゾーン：交響曲第4番 イ長調 op.90《イタリア》 【参加体験企画】楽器体験（ヴァイオリン45人、チェロ15人）（アンコール）レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリアNo.3「イタリアーノ」 | 指揮：キンボー・イシイ 司会：山田美也子 ヴァイオリン：小林美樹 | 812 |

| 開催日 | 公演名/会場 | 曲目 | 出演 | 入場者(人) |
|-------|---|--|---|--------|
| 9/2 | 神津島公演 (神津村立神津小学校) 協力：東京都神津島村役場、神津島村教育委員会 | エルガー：愛のあいさつ モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク より 第1楽章 バッハ：カンノン ヘンデル：歌劇『セルセ』より「オンブラ・マイ・フ」* ブッチーニ：歌劇『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」* すぎやまこういち：ドラゴンクエストの音楽より『序曲』 久石譲：『天空の城ラピュタ』より『君をのせて』 木村弓：『千と千尋の神隠し』より『いつも何度でも』 宇多田ヒカル：NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」より『花束を君に』 【参加体験企画】 全員合唱（神津善行：神津小学校讃歌*） | 東京都交響楽団による弦楽四重奏とソプラノ (ヴァイオリン：海和伸子、横山和加子、ヴィオラ：林康夫、チェロ：清水詩織、ソプラノ：今野沙知恵*) | 70 |
| 9/3 | 神津島公演 (神津島村生きがい健康センター) 協力：東京都神津島村役場、神津島村教育委員会 | エルガー：愛のあいさつ モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク より 第1楽章 ヘンデル：歌劇『セルセ』より「オンブラ・マイ・フ」* ブッチーニ：歌劇『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」* ベートーヴェン：忙しい人のための《第九交響曲》 キッズソングメドレー（アンパンマンのマーチ～マル・マル・モリ・モリ～勇氣100%） 黒須克彦：夢をかなえてドラえもん アラン・メンケン：『アラジン』より『ホール・ニュー・ワールド』 モリコーネ：『ニューシネマパラダイス』より『愛のテーマ』 小椋佳：愛燦燦 宇多田ヒカル：NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」より『花束を君に』 山田耕祐：からたちの花（北原白秋 作詞）* 【参加体験企画】 全員合唱（岡野貞一：ふるさと（高野辰之 作詞）*）（アンコール） 神津善行：神津小学校讃歌* | 東京都交響楽団による弦楽四重奏とソプラノ (ヴァイオリン：海和伸子、横山和加子、ヴィオラ：林康夫、チェロ：清水詩織、ソプラノ：今野沙知恵*) | 120 |
| 10/17 | 小金井公演 (小金井宮地楽器ホール 大ホール) 共催：小金井市 | 今井光也：東京オリンピック・ファンファーレ（1964） モーツァルト：歌劇『ドン・ジョヴァンニ』序曲 K.527 モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第3番 ト長調 K.216 プロコフィエフ：古典交響曲 二長調 op.25 【参加体験企画】 楽器体験（ヴァイオリン45人、チェロ15人） (アンコール) モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』序曲 K.492 | 指揮、司会：藤岡幸夫 ヴァイオリン：内尾文香 | 484 |
| 10/29 | 日の出町公演(日の出町やまびこホール) 共催：日の出町、日の出町教育委員会 | スザート：《ルネッサンス舞曲集》より ヴィヴァルディ：2つのトランペットのための協奏曲 八長調 RV.537 より 第1楽章 フィルモア：ラッサス・トロンボーン 久石譲：君をのせて デイズニーメドレー すぎやまこういち：『ドラゴンクエスト』の音楽より フォスターメドレー 三木たかし：津軽海峡・冬景色 【参加体験企画】（アンコール） ワルターズ：インスタント・コンサート ※平井中学校吹奏楽部と共演 | 東京都交響楽団による金管五重奏（トランペット：岡崎耕二、内藤知裕、ホルン：岸上穰、トロンボーン：青木昂、テューバ：佐藤潔） ※スペシャルゲスト：日の出町立平井中学校吹奏楽部 | 185 |
| 11/5 | 立川公演（たましんRISURUホール（立川市市民会館）） 共催：立川市 | 今井光也：東京オリンピック・ファンファーレ（1964） グリーンカ：歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23 ポロディン：歌劇『イーゴリ公』より「だったん人の踊り」 【参加体験企画】 楽器体験（ヴァイオリン45人、チェロ15人） (アンコール) ハチャトウリアン：「ガイヌ」より「レスギンカ」 | 指揮：渡邊一正、ピアノ：小川典子 司会：朝岡聡 | 921 |
| 11/11 | 八丈島公演（八丈町立大賀郷小学校） 共催：八丈町教育委員会 | エルガー：愛のあいさつ モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章 ヘンデル：歌劇『セルセ』より「オンブラ・マイ・フ」* J.シュトラウス2世：喜歌劇『こころもり』より「侯爵様、あなたのようなお方は」* ベートーヴェン：忙しい人のための《第九交響曲》 黒須克彦：夢をかなえてドラえもん サン＝サーンス：組曲《動物の謝肉祭》より「白鳥」 宇多田ヒカル：NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」より「花束を君に」 山田耕祐：からたちの花*（作詞：北原白秋） 【参加体験企画】 全員合唱（團 伊玖磨：大賀郷小学校「校歌」*（作詞：光山樹太郎）、岡野貞一：ふるさと*（作詞：高野辰之）） | 東京都交響楽団による弦楽四重奏とソプラノ (ヴァイオリン：海和伸子、横山和加子、ヴィオラ：小島綾子、チェロ：松岡陽平、ソプラノ：今野沙知恵*) | 152 |
| 11/12 | 八丈島公演（八丈町多目的ホール おじゃれ） 共催：八丈町教育委員会 | モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章 ヘンデル：歌劇『セルセ』より「オンブラ・マイ・フ」* J.シュトラウス2世：喜歌劇『こころもり』より「侯爵様、あなたのようなお方は」* シューベルト：弦楽四重奏第14番 二短調 D810《死と乙女》より第1楽章 ベートーヴェン：忙しい人のための《第九交響曲》 黒須克彦：夢をかなえてドラえもん 小椋佳：愛燦燦 宇多田ヒカル：NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」より「花束を君に」 山田耕祐：からたちの花*（作詞：北原白秋） 【参加体験企画】 全員合唱（岡野貞一：ふるさと*（作詞：高野辰之）） (アンコール) メンデルスゾーン：歌の翼に* | 東京都交響楽団による弦楽四重奏とソプラノ (ヴァイオリン：海和伸子、横山和加子、ヴィオラ：小島綾子、チェロ：松岡陽平、ソプラノ：今野沙知恵*) | 137 |
| 11/23 | 福生公演（福生市民会館 大ホール（もくせいホール）） | 今井光也：東京オリンピック・ファンファーレ（1964） グリーンカ：歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲 ムソルグスキー（リムスキー＝コルサコフ編曲）：交響詩《はげ山の一夜》 ビゼー：《アルルの女》組曲第2番 【参加体験企画】 指揮体験コーナー（ブラームス：ハンガリー舞曲 第5番） (アンコール) ビゼー：《カルメン》より前奏曲 | 指揮：梅田俊明 司会：江原陽子 | 875 |

| 開催日 | 公演名/会場 | 曲目 | 出演 | 入場者(人) |
|------|--|---|--|--------|
| 12/3 | <p>檜原村公演(檜原村やすらぎの里 多目的ホール)</p> <p>共催: 檜原村、檜原村教育委員会</p> | <p>クライスラー: 愛の喜び クライスラー: 愛の悲しみ J.シュトラウス2世: 喜歌劇『こもり』より「侯爵様、あなたのようなお方は」★ レハール: 喜歌劇『メリー・ウィドウ』より「メリー・ウィドウ・ワルツ」★ ドヴォルザーク: 弦楽四重奏曲第12番 へ長調 op.96 B.179《アメリカ》より第1楽章 ベートーヴェン: 忙しい人のための《第九交響曲》 黒須克彦: 夢をかなえてドラえもん 宇多田ヒカル: 花束を君に クリスマス讃美歌メドレー★ (もろびとこぞりて~神の御子は~きよしこのよる) 【参加体験企画】角野寿和/青葉紘季: 365日の紙飛行機◆、岡野貞一: ふるさと (作詞: 高野辰之) ★◆♥</p> | <p>東京都交響楽団による弦楽四重奏とソプラノ (ヴァイオリン: 海和伸子、山本翔平、ヴィオラ: 林康夫、チェロ: 松岡陽平、ソプラノ: 三宅理恵★) ※スペシャルゲスト: オカリナ / 檜原村村長 坂本義次◆、檜原中学校吹奏楽部♥</p> | 70 |

【参加者の声】

●オーケストラ公演

- ・ 司会つき、都響、曲の説明がありわかりやすかった。選曲もよくオーケストラの楽しさ、身近に感じられた 指揮体験コーナーの企画も良かった。数多く開催してほしい！(昭島公演)
- ・ 初めての本格的なオーケストラの演奏を聞きましたがとても素晴らしかったです。一体感があってみなさんの息使いが聞こえてくるようでした。(武蔵村山公演)
- ・ 以前より興味をもっていた演奏会に当選し、普段はなかなか見られなかった生の演奏が聴けて良かった。このような機会があるとクラシック音楽に親しめる「きっかけ」になると思う。(町田公演)
- ・ バイオリンの体験はとても面白かったようで、参加して良かったです。演奏はどれも素晴らしく、アンコールの曲は子供も知っている曲だったのでとても楽しめました。また参加したいです。(小金井公演)
- ・ 小さなお子さんのファースト・クラシックや普段クラシックに親しみのない方にとっての文化的な潤いとして、これから地域に根差した活動を期待しております。(立川公演)
- ・ 大変なじみやすい曲で楽しかったです。近くで本格的な音楽が聞ける事はうれしい次第です。また次回の公演を期待しております。(福生公演)

●アンサンブル公演

- ・ 小学生の息子とクラシックコンサートに行きたいと思っていましたが、きちんと聞いていただけるか心配でなかなか踏み出せずにいました。今回のような機会は大変有難いと思います。親子3代で楽しく聴くことができました。(瑞穂町公演)
- ・ やはり、生演奏は素晴らしいです。奥多摩の小さなホールで弦楽四重奏が聞けてうれしいです。(奥多摩町公演)
- ・ 少ない楽器でもとても素晴らしいことがわかりました。お話も愉快で面白かったです。(日の出町公演)
- ・ 神津賛歌を演奏していただき、とても良かったです。ありがとうございました。生演奏を聴ける機会が乏しい環境なので、ぜひまた来ていただきたいです。(神津島公演)
- ・ 貴重な機会を作って頂き有難うございました。小学生の子供と一緒にしたので一時間という時間が丁度良く感じました。日常から離れ素晴らしい演奏で心が洗われました。(八丈島公演)
- ・ 生の演奏を聞くチャンスがなかなかないのでとてもうれしく思いました。ありがとうございました。演奏中のみなさんの笑顔がすてきでしたよ。村長さんお上手でした。(檜原村公演)

13

Music Program TOKYO

【事業概要】

| | |
|------|---|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月29日（金・祝）～平成29年（2017年）3月22日（水） |
| 会場 | 東京文化会館 ほか |
| 主催 | 東京都、東京文化会館・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） |
| 入場者数 | 延べ33,436人 |

【事業趣旨（目的）】

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラム。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Music Education Program》を開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信する。

【開催状況】

1. Enjoy Concerts!

(1) 小曾根真&ゴンサロ・ルバルカバ “Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

| 開催日 | 会場 | プログラム | 出演者 | 料金（円） | 入場者（人） |
|------|-----------------|--|----------------------------------|----------------------------------|--------|
| 10/1 | 東京文化会館 大ホール | <第1部> バルトーク：ルーマニア民俗舞曲 BB76 バルトーク：2台のピアノと打楽器のための協奏曲 BB121 | ピアノ：小曾根真、ゴンサロ・ルバルカバ 指揮：角田鋼亮 ※ | S席：5,000 A席：4,000 B席：3,000 | 2,171 |
| 10/2 | オリンパスホール 八王子 | <第2部> ジャズ・セッション | 管弦楽：東京都交響楽団 ※ | 25歳以下： 1,000 | 1,308 |
| 計 | | | | | 3,479 |

※第1部のみ出演

(2) プラチナ・シリーズ

| 開催日 | 会場 | 公演名 | プログラム | 出演者 | 料金（円） | 入場者（人） |
|------|----------------|---|--|--|---|--------|
| 6/6 | 東京文化会館 小ホール | 第1回 クラウス・フロリアン・フォークト ～スターテノールが歌う「水車屋の娘」～ | シューベルト：歌曲集「美しき水車屋の娘」 | テノール：クラウス・フロリアン・フォークト ピアノ：ヨブスト・シュナイデラート | [5回セット券] S席：24,300 A席：19,800 [1回券] 第1回 S席：7,000 A席：6,000 B席：4,000 第2～5回 S席：5,000 A席：4,000 B席：2,500 | 632 |
| 9/22 | | 第2回 浜田理恵 ～言葉は歌い、音楽は語る～ | <第1部> サティ：3つの歌 サティ：潜水人形 ブーランク：当たりくじ <第2部> 三ツ石潤司：音楽遊戯「アリスの国の不思議」（世界初演） | ソプラノ：浜田理恵 ピアノ：三ツ石潤司 バリトン：晴雅彦 ※ クラリネット&バスクラリネット：中村真美 ※ チェロ：山本直輝 ※ | | 507 |
| 10/6 | | 第3回 ゴンサロ・ルバルカバ ～キューバが誇る世界的ジャズ・ピアニスト～ | Gonzalo Rubalcaba：Maferfun Iya Lodde Me David Raksin, Johnny Mercer：My Love And I John Coltrane：Improvisation about Giant Steps Gonzalo Rubalcaba：Joao ほか | ピアノ：ゴンサロ・ルバルカバ | | 621 |
| 11/2 | | 第4回 タチアナ・ヴァシリエヴァ ～無伴奏チェロの若き至宝～ | J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第1番 ト長調 BWV1007 J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第5番 ハ短調 BWV1011 コダーイ：無伴奏チェロ・ソナタ op.8 | チェロ：タチアナ・ヴァシリエヴァ | | 512 |
| 2/17 | | 第5回 渡辺貞夫 ～ジャズ界のスーパー・レジェンド～ | <第1部> 渡辺貞夫：ONE FOR YOU Charlie Mariano：PLUM ISLAND ほか <第2部> 渡辺貞夫：RE-BOP 渡辺貞夫：8.15/2015 Charlie Mariano：LOPIN' ほか | SADAO WATANABE Night with Young Lions アルトサクソフーン：渡辺貞夫 ピアノ：クリスチャン・サンズ ベース：ベン・ウィリアムス ドラムス：ケンドリック・スコット | | 633 |
| 計 | | | | | 2,905 | |

※第2部のみ出演

(3) まちなかコンサート

①まちなかコンサート

| 開催日 | 会場 | 公演名 | プログラム | 出演者 | 料金 (円) | 入場者 (人) |
|-------|----------------|------------------------|---|------------------------------------|-----------------|---------|
| 10/22 | 東京文化会館 小ホール | Vol.1 3歳からの楽しいクラシック | ドビュッシー：ゴリウオークの ケーキウォーク カサド：親愛なる言葉 ほか | ピアノ：白石光隆 チェロ：奥田なな子 | 500 (全席自由) | 476 |
| 12/22 | | Vol.2 よしみちコンサート | ガーシュウィン (黒川圭一編曲)： ガーシュウィン・イン・プラス カンプラ (山本教生編曲)：「華麗なるヨーロッパ」より I.モデラート II.アレグロ ほか | トランペット：多田将太郎 トロンボーン：上田智美 ほか | 500 (全席自由) | 508 |
| 2/11 | | Vol.3 ムジカ・アモレ | マスネ：タイスの瞑想曲 シューマン：「3つのロマンス」 op.94 より 第1曲 エルガー (島津秀雄編曲)：愛のあいざつ ほか | ナビゲーター：宮本文昭 ヴァイオリン：瀧村依里、小川響子 ほか | 1,000 (全席自由) | 592 |
| 計 | | | | | | 1,576 |

②まちなかコンサート 芸術の秋、音楽さんぽ

| 開催日 | 会場 | 編成 | 公演数 | 料金 (円) | 鑑賞者 (人) |
|-------|--------------------------------------|-----------------------|----------|--------|---------|
| 9/24 | 江戸東京たてもの園 子宝湯 ※1 | 木管四重奏 | 2 | 無料 | 280 |
| 9/25 | | トロンボーン四重奏 | 2 | | 132 |
| | | フルート五重奏 | 2 | | 430 |
| 9/29 | 国立西洋美術館 本館1階ロビー 共催：国立西洋美術館 | 弦楽四重奏 | 2 | | 437 |
| | | フルート四重奏 | 2 | | 694 |
| 10/8 | 東京文化会館 キャンピアー | 金管五重奏 | 2 | | 721 |
| 10/15 | | 東京都美術館 佐藤慶太郎記念アートルウンジ | ソプラノ&ピアノ | | 2 |
| 10/16 | 国立国会図書館 国際子ども図書館 3階ホール 共催：国立国会図書館 | 木管五重奏 | 2 | | 289 |
| | | 弦楽四重奏 | 2 | | 386 |
| 10/22 | 恩賜上野動物園 西園動物園ステージ ※2 | 木管五重奏 | 2 | | 588 |
| | | チェロ四重奏 | 2 | | 224 |
| 10/23 | 旧岩崎邸庭園 洋館1階 | ソプラノ&バリトン | 2 | | 194 |
| 10/29 | 東京国立博物館 法隆寺宝物館 ※2 | コントラバスアンサンブル | 2 | | 300 |
| 10/30 | 下町風俗資料館 付設展示場 旧吉田屋酒店 | トロンボーン四重奏 | 2 | | 175 |
| 11/5 | 国立科学博物館 日本館1階中央ホール ※2 | 弦楽四重奏 | 2 | | 314 |
| 計 | | | | | 5,928 |

※1 まちなかコンサートの一環として「東京大茶会2016」と連携。
 ※2 施設への入館料/入園料が必要。

③まちなかコンサート

| 開催日 | 会場 | 編成 | 出演者 | 公演数 | 料金 (円) | 鑑賞者 (人) |
|------|------------------|-------|--|-----|--------|---------|
| 4/29 | 東京都庭園美術館 庭園 (芝庭) | 木管五重奏 | フルート：押部朋子 オーボエ：居石和代 クラリネット：森島菊乃 ほか | 2 | 無料※ | 510 |

※庭園入場料 (100円) が必要

④まちなかコンサート×Station LIVE in UENO

ステーションライブ主催：東日本旅客鉄道株式会社

| 開催日 | 会場 | 編成 | 出演者 | 公演数 | 料金 (円) | 鑑賞者 (人) |
|------|--------------------------|-----------|---------------------------|-----|--------|---------|
| 7/10 | JR上野駅 中央改札外 ガレリア (正面玄関口) | ソプラノ&テノール | ソプラノ：清水理恵 テノール：所谷直生 ほか | 2 | 無料 | 1,100 |
| | | 金管五重奏 | トランペット：多田将太郎、松田美由貴 ほか | 2 | | |

⑤まちなかコンサート in お台場 みんなの夢大陸2016

| 開催日 | 会場 | 編成 | 出演者 | 公演数 | 料金 (円) | 鑑賞者 (人) |
|------|----------------------------------|-----------|---------------------------|-----|--------|---------|
| 7/31 | みんなの夢大陸 マイナビステージ (台場駅 フジテレビ本社屋前) | 金管八重奏&打楽器 | ホルン：氏家亮 トランペット：守岡未央 ほか | 2 | 無料 | 438 |

2. Music Education Program

(1) Talk&Lesson 小曽根真ワークショップ「自分で見つける音楽」Vol.4

| 開催日 | 会場 | 出演者 | 演奏曲目 | 料金 (円) | 入場者 (人) |
|------|----------------|------|---|---------------------------------------|---------|
| 9/21 | 東京文化会館 小ホール | 小曽根真 | 小曽根真：フェアリー・ダンス レイ・プライアント：クパノ・チャント 小曽根真：Where do we go from here | 一般：1,500 25歳以下： 1,000 (全席自由) | 587 |

(2) Workshop! Workshop! 国際連携企画

①ワークショップ・リーダー育成プログラム

共 催：文京シビックホール（公益財団法人文京アカデミー）

後 援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

協 力：上野学園大学、公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

助 成：一般財団法人地域創造

| 開催期間 | 会場 | 講師 | 対象 | 料金 (円) | 参加者 (人) |
|---------------|-------------------------------------|---|---|--|--------------------------|
| 7/15～ 3/20 | 東京文化会館、東京芸術 劇場、文京シビックセン ター ほか | ジョルジュ・ブレンダス、ジョアナ・ アラウージョ、ブルーノ・エステイマ、 ジョルジュ・ケイジョ、パウロ・ネー ト | 18歳以上 アーティスト、教職員、学生、音楽ワー クショップ・リーダーの活動に興味があ る方 | 受講：10,000 聴講／ 全日コース： 6,000 各日コース： 2,000 | 延べ2,024 受講：12 聴講：9 |

②東京文化会館ミュージック・ワークショップ

後 援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

協 力：上野学園大学、公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

助 成：一般財団法人地域創造

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | ワークショップ・リーダー | 対象 | 料金 (円) | 入場者 (人) ※ |
|-------------|------------------|------------------------|---------------------------------------|-------------------|--------|------------|
| 4/30 | | 咲かせよう！音楽の花 | 磯野恵美、渡辺明子、Sunny | 6～18か月 19～35か月 | 500 | 49 |
| | | カラダ・オト・ウタウ | 伊原小百合、坂本夏樹、たかせみ お | 小学生～大人 | | 39 |
| 5/22 | 東京文化会館 リハーサル室 | あけてみよう！海のふしぎな宝箱 | 桜井しおり、野口綾子 | 6～18か月 19～35か月 | | 28 [4] |
| | | タネまき、タネまき、大きくな あれ！ | 高田有香子、吉澤延隆 | 3～4歳 | | 46 |
| 6/25 | | ムジカ・ピッコラ | 磯野恵美、桜井しおり | 3～4歳 5～6歳 | | 36 |
| | | リズムカル・キッチン | 桜井しおり、野口綾子 | 小学生～大人 | | 40 |
| 8/7 | 東京文化会館 小ホール | タネまき、タネまき、大きくな あれ！ | 高田有香子、吉澤延隆 | 3～4歳 5～6歳 | | 40 |
| | | カラダ・オト・ウタウ | 伊原小百合、たかせみお | 小学生～大人 | | 40 |
| | | はじめましてクラシック ～木管五重奏～ | ワークショップ・リーダー： 磯野恵美 フルート：押部朋子 ほか | 6か月～6歳とそ の家族 | | 27 [1] |
| 11/20 | 東京文化会館 リハーサル室 | めざせ！おんがく忍者 | 伊原小百合、たかせみお | 3～4歳 5～6歳 | | 32 |
| Music Clock | | 坂本夏樹、桜井しおり | 小学生～大人 | 36 | | |
| 2/26 | | 旅するヨーロッパ | 磯野恵美、桜井しおり | 6か月～6歳とそ の家族 | | 32 |
| | | カラダ・オト・ウタウ | 坂本夏樹、たかせみお | 小学生～大人 | | 36 |
| 計 | | | | | | 476 [10] |
| 計 | | | | | | 1,133 [30] |

※ [] 内は見学者数

③東京文化会館ミュージック・ワークショップ「ムジカ・ピッコラ」

共 催：公益財団法人日本青少年文化センター

助 成：一般財団法人地域創造

| 開催日 | 会場 | ワークショップ・リーダー | 対象 | 料金 (円) | 入場者 (人) |
|------|--------------------|------------------------------|--|--------|---------|
| 12/4 | 東京文化会館 大ホールホワイエ | 磯野恵美、桜井しおり (たかせみお、野口綾子) ※ | 音楽づくりワークショップに興味のある 障害をもった方 (小学生以上) とそ の同伴者 | 無料 | 96 |

※ () 内の出演者は補助

④東京文化会館ミュージック・ワークショップ「みんなの音でコンサート」

共 催：ブリティッシュ・カウンシル
 協 力：上野学園大学
 助 成：一般財団法人地域創造

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 出演 | 対象 | 料金 (円) | 入場者 (人) ※ |
|-----|----------------|-------------|---|---------|--------|-----------|
| 8/7 | 東京文化会館 小ホール | みんなの音でコンサート | ワークショップ・リーダー：フレーザー・トレーナー サポート・ミュージシャン：サイモン・ハラム、ブルース・ノックルズ ほか | 小学1～6年生 | 500 | 95 [57] |

※ [] 内は見学者数

⑤東京文化会館ミュージック・ワークショップin立川

主 催：公益財団法人立川市地域文化振興財団

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | ワークショップ・リーダー | 対象 | 料金 (円) | 入場者 (人) ※ |
|------|--------------------------------|----------------------|-----------------|---------|--------|-----------|
| 1/21 | たましんRISURU ホール 地下 展示 室 | 咲かせよう!音楽の花 | 磯野恵美、渡辺明子、Sunny | 6～18か月 | 300 | 47 |
| | | | | 19～3歳 | | 29 |
| | たましんRISURU ホール 地下 サブ ホール | Music Clock | 坂本夏樹、野口綾子 | 4～6歳 | | 17 |
| 1/22 | たましんRISURU ホール 地下 展示 室 | タネまき、タネまき、 大きなあれ! | 高田有香子、吉澤延隆 | 小学生～大人 | 300 | 14 [3] |
| | | | | 19か月～3歳 | | 37 |
| | たましんRISURU ホール 地下 サブ ホール | ムジカ・ピッコラ | 磯野恵美、桜井しおり | 4～6歳 | | 25 |
| | | | | 小学生～大人 | | 28 |
| 計 | | | | | | 219 [4] |

※ [] 内は見学者数

⑥東京文化会館ミュージック・ワークショップ 特別支援学校・高齢者施設での実施

| 開催日 | 学校・施設 | プログラム名 | ワークショップ・リーダー | 対象 | 料金 (円) | 入場者 (人) ※ |
|-------|----------------------|--|--|----------------------------|--------|-----------|
| 6/21 | 東京都立 久我山青光 学園 | リズムカル・キッチン | 磯野恵美、桜井しおり、野口綾子 | 小学生 | 無料 | 38 |
| 1/19 | | とびだせ!おんがく たんけん隊 | 伊原小百合、たかせみお、野口綾子 | 3～4歳 | | 18 |
| 7/14 | 東京都立大塚ろう学 校 城東分教室 | なぜなぜルーレット | ジョアナ・アラウージョ、パウロ・ネート、 たかせみお | 幼稚園 | | 17 |
| | | ボディ・ビート | ブルーノ・エステイマ、ジョルジュ・ケ イジョ | 小学生 | | 34 |
| 9/23 | 東京都立八王子特別 支援学校 | カラダ・オト・ウタ ウ | 坂本夏樹、桜井しおり、たかせみお、野 口綾子 | 小学生、中学生、 高校生 | | 125 |
| 10/3 | | リズムカル・キッチン | 磯野恵美、伊原小百合、たかせみお、野 口綾子 | 小学生、中学生、 高校生 | | 106 |
| 10/11 | | ボディ・ビート シング&ビート | ジョルジュ・ブレンダス、ジョアナ・ア ラウージョ、ブルーノ・エステイマ、ジョ ルジュ・ケイジョ、パウロ・ネート ほか | 中学生、高校生 | | 101 |
| 3/20 | ケアハウス松が谷 | 高齢者向けWS～音 楽でリフレッシュ! 体験・参加型コンサ ート～ | 桜井しおり、高田有香子、渡辺明子 | デイ・ケア登録 者、入居者、地 域居住者 | 68 | |
| 3/22 | 台東区老人福祉セン ター | 高齢者向けWS～音 楽で描く風景～ | 磯野恵美、野口綾子、吉澤延隆 | 60歳以上 | 19 [8] | |
| 計 | | | | | | 526 [8] |

※ [] 内は見学者数

⑦ミュージック・ワークショップ・フェスタ<夏>

共 催：文京シビックホール（公益財団法人文京アカデミー）
 後 援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会
 協 力：上野学園大学、公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
 助 成：一般財団法人地域創造

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | ワークショップ・リーダー | 対象 | 料金（円） | 入場者（人）※ |
|------|---------------------------|------------|--------------------------|---------|-------|----------|
| 7/19 | 文京シビックセンター レクリエーションホール | ライオン・ビート | ブルーノ・エステイマ、パウロ・ネート、伊原小百合 | 6~18か月 | 500 | 39 |
| | | | | 19~35か月 | | 35 |
| 7/20 | 文京シビックセンター 多目的室 | シング&ビート | あけてみよう！海のふしぎな宝箱 | 16歳以上 | 500 | 49 [29] |
| | | | | 6~18か月 | | 34 |
| | 文京シビックセンター レクリエーションホール | 咲かせよう！音楽の花 | 磯野恵美、渡辺明子、Sunny | 19~35か月 | 500 | 41 |
| | | | | 6~18か月 | | 34 |
| | | | 19~35か月 | | 36 | |
| 計 | | | | | | 268 [29] |

※ [] 内は見学者数

⑧ミュージック・ワークショップ・フェスタ

共 催：文京シビックホール（公益財団法人文京アカデミー）
 後 援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会
 協 力：上野学園大学、公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
 助 成：一般財団法人地域創造

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 出演 | 対象 | 料金（円） | 入場者（人）※ |
|--------------------|---------------------------|--|-----------------------------------|---------------------------|-------|-----------------------|
| 10/6 | 東京芸術劇場 リハーサルルーム | 旅するヨーロッパ | 伊原小百合、野口綾子 | 19~35か月 | 500 | 23 |
| | | | | 6~18か月 | | 32 |
| | | | | 6~18か月 | | 38 |
| | | | | 19~35か月 | | 40 |
| | 文京シビックセンター 多目的室 | リズムカル・キッチン | 桜井しおり、野口綾子 | 一般（未就学児不可） | | 22 [16] |
| 10/7 | 東京芸術劇場 リハーサルルーム | はじめてクラシック〜木管五重奏〜 | ワークショップ・リーダー：磯野恵美 フルート：押部朋子 ほか | 6~18か月 | 500 | 37 |
| | | | | 19~35か月 | | 28 |
| | 文京シビックセンター 多目的室 | 咲かせよう！音楽の花 | 磯野恵美、渡辺明子、Sunny | 19~35か月 | | 32 |
| | | | | 6~18か月 | | 37 |
| 10/8 | 東京文化会館 小ホール | ライオン・ビート | ブルーノ・エステイマ、パウロ・ネート、坂本夏樹 | 6~18か月 | 500 | 35 |
| | | | | 19~35か月 | | 40 |
| | 文京シビックセンター 多目的室 | One Day セッション | ジョアナ・アラウージョ、ジョルジュ・ケイジョ | 一般（未就学児不可） | | 19[13] |
| | | | | 6~18か月 | | 49[4] |
| | | | | 19~35か月 | | 46[7] |
| 東京文化会館 リハーサル室 | はじめてクラシック〜弦楽四重奏〜 | ワークショップ・リーダー：坂本夏樹 ヴァイオリン：岸本萌乃加 ほか | 3~4歳 | 21 | | |
| | | | 5~6歳 | 16 | | |
| 10/9 | 東京文化会館 小ホール | ムジカ・ピッコラ | 磯野恵美、桜井しおり | 一般（未就学児不可） | 500 | 33[11] |
| | | | | 6~18か月 | | 49 |
| | 文京シビックセンター 多目的室 | コオロギの大冒険 | ブルーノ・エステイマ、パウロ・ネート | 19~35か月 | | 46 |
| | | | | 3~4歳 | | 34 |
| | | | | ボディ・ビート | | ブルーノ・エステイマ、ジョルジュ・ケイジョ |
| 10/10 | 東京文化会館 リハーサル室 | なぜなゼルーレット | ジョアナ・アラウージョ、パウロ・ネート、たかせみお | 3~4歳 | 500 | 24 |
| | | | | 5~6歳 | | 22 |
| | 文京シビックセンター 多目的室 | タネまき、タネまき、大きくなあれ！ | 高田有香子、吉澤延隆 | 19~35か月 | | 48 |
| | | | | 3~4歳 | | 32 |
| | | | | 文京シビックセンター レクリエーションホール | | 新制作A「ワルツの森のおんがく隊」 |
| 文京シビックセンター 練習室1 | 新制作B「真夜中の音楽ミュージアム」 | | 5~6歳 | 8 | | |
| 東京文化会館 リハーサル室 | めざせ！おんがく忍者！ | 伊原小百合、たかせみお | 3~4歳 | 500 | 20 | |
| | | | 5~6歳 | | 26 | |
| 東京文化会館 小ホール | ワークショップコンサート「クラシックであそぼう！」 | ジョルジュ・プレンドラス、ブルーノ・エステイマ、パウロ・ネート、ジョルジュ・ケイジョ、ジョアナ・アラウージョ、磯野恵美、野口綾子 | 一般 | 458 [75] | | |
| 計 | | | | | | 1,363 [128] |

※ [] 内は見学者数

(3) オペラをつくろう！

| 開催日※1 | 会場 | プログラム | 対象 | 料金(円) | 参加者(人) |
|--------------------------------------|------------------|------------------------------------|-------------|--------|--------|
| 6/12～11/6 (29) | 東京文化会館 | オペラの登場人物になる！《童子》 | 中学1年生～大学生 | 2,000 | 2 |
| 7/26～11/6 (23) | | オペラの登場人物になる！《合唱・演技》 | 小学1年生～高校3年生 | | 15 |
| 7/31、8/1(4) 成果発表9/3 (ゲネプロ見学) | 東京芸術劇場 東京文化会館 | オペラに登場するものづくり！《工作》 | 小学1～6年生 | ※2 500 | 89 |
| コース1 6/12～9/4 コース2 7/26～9/4 | | 舞台を学ぶ！《演出・舞台美術・舞台装置・舞台監督・衣裳・照明・制作》 | 18～25歳 | 2,000 | 2 |
| 計 | | | | | 108 |

※1 () 内は実施回数
 ※2 ゲネプロ見学は無料

(4) アウトリーチ・コンサート

| 開催日 | 学校名 | 会場 | 編成・出演者(代表者) | 鑑賞者(人)※ |
|-------|--------------|-----|----------------------------|---------|
| 5/16 | 葛飾区立柴原小学校 | 体育館 | 金管五重奏・多田将太郎(トランペット) ほか | 283 |
| 5/18 | 大田区立矢口東小学校 | 体育館 | 木管五重奏・梶川真歩(フルート) ほか | 333 |
| 5/23 | 武蔵野市立第四小学校 | 体育館 | 金管五重奏・多田将太郎(トランペット) ほか | 380 |
| 5/27 | 豊島区立池袋第三小学校 | 体育館 | 金管五重奏・多田将太郎(トランペット) ほか | 347 |
| 6/3 | 港区立御成門小学校 | 体育館 | 金管五重奏・井上康一(トロンボーン) ほか | 410 |
| 6/7 | 多摩市立連光寺小学校 | 体育館 | 弦楽四重奏・鈴木大樹(ヴィオラ) ほか | 450 |
| 6/8 | 江東区立東砂小学校 | 体育館 | ソプラノ&バリトン・清水理恵(ソプラノ) ほか | 255 |
| 6/10 | 東久留米市立小山小学校 | 体育館 | 木管五重奏・梶川真歩(フルート) ほか | 371 |
| 6/14 | 台東区立金曾木小学校 | 体育館 | 木管五重奏・押部朋子(フルート) ほか | 441 |
| 6/16 | 調布市立深大寺小学校 | 体育館 | 弦楽四重奏・小川響子(ヴァイオリン) ほか | 578 |
| 6/20 | 江戸川区立篠崎第五小学校 | 体育館 | 弦楽四重奏・鈴木大樹(ヴィオラ) ほか | 380 |
| 6/23 | 八王子市立別所小学校 | 体育館 | 金管五重奏・多田将太郎(トランペット) ほか | 445 |
| 6/24 | 昭島市立清泉中学校 | 体育館 | ソプラノ&テノール・清水理恵(ソプラノ) ほか | 603 |
| 11/9 | 台東区立金亀小学校 | 体育館 | 金管五重奏・多田将太郎(トランペット) ほか | 407 |
| 11/17 | 台東区立田原小学校 | 体育館 | ソプラノ&バリトン・清水理恵(ソプラノ) ほか | 435 |
| 11/30 | 世田谷区立八幡小学校 | 体育館 | 金管五重奏・多田将太郎(トランペット) ほか | 399 |
| 12/5 | 台東区立松葉小学校 | 体育館 | 弦楽四重奏・小川響子(ヴァイオリン) ほか | 198 |
| 12/9 | 台東区立東泉小学校 | 体育館 | 金管五重奏・井上康一(トロンボーン) ほか | 299 |
| 12/15 | 清瀬市立芝山小学校 | 音楽室 | 弦楽四重奏・鈴木大樹(ヴィオラ) ほか | 69 |
| 12/19 | 台東区立育英幼稚園 | ホール | チェロ&ピアノ・加藤文枝(チェロ) ほか | 115 |
| 12/20 | 台東区立田原幼稚園 | ホール | ヴァイオリン&ピアノ・小川響子(ヴァイオリン) ほか | 54 |
| 1/11 | 江東区立大島幼稚園 | ホール | ヴァイオリン&ピアノ・小川響子(ヴァイオリン) ほか | 69 |
| 2/6 | 港区立芝小学校 | 体育館 | 木管五重奏・梶川真歩(フルート) ほか | 323 |
| 2/7 | 台東区立東上野保育園 | ホール | フルート&ピアノ・梶川真歩(フルート) ほか | 134 |
| 計 | | | | 7,778 |

※鑑賞者には見学者(保護者)の数を含む

(5) アウトリーチ・ワークショップ、クリニック

| 開催日 | 学校名 | プログラム | 出演者/指導者 ※1 | 参加者(人) |
|-----------------------|---------------|----------------------------------|--------------------------------|-----------|
| 6/1 | 板橋区立上板橋第四小学校 | Music Clock | 坂本夏樹、桜井しおり | 58 |
| 6/2 | 台東区立竹町幼稚園 | ムジカ・ピッコラ | 桜井しおり、磯野恵美 | 68 |
| 6/23 | 墨田区立言問小学校 | 旅するヨーロッパ | 磯野恵美、伊原小百合 | 46 |
| 6/24 | 稲城市立南山小学校 | Music Clock | 坂本夏樹、桜井しおり | 97 |
| 6/30 | 中央区立月島第一幼稚園 | めざせ！おんがく忍者！ タネまき、タネまき、大きくなあれ！ | 坂本夏樹、伊原小百合、たかせみお 高田有香子、吉澤延隆 | 108 35 |
| 7/9 | 葛飾区立高砂小学校 | めざせ！おんがく忍者！ | 伊原小百合、たかせみお | 61 |
| 7/11 | 台東区立谷中保育園 | 旅するヨーロッパ | 磯野恵美、伊原小百合 | 62 |
| 7/25 | 台東区立松が谷保育園 | はじめましてクラシック～木管五重奏～ | 磯野恵美、押部朋子(フルート) ほか | 160 |
| 9/8 | 台東区立台桜幼稚園 | ワルツの森のおんがく隊、真夜中の音楽ミュージアム | ワークショップ・リーダー育成プログラム 受講生 | 66 |
| 9/20 | 江東区立第五砂町幼稚園 | はじめましてクラシック～弦楽四重奏～ | 坂本夏樹、岸本萌乃加(ヴァイオリン) ほか | 94 |
| 9/30 | 台東区立金曾木小学校 | Music Clock | 坂本夏樹、野口綾子 | 77 |
| 10/15、17、19、20、11/2、3 | 瀧野川女子学園中学高等学校 | クリニック | 多田将太郎(トランペット)、石田彩子(フルート) ほか | 91 |
| 10/27 | 小平市立小平第九小学校 | GO！ワイルド！ | たかせみお、野口綾子(伊原小百合) | 97 |

| 開催日 | 学校名 | プログラム | 出演者/指導者 ※1 | 参加者(人) |
|------------------|-----------------------|--------------|--------------------------------|--------|
| 10/28 | 北区立王子第二小学校 | カラダ・オト・ウタウ | 桜井しおり、野口綾子 | 72 |
| 10/31 | 八王子市立第六小学校(特別支援学級) | カラダ・オト・ウタウ | 伊原小百合、たかせみお | 16 |
| 11/9 | 荒川区立尾久幼稚園 | 旅するヨーロッパ | 磯野恵美、桜井しおり | 70 |
| 11/25 | 文京区立柳町幼稚園 | めざせ!おんがく忍者 | 伊原小百合、たかせみお | 59 |
| 11/28、2/3、3/6、12 | 練馬区立豊玉小学校 | クリニック | 重井吉彦・金丸響子(トランペット)、二宮聡美(ホルン) ほか | 382 |
| 12/8 | 台東区立台東保育園 | 咲かせよう!おんがくの花 | 磯野恵美、渡辺明子、Sunny | 55 |
| 12/15 | 練馬区立大泉西小学校 | Music Clock | 坂本夏樹、桜井しおり | 69 |
| 12/20 | 日の出町立大久野中学校 | カラダ・オト・ウタウ | 磯野恵美、坂本夏樹 | 114 |
| 12/21 | 千代田区立麹町幼稚園 | 森の王様フェスタ | 磯野恵美、野口綾子 | 105 |
| 12/21 | 文京区立明化幼稚園 | めざせ!おんがく忍者! | 伊原小百合、坂本夏樹 | 79 |
| 1/25 | 足立区立亀田小学校 ※2 | カラダ・オト・ウタウ | 伊原小百合、坂本夏樹、たかせみお | 52 |
| 1/31 | 文京区立青柳幼稚園 | 森の王様フェスタ | 高田有香子、渡辺明子 | 52 |
| 2/2 | 小平市立小平第九小学校 | 箏ワークショップ | 坂本夏樹、吉澤延隆 | 78 |
| 2/16 | 小金井市立小金井第二小学校(特別支援学級) | リズムカル・キッチン | 磯野恵美、坂本夏樹 | 21 |
| 2/20 | 台東区立台桜幼稚園 | 動物たんてい | 磯野恵美、桜井しおり | 38 |
| 計 | | | | 2,382 |

※1 ()内の出演者は立会いのみ。

※2 校外学習として、東京文化会館で開催

(6) 東京都内における特別支援学校コンサート

主 催：東京オーケストラ事業協同組合

| 開催日 | 会場 | 出演 | プログラム | 入場者(人) |
|-------|---------------------------------|--|--|--------|
| 10/28 | 東京都立青峰学園 協力：東京都立青峰学園 | 指揮：海老原光 管弦楽：日本フィルハーモニー交響楽団 | ビゼー：オペラ『カルメン』より「闘牛士の行進」 モーツァルト：「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章 ほか | 112 |
| 2/8 | 東京都立清瀬特別支援学校 協力：東京都立清瀬特別支援学校 | 指揮：三ツ橋敬子 司会・ボディパーカッション：山本愛香 管弦楽：東京フィルハーモニー管弦楽団 | ロッシーニ：スイス軍の行進 楽器紹介 ハープ独奏 アンダーソン：トランペット吹きの日 ほか | 300 |
| 2/10 | 東京都立白鷺特別支援学校 協力：東京都立白鷺特別支援学校 | 指揮：梅田敏明 管弦楽：東京交響楽団 | ロッシーニ：歌劇『ウイリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」 ディズニーメドレー ベートーベン：交響曲第5番より第1楽章 ほか | 326 |
| 2/15 | 東京都立江東特別支援学校 協力：東京都立江東特別支援学校 | 指揮：中田延亮 管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団 | ロッシーニ：歌劇『ウイリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」 楽器紹介 アンダーソン：プリנק・ブランク・ブルンク ほか | 183 |
| 計 | | | | 921 |

【参加者の声】

- ・クラシックとジャズが楽しめてとても良かったです。アンコール曲も知っている曲が多く出て来て、あっという間に終わってしまいました。次回も楽しみにしています。(10/1小曾根真&ゴンサロ・ルバルカバ “Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団)
- ・とても良い企画で感動しました。スターテノールの「水車屋の娘」満喫しました。(プラチナ・シリーズ第1回)
- ・参加型で飽きずに楽しめた。未就学児対象のものはなかなかなくありがたいです。(まちなかコンサートVol.1)
- ・ただクラシックを聞くだけでなく、一緒にイメージを広げて動いたりできたのが良かったです。少し長い時間だったので心配していましたが、子供たちがよく聞いていて、本物に触れることがとても大事だということを実感させられました。(アウトリーチ・ワークショップ/音楽担当教師)
- ・生の澄みわたる音色を体験できたことは子供たちにとって貴重な体験だったと思います。楽器の特徴の説明も分かりやすかったです。選曲も親しみやすく、校歌をクラシックに合わせて合唱できたのも良かったです。(アウトリーチ・コンサート/音楽担当教師)

14

アンサンブルズ東京

【概要】

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 平成28年(2016年)9月4日(日) |
| 会場 | 東京駅前丸の内側 行幸通り |
| 主催 | アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、アンサンブルズ東京実行委員会[一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会、ピースリーマネジメント有限公司] |
| 助成・協力 | 東京都 |
| 協力 | アサヒビール株式会社、レッドブル・スタジオ東京、隅田川 森羅万象 墨に夢実行委員会 |
| 後援 | 千代田区 |
| 来場・参加者 | 累計14,450人 |

【事業目的】

東京ならではの独自性や多様性を追求しながら芸術文化の力を広く発信するため、東京の玄関口であり各地から多様な人々が集まる象徴的な場所・東京駅の目の前の行幸通りで、地域と共に文化拠点形成を図り、誰もが参画できる音楽フェスティバルを実施。音楽家・大友良英のディレクションのもと、参加したすべての人たちが、それぞれの立場やあり方を超えて、自分たちの手でフェスティバルを作り上げ、地域の新たな魅力を発見し、東京の持つ芸術文化の力を引き出す音楽祭を目指す。

【開催状況】

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 出演者等 | 料金(円) | 入場者・参加者(人) |
|----------------------|--|---|---|---|--------------|
| 8/27、9/3 | 東京芸術劇場 リハーサルルーム | 東京駅のうたワークショップ | いしいしんじと原田郁子 | 大人：1,000 子供(中学生以下)：500/ 2日間 未就学児無料 | 33 |
| 8/28、9/3 | 東京芸術劇場 リハーサルルーム | ワーク ショップ ～子供による楽器と大人による 非楽器のシンフォニー～ ワークショップ | トクマルシューゴ(トクマル シューゴ、イトケン、ユ ミコ、岸田佳也、三浦千明) | 大人：3,000 子供(中学生以下)：1,000/ 2日間 未就学児無料 | 21 |
| 9/2、3 | レッドブルスタジオ・東京 | ワークショップ・この瞬間は 同じではない | フレッド・フリス | 4,000/ 2日間 | 26 |
| 7/19、25、 8/28、9/3 | 東京芸術劇場 リハーサルルーム すみだトリフォニーホール 練習室1 | リズム楽器ワークショップ | 芳垣安洋とOrquesta Nudge! Nudge! | 大人：2,000 子供(中学生以下)：500/ 各回 未就学児無料 | 107 |
| 8/27～9/3 | P3 art and environment | 大風呂敷ワークショップ | プロジェクトFUKUSHIMA! | 無料 | 63 |
| 9/4 | 東京駅前丸の内側 行幸通り | アンサンブルズ東京 | 大友良英、いしいしんじと 原田郁子、トクマルシュー ゴ、フレッド・フリス、芳 垣安洋とOrquesta Nudge!Nudge!、ワーク ショップ参加者 | 無料 | 累計 14,200 |

【参加者の声】

- ・まずステージが去年より高くて見やすかった。晴れてたから風呂敷の上に座ってゆっくり見てる人もいっぱい。去年は2ステージだったけど今年は1つで、逆向きになると東京駅が見える配置も良かったな。
- ・フレッド・フリスライブ、最高に良かった！日頃スタジオライブでしか聞けないノイズを大音響で都会のど真ん中で聴けるなんてアンサンブルズ東京以外にありえない！素晴らしいステージをありがとうございます！
- ・結局おしまいの原田郁子さんといしいしんじさんのセットまで観る。「東京駅のうた」の大合唱、泣けた。音楽がこれといって特別なモノではなく普段の日常生活に下りてきた気がした…なんて批評的なことを書いても意味ないか。いい音楽をありがとうございました！

15

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン
「熱狂の日」音楽祭2016連携事業

【事業概要】

| | |
|--------|---------------------------------|
| 開催日 | 平成28年(2016年)5月2日(月)～5日(木・祝) |
| 会場 | 東京国際フォーラム ほか |
| 主催 | 株式会社東京国際フォーラム |
| 共催 | 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団) |
| 観覧・参加費 | 26,884人(音楽祭来場者数 延べ429,000人) |

【事業趣旨(目的)】

日本を代表するクラシックの祭典である「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」と連携し、子供たちを対象としたワークショップの実施など、若手音楽家の育成を図る。

【開催状況】

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 出演者 | 観覧者(人) |
|-----|---------------------|--------------|--|------------|
| 5/2 | 地上広場 | みんなでジュビター | 曾我大介(指揮)、みんなでジュビターオーケストラ、一般参加者 【曲目:ホルスト:組曲「惑星」op.32より木星(LFJ2016スペシャルバージョン)】 | 1,300 |
| | | 熱狂のプレナイト | 上野耕平(サクソフォン)、山中惇史(ピアノ) ドラマーズ・オブ・ブルンジ(アフリカン・パーカッション) | 500 300 |
| 5/3 | | | ドラマーズ・オブ・ブルンジ(アフリカン・パーカッション) | 1,100 |
| | | | アンサンブル・プログレス(木管合奏) ハルモニウムジーク | 700 |
| | | | 丸の内フェスティバルシンガーズ&丸の内交響楽団 | 1,000 |
| | | | 東邦音楽大学ブラスクワイア(金管バンド) | 600 |
| | | | 桐朋学園クラリネットアンサンブル CL☆Action | 400 |
| | | | 麻布学園OBオーケストラ、鈴木優人(指揮) | 400 |
| 5/4 | ホールE (地下2階展示ホール) | | 丸の内合唱団、高野秀峰(指揮)、赤司美苗(ピアノ) | 500 |
| | | | VOCES8(ア・カベラ・グループ) | 1,800 |
| | | | リベラル・アンサンブル・オーケストラ、曾我大介(指揮)、一音入魂合唱団 | 1,700 |
| | | | MOTIF SOLISTEN(弦楽合奏)、日置駿(ヴァイオリン) | 600 |
| 5/5 | | | 酒井茜 | 800 |
| | | | くにたちブラスクワイヤー(金管バンド)、山本英助(指揮) | 250 |
| | | | アンサンブル・ジャック・モデルヌ | 900 |
| | | | 東京音楽大学打楽器アンサンブル | 1,200 |
| 5/3 | | | アマデウス・ソサイエティー管弦楽団、曾我大介(指揮)、一音入魂合唱団 | 1,500 |
| | | | 東京ユヴェントス・フィルハーモニー、坂入健司郎(指揮)、安達真理(ヴィオラ独奏) | 600 |
| 5/3 | | キオスクコンサート | WISH Wind Orchestra、甲斐誠(指揮) | 500 |
| | | | 東邦音楽大学ホルンアンサンブル「マジカルエスカルゴ」 | 291 |
| | | | アンサンブル・エクソフォニー・トウキョウ | 305 |
| | | | 東京セルバン・トリオ | 253 |
| | | | 渋谷知らズオーケストラ | 510 |
| | | | 洗足学園音楽大学ピアノ連弾 | 303 |
| | | | 東邦音楽大学ピアノ連弾 | 182 |
| | | | 塙美里(サクソフォン)、宮野志織(ピアノ) | 352 |
| | | | ensemble curiosite(東京藝術大学附属音楽高校) | 304 |
| | | | ドラマーズ・オブ・ブルンジ(アフリカン・パーカッション) | 514 |
| | | | 柴田浩希(ピアノ・桐朋学園大学) | 302 |
| | | | 芸劇ウインド・オーケストラ 金管五重奏 | 404 |
| 5/4 | 地上広場 | | 洗足学園音楽大学ヴァイオリン&ピアノ | 303 |
| | | | ARC Trio | 303 |
| | | | VOCES8(ア・カベラ・グループ) | 409 |
| | | | ドラマーズ・オブ・ブルンジ(アフリカン・パーカッション) | 415 |
| 5/5 | | | Senzoku Hands On Semble(民族打楽器) | 321 |
| | | | 芸劇ウインド・オーケストラ サクソフォンの調べ | 354 |
| | | | 洗足学園音楽大学ピアノ連弾 | 252 |
| | | | | |
| 5/3 | | | 「バントマイム・ワークショップ～音楽の中で動物になろう～」 フィリップ・エマール(役者、クラウン)、田村隆(俳優) | 400 |
| 5/4 | ホールE (地下2階展示ホール) | 子どもたちの音楽アトリエ | 「VOCES8のヴォーカル・ワークショップ～自然の世界の歌声～」 VOCES8(ア・カベラ・グループ) | 900 |
| 5/5 | | | 「響きわたる日本の鼓動～林英哲の太鼓ワークショップ“千の海響(せんのかいぎょう)”～」 林英哲(和太鼓)、英哲風雲の会[上田秀一郎、はせみきた、小泉謙一、田代誠、辻祐(和太鼓)] | 800 |

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 出演者 | 観覧者 (人) |
|----------------------|-------------------------|---------|----------------------------|---------|
| 5/3 | G402 会議室 | マスタークラス | アンリ・ドマルケット (チェロ) | 119 |
| | | | マスタークラス特別編「アーティストが語るナチュラル」 | 86 |
| | | | ジョニー・ラス&ジャン・ブコー (鳥のさえずり) | |
| | | | フランク・ブラレイ (ピアノ) | 149 |
| | | | シャニ・ディリュカ (ピアノ) | 148 |
| ミゲル・ダ・シルヴァ (ヴィオラ) | | | 95 | |
| 5/4 | | | ジュヌヴィエーヴ・ロランソー (ヴァイオリン) | 144 |
| | | | エマニュエル・シュトロッセ (ピアノ) | 157 |
| | | | ジェラルール・コセ (ヴィオラ) | 152 |
| 5/5 | | | フランク・ブラレイ (ピアノ) | 156 |
| | | | アンリ・ドマルケット (チェロ) | 143 |
| | | | アンリ・ドマルケット (チェロ) | 133 |
| | | | シャニ・ディリュカ (ピアノ) | 108 |
| | | | マスタークラス特別編「アーティストが語るナチュラル」 | 157 |
| | | | アンヌ・ケフェレック (ピアノ) | |
| | ジュヌヴィエーヴ・ロランソー (ヴァイオリン) | 152 | | |
| ジャン=クロード・ベヌティエ (ピアノ) | 158 | | | |
| 計 | | | | 26,884 |

【参加者の声】

- ・「みんなでジュピター」は練習から楽しめて、非常に良かったので来年もぜひ企画してください。(40代・男性)
- ・初めてマスタークラスを見学しましたが、とても興味深く、来年もぜひ行きたいと思いました。(40代・女性)

16

上野「文化の杜」新構想

【事業概要】

開催期間 平成28年（2016年）4月1日～平成29年（2017年）3月31日
会場 上野恩賜公園および周辺文化施設
主催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、上野「文化の杜」新構想実行委員会

【事業趣旨（目的）】

平成25年12月に、上野「文化の杜」新構想推進会議が発足した。
 同会議では、年間3,000万人の集客を可能とするために必要なハード・ソフト両面にわたる整備方策が検討され、平成27年7月に、2020年に向けた国際発信戦略として、上野「文化の杜」新構想が取りまとめられた。
 博物館、美術館、音楽ホールや動物園等の関係機関による実行委員会を中心とした推進体制の下、上野公園周辺を舞台に、「文化の杜」として各機関・団体が相互に連携・協力し、文化芸術発信力を高める活動を展開。

【開催状況】

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | アーティスト名 | 内容 | 料金（円） | 入場者数（人） |
|-------------|--|---|--|---|-------|---------|
| 8/15～1/31 | — | UENO WELCOME PASSPORT | — | 上野地区の主な文化施設を対象とした共通入場券（国立西洋美術館世界遺産登録記念デザイン） | 2,000 | 18,156 |
| 10/21～23 | 国立西洋美術館、東京国立博物館、国立科学博物館、東京都美術館、上野動物園、東京藝術大学、上野恩賜公園各所（不忍池、噴水広場ほか） | TOKYO数寄フェス | 日比野克彦 + 島田清夏、橋本和幸、大巻伸嗣、チームラボ、鈴木太郎 + 東京藝術大学美術学部デザイン科 空間・演出研究室、諏訪内晶子、松下功、アントサンブル東風 ほか（順不同） | 近代日本美術の発展に大きな功績を残した岡倉天心が、茶の湯を通して日本の文化芸術の精神を紹介した『茶の本』の中で語った《数寄》ということばを軸に、様々な文化施設を舞台に、アート作品やワークショップ、コンサートを展開。 | — | 312,700 |
| 12/24～3/10 | 上野恩賜公園 各所 | 上野夜公園 | — | 不忍池一帯のライトアップ、上野公園の街歩きおよび照明を観察しながら夜の佇まいの提案をするガイドツアー、劇団みんなわ座による江戸写し絵の上演、上野公園各所での演奏会。 | — | 4,230 |
| 2/10、24、3/7 | 国立科学博物館、東京都美術館、東京国立博物館 | 「文化との出会いを感動に変えるプロフェッショナル」日本屈指の文化施設で働くプロフェッショナルたちのトークセッション | — | 上野公園内に位置する各館が連携し、専門家たち自らが「自分たちの役割」を考え、互いに語り合うことで、文化施設の見所やその価値を一般の方に知ってもらう。 | — | 182 |
| 3/11、12、19 | 東京国立博物館、国際子ども博物館、東京文化会館大会議室、旧平柳田中邸 ほか | 地域連携プログラム | — | 親子向けワークショップ・お散歩ツアー、上野商店街とアーティストの連携、谷中エリアとの連携によるワークショップと発表会。 | — | 179 |

【その他】

《上野建築ガイドツアー》平成29年1月～3月
 《上野公園ガイドツアーPRデジタルサイト》平成29年3月開設 m.stroly.com/ueno/i#ueno1890

【参加者の声】

- ・知らなかった上野を歩くことができて楽しい。普段訪れないようなところにも行くことが出来た。
- ・プロフェッショナルの目線ならではのトーク内容が面白かった。
- ・次回のワークショップにも参加したい。
- ・大人も子供も楽しめる。
- ・外国人をアートプロジェクトに導く方法などを取り上げてほしい。

17

六本木アートナイト2016

【事業概要】

| | |
|--------|--|
| テーマ | 『六本木、アートのプレイグラウンド～回る、走る、やってみる。～』 |
| 開催日 | 平成28年（2016年）10月21日（金）～23日（日） |
| 開催場所 | 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、港区、六本木アートナイト実行委員会〔国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合（五十音順）〕 |
| 特別助成 | 台湾文化部、ベルリン市政府文化局 |
| 後援 | 観光庁、台北駐日経済文化代表処 台北文化センター、今井町親睦会、東京ミッドタウン町会、西麻布霞町町会、日ヶ窪親和会、龍土町会、六本木材木町町会、六本木町会、六本木ヒルズ自治会、六本木“Art&Designの街”推進会議、テレビ朝日、J-WAVE |
| エリア協賛 | サントリーウイスキー響、西武・そごう |
| メディア協賛 | グランドハイアット 東京 |
| 協賛 | 飯田電機工業株式会社、株式会社クオラス、株式会社電通、株式会社東京タカラ商会、株式会社ブラップジャパン、アットホーム株式会社、オートデスク株式会社、株式会社コングレ、TSP太陽株式会社、中村展設株式会社、ピーディーシー株式会社、株式会社アルタイル、株式会社イースト、株式会社オリコム、株式会社共立、株式会社クラフト、株式会社グリーンディスプレイ、株式会社ジールアソシエイツ、笑遊堂、シンテイ警備株式会社、大成株式会社、株式会社つむら工芸、トライセブン ロッポンギ、株式会社トランジットジェネラルオフィス、株式会社バーニーズジャパン、富士急グループ 株式会社フジエクスプレス、富士フィルムイメージングシステムズ株式会社、株式会社ブランコ、株式会社フロンティアインターナショナル、ペンブローカー リアルエステートジャパン、株式会社モンタージュ、郵船トラベル株式会社 |
| サポート | ゴールドマン・サックス、プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 |
| 制作協力 | GALERIE PERROTIN、SCAI THE BATHHOUSE、Reborn-ART Festival 2017 |
| 運営協力 | 六本木安全安心パトロール隊、六本木をきれいにする会、六本木クリーンアップ |
| 協力 | 経済産業省、ブラジル大使館、アウトバックステーキハウス六本木店、青山ブックセンター六本木店、アツデン株式会社、アマンド 六本木店、いろは、WIND、株式会社エグゼティブプロテクション、Kunito Miyasaka 財団、株式会社コマ、子安薬局六本木店、株式会社シネ・フォーカス、全聚徳六本木店、大黒屋六本木店、Dinning Bar roose、立原金物店、タリーズコーヒー六本木店、天祖神社（龍土神明宮）、東京ゆきざき本店、バーニーズ ニューヨーク六本木店、フォトショップ 銀嶺、ぶどう酒食堂さくら、株式会社プランツスケープ、ブルーボトルコーヒー 六本木カフェ、MALINS、マルシェ六本木、ミリオンモザイク、リュネット・ジュラ ミヤコヤ 六本木、ロアビル、六本木バル・デルソーレ、ワイモバイル六本木 Internet Park |
| 協力ホテル | グランド ハイアット 東京 |
| 入場料 | 無料（ただし、一部のプログラム及び美術館企画展は有料） |
| 鑑賞者数 | 3日間にわたる全作品の延べ鑑賞者総数 63万人 |

【事業趣旨（目的）】

六本木のまちを舞台にした一夜限りのアートの饗宴。平成28年度は「スポーツ・文化・ワールドフォーラム」に合わせ、開催の季節を春から秋に移し、さらに日程も1日延長した3日間で開催。様々な文化施設や商業施設が集積する六本木のまちに、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させて、非日常的な体験を作り出す。そして、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案する。また、アートとまちが一体化することによって、六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市におけるまちづくりの先駆的なモデルを創出する。東京を代表するアートの祭典として、日本のみならず世界的に認知され、高い評価を得ることを目指す。

【開催状況】

【広域プログラム】

- (1) オープニングセレモニー（六本木ヒルズアリーナ）
- (2) メインプログラム（六本木ヒルズアリーナ、国立新美術館、東京ミッドタウン）
 - ・名和晃平 参加アーティスト：西島清順、デージーバルーン
- (3) 海外招聘パフォーマンス（六本木ヒルズアリーナ、国立新美術館、東京ミッドタウン、六本木ヒルズ66プラザ）
 - ・カンパニー・デ・キダム『FierS à Cheval～誇り高き馬～』
- (4) 街なかインスタレーション
 - ・チェ・ジョンファ『フラワー・シャンデリア』
 - ・チェ・ジョンファ『Love Me』
 - ・ツイ・クエンリン（蔡坤霖）『The Sound of Roppongi』
 - ・八木良太『たこ焼きシーケンサー』
 - ・アンドレアス・グライナー、タイラー・フリードマン『From Strings to Dinosaurs』
 - ・イエッペ・ハイン『Continuity Inbetween』
 - ・ペーター・フィッシュリ&ダヴィッド・ヴァイス『事の次第』
 - ・小川勝章『とんでみる』
 - ・若木くるみ『車輪の人』
 - ・レスリー・キー写真展『OUT IN JAPAN』
- (5) 街なかパフォーマンス
 - ・川口隆夫『TOUCH OF THE OTHER / 他者の手』
 - ・平本瑞希『寿司パフォーマンス』
 - ・SLOW LABEL『SLOW MOVEMENT 六本木公演』
 - ・西陽子、シェン・響盟・リベイロ、田蔦道生、栗山豊二『From Rio To Tokyo ~箏とボサノヴァの夕べ~』
 - ・石山雄三/A.P.I.『0dB／プロトタイプ』
 - ・スイッチ総研『六本木アートナイトスイッチ2016』
- (6) 街なかミーティング
 - ・『ROPPONGI ART NIGHT CAFE supported by Seibu & Sogo』
 - ・岩田とも子『地球の植木鉢 もうひとつの地面のはじまり』
 - ・山田卓生『その日、公園がもっと楽しいアートな村になる』
 - ・『六本木アートナイトをもっと楽しむガイドツアー』
 - ・『アーティスト・ナイト・アウト』
 - ・『テーマ・トーク』
 - ・『ファイナル・トーク』
 - ・日本フィルハーモニー交響楽団『クラシックなラジオ体操』
- (7) オープン・コール・プログラム
 - ・後藤映則『toki- serise_#00』
 - ・蓮輪康人『Roppongi Sign Girl - 六本木看板娘プロジェクト -』
 - ・中西俊博、島口哲朗、劔伎衆かむゐ、吉村恵美『SAMURAI IN ROPPONGI!!!!』
 - ・流麻二果×（遠田誠+鈴木美奈子）『六本木借景絵』

【六本木ヒルズプログラム】

- ・ピーター・マクドナルド『Sleep Walking』
- ・山本基『迷宮』
- ・久保ガエタン『Smoothie』
- ・リオネル・エステーブ『Polychromatic night』
- ・『ART OF HIBIKI』
- ・サエボーグ展『Pigpen』
- ・島地保武『Solo with』
- ・大植真太郎・森下真樹『ぶつる』
- ・珍しいキノコ舞踊団『珍しいキノコ舞踊団のそれゆけ！アート・ナイトメア？』
- ・サルヴァニラ『OOIOO』
- ・井上真鳳『ストライブ』

- ・近藤良平とその仲間たち『六本木夜舞場Vol.4（真夜中の盆踊り）』
- ・近藤亜樹、O JUN『ライブペインティング』

【森美術館プログラム】

- ・『宇宙と芸術展：かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ』 ※会期中の展覧会
- ・「宇宙と芸術展」：アーティストトーク&スクリーニング
- ・「宇宙と芸術展」：キュレーターによるギャラリートーク

【東京ミッドタウンプログラム】

- ・Rhizomatiks Architecture 『CURTAIN WALL THEATRE』
- ・『JAGDA Kasama/Kawara Exhibition』
- ・上坂 直『常迷宮』
- ・尾花賢一『君を探して』
- ・『MAU COLLECTION 「IMIN」』
- ・田島大介『孤独の景色Ⅱ』
- ・風間天心『日常茶飯事』
- ・三上俊希『生命体X』
- ・『IoTにひろがるデザイン DoT. (Design of Things) produced by +Style』
- ・六本木未来会議アイデア実現プロジェクト#13『現代アートセミナーby Chim ↑ Pom』

【サントリー美術館プログラム】

- ・体験型ミニレクチャー『はじめてひらく 美のとびら』屏風の巻
- ・中島麦『コチラとムコウ in サントリー美術館 ～ムコウ側の景色をコチラ側の窓に描こう～』
- ・下中菜穂『江戸の紋切り遊びで、日本のかたちを遊ぶ』
- ・高橋唐子『みんなで挑戦！りんば体操』
- ・『フレンドリートーク』
- ・『鈴木其一 江戸琳派の旗手』 ※会期中の展覧会

【21_21 DESIGN SIGHT プログラム】

- ・『デザイン解剖室へようこそ！「デザインの解剖展」ギャラリートัวร์』
- ・『オープニングトーク「解剖展の解剖」』
- ・『デザインの解剖展：身近なものから世界を見る方法』 ※会期中の展覧会

【国立新美術館プログラム】

- ・百瀬文、イム・フンスン『交換日記』
- ・『TOKYO ANIMA! 2016』
- ・東明『アーティスト・ワークショップ「ひろがるワタシ つながるアナタ -パラフークの世界へようこそ-』
- ・『タリ展』 ※会期中の展覧会

【六本木商店街プログラム】

- ・『Roppongi Art Night Photo Spot』

【そのほか】

(1) 同時開催プログラム

- ・『東京キャラバン in 六本木』
主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
- ・三陸国際芸術祭 in 六本木アートナイト2016 『シシの系譜』
主催：NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク（JCDN）
- ・『ここから -アート・デザイン・障害を考える3日間-』
主催：文化庁 ほか
- ・国際シンポジウム『文化芸術活動を通じた多様性を尊重する社会の実現に向けて』
主催：文化庁 ほか

- ・『バリアフリー映画上映会』
主催：文化庁 ほか
- ・『世界一眠い芸術祭』
主催：NHK
- (2) 参加施設・ギャラリー 21ギャラリー・施設
開館時間延長や特別プログラムなど
- (3) 参加店舗 70店舗
営業時間延長や特典など
- (4) 無料シャトルバス
六本木と渋谷、新宿・池袋、吉祥寺・国分寺・立川を結ぶ無料シャトルバスを運行



©六本木アートナイト実行委員会



©六本木アートナイト実行委員会

18

MOTサテライト 2017 春 往来往来

【事業概要】

- 開催期間** 平成29年(2017年)2月11日(土・祝)～3月20日(月・祝)
- 会場** 清澄白河駅周辺エリア
- 主催** 東京都、東京都現代美術館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
- 後援** 江東区
- 特別協力** 深川資料館通り商店街協同組合、江東区深川江戸資料館、共同紙工株式会社、日本仕事百貨、GRANTCHESTER HOUSE
- 協力** 江東区芭蕉記念館、江東区立深川図書館、公益財団法人東京都公園協会 清澄庭園、法苑山 浄心寺、あづま屋文具店、京呉服・宝石の店 田巻屋、大久保クリーニング、三河屋精米店、杉原商店、Coci la elle、アライズ コーヒーロースターズ、fukadaso CAFE、iki ESPRESSO TOKYO、オールプレス エスプレッソ、mamma cafe 151A、しまぶっく、smokebooks、NOiS 清澄白河、深川ワイナリー株式会社(株式会社スイミージャパン)、株式会社 小柳出電気商会、宮坂醸造株式会社、WHITELIGHT, Ltd.、株式会社 Bcc
- 協賛** 株式会社 資生堂
- 入場者数** 16,771人
- ※1 パブリックミーティング入場者125人と関連プログラム入場者264人は含まず。
 ※2 MOTスポットの来場者は集計せず。

【事業趣旨(目的)】

休館中の美術館が外に出て、近隣の様々な拠点と協力し、アーティストたちや住民の皆様とともに、場所や人、記憶や歴史と関わりながら、まちの魅力を掘り起こしていく試み。地域の一員としての美術館が、アートと社会の関わり方を多角的に提案する、新しい都市型アート・プロジェクトを展開。地域のクリエイティブな各拠点「地域パートナー」の皆様の様々なプログラム等も実施。

【開催状況】

(1) パブリック・ミーティング

MOTサテライトについての周知を図るため、ゲストとともに、清澄白河の魅力や、このまちの過去・現在・未来について語りあうキックオフ・イベントを会期前に実施した。

| 開催日 | 会場 | ゲスト | 料金(円) | 入場者(人) |
|------|----------------|--------------------------|-------|--------|
| 11/9 | 江東区深川江戸資料館 小劇場 | 笠置秀紀、調大輔、東海亮樹、野呂達矢、分部登志弘 | 無料 | 125 |

(2) MOTスペース

清澄白河エリアの工場跡地や地域拠点など、「MOTスペース」と名づけた7か所で作品を展示した。

| 開催日※ | 会場 | 参加作家 | 料金(円) | 入場者(人) |
|-----------|----------------------|----------------------------------|-------|--------|
| 2/11～3/20 | 1: 旧駄菓子屋 | mi-ri meter | 無料 | 2,272 |
| | 2: グランチェスター・ハウス | 吉増剛造プロジェクト | | 2,790 |
| | 3: 深川資料館通り商店街協同組合事務所 | 佐野文彦 | | 2,572 |
| | 4: 赤い底の旧印刷所 | 松江泰治(1F) 花代(2F) | | 2,531 |
| | 5: F邸 | 毛利悠子 | | 2,492 |
| | 6: 平野の旧印刷所 | 飯山由貴+remo[NPO法人記録と表現とメディアのための組織] | | 2,226 |
| | 7: リトルトーキョー | クサナギシンペイ | | 1,888 |
| 計 | | | | 16,771 |

※月・火・水は定休日(3/20を除く)

(3) MOTスポット

地域に点在するコーヒー・ロースタリーやカフェ、店舗や文化施設などで、小規模な展示を実施した。

| 開催日※1 | 会場 | 参加作家 | 料金(円)※2 |
|-----------|---|--------------|---------|
| 2/11~3/20 | 江東区深川江戸資料館、江東区芭蕉記念館、江東区立深川図書館、法苑山 浄心寺、あづま屋文具店、田巻屋、大久保クリーニング、三河屋精米店、杉原商店、アライズ コーヒーロースタース、fukadaso CAFE、iki ESPRESSO TOKYO、ALLPRESS ESPRESSO、mamma cafe 151A、しまぶっく、smokebooks、NOiS 清澄白河 | カニエ・ナハ+大原大次郎 | 無料 |
| | 江東区深川江戸資料館 | ごはん同盟 | |
| | Coci la elle (コシラエル本店) | ひがしちか | |
| | アライズ コーヒーロースタース | クサナギシンベイ | |

※1 各スポットにより定休日は異なる。

※2 施設により要入館料

MOTサテライトのチラシ持参で入館料を割引(江東区深川江戸資料館400円→300円、江東区芭蕉記念館200円→150円)

(4) 関連プログラム

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 参加作家等 | 料金(円) | 入場者(人) |
|------|-----------------------|---|--|-------|--------|
| 2/19 | gift_lab GARAGE | フェロー・プロジェクト gift_+AS 「ラジオ往来往来公開録音」 | gift_+AS (アンドレアス・シュナイター) | 無料 | 13 |
| 2/19 | アート | フェロー・プロジェクト 「MOTサテライト アーカイブ 公開フォーラム」 | 小澤慶介 ほか | | 20 |
| 3/12 | | | | | 20 |
| 2/12 | 清澄庭園大正記念館 | 吉増剛造プロジェクト 「水の音句会ライブ」 | 吉増剛造、カニエ・ナハ、高柳克弘、城戸朱理、朝吹真理子、花代 撮影：鈴木余位 | | 40 |
| 2/25 | MOTスポット | カニエ・ナハ+大原大次郎 「深川の漣ツアー」 | カニエ・ナハ、大原大次郎 | | 15 |
| 2/26 | 江東区立深川図書館3F ホール | 吉増剛造 「深川ボラ・ワークショップ」 | 吉増剛造 | | 13 |
| 3/4 | 江東区立深川図書館3F ホール | カニエ・ナハ 「詩と本のワークショップ」 | カニエ・ナハ | | 8 |
| 3/11 | MOTスペース6 (平野の旧印刷所) | remo読み歩きクルーズ 「あの日の“あとを追う”一記 録すること、残すこと」 | 企画・進行：松本篤 (remo [NPO法人記録とメディアのための組織]) | | 18 |
| 2/19 | 三好地区集会所 | 参加作家による連続トーク | 佐野文彦、ごはん同盟 | | 12 |
| 3/5 | | | 松江泰治、クサナギシンベイ、毛利悠子 | | 30 |
| 3/12 | | | 飯山由貴+remo[NPO法人記録と表現とメディアのための組織]、mi-ri meter | 15 | |
| 3/20 | | | 吉増剛造、カニエ・ナハ、花代、ひがしちか | 60 | |
| 計 | | | | | 264 |

【参加者の声】

- ・清澄白河へは都現美に来る時のみ滞在する街だったが、資料館を見て、街と人の雰囲気がいよいよ身近になった。
- ・清澄白河の街の興味が深まり現代美術館のイメージが強かったが、もっと色々見てみようという気持ちになりました。
- ・イベントが多層的に存在して面白いなと思いました。核となる地域の人に加え、外の人も楽しめる祭りみたい。
- ・それぞれの作品と会場がマッチしてそのため設えたようになっていたのが面白かった。
- ・街をめぐるいろいろな雰囲気の展示が見られて、合間に色々と考えもするし、普通の展示室での展覧会とはかなり異なる面白さがありました。毛利さんの展示の発想のユニークさと、はかなさ、花代さんの展示のダークでシュールなテイストが特に心に残りました。ガイドの方々も詳しく分かりやすく教えてくれて、とても良かったです。
- ・今後定期的にやって欲しい。

19

第9回恵比寿映像祭

【事業概要】

| | |
|------|---|
| 開催期間 | 平成29年（2017年）2月10日（金）～26日（日）[15日間/月曜休館] |
| 主催 | 東京都、東京都写真美術館・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、日本経済新聞社 |
| 共催 | サッポロ不動産開発株式会社、公益財団法人日仏会館 |
| 後援 | TBS、J-WAVE 81.3FM |
| 助成 | アジアン・カルチュラル・カウンシル |
| 協賛 | 全日本空輸株式会社、オーストラリア大使館、オーストラリア大使館・オーストラリア文化フォーラム、サッポロビール株式会社、東京都写真美術館支援会員 |
| 協力 | KyotoDU、ぴあ株式会社、ドゥービー・カンパニー株式会社、株式会社トリプルセブン・インタラクティブ、株式会社ロボット |
| 入場者数 | 63,760人 |

【事業趣旨（目的）】

映像分野における創造活動の活性化と映像表現ジャンルを横断した芸術性の高い作品を紹介することを目的として、恵比寿周辺エリアで、展示、上映、ライブ、トーク・セッションなど多彩なプログラムによる映像のフェスティバルを開催する。

1. 展示

| 開催日 | 会場 | 出品作家 | 料金（円） | 入場者（人） |
|---------|-----------------------------|---|-------|--------|
| 2/10～26 | 東京都写真美術館 3F, 2F, B1F 展示室 | 森村泰昌[日本]、レイ・レイ[中国]、澤田知子[日本]、笹本晃[日本]、金氏徹平[日本]、ガブリエラ・マンガノ&シルヴァーナ・マンガノ[オーストラリア]、エティエンヌ＝ジュール・マレー[フランス]、ズビグ・リブチンスキー[ポーランド/アメリカ]、石川卓磨[日本]、オープンエンデッドグループ&ビル・T・ジョーンズ[アメリカ]、釜利子[日本]、豊嶋康子[日本]、ルーシー・レイヴン[アメリカ]、コルネリア・ゾルフランク[ドイツ]、フォレンジック・アーキテクチャー[イギリス]、ロバート・ノース&アントワネット・デ・ヨング[オランダ] | 無料 | 24,469 |
| | 日仏会館ギャラリー | 空族+スタジオ石+YCAM[日本] | | |

2. 展示関連パフォーマンス

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 料金（円） | 入場者（人） |
|---------|--------------------|-----------------------------------|------------------|--------|
| 2/10～12 | 東京都写真美術館 3F 展示室 | 笹本晃《デリケート・サイクル》 | 前売：350 当日：600 | 510 |
| 2/10～12 | 東京都写真美術館 2F ロビー | ガブリエラ・マンガノ&シルヴァーナ・マンガノ《そこはそこにはない》 | 無料 | |

3. 上映

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 料金（円） | 入場者（人） |
|---------|--------------------|---|--------------------|--------|
| 2/10～26 | 東京都写真美術館 1F ホール | フィオナ・タン《歴史の未来》ジャパンプレミア | 前売：500 当日：1,000 | 2,497 |
| | | 相互接続への夢——《ドリームズ・リワイヤード》ジャパンプレミア | | |
| | | 《スーザン・ソントグについて》——マルチプルな私を生きる ジャパンプレミア | | |
| | | 「日本零年」vol.1《イリュミナシオン》——長谷川億名特集 | | |
| | | 「日本零年」vol.2《DUAL CITY》——長谷川億名特集 | | |
| | | ガレキあるいはSF | | |
| | | ヨーロッパからの実験映画：「制作年なし。」 | | |
| | | ダンスのマルチプルな未来 | | |
| | | DigiCon6 ASIA——ショートムービーから見えてくるマルチプルなアジア | | |
| | | イヴォンヌ・レイナー《特権》[16ミリフィルム上映] | | |
| | | ロバート・クレマー《アイス》[16ミリフィルム上映] | | |
| | | 《バンコクナイツ》スペシャル上映&トーク | | |

4. オフサイト展示

| 開催日 | 会場 | 作品名 | 出品作家 | 料金 (円) | 入場者 (人) |
|---------|--------------------|------------------------|------|--------|---------|
| 2/10~26 | 恵比寿ガーデンプレイス センター広場 | 《White Discharge (公園)》 | 金氏徹平 | 無料 | 25,652 |

5. ラウンジトーク

| 開催日 | 会場 | 出品作家 | 料金 (円) | 入場者 (人) |
|------|----------------|--|--------|---------|
| 2/10 | 東京都写真美術館 2Fロビー | レイ・レイ | 無料 | 501 |
| 2/11 | | 豊嶋康子 | | |
| 2/12 | | ロバート・ノース&アントワネット・デ・ヨング | | |
| 2/14 | | 荒木博志、岡田邦雄、佐々木聖 (地域連携プログラム: LIBRAIRIE6) | | |
| 2/19 | | 釜利子 | | |
| 2/21 | | 金氏徹平、木ノ下智恵子 | | |
| 2/24 | | 澤田知子 | | |
| 2/25 | | 森村泰昌 | | |
| 2/26 | 石川卓磨 | | | |

6. ライブ・イベント

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 出演 | 料金 (円) | 入場者 (人) |
|------|-----------|-----------------------------------|----------------|------------------------|---------|
| 2/24 | ザ・ガーデンルーム | YEBIZO ナイツ Side A: マルチブル / アナログ | リン・ルー、入手杏奈、恩田晃 | 前売: 1,500 当日: 2,000 | 184 |
| 2/25 | | YEBIZO ナイツ Side B: マルチブル / キカイ | 恩田晃、山崎広太、宇治野宗輝 | | |

7. シンポジウム/レクチャー

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | パネリスト | 料金 (円) | 入場者 (人) |
|------|-----------------|---|--|--------------------|---------|
| 2/17 | 日仏会館ホール | シンポジウム [日仏会館共催企画] シネマトグラフ日本伝来——稲畑勝太郎とリュミエール | 小松弘 (早稲田大学文学部教授)、岡田秀則 (東京国立近代美術館フィルムセンター主任研究員)、上田学 (日本大学他非常勤講師) モデレーター: 遠藤みゆき (恵比寿映像祭アシスタント・キュレーター、東京都写真美術館学芸員) 司会: 岡真理子 (青山学院大学、日仏会館常務理事) | 前売: 350 当日: 600 | 305 |
| 2/18 | 東京都写真美術館 1Fホール | シンポジウム「マルチブルな未来」へ Part 1: 芸術とスベキュラティヴ・コモンス | コルネリア・ゾルフランク (展示出品作家)、久保田晃弘 (多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース教授)、八田真行 (駿河台大学経済経営学部専任講師、国際大学GLOCOM 客員研究員) モデレーター: 多田かおり (恵比寿映像祭キュレーター) | | |
| 2/18 | | シンポジウム「マルチブルな未来」へ Part 2: マージナルな映像アーカイヴィングの可能性 | 松山ひとみ (東京国立近代美術館フィルムセンターB.D.C. プロジェクト特定研究員)、真喜屋力 (シネマ沖縄、沖縄アーカイブ研究所)、三好大輔 (アルプス・ピクチャーズ、あつみのフィルムアーカイブ代表) モデレーター: 森宗厚子 (恵比寿映像祭プログラマー) | | |
| 2/19 | 東京都写真美術館 1Fスタジオ | レクチャー イヴォンヌ・レイナーをめぐって——ポストモダンダンスと映像の間 | 松井みどり (美術評論家)、外山紀久子 (舞踊研究者)、武藤大祐 (ダンス批評家) モデレーター: 田坂博子 (恵比寿映像祭キュレーター、東京都写真美術館学芸員) | | |
| 2/26 | | レクチャー スーザン・ソング——その思考と生き方に学ぶ | 新田啓子 (立教大学教授)、菅野優香 (同志社大学准教授) モデレーター: 岡村恵子 (恵比寿映像祭ディレクター、東京都写真美術館学芸員) | | |

8. ガイドツアー

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 料金 (円) | 入場者 (人) |
|---------|---|---|--------|---------|
| 2/18、26 | 東京都写真美術館全フロア、恵比寿ガーデンプレイス センター広場、日仏会館ギャラリー | フェスティバル会場・オールアラウンドガイドツアー | 無料 | 84 |
| 2/11、25 | 恵比寿ガーデンプレイス センター広場 | オフサイト展示・ガイドツアー | | |
| 2/16、23 | 東京都写真美術館全フロア | TOP メイン会場・ガイドツアー | | |
| 2/19、22 | 東京都写真美術館全フロア | TOP Museum Guided Tour: English Version | | |

9. 地域発信プロジェクト

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 出演 | 料金 (円) | 入場者 (人) |
|------|---|---|---|---------------------------------------|---------|
| 2/11 | COMMON EBISU (恵比寿ガーデン プレイス グラス スクエア内) | 「YEBIZO MEETS」Ⅰ 特別セッション | 伊東豊雄 (建築家) × 北川フラム (アートディレクター) モデレーター: 関康子 (デザイン編集者) | 無料 | 170 |
| 2/11 | | 「YEBIZO MEETS」Ⅱ 地域発信トーク: 伊東建築塾 | 伊東豊雄 (建築家・伊東建築塾NPOこれからの建築を考える主宰) × アストリッド・クライン (建築家・クライン・ダイサム アーキテクト代表) × 太田浩史 (建築家) モデレーター: 古川さくみ (伊東建築塾 事務局長) | | |
| 2/22 | | 「YEBIZO MEETS」Ⅲ リンクセッション: オーストリア大使館・オーストリア文化フォーラム | マヌ・ルクシュ (アーティスト・映画監督・研究者 [第9回恵比寿映像祭出品作家]) × 畠山直哉 (写真家) | ダンスワークショップ 1,500 ワークショップ 500 | 233 |
| 2/25 | | 「YEBIZO MEETS」Ⅳ 地域連携発信 特別イベント 「ダンス保育園!!」 | 演出: 篠崎芽美 (ダンサー・振付家/珍しいキノコ舞踊団)、出演: ダンス保育園!!ダンサーズ、歌と演奏: 坂本美雨、国広和毅、工作ワークショップ: 永山祐子建築設計、SUNSHINE TO YOU! 主催: ダンス保育園!! 実行委員会、企画: 住吉智恵 (TRAUMARIS アートプロデューサー・第9回恵比寿映像祭地域連携プログラム参加)、制作: TRAUMARIS、合同会社キノコノキ、助成: アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、協力: COMMON EBISU、イベント託児マザーズ [連携発信: 恵比寿映像祭] | | |

10. 地域連携プログラム

| 開催日 | 会場 | 参加施設 | 入場者 (人) |
|---------|----------------------------|---|---------|
| 2/10~26 | 恵比寿地域文化施設およびギャラリーなど (14施設) | 日仏会館、YEBISU GARDEN CINEMA、伊東建築塾、MA2 Gallery、Gallery 工房 親、MuCuL studio、NADiff a/p/a/r/t、G/P gallery、MEM、statements、WAITINGROOM、AIT、AL (TRAUMARIS)、LIBRAIRIE6 | 9,155 |

【参加者の声】

- ・ 不思議な作品がたくさんあってインスピレーションがわいた。外国の作品もいっぱいあって勉強になった。(10代・女性)
- ・ 生活をとりまく当たり前を、ゼロから見直すのに芸術は素敵だなと思います。芸術に明るくない自分でも、楽しめました。(20代・男性)
- ・ 毎年楽しみにしています。今年は政治的なものも多かった気がします。「タンゴ」が良かった。レイ・レイの部屋も良かった。夫婦で楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。(30代・女性)
- ・ 非常に面白い設定で、映像も美しかったです。(30代・女性)
- ・ 美術で名前だけ触れてきたスーザン・ソントグの概要を知るきっかけになりました。一冊も著作を読んだことがなかったのですが、持っているものを開けたくもなり…。これからも美術史、映像史に外せないものを取り上げてほしいです。(40代・女性)
- ・ 写真と映画の相互関係を改めて気付かされた。(40代・男性)



「YEBIZO ナイツ | Side A: マルチプル/アナログ」よりリン・ルー パフォーマンス
第9回恵比寿映像祭「マルチプルな未来」ライブ・イベントより
提供: 東京都写真美術館
撮影: 新井孝明



コルネリア・ゾルフランク《持たないものを与えること》2012年-
第9回恵比寿映像祭「マルチプルな未来」展示より
提供: 東京都写真美術館
撮影: 新井孝明



空族+スタジオ石+YCAM《潜行一千里》2016年
第9回恵比寿映像祭「マルチプルな未来」展示より
提供: 東京都写真美術館
撮影: 新井孝明

20

芸劇セレクション

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）5月24日（火）～平成29年（2017年）3月12日（日） |
| 会場 | 東京芸術劇場 |
| 主催 | 東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団） 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） |
| 入場者数 | 23,451人（ワークショップ参加者93人含む） |

【事業趣旨（目的）】

若手の人材育成と国際・創造発信を目的として、東京芸術劇場のセレクションにより、若手を中心とした公演や海外の上質な作品を紹介する公演、企画性に富んだプロデュース公演等、様々な舞台芸術作品を上演する。

【開催状況】

| 公演日（回数） | 会場 | 公演名・事業名 | 作・出演者等 | 料金（円） | 入場者・参加者（人） |
|----------------|--------------------------|--|---|--|------------|
| 6/23～26（4） | 東京芸術劇場 プレイハウス | 「887」 後援：カナダ大使館、 ケベック州政府在日事務所 | 作・演出：美術・出演：ロペール・ルバー ジュ | S席：前売：6,000 当日：6,500 A席：前売：4,000 当日：4,500 高校生割引：1,000 25歳以下（A席）： 3,000 65歳以上（S席）： 5,000 | 2,960 |
| 9/30～10/20（24） | 東京芸術劇場 シアターイースト | Roots Vol.04 『あの大鴉、さえも』 助成：平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業 | 作：竹内統一郎 上演台本：ノゾエ征爾 演出：小野寺修二 出演：小林聡美、片桐はいり、藤田桃子 | 一般前売り：6,000 一般当日：6,500 65歳以上：5,500 25歳以下：3,000 高校生割引：1,000 | 5,481 |
| 10/9（1） | 東京芸術劇場 シアターイースト | 芸劇＋トーク『自作自演』 第14回 （『あの大鴉、さえも』ス ピンオフ企画） 助成：平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業 | 出演：竹内統一郎、ノゾエ征爾 トーク聞き手：徳永京子 | 一般：2,000 高校生割引：1,000 25歳以下/65歳以上： 1,500 | 149 |
| 12/10～21（10） | 東京芸術劇場 プレイハウス | 『ロミオとジュリエット』 助成：平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業 | 作：ウィリアム・シェイクスピア 翻訳：松岡和子 上演台本：演出：藤田貴大 出演：青柳いつみ、川崎ゆり子、吉田聡子 ほか | S席：5,500 A席：4,500 65歳以上（S席）： 5,000 25歳以下（A席）： 3,500 高校生割引： 1,000 | 5,401 |
| 2/18～3/12（26） | 東京芸術劇場 シアターウエスト | 子ども発射プロジェクト 『なむはむだはむ』 後援：豊島区 協力：ハイバイ、至福団、 松本デザイン室、城崎国際 アートセンター（豊岡市） 助成：平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業 | 原案：こどもたち つくる人：岩井秀人、森山未来、前野健太 そもそもこんな企画どうだろうと思った 人：野田秀樹 | 前半割（2/18～26） 前売：4,000 当日：4,500 一般（2/28～3/12） 前売：4,500 当日：5,000 子供（高校生以下）： 1,000 25歳以下：3,500 65歳以上：3,800 | 5,599 |
| 7/26～8/18 | 東京芸術劇場 リハーサルルーム ほか | 子ども発射プロジェクト 「ワークショップ」 後援：豊島区 協力：城崎国際アートセ ンター（豊岡市） 助成：平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業 | 講師：岩井秀人 ほか | 無料 | 46 |

| 公演日(回数) | 会場 | 公演名・事業名 | 作・出演者等 | 料金(円) | 入場者・参加者(人) |
|------------|-----------------------|---|---|-------|---------------------|
| 5/24~7/21 | 東京芸術劇場 リハーサルルーム ほか | 「ストリートアーティスト・アカデミー」 【夏期】 | 監修：橋本隆雄 講師：ちゅうサン、サンキュー手塚、 村松卓矢(大駱駝艦) ほか | 無料 | 受講生：25 観覧者：1,627 |
| 11/8~12/22 | | 助成：平成28年度文化庁文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業池袋/としま/東京アーツプロジェクト事業 【冬期】 | | | 受講生：22 観覧者：2,141 |
| 計 | | | | | 23,451 |

【参加者の声】

● 『887』

- ・ こういった質の高い演劇が見れてとても面白かった。自身のみの自己満足にとどまらず、社会性を備え、また美術にこだわった演出がもっと見たいと思った。(20代・女性)
- ・ 素晴らしい舞台でした!!! せつなく美しい演出と映像マジックに酔いしました。(40代・女性)

● 『あの大鴉、さえも』

- ・ 演出的なシーンがものすごかったです。マイムならではの表現がいいなと思いました。すごい言葉しか出てきません。(10代・男性)
- ・ 三人の動きに目が離せませんでした。一つ一つの動きが繋がっていて流れが出来ていて美しかったです。面白かった。迫力があって目が離せなかった。楽しかった。(10代・女性)

● 『ロミオとジュリエット』

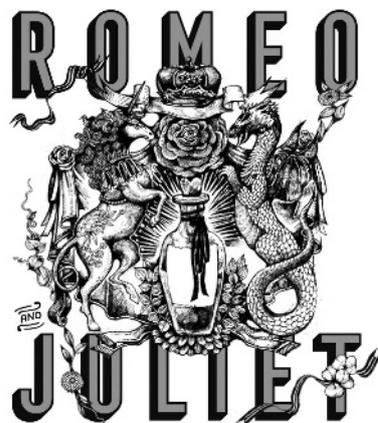
- ・ 期待を上回る衣裳の素晴らしさに引き付けられました。音響や演出など舞台ってこんなに面白いんだとすっかり魅了されました。また藤田さんの舞台を観に来てみたいです。
- ・ 新しい解釈で面白かったです。アフタートークも、聞きたいことを聞いて下さって良かったです。劇場がこれまでも藤田さんを育ててこられたことがわかり、とても良かったですので、今後も新しい才能を発掘してもらいたいです。

● 『なむはむだはむ』

- ・ 素晴らしい内容と温かな時間をありがとうございました。最高でした。子供にもっとお芝居を見せたいです。
- ・ 久しぶりに演劇を見ました。普段味わえない発想に刺激と笑いをもらいました。



ストリートアーティスト・アカデミー



『ロミオとジュリエット』
イラスト：ヒグチユウコ

21

東京芸術祭2016

【概要】

- 開催期間** 平成28年（2016年）9月1日（木）～12月18日（日）
- 会場** 東京芸術劇場、あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）、にしすがも創造舎、池袋西口公園、南池袋公園、森下スタジオ ほか
- 主催** 東京芸術祭組織委員会 [アーツカウンシル東京・東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）、豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル／トーキョー実行委員会、アジア舞台芸術祭実行委員会]

参加事業

フェスティバル／トーキョー16、芸劇オータムセレクション、としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム、アジア舞台芸術人材育成部門

総数:134,339人

■フェスティバル／トーキョー16 82,921人（うち主催プログラム16演目 28,744人）

■芸劇オータムセレクション 16,348人

■としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム 32,703人

■アジア舞台芸術人材育成部門 560人

■オープニングセレモニー 1,746人

■トーク「0場」 61人

【事業趣旨（目的）】

東京の多彩な文化的特色をもった地域に着目し、それぞれの地域の文化的拠点の活動を支援することによって、芸術文化による都市の魅力の向上や機能強化を図る芸術文化拠点形成支援事業として、豊島区池袋を中心として幅広い層のアーティスト、クリエイター、芸術団体が参画、また幅広い層の観客に向けた舞台芸術祭として、〈フェスティバル／トーキョー〉、〈芸劇オータムセレクション〉、〈としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム〉、〈アジア舞台芸術人材育成部門（APAF）〉を東京芸術祭として実施した。平成29年度以降は総合ディレクターを起用しプログラムの充実化と体制の強化を行う予定。

【開催状況（主な上演演目）】

フェスティバル／トーキョー16

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 作・出演者等 |
|----------|-----------------------|--------------------------|---|
| 10/15、16 | 池袋西口公園 | フェスティバルFUKUSHIMA!@池袋西口公園 | 総合ディレクション：プロジェクトFUKUSHIMA!+山岸清之進 参加アーティスト：池袋盆BAND、大友良英、長見順、岡地曙裕、珍しいキノコ舞踊団 ほか |
| 10/21～29 | にしすがも創造舎 | イデビアン・クルー『シカク』 | 振付・演出：井手茂太 |
| 11/3～6 | 東京芸術劇場 シアターイースト | x / groove space | 振付・構成：セバスチャン・マティアス |
| 10/21～23 | 東京芸術劇場プレイハウス | 『Woodcutters - 伐採-』 | 翻案・美術・照明・演出：クリスチャン・ルバ |
| 10/27～30 | あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術センター） | バク・グニョン×南山芸術センター『哀れ、兵士』 | 作・演出：バク・グニョン（劇団コルモツキル） |
| 11/17～20 | にしすがも創造舎 | マレビトの会『福島を上演する』 | 作・演出：マレビトの会 |
| 12/2、3 | あうるすぽっとホワイエ | FM3『Buddha Boxing』 | 演出：FM3 |

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 作・出演者等 |
|--------------------------------|--------------------------------|--|---|
| 12/9~11 | あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術センター） | ドーレ・ホイヤーに捧ぐ 『人間の激情』『アフェクテ』『エフェクテ』 | 構成・振付：スザンネ・リンケ |
| 〈アジアシリーズ vol.3 マレーシア特集〉 | | | |
| 11/11~13 | にしすがも創造舎 | インスタントカフェ・シアターカンパニー『NADIRAH』 | 作：アルフィアン・サアット 演出：ジョー・クカサス |
| 11/12、13 | 江東区各所 | 『B.E.D. (Episode 5)』 | 構成・演出・振付：リー・レンシン |
| 11/4~6 | 森下スタジオ | ASWARA - マレーシア国立芸術文化遺産大学 『BONDINGS』 | コンセプト：BONDINGSクリエイティブ チーム 作：スリ・リウ 講師・演出：ウォン・オイミン |
| 11/10~13 | 森下スタジオ | 『POLITIKO』 | 講師・コンセプト：ムン・カオ |
| 〈まちなかパフォーマンスシリーズ〉 | | | |
| 10/27~30 | 南池袋公園内 Racines FARM to PARK | 『ふくちゃんねる』 | 作・演出・出演：福田毅 |
| 11/10~13 | 豊島区庁舎10階 豊島の森 | 『うたの木』 | 森川弘和（振付・出演）×村上渉（振付・ 出演）×吉田省念（音楽・出演） |
| 12/1~4 | あうるすぽっとホワイエ | ドキュメント『となり街の知らない踊り子』 | 脚本・振付・演出：山本卓卓 |
| 12/2~5 | 南池袋公園内 Racines FARM to PARK | チェルフィッチュ『あなたが 彼女にしてあげられること は何もない』 | 作・演出：岡田利規 |

芸劇オータムセレクション

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 作・出演者等 |
|-------------|--------------|-----------------------------------|--|
| 9/30~10/2 | 東京芸術劇場プレイハウス | 『ヨブの話—善き人のいわれなき受難 L'homme de Hus』 | 構成・演出・振付・出演：カミーユ・ボワ テル |
| 10/7~9 | 東京芸術劇場プレイハウス | 芸劇dance 勅使川原三郎×山下洋輔『up』 | 構成・振付・美術・照明：勅使川原三郎 出演：勅使川原三郎、佐東利穂子、山下洋 輔（ピアノ） |
| 10/29~11/13 | 東京芸術劇場プレイハウス | 『かもめ』 | 作：アントン・チェーホフ 翻訳・上演台本：木内宏昌 演出：熊林弘高 出演：満島ひかり、田中圭、坂口健太郎、 渡辺大和、あめくみちこ、山路和弘、 渡辺哲、小林勝也、中嶋朋子、佐藤オリエ |
| 11/26~12/4 | 東京芸術劇場プレイハウス | 『三代目、りちゃあど』 | 作：野田秀樹 演出：オン・ケンセン（シンガポール） 出演：中村壺太郎、茂山章司、ジャニス・コー （シンガポール）、ヤヤン・C・ヌール、イ カデック・プディ・ステリアワン（インド ネシア）、たきいみぎ、江本純子、久世星 佳 |

としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 作・出演者等 |
|-------------|--|---------------|---|
| 9/1~30 | 池袋近郊15会場 | 第28回『池袋演劇祭』 | 参加：51劇団 |
| 11/5 | 南池袋公園・グリーン大通り・としまセンタースクエ ア（豊島区庁舎1階） | 『大田楽 いけぶくろ絵巻』 | 総合演出・田主：野村万蔵（能楽師和泉流 狂言方） 音楽：稲葉明德・山下由紀子 軽業指導：佐藤弘道 出演：劉 東風（変面）、わざおぎ（躍り）、 石田康太（友情出演） ほか |
| 12/15~12/18 | あうるすぽっと（豊島区立 舞台芸術センター） | 『ノイズの海』 | アーティスティック・ディレクター：南村 千里 出演：紅日穂子、菊沢将憲、酒井郁、田上 和佳奈、南雲麻衣、望月崇博 |

アジア舞台芸術人材育成部門 (APAF)

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 作・出演者等 |
|------------------|----------------|--|----------------------|
| 国際共同クリエイション公演 | | | |
| 11/19、20 | 東京芸術劇場シアターウエスト | 『TERU TERU!!』 | 演出：タックス・ルタキオ (フィリピン) |
| | | 『焦土』 | 演出：ジョン・ボーユエン (台湾) |
| 国際共同制作ワークショップ上演会 | | | |
| 11/18、19 | 東京芸術劇場シアターウエスト | 『enTRANCED』 | 演出：アイーダ・レザ (マレーシア) |
| | | 『a』 | 演出：島貴之 |
| | | 『Kiss Kiss Bang Bang 2.0 (a-work-in-progress)』 | 演出：ワン・チョン (中国) |

22

Shibuya StreetDance Week 2016

【事業概要】

| | |
|-------|--|
| 開催日 | 平成28年(2016年)11月19日(土)・20日(日) |
| 会場 | 代々木公園(野外ステージ・ケヤキ並木・イベント広場) 渋谷マークシティ イーストモール1F イベントスクエア studio mission 7F 702 |
| 主催 | アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、国際交流基金アジアセンター、株式会社パルコ |
| 共催 | 渋谷区 |
| 助成・協力 | 東京都 |
| 後援 | 公益財団法人東京都公園協会、一般財団法人渋谷区観光協会、渋谷区商店会連合会中央ブロック、商店街振興組合原宿表参道櫛会 |
| 協力 | 株式会社渋谷マークシティ、studio mission、SHIBUYA TOPFIELD DANCE CENTER |
| 企画・制作 | 株式会社パルコ、ファイブメディット株式会社 |
| 制作協力 | 株式会社アノマリー、株式会社LAST TRAIN GETTER |
| 総来場者数 | 延べ約18,500人(うち代々木公園でのプログラム来場者数 約18,000人) |
| 参加費 | 無料 |

【事業趣旨(目的)】

1. 世界中から注目されるストリートダンスを日本とアジアとの文化交流をはかりながら、国内外に発信する。
2. 表現者(ダンサー)、参加者(オーディエンス)、舞台(ステージ)を繋ぎ、幅広い客層に支持される新しい芸術文化として、ストリートダンスのポジショニングを確立する。
3. ストリートダンスをキーワードに、ストリートダンサーの聖地である渋谷から世界へ良質なエンターテインメントを発信し、国内外から渋谷への集客を目指す。その結果より活気に溢れたまちをつくる。

【開催状況】

| | 開催日 | 会場 | プログラム名、内容 | 出演者等 | 来場者(人) |
|---------|-------|-------|--|---|---------|
| 鑑賞プログラム | 11/20 | 代々木公園 | BLUE STAGE ストリートダンスを通じて社会活動を行う様々な団体に加え、渋谷を拠点に活動するダンサーによる特別ダンスショーケース | <出演者> ARDOR、BAMBOO SHOOT、ENcounter ENgravers、JUA、LOVE JUNX、mamastreet、N-HEADS、SOCIAL WORKEERZ、TaG Crew、Yutaka (Team Black Starz)、3PL、スーパー・エンターテイメント・ダンシングチーム SEDteam 2016、東京ダンス&アクターズ専門学校 <ゲスト出演者> Twiggz Fam、東京ゲゲゲイ | 約18,000 |

| | 開催日 | 会場 | プログラム名、内容 | 出演者等 | 来場者(人) |
|-------------------------------------|---|----------------|--|---|---------|
| 参加プログラム | 11/19 | 渋谷マークシティ | SHIBUYA STREET SHOW 参加型ダンスパフォーマンス | <出演者> Red Print <MC> ATSUSHI | 約410 |
| | 11/20 | 代々木公園 | SSDW CONTEST 高校生対抗ストリートダンス選手権 | <出場校> 大西学園高等学校、神奈川県立鎌倉高等学校、神奈川県立大和高等学校、光明学園相模原高等学校、埼玉県立杉戸高等学校、千葉県立柏井高等学校、東京都立足立新田高等学校、東京都立荒川商業高等学校、東京都立葛飾商業高等学校、東京都立北園高等学校、東京立正高等学校、二松学舎大学付属高等学校、日本工業大学駒場高等学校、日本体育大学荏原高等学校、東野高等学校、宝仙学園高等学校、武蔵野高等学校、横浜創英高等学校 <総司会> IMAGINE <審査員> だーよし、AKANEN、今野真理子(アーツカウンシル東京)、下山雅也(国際交流基金アジアセンター)、井上肇(株式会社バルコ) | 約18,000 |
| | | | DANCE WITH music フラッシュモブ | <出演> 東京ゲゲゲイ、バニラグロテスク | |
| | | | LECTURE SPOT プロダンサーによる様々なジャンルのダンスワークショップ | <講師> HIP HOP/SONNY、MARINA HOUSE/SHIN、mizuki コンテンポラリー/辻本知彦、和中和央 <パーカッショニスト> ↑BAN↑ | |
| BATTLE PARK ジャンル別チームトーナメントダンスバトル | <出場者> FREESTYLE 43人/HIPHOP 67人/LOCK 22人/POP 27人/ <審査員> FREESTYLE/SHUHO、LEO HIP HOP/SATOMI、KTR LOCK/すずきゆうすけ、ちびゆり POP/RYUZY、RYUICHI <MC> まーくん | | | | |
| 対話プログラム | 11/19 | studio mission | TALK SHOW 渋谷とダンスをキーワードにしたトークショー | <登壇者> Zebra(ヒップホップアクティビスト)、堀江治喜(ダンサー) <モデレーター> MC RYU(音楽プロデューサー) | 68 |
| | 11/20 | 代々木公園 | COMMUNICATION BOOTH ストリートダンスを教育や社会奉仕活動に取り入れている団体を紹介 | <参加団体> Twiggz Fam、東京ゲゲゲイ、ARDOR、BAMBOO SHOOT、ENcounter ENgravers、JUA、LOVE JUNX、mamastreet、N-HEADS、SOCIAL WORKEERZ、TaG Crew、Yutaka (Team Black Starz)、3PL、スーパー・エンターテイメント・ダンシングチームSEDteam 2016、東京ダンス&アクターズ専門学校 | 約18,000 |

【参加者の声】

- ・朝からずっとでしたが、本当に楽しかったです！できないよりも、いかに多くのことを学び吸収できるかだと思うので、すごく良かったです！（20代未満・女性）
- ・バトルパークが楽しかった。ダンスもキャラクターやファッションなど、色々な個性の人がいて、見ていて楽しい。子供から大人まで異世代の人達が自由に楽しんでいて、雰囲気が良いと思いました。クルーバトルすごく楽しかった！
- ・HIPHOP、コンテンポラリーのワークショップに参加しました。どちらのジャンルも初心者ですが、とても楽しかったです。そして、とてもよく汗をかいた！いい汗！Dance楽しい！（30代・女性）
- ・初めてコンテンポラリーを教えてもらって、こんなイベントがなかったら楽しいと思うことができなかつたかもと思います。参加できて良かった！（20代・女性）



DANCE WITH music



SHIBUYA STREET SHOW



TALK SHOW

23

キッズ伝統芸能体験

【事業概要】

| | |
|----------------|--|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）9月24日（土）（開講式：宝生能楽堂）～平成29年（2017年）3月30日（木） |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕、公益財団法人立川市地域文化振興財団（立川での短期プログラムのみ） |
| 企画制作・運営 | 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 |
| 制作協力 | 公益社団法人能楽協会、公益社団法人日本三曲協会、公益社団法人日本舞踊協会、一般社団法人長唄協会 |
| 共催 | 公益財団法人新宿未来創造財団（新宿文化センター）、（江東での短期プログラムのみ）公益財団法人江東区文化コミュニティ財団（江東区文化センター） |
| 協賛 | 独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場） |
| 後援 | 新宿区、立川市教育委員会（立川での短期プログラムのみ） |
| 協力 | 公益財団法人梅若会、公益社団法人宝生会 |
| 参加申込者数 | 1,354人（長期プログラム1,100人、短期プログラム254人） |
| 参加費 | 長期プログラム 15,000円（全18回／稽古16回、リハーサル1回、発表会1回） ユースプログラム 15,000円（全12回／稽古10回、リハーサル1回、発表会1回） 短期プログラム 5,000円（全7回／稽古6回、リハーサル・発表会1回） |
| 参加者数 | 1,333人（長期プログラム303人、短期プログラム1,030人【サマーキャンプ80人、1-DAYいろいろ体験950人（体験コーナー550人、ホール鑑賞400人）】） |
| 観覧者数 | 2,683人（発表会 長期プログラム2,283人、短期プログラム400人） ※1-DAYの「ホール鑑賞」は短期プログラム観覧者にも換算 |

【事業趣旨（目的）】

伝統芸能の一流の実演家が伝統芸能にふさわしい稽古場で、子供たちに直接、そして定期的継続的に指導を行うこと。これらの条件を重ねて果たすことで、伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法、厳しさなどの文化環境を子供たちが自然に身につけられるような学びの場をつくる。さらに、その成果を舞台で発表する機会を提供することによって、目的意識をもって学ぶ大切さを知る。この本格的な伝統芸能体験を通して、子供たちばかりでなく、家庭内での伝統芸能に対する興味・関心を高め、伝統芸能を次世代へ継承し、東京の文化的魅力を向上させることを目的とする。

【開催状況】

子供たちの豊かな感性の育成、伝統芸能の世界に触れる機会の提供を目的として、能楽・長唄・三曲・日本舞踊の一流の実演家が数か月にわたり子供たちを直接指導し、その成果をひのき舞台上で発表するとともに、プロである講師による舞台の鑑賞会を実施した。また、より多くの子供たちに機会を提供するため、今年度も引き続き中学生・高校生のみを対象を特化したユースプログラムを実施した。長期プログラム、ユースプログラムのほかに地域に密着した夏休み期間中の短期プログラムを実施した。

1. 長期プログラム

| 内容 | 稽古場所 | 稽古日 | 指導者 | 参加者（人） | 発表会場 | 発表日 | 鑑賞者（人） |
|----|----------|---|-------------------------------|--------|-------|------|--------|
| 能楽 | 梅若能楽学院会館 | 10/3、17、24、31、11/28 | 辻井八郎、山井綱雄、本田芳樹、村岡聖美、柏崎真由子、林美佐 | 20 | 宝生能楽堂 | 3/20 | 505 |
| | | 12/12、26、1/16、23、30、2/6、13、20、27、3/6、13 | | 20 | | | |

| 内容 | 稽古場所 | 稽古日 | 指導者 | 参加者(人) | 発表会場 | 発表日 | 鑑賞者(人) |
|------|----------|---|---|--------|-------------|------|------------------------------------|
| 長唄 | 杵家会館 | 11/20、 12/4、11、18、 1/8、15、22、29、 2/5、12、19、26、 3/5、12、19、26 | 杵家弥七、東音 若田喜美子、今 藤政太郎、今藤 政子、今藤政音、 杵屋勝孝、東音 植松美名、芳村 伊十治郎、杵屋 五三吉都 ほか | 10 | 国立劇場 大劇場 | 3/30 | 1,778 (内訳 第1部858、 第2部920) |
| | | | | 42 | | | |
| | | | | 15 | | | |
| | | | | 16 | | | |
| | | | | 24 | | | |
| 三曲 | 新宿文化センター | 11/13、20、 12/4、11、18、 1/8、15、22、29、 2/5、12、19、 3/5、12、19、26 | (山田流) 三橋乙勢、新井 来由賀、武田博 華、中彩香能、 長岡園美咲、樋 口千清代 | 13 | 国立劇場 大劇場 | 3/30 | 1,778 (内訳 第1部858、 第2部920) |
| | | | | 48 | | | |
| | | | | 16 | | | |
| | 尺八 | 11/27、 12/4、11、18、 25、 | 芦垣皋盟、川村 葵山 | 8 | | | |
| 日本舞踊 | 芸能花伝舎 | 1/8、15、22、29、 2/5、12、26、 3/5、12、19、26 | 泉秀樹、五條詠 絹、西川一右、 花柳大日翠、花 柳輔蔵、藤蔭静 寿、藤間聖衣暉、 若柳吉優亮 | 43 | 国立劇場 大劇場 | 3/30 | 1,778 (内訳 第1部858、 第2部920) |
| | | | | 13 | | | |
| | | | | 15 | | | |
| 計 | | | | 303 | 発表会鑑賞者計 | | 2,283 |

2. 短期プログラム

長期間・定期の稽古参加が困難な子供たちに向けて、また多摩地域においてのプログラム提供を図る取組として、短期プログラムを実施した。

短期間に集中的に稽古を受け、最終日に発表会を行うクラスとその発表会当日に、会場を活用して様々なジャンルを体験できる参加型イベントで構成した。

【おけいこサマーキャンプ in 江東】 7月31日(日)～8月7日(日)

| 内容 | 稽古場所 | 稽古日 | 指導者(人) | 参加者(人) | 発表会場 | 発表日 | 鑑賞者(人) |
|----|-----------|----------------------|--------|--------|-----------|-----|--------|
| 三曲 | 江東区文化センター | 7/31、8/1、2、 4、5、6 | 6 | 20 | 江東区文化センター | 8/7 | 200 |
| 長唄 | | | 13 | 20 | | | |

【おけいこサマーキャンプ in 立川】 7月31日(日)～8月8日(月)

| 内容 | 稽古場所 | 稽古日 | 指導者(人) | 参加者(人) | 発表会場 | 発表日 | 鑑賞者(人) |
|------|---------------|----------------------|--------|--------|--------------------|-----|--------|
| 長唄 | たましんRISURUホール | 7/31、8/1、3、 4、6、7 | 15 | 20 | たましんRISURUホール 小ホール | 8/8 | 200 |
| 日本舞踊 | | | 4 | 20 | | | |

【1-DAYいろいろ体験!】

開催日 江東：8月7日(日) 14:00～16:50

立川：8月8日(月) 13:30～16:10

場所 江東：江東区文化センター(ホール ほか)

立川：たましんRISURUホール(小ホール ほか)

内容 ①「ミニパフォーマンス」プロの実演を間近で見る

- ②「体験コーナー」様々な邦楽器や日本舞踊、能楽を体験してみる
- ③「ホール鑑賞」プロの実演鑑賞とサマーキャンプ参加者の発表会

対象と定員 ①・③は誰でも参加可、定員なし。②については、日本舞踊と能楽のみ、当日配布整理券が必要。(江東：日本舞踊・仕舞・狂言の1セットで定員各20人×2コマ/立川：日本舞踊、仕舞・狂言の2セットで定員各20人×3コマ)

参加費 無料・参加自由

体験者数 江東：250人(②「体験コーナー」)
立川：300人(②「体験コーナー」)

観覧者数 江東：200人
立川：200人

【参加者の声】

●お稽古に参加した子供の声

- ・とても楽しいお稽古を体験させて頂き本当にありがとうございました。また機会があったら、お箏のお稽古をしたいです。(短期/江東)
- ・優しくていねいに教えてくださってありがとうございました。これからも三味線をやってみたいです。(短期/江東)
- ・お三味線を見て知っているのと実際に自分の手に触れてみるのではまるで違った。バチの形や三味線の重さ、初めて見る日本の楽譜などは外からでは分からない発見だった。(短期/立川)
- ・初めに先生の踊りを見て自分にできるか心配だったけど発表会の日に上手に出来たのでうれしかったです。ありがとうございました。(短期/立川)
- ・今日はがんばってきたことが思い切って精一杯出せました。あと国立劇場でやれて良かったです。楽しかったしうれしかったです。(長期発表会/国立劇場)

●保護者の声

- ・素晴らしい事業だと思いますし、意義深いと感じます。ありがとうございました。子を持つ友人たちに話すとみんな体験したい！！と言いました。できれば会場を増やしていただくと都心以外に住む子供たちも通えると思います。また、兄弟で通うこともできましたらありがたいです。少人数でのコースもあると、よりありがたい感じます…が勝手な希望で、現状で十分に素晴らしいと思っています。(短期/江東)
- ・毎回とても人気があり、参加できる人数が少なくなってしまうので、コースを増やして頂きたいです。一回あたり一時間をもう少し長くするか、回数を増やして頂くのもよいと思います。親子共々とてもよい経験でした。ありがとうございました。(短期/立川)
- ・自分が体験することで日本の伝統文化にもっと興味をもってもらえたらと思っていました。このような体験、お稽古が近くにもっとあるとうれしいです。先生方皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。(短期/立川)
- ・日本の伝統芸能をとっても身近に感じる事ができました。また、日本の文化の素晴らしさを再認識できて有意義な時間に感謝します。子供たちにはこの体験を活かしてほしいと思います。(長期発表会/宝生能楽堂)
- ・息子が参加させていただきました。本人はもちろん、家族にとってもかけがえのない体験となりました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。(長期発表会/宝生能楽堂)
- ・本人の希望が叶って稽古させていただき、ありがとうございました。小鼓が終わるのが淋しいと言っています。素晴らしい経験をご用意くださり驚きました。続いてほしいです。(長期発表会/国立劇場)

●一般観覧者の声

- ・大変素晴らしい事業だと思います。都民が羨ましいです。一流の先生方にご指導・演奏していただき、国立劇場しかも大劇場の舞台に立てることが、いかに凄いことかを理解してもらいたいと思います。(長期発表会/国立劇場)

24

子供のための伝統文化・芸能体験事業

【事業概要】

| | |
|-------|-------------------------------|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）6月～平成29年（2017年）2月 |
| 会場 | 東京都内小中高等学校、中等教育学校および特別支援学校 |
| 主催 | アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） |
| 助成・協力 | 東京都 |
| 参加者人数 | 3,074人 |

【事業趣旨（目的）】

子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れ、日本の文化の価値に対する正しい理解を深めるとともに、多様な文化に対する幅広い知識を育めるよう、若手実演家等を講師とする体験・鑑賞プログラムを、学校と連携した取組として実施する。

【開催状況】

| 学校名 | 開催日 | 内容 | 実施団体（協力） | 体験者（人） |
|----------------|-------|-------------|--------------------|--------|
| 調布市立布田小学校 | 6/15 | 演芸（落語） | 公益社団法人落語芸術協会 | 72 |
| 港区立港南中学校 | 6/16 | 雅楽 | 一般社団法人伶楽舎 | 12 |
| 稲城市立稲城第二小学校 | 6/17 | 演芸（落語） | 公益社団法人落語芸術協会 | 90 |
| 江戸川区立平井西小学校 | 6/23 | 三味線 | 一般社団法人長唄協会 | 66 |
| 足立区立寺地小学校 | 6/23 | 雅楽 | 一般社団法人伶楽舎 | 54 |
| 足立区立上沼田中学校 | 6/23 | 能楽（謡・仕舞） | 公益社団法人能楽協会 | 46 |
| 文京区立関口台町小学校 | 6/25 | 三味線 | 一般社団法人長唄協会 | 53 |
| 東京都立石神井特別支援学校 | 7/1 | 箏 | 公益社団法人日本三曲協会 | 77 |
| 立川市立けやき台小学校 | 7/8 | 演芸（落語） | 公益社団法人落語芸術協会 | 73 |
| 東大和市立第八小学校 | 7/14 | 日本舞踊 | 公益社団法人日本舞踊協会 | 103 |
| 豊島区立富士見台小学校 | 9/5 | 能楽（謡・仕舞） | 公益社団法人能楽協会 | 87 |
| 府中市立武蔵台小学校 | 9/13 | 雅楽 | 一般社団法人伶楽舎 | 96 |
| 狛江市立和泉小学校 | 10/11 | 能楽（狂言） | 公益社団法人能楽協会 | 100 |
| 日野市立東光寺小学校 | 10/12 | 演芸（紙切り） | 公益社団法人落語芸術協会 | 52 |
| 青梅市立第二小学校 | 10/13 | 演芸（落語） | 公益社団法人落語芸術協会 | 124 |
| 江東区立毛利小学校 | 10/16 | 三味線 | 公益社団法人日本小唄連盟 | 55 |
| 三宅村立三宅中学校 | 10/20 | 能楽（狂言） | 公益社団法人能楽協会 | 28 |
| 成立学園中学・高等学校 | 10/21 | 三味線 | 公益社団法人日本小唄連盟 | 72 |
| 武蔵村山市立第二小学校 | 10/21 | 演芸（紙切り） | 公益社団法人落語芸術協会 | 86 |
| 武蔵野市立第一小学校 | 10/21 | 箏 | 公益社団法人日本三曲協会 | 57 |
| 小平市立小平第九小学校 | 10/26 | 演芸（紙切り） | 公益社団法人落語芸術協会 | 80 |
| 清瀬市立清瀬小学校 | 10/27 | 能楽（狂言） | 公益社団法人能楽協会 | 98 |
| 葛飾区立飯塚小学校 | 10/27 | 箏 | 公益社団法人日本三曲協会 | 58 |
| 羽村市立武蔵野小学校 | 11/4 | 能楽（狂言） | 公益社団法人能楽協会 | 110 |
| 東京都立工芸高等学校 | 11/9 | 茶道 | 東京都華道茶道連盟 | 65 |
| 荒川区立第七中学校 | 11/12 | 伝統工芸（江戸友禅） | 東京都工芸染色協同組合 | 88 |
| 練馬区立光が丘第四中学校 | 11/12 | 演芸（落語） | 公益社団法人落語芸術協会 | 110 |
| 八王子市立檜原中学校 | 11/24 | 日本舞踊 | 公益社団法人日本舞踊協会 | 175 |
| 世田谷区立烏山小学校 | 11/25 | 茶道 | 東京都華道茶道連盟 | 88 |
| 東村山市立大岱小学校 | 11/28 | 能楽（謡・仕舞） | 公益社団法人能楽協会 | 71 |
| 八王子市立由井第二小学校 | 12/6 | 芸能（八王子車人形） | 西川古柳座 | 52 |
| 東京都立三鷹中等教育学校 | 12/7 | 芸能（糸あやつり） | 公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座 | 153 |
| 大田区立高畑小学校 | 12/19 | 能楽（狂言） | 公益社団法人能楽協会 | 92 |
| 東京都立中央ろう学校 | 1/17 | 雅楽 | 一般社団法人伶楽舎 | 47 |
| 世田谷区立池尻小学校 | 1/24 | 伝統工芸（江戸木版画） | 株式会社高橋工房 | 58 |
| 中野区立桃園小学校 | 1/24 | 箏 | 公益社団法人日本三曲協会 | 67 |
| 国分寺市立第一小学校 | 2/2 | 伝統工芸（江戸小紋） | 東京都染色工業協同組合 | 62 |
| 東京都立葛飾ろう学校 | 2/3 | 日本舞踊 | 公益社団法人日本舞踊協会 | 56 |
| 町田市立鶴川第三小学校 | 2/18 | 演芸（落語） | 公益社団法人落語芸術協会 | 91 |
| 東京都立八王子東特別支援学校 | 2/21 | 日本舞踊 | 公益社団法人日本舞踊協会 | 50 |

【参加者の声】

- ・最近ではJ-POPばかりしか聞いてなかったけれど、雅楽も好きになった。この伝統は100年、1000年後にもなくてはならないと思う。（中学生）

- ・この授業で日本の伝統芸能の一つ、茶道のことについて深く知れたとともに、日本人の謙虚さについて理解が深まった。(高校生)
- ・初めて手描き友禅をやって、とてもきれいにできました。最初は少し慣れなかったけど、やっていくうちに慣れてきて楽しくできたので良かったです。また手描き友禅をやりたいです。(中学生)
- ・調べるだけでは分からなかった、人形の仕組みや歴史、結城座の変化を知ることができ、また人形を操るという貴重な体験をさせていただくことができたので楽しかったです。(中学生)
- ・三味線を使い、さくらを弾いたり伝統芸能の大切さを知りました。とてもよく三味線を使うことができたと思います。(中学生)
- ・最初は興味がなかったが、日本人としてこの文化を生かさなければと思い改めました。
- ・今まで「落語は難しく、年配の方が見るようなもの」というイメージだったのですが、わかりやすく面白い話で、私たちのような中学生でも楽しめることがわかりました。(中学生)
- ・一つひとつの動きにも深い意味があって、昔からある伝統を繋いでいるということに驚きました。みなさんが踊っている様子を見て、すごく息がぴったりで、きれいな動きですごいいいと思いました。

25

パフォーマンススキッズ・トーキョー

【事業概要】

| | |
|-------|--|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）6月17日（金）～平成29年（2017年）3月20日（月・祝） |
| 会場 | ホール5か所（三鷹市公会堂、ひの煉瓦ホール、くにたち市民芸術小ホール、狛江エコルマホール、東大和市民会館ハミングホール）、公立小中学校14校、児童養護施設3か所 |
| 主催 | アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、特定非営利活動法人芸術家と子どもたち、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団（三鷹市公会堂開催のみ）、日野市市民会館文化事業協会（ひの煉瓦ホール開催のみ）、公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団（くにたち市民芸術小ホール開催のみ） |
| 共催 | 一般財団法人狛江市文化振興事業団（狛江エコルマホール開催のみ）、東大和市民会館ハミングホール指定管理者（東大和市民会館ハミングホール開催のみ） |
| 助成・協力 | 東京都 |
| 後援 | 三鷹市教育委員会（三鷹市公会堂開催のみ）、日野市教育委員会（ひの煉瓦ホール開催のみ） |
| 参加費 | 無料（参加、公演観覧） |
| 参加者数 | 796人 |
| 観賞者数 | 6,588人 |

【事業趣旨（目的）】

子供たちの創造性・自主性・コミュニケーション能力の向上、身体を使ったプレゼンテーション能力の向上と地域住民への成果発表、プロのアーティストとの触れ合い・キャリア教育を目的とし、また、ホールを拠点にした地域活性化、本事業をより多くの可能性を持って必要とする子供たちへのアプローチを行う。

【開催状況】

ダンスや演劇、音楽などの分野で活動するプロの現代アーティストを、都内の小中学校やホール・文化施設、児童養護施設に派遣。10日間程度のワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品をつくりあげる。最後に発表公演を行い、地域や教育・文化各方面の多くの人たちにワークショップの成果を発信する。平成28年度は、5ホール、14小中学校（特別支援学級、島しょ部含む）、3児童養護施設にて開催した。

広報活動の一環として、学校向け事業に関する広報用パンフレットを都内全公立小中学校・特別支援学校1,967校ほか、各教育委員会等へ広く配布した。

平成28年度 パフォーマンススキッズ・トーキョー 実施一覧

《学校》

| 公演日 | 学校名 | アーティスト | 対象 | 参加者(人) | 実施日数 | 授業時数 | 公演タイトル(発表の機会) | 観覧者(人) |
|----------|------------|------------------------------------|-------------------|--------|------|------------|---|--------|
| 3/11 | 世田谷区立芦花小学校 | 村本すみれ (振付家・演出家・ダンサー) | 小学6年生 | 102 | 7 | 18 (12) | 「ROKA MUCHU」 (卒業を祝う会) | 120 |
| 10/31 | 北区立赤羽台西小学校 | 青木尚哉 (振付家・ダンサー) | 小学6年生 | 46 | 9 | 18 | 「ぼくらの明日レシビ」 (全校集会) | 300 |
| 7/9、10/2 | 練馬区立旭丘小学校 | 青木尚哉 (振付家・ダンサー) | 小学5・6年生 | 51 | 10 | 20 | 「AGS Let's O△□ de ダンス」 (学校公開日) ※運動会でも再構成して発表。 | 370 |
| 11/25、26 | 足立区立扇小学校 | 田上豊 (劇作家・演出家・田上バル主宰) | 小学4年生 | 50 | 11 | 26 (22) | 「こわれた千の楽器」 (学芸会) | 500 |
| 2/28、3/2 | 八王子市立愛宕小学校 | 田畑真希 (振付家・ダンサー) | 小学6年生 | 63 | 10 | 20 | 「エンドロール」 (卒業を祝う会) | 120 |
| 11/18、19 | 府中市立住吉小学校 | 長井江里奈 (ダンサー・演出家・山猫団主宰) | 小学5年生 | 104 | 11 | 24 (22) | 「流星」 (学芸会) | 1,700 |
| 2/11 | 国分寺市立第二小学校 | 伊藤千枝 (振付家・演出家・ダンサー・珍しいキノコ舞踊団主宰) | 特別支援学級 小学1～6年生 | 27 | 10 | 19 (15) | 「チームわかばの大冒険」 (学習発表会) | 400 |
| 10/22 | 東大和市立第六小学校 | 田畑真希 (振付家・ダンサー) | 小学4年生 | 55 | 8 | 15 (12) | 「レッツ・パーティー☆だんすの森」 (学校公開日) | 60 |

子供向け参加・体験型プログラム

| 公演日 | 学校名 | アーティスト | 対象 | 参加者(人) | 実施日数 | 授業時数 | 公演タイトル(発表の機会) | 観覧者(人) |
|-------|------------|--------------------------------|-------------------|--------|------|------|---|--------|
| 2/23 | 羽村市立羽村西小学校 | 深井順子 (俳優・FUKAIPRODUCE 羽衣主宰) | 特別支援学級 小学1～6年生 | 13 | 9 | 19 | 「くすくすのき妙〜ジカル」 (保護者参観) | 30 |
| 10/22 | 江東区立南砂中学校 | 入手杏奈 (振付家・ダンサー) | 中学1年生 | 50 | 10 | 18 | 「CEREMONY」 (文化祭) | 130 |
| 12/16 | 目黒区立大島中学校 | 新井英夫 (体奏家・ダンスアーティスト) | 特別支援学級 中学1～3年生 | 18 | 11 | 23 | 「fOR teENs ふおーていーんず ~10代のココロとカラダのパフォーマンス」(全体集会) | 440 |
| 10/28 | 多摩市立青陵中学校 | 棚川寛子 (舞台音楽家) | 特別支援学級 中学1～3年生 | 16 | 10 | 19 | 「時を感じて・パフォーマンス」 (合唱コンクール) | 550 |
| 11/5 | 利島村立利島小中学校 | 加藤紗希 (振付家・ダンサー・ビルヂング代表) | 小学1～6年生 | 28 | 12 | 22 | 「たろうとつばき」 (学芸会) | 300 |
| 2/5 | 八丈町立大賀郷小学校 | 北尾巨 (振付家・ダンサー) | 小学6年生 | 19 | 12 | 22 | 「中学生免許」 (学芸会) | 317 |
| 合計 | | | | 642 | 140 | | | 5,337 |

*実施日数および授業時数には発表を含む。

* () 内の授業時数は1クラスあたりに換算した時間数。

《ホール》

| 公演日 | 会場名 | アーティスト | 対象 | 参加人数 | 実施日数 | 公演タイトル | 観覧者(人) |
|------|---------------------|-------------------------|---------|------|------|---|--------|
| 2/26 | 三鷹市 三鷹市公会堂 | 平原慎太郎 (振付家・ダンサー) | 小学3～6年生 | 33 | 9 | 「ザ・スダッティングタイムス」 | 254 |
| 3/20 | 日野市 ひの煉瓦ホール | かえるP (ダンスユニット) | 小学3～6年生 | 17 | 9 | 「かえると一緒に宇宙にとびだせ!」 | 139 |
| 7/31 | 国立市 くになち市民芸術小ホール | 村本すみれ (振付家・演出家・ダンサー) | 小学2～6年生 | 27 | 8 | 「今ここなぞる、こどもの世界」 | 187 |
| 8/21 | 狛江市 狛江エコルマホール | 小野寺修二 (演出家・俳優) | 小学2～6年生 | 37 | 8 | 「ピノッキオ」 | 475 |
| 8/6 | 東大和市 東大和市民会館ハミングホール | SUNDRUM (パフォーマンス集団) | 小学3～6年生 | 10 | 7 | 「たいごたたいて うたっておどろろ! 真夏の大サンシャイン音頭ウ☆ヤホホイ!!!」 | 76 |
| 合計 | | | | 124 | 41 | | 1,131 |

*実施日数には発表を含む。

《児童養護施設》

| 公演日 | 会場名 | アーティスト | 対象 | 参加人数 | 実施日数 | 公演タイトル | 観覧者(人) |
|-------|---------------|-------------------------|-----------|------|------|---|--------|
| 3/5 | 北区 星美ホーム | 新井英夫 (体奏家・ダンスアーティスト) | 年中～小学2年生 | 10 | 9 | 「あらしのよるの なんでもふしぎな いろんな たくさん だいはっけん! ~おんがくとダンスの発表会~」 | 40 |
| 12/23 | 板橋区 マハヤナ学園撫子園 | 入手杏奈 (振付家・ダンサー) | 小学3～中学3年生 | 11 | 9 | 「LIFE」 | 60 |
| 3/18 | 調布市 調布学園 | 田畑真希 (振付家・ダンサー) | 小学2～5年生 | 9 | 8 | 「みんなでびっくりダンスパーティー」 | 20 |
| 合計 | | | | 20 | 17 | | 80 |

*実施日数には発表を含む。

【参加者の声】

●ホール

・保護者（狛江エコルマホール／狛江市）

始めは、着いてすぐ「帰りたい」と言っていました。初日が終わり、「ママ、楽しかった〜」としみじみ言いました。翌日が楽しみで、「ワクワクして眠れない」と目を輝かせて伝えてくれました。ママには内緒と言って、何も話してくれませんでした。彼が素敵な大人と仲間たちに良い刺激をいただいていることが良く分かります。

・子供（東大和市民会館ハミングホール／東大和市）

スポットライトを浴びて、歌って踊っていると緊張が吹き飛び、とても楽しく気持ち良かったです。協力すると成功したので良かったです。家族も踊りに参加してくれたので、うれしいです。とにかく今日は最高な日でした。ありがとうございました。またやりたいです!!

・観客（ひの煉瓦ホール／日野市）

身体で表現することの難しさや、感情が伝わってきて面白かった。普段知ることのない世界を知れて良かった。

●学校

・先生（第二小学校／国分寺市）

毎回のワークショップが終ると、子供たちがしっとりした感じで満足しているのが分かりました。一人ひとりの個性を大切にしていくことが、一人ひとりの満足感につながった。卒に個をはめこんでいく過程で集中してやり切ったという満足感とは全く異なる快いものでした。

・子供（芦花小学校／世田谷区）

自分は自らダンスや、しなやかな動きをする機会はなかったもので、人生の中で今までにないような体験をできて良かったと思います。耳と目と身体などで自分のいろいろな場所を同時に使うことで活性化されるし、中学へ向けても身体を動かすことの大事さを知れて良かったです。

・保護者（赤羽台西小学校／北区）

自分の気持ちを表現する方法として思い浮かぶのは、言葉、絵、音楽…。パフォーマンスキッズ・トーキョーを通して子供たちは、自分の身体全体で表現できること、その喜びと難しさを学べたのではないかと感じました。気持ちを上手く伝えられないために起こるトラブルや苦しさは、大人になるにつれてより複雑になり、解決が困難になってきます。表現する方法を一つでも多く持つことが、豊かな人生に繋がると思います。このような学びの機会を得られたことは、子供たちの将来にとっても大きな財産になったのではないのでしょうか。

●島しょ

・先生（大賀郷小学校／八丈町）

偶数年の学年がお芝居をすることになっており、2年前の学芸会ではいろいろなことがあり、良い結果を残すことができなかった。今の6年生にお芝居の楽しさ、言葉だけでなく身体を使って様々な思いを伝えることができることなど学ぶことは多かった。子供に対しても、きちんと向き合ってくれて、プロの稽古と同じ真剣な態度で最後までお芝居をレベルアップしてくれたことにとても感銘を受けた。

・子供（利島村立利島小学校／利島村）

どうすれば、格好良く踊れるか、考えたり、練習するのが楽しかった。

・保護者（利島村立利島小学校／利島村）

自分の子供が踊る事や演技する事もとても積極的な様子を見て、知らない一面を知り、驚いた。

●児童養護施設

・子供（マハヤナ学園撫子園／板橋区）

ダンスを教えてくれてありがとうございます。またダンスをやりたいです。

・職員（調布学園／調布市）

自己表現が苦手な子へ、何かを通じて力を引き出せる、少し興味を持たせられる可能性を感じました。

・観客（星美ホーム／北区）

音楽に合わせて良く動いていた。それぞれの特徴が何となく表されていて、その子らしい動きだなあ、ということを感じた。強いられて動いているのではなく、音に惹かれて自由に動いている、子供たちの自由な雰囲気伝わってきた。



三鷹市公会堂公演
撮影：松本和幸



くにたち市民芸術小ホール公演
撮影：泉山朗土



ひの煉瓦ホール公演
撮影：松本和幸

26

Museum Start あいうえの

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月1日～平成29年（2017年）3月31日 |
| 開催場所 | 上野公園内の9つのミュージアム |
| 主催 | 東京都、東京都美術館、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京藝術大学 |
| 共催 | 上野の森美術館、恩賜上野動物園、国立科学博物館、国立国会図書館国際子ども図書館、国立西洋美術館、東京国立博物館、東京文化会館（五十音順） |
| 参加者数 | 延べ3,587人 |

【事業趣旨（目的）】

「Museum Start あいうえの」は、ミュージアム、大学、行政、市民が手を携え、新しい学びの機会の創出を目指す、21世紀型の教育事業（ラーニング・デザイン・プロジェクト）である。さらに、アートを介してコミュニティを育む事業である東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」と連動しながら、こどもと大人がフラットに学び合える環境を創造することを目指す。

【開催状況】

美術館や博物館を舞台とした新しいコミュニケーションの回路をつくることで、様々な状況からミュージアムの利用を断念している方々を応援したい！そうした思いから、東京都美術館、東京藝術大学が推進役となり、上野公園に集まる9つの文化施設が連携する参加型連携プログラム「Museum Start あいうえの」を25年度にスタートさせた。今年度は前年度の目的を踏襲し、より発展的に上野公園の文化的魅力の編み直しを進めるとともに、児童養護施設などを対象としたインクルーシブ・プログラムにも新たに取り組んだ。

1. 【あいうえの学校（学校向けプログラム）】

①スペシャル・マンデー・コース：東京都美術館や東京藝術大学大学美術館の展覧会会場を、休室日（月曜日）に特別に開室し実施する鑑賞プログラム。

| 開催日 | 展覧会 | 参加校 | 参加者（人） |
|-------|---------------------------------------|--------------------|--------|
| 9/12 | 東京都美術館「開館90周年記念展 木々との対話 ー再生をめぐる5つの風景」 | 杉並区立天沼小学校 | 86 |
| | | 明星学園中学校 | 96 |
| 9/26 | | 文京区立大塚小学校 | 30 |
| | | 墨田区立第四吾嬬小学校 | 56 |
| | | 荒川区立尾久第六小学校 | 64 |
| 10/17 | 東京藝術大学大学美術館「驚きの明治工芸」 | 荒川区立第九峡田小学校 | 49 |
| | | 足立区立高野小学校 | 49 |
| | | 足立区立足立入谷小学校 | 44 |
| 11/14 | 東京都美術館「ゴッホとゴーガン展」 | 東京学芸大学附属小金井小学校 | 125 |
| | | 認可保育園バイオニアキッズ | 51 |
| | | 多摩市立教育センター「ゆうかり教室」 | 18 |
| 計 ※ | | | 668 |

※ 参加者のほか、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ193人がプログラムに参加

②平日開館コース：東京都美術館の平日開館日に行う鑑賞プログラム。

| 開催日 | 参加校 | 参加者（人） |
|-------|---|--------|
| 8/3 | 東京都立浅草高等学校、岩倉高等学校、東京都立荒川工業高等学校、東京都立小石川中等教育学校（台東区高校合同授業） | 30 |
| 8/30 | 葛飾区立葛飾小学校 | 26 |
| 10/14 | 芝浦工業大学付属中学高等学校 | 184 |
| 10/21 | 日本大学高等学校 | 18 |
| 12/6 | 足立区立第十中学校（なでしこ学級） | 26 |
| | 田園調布雙葉小学校 | 210 |
| 12/14 | 荒川区立第二瑞光小学校 | 56 |
| 12/15 | 品川女子学院 高等部 | 12 |
| 1/13 | 台東区立谷中小学校 | 58 |
| | 台東区立忍岡小学校 | 28 |
| 計 ※ | | 648 |

※ 参加者のほか、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ56人がプログラムに参加

③ティーチャーズ・カフェ（先生のための特別研修会）：過去の学校向けプログラムに参加した先生などを招待するプログラム。

| 開催日 | 会場 | 対象 | 参加者（人） |
|------|----------------------------|---------------------------------|--------|
| 3/27 | 東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム ほか | これまでいずれかの学校向けプログラムに参加した学校の先生 ほか | ※ 20 |

※ 参加者のほか、アート・コミュニケーター（とびラー）延べ6人がプログラムに参加

2. 【あいうえのファミリー（こどもと家族のプログラム）】

①うえの！ふしぎ発見：上野公園のミュージアムを横断的に楽しむファミリー向けプログラム。

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 参加者（人） |
|------|-----------------------|------------|--------|
| 7/24 | 国立国会図書館国際子ども図書館 | 絵本部 | 34 |
| 9/4 | 恩賜上野動物園、東京都美術館 | アニマル部 | 26 |
| 10/2 | 国立科学博物館、東京都美術館 | サイエンス&アート部 | 22 |
| 11/5 | 東京国立博物館、東京都美術館 | ゴッホ部 | 27 |
| 1/28 | 東京藝術大学、東京都美術館 | 卒展部 | 27 |
| 3/14 | 東京文化会館、国立西洋美術館、東京都美術館 | 建築部 | 21 |
| 3/28 | 上野の森美術館 | VOCA部 | 22 |
| 計 | | | ※ 179 |

※ 参加者のほか、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ98人がプログラムに参加

②あいうえの日和：上野公園の9つのミュージアムを楽しく冒険するコツを伝授するファミリー向けプログラム。

| 開催日 | 会場 | 参加者（人） |
|----------|-------------------------|--------|
| 8/20 | 東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム | 61 |
| 9/17 ※1 | 国立西洋美術館 | 13 |
| 10/1 ※1 | 国立西洋美術館 | 16 |
| 10/15 | 東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム | 92 |
| 10/15 ※1 | 国立西洋美術館 | 14 |
| 11/5 ※1 | 国立西洋美術館 | 5 |
| 11/19 ※1 | 国立西洋美術館 | 11 |
| 11/19 ※2 | 東京都美術館 講堂 | 65 |
| 11/20 ※2 | 東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム | 113 |
| 2/18 | 東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム | 77 |
| 計 | | ※3 467 |

※1 臨時開催

※2 「あいうえの特別企画」にて実施

※3 参加者のほか、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ31人がプログラムに参加

③インクルーシブ・プログラム ミュージアム・トリップ：上野公園のミュージアムを楽しむオーダーメイドのプログラム。アート・コミュニケーターや学芸員、大学の教員が参加者に寄り添い、初めてでも安心してミュージアムを楽しめる。

| 開催日 | 会場 | 参加団体・施設 ※1 | 参加者（人） |
|-------|---|----------------------------|--------|
| 7/10 | 東京都美術館（ボンビドーワー・センター傑作展） | 台湾慈濟日本東京人文学校 | 67 |
| 7/22 | 至誠学園 | 至誠学園（NPO法人JAMネットワーク） | 5 |
| 8/24 | 東京都美術館（ボンビドーワー・センター傑作展） | | 6 |
| 8/9 | 東京都美術館（開館90周年記念展 木々との対話—再生をめぐる5つの風景）、東京藝術大学 | NPO法人 キッズドア | 19 |
| 8/26 | 東京都美術館（開館90周年記念展 木々との対話—再生をめぐる5つの風景） | | 19 |
| 8/16 | 東京都美術館（開館90周年記念展 木々との対話—再生をめぐる5つの風景） | 一般社団法人 kuriya | 13 |
| 3/4 | 東京国立博物館 東洋館 | 品川景德学園 | 6 |
| 9/17 | 聖フランシスコ子供寮 | | 11 |
| 10/2 | 東京都美術館（開館90周年記念展 木々との対話—再生をめぐる5つの風景） | 聖フランシスコ子供寮（NPO法人JAMネットワーク） | 12 |
| 11/13 | 東京都美術館（ゴッホとゴーギャン展） | 品川景德学園 | 8 |
| 12/11 | 国立科学博物館、東京都美術館 | | 9 |
| 計 | | | ※2 175 |

※1 ()内は応募団体

※2 参加者のほか、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ117人がプログラムに参加

④あいうえのスペシャル：これまで「あいうえの」プログラムに参加した、子どもたちとその家族がふたたび上野の冒険を楽しむプログラム。

| 開催日 | 会場 | 対象 | 参加者（人） |
|-------|-----------------------------|--|--------|
| 8/6 | 東京都美術館 交流棟2階 アートスタディールーム | あいうえのメンバー（これまで「Museum Start あいうえの」のいずれかのプログラムに参加後、メンバー登録をした小学生～高校生とその家族） | 78 |
| 10/8 | | | 54 |
| 12/11 | | | 260 |
| 計 ※ | | | 392 |

※ 参加者のほか、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ67人がプログラムに参加

3. 【学び合いカフェ】

年間を通じたプログラムの実施に向けて、継続的に本プロジェクトの趣旨を深く理解する人材（アート・コミュニケータなど）を育成する。

| 開催日 | 対象 | 参加者（人） |
|--|-------------------|--------|
| 5/8、28、7/3、10、17、24、31、8/6、8、20、21、26、27、9/4、5、12、25、10/1、3、8、9、30、11/3、5、7、12/3、4、1/21、26、2/12、25、26、3/18 | アート・コミュニケータ（とびラー） | 470 |

【参加者の声】

- ・子どもが楽しめる内容が充実していて、とても良い企画だと思います。またぜひ参加したいと思います。（うえの！ふしぎ発見／アニマル部）
- ・見に行くだけではなく、記録に残すことや事前の準備をすることで、よりいっそう楽しむことが出来るということが印象的でした。（あいうえの日和）
- ・美術館での鑑賞では子どもたち思い思いの作品選びや思い出づくりなど、ただ絵や作品を見るだけではない楽しみや発見ができることを体験できました。「個性」や「感性」を大切にする働きかけについて多くのことを学ばせていただきました。（ミュージアム・トリップ）



27

TACT/FESTIVAL 2016

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催日 | 平成28年（2016年）5月5日（木・祝）～8日（日） |
| 会場 | 東京芸術劇場 |
| 主催 | 東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団） 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） |
| 後援 | 豊島区 |
| 入場者数 | 4,263人 |

【事業趣旨（目的）】

子供の感受性を育み、コミュニケーション能力を向上させることを目的として、海外から一流の劇団を招聘し、親子で楽しむことのできる上質な舞台公演やパフォーマンスを上演する。

【開催状況】

| 公演日（回数） | 会場 | 公演名・事業名 | 料金（円） | 入場者・参加者（人） | |
|----------|-----------------|----------------------------------|---|------------|-------|
| 5/5～8（4） | 東京芸術劇場 シアターイースト | ソラス・デ・ヴェント『空飛ぶ男たち』 | 大人：2,000 子ども（高校生以下）：1,000 | 849 | |
| 5/5～8（4） | 東京芸術劇場 シアターウエスト | カンパニー・レ・ギューム『ストイック』 | 2演目セット券 大人：3,500 子ども（高校生以下）：1,500 | 654 | |
| 5/5～8（4） | 東京芸術劇場 シアターウエスト | カンパニー・ドゥツシュドゥツス『Linea—ダンシングロープ!』 | 3演目セット券 大人：4,800 子ども（高校生以下）：1,800 | 567 | |
| 5/5、6（2） | 東京芸術劇場 ロワー広場 | 劇団コープス『ひつじ』 | 無料 | 1,190 | |
| 5/7、8（2） | | 劇団コープス『キャンプしましょう！おひめさま』 | | | |
| 5/5～8 | 東京芸術劇場 アトリエウエスト | 木づかいの国とっとり「木育広場」 | 無料 | 1,003 | |
| | | | | 計 | 4,263 |

【参加者の声】

- 『空飛ぶ男たち』
 - ・ 子供も楽しめる公演でありながら、質が高く空間の使い方や表現、身体の使い方が素晴らしかった。
- 『ストイック』
 - ・ 体の位置、バランス、足場など非常に大変だなあと感じました。身体的に訓練されてるなあと感じました。
- 『Linea—ダンシングロープ!』
 - ・ チケット料金の設定が大変ありがたい。定期的に行ってほしいです。刺激的な一日でした。ありがとうございました。
- 3公演を通して
 - ・ 今日は『空飛ぶ男たち』『リネア』『ストイック』と3演目見ましたが、いずれもオリジナリティに富んでいて楽しめました。演目の組み合わせも良いと思います。アクロバット、クラウンング、ジトジャグリングとちゃんとバランスを考えた良いプログラムでした。
 - ・ 3公演見たが全部良かった。似た内容が無くて一日満足。今回の団体をまた観たいが、知らない団体をもっと観たくなった。来年が楽しみ。

28 外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム

【事業概要】

開催期間 平成28年（2016年）4月8日（土）～平成29年（2017年）3月25日（日）
 会場 東京都江戸東京博物館、浅草文化観光センター ほか
 主催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
 助成・協力 東京都
 共催 台東区（日本舞踊プログラム、長唄三味線プログラム、囲碁プログラムのみ）
 鑑賞・体験人数 延べ35,515人

【事業趣旨（目的）】

東京が誇る日本の伝統文化を国内外に広く発信するため、外国人が伝統文化を理解できるよう、観光拠点等において短時間で体験できるプログラムを実施。

【開催状況】

| 開催日 | 会場 | プログラム名 | 内容 | 実施団体（協力） | 料金（円） | 鑑賞者（人）※ |
|--|-------------------------|-------------|------------------------|--------------------------|-------|-----------------|
| 4/9～3/25 毎週土曜日 計50日 ※12/31は除く | 東京都江戸東京博物館 | 演芸プログラム | 演芸（曲芸・紙切り・和妻）の体験及び実演鑑賞 | 公益社団法人落語芸術協会 | 無料 | 27,807 [17,587] |
| 4/10～3/26 毎週日曜日 計42日 ※5/15、7/31、9/18、12/11、1/1、8、2/12、26、3/12は除く | 浅草文化観光センター | 日本舞踊プログラム | 日本舞踊の体験及び「藤娘」実演の鑑賞 | 公益社団法人日本舞踊協会（東京支部城東ブロック） | | 4,402 [2,462] |
| 12/10、11、1/7、8、2/11、12、3/11、12 | | 長唄三味線プログラム | 三味線演奏の体験及び長唄メドレー実演の鑑賞 | 一般社団法人長唄協会 | | 1,004 [505] |
| 8/20 | MOSHI MOSHI BOX 原宿観光案内所 | 江戸手描提灯プログラム | 江戸手描提灯文字入れ体験 | 東京提灯業組合 | 500 | 30 [30] |
| 8/21 | 2F MOSHI MOSHI GALLERY | 江戸簾プログラム | 江戸簾コースター作成体験 | 東京簾工業協同組合 | | 26 [26] |
| 8/28 | 浅草文化観光センター | 囲碁プログラム | 囲碁の歴史、ルール説明及び体験 | 公益財団法人日本棋院 | 無料 | 125 [125] |
| 10/7 | 福徳の森内特設ステージ | 演芸プログラム | 演芸（曲芸・和妻）の体験及び実演鑑賞 | 公益社団法人落語芸術協会 | 無料 | 520 [92] |
| | 橋楽亭（コレド室町3/3F） | 着物着付けプログラム | 着物を着て日本橋の街を散策 | 一般財団法人民族衣裳文化普及協会 | | 50 [50] |
| 10/15、16 | 浜離宮恩賜庭園 | 華道プログラム | 講師の見本を基に華道を体験 | 東京都華道茶道連盟 | 無料 | 120 [120] |
| | | 東京くみひもプログラム | 東京くみひもの実演、説明及び体験 | 東京くみひも協会 | 500 | 78 [78] |
| | | 着物着付けプログラム | 着物を着て浜離宮恩賜庭園を散策 | 一般財団法人民族衣裳文化普及協会 | 無料 | 193 [193] |
| 11/3 | 薬師寺東京別院 | 香道プログラム | 香道の歴史、組香の説明及び体験 | 志野流香道松隠軒 | 無料 | 45 [45] |
| 2/12 | 歌舞伎座ギャラリー | 歌舞伎プログラム | 歌舞伎の解説及び見得やセリフ、着付けの体験 | 松竹株式会社 | 無料 | 141 [141] |
| 2/13 | 羽田空港国際線旅客ターミナル | 獅子舞・曲芸プログラム | 演芸（獅子舞・曲芸/和妻）の体験及び実演鑑賞 | 公益社団法人落語芸術協会 | 無料 | 230 [29] |
| | | 和妻プログラム | | | | 182 [47] |
| 2/25 | 丸ビル1Fマルキューブ | 書道プログラム | 書道体験及び書道・三味線パフォーマンス鑑賞 | 一般財団法人毎日書道会 | 無料 | 192 [52] |
| | | 獅子舞プログラム | 獅子舞の体験及び実演鑑賞 | 公益社団法人落語芸術協会 | | 297 [64] |
| 3/11 | MOSHI MOSHI BOX 原宿観光案内所 | 東京染小紋プログラム | 型染めの体験 | 東京都染色工業協同組合 | 500 | 34 [34] |
| 3/12 | 2F MOSHI MOSHI GALLERY | 江戸風鈴プログラム | 風鈴の絵付け体験 | | | 39 [39] |
| 計 | | | | | | 35,515 [21,719] |

※ [] 内は体験者数

【参加者の声】

●日本舞踊プログラム

- ・日本舞踊を習い日本文化に触れることができ、想像以上に良かったです。地元に戻ったら日本の素晴らしさを宣伝します。(20代・女性)
- ・この素晴らしい体験ができて感激しています。日本舞踊を教えてくれたり、着物を貸してくれる寛大さに感謝します。日本舞踊について学べてとても楽しかったです。(60代・女性)

●長唄三味線プログラム

- ・面白くて楽しい、素晴らしいプログラムでした。三味線についてもっと知りたくなりました。(20代未満・女性)
- ・このイベントは、日本の伝統的な音楽を理解するのにとても役立ったし面白かった。(40代・女性)

●囲碁プログラム

- ・とてもためになった。プロ棋士と会えて良かった。良い翻訳だった。(20代・女性)
- ・とても素晴らしいイベントだった。短い時間だったけど、中身が濃かった。(30代)

●歌舞伎プログラム

- ・実演はとても素晴らしくて、描写に優れてると思いました。(20代・女性)
- ・歌舞伎の演者はとても魅力がありますね。衣裳についてのお話はとても勉強になりました。(30代・女性)

●江戸風鈴プログラム

- ・とても面白くて、それでいて日本の伝統文化をより理解することができるイベントでした。もっと様々なイベントに参加したいです。(20代・女性)
- ・日本の芸術や工芸を理解するための、とても良い機会だと思いました (20代・女性)



華道 浜離宮恩賜庭園



江戸風鈴
MOSHI MOSHI GALLERY 原宿観光案内所2F



長唄三味線 浅草文化観光センター



曲芸 東京都江戸東京博物館

29 外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム

【事業概要】

| | |
|-------|--|
| 開催日 | 平成29年（2017年）3月4日（土）、24日（金）・25日（土） |
| 会場 | 日本橋劇場（中央区立日本橋公会堂）、東京都庭園美術館 庭園（屋外） |
| 主催 | アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） |
| 共催 | 東京都庭園美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）【「芝能 ～日本の雅、東京から世界へ～」のみ】 |
| 助成・協力 | 東京都 |
| 参加者人数 | 延べ886人 |

【事業趣旨（目的）】

東京が誇る日本の伝統文化・芸能を国内外に広く発信するため、外国人に向けて日本の伝統芸能をわかりやすく鑑賞できる公演を行う。公演の内容や伝統芸能の理解をより深めることができるように、実際に楽器や道具に触れる等の工夫を凝らした体験をセットで実施。

【開催状況】

| 開催日 | 会場 | 公演名 | 曲目・演目等 | 出演者 | 体験内容 | 制作団体 | 料金（円） | 参加者（人） |
|---------|-----------------------|---|---|--|----------------------------------|------------------|------------------------------|----------------------|
| 3/4 | 日本橋劇場 （中央区立日本橋公会堂） | Let's All Enjoy the World of Nihon Buyo - The Japan - みんなで楽しむ日本舞踊の世界～The 日本～ | 長唄「二人桝久」、「三味線あれこれ!」、義太夫「釣女」 | 西川扇与一、藤間恵都子、水木佑歌、藤間達也、花柳若ほか、寿太郎、柳里次朗 | 三味線、囃子、箏、かつら、衣裳、小道具ほか | アナザー・カンパニー | 一般：1,000 学生：500 | 347 |
| 3/24、25 | 東京都庭園美術館 庭園 （屋外） | Noh theater in the garden - Spreading Japanese elegance from Tokyo to the world - 芝能 ～日本の雅、東京から世界へ～ | 3/24 能「八島」、居囃子「田村」 3/25 能「鞍馬天狗」、仕舞「小塩」 | 3/24 香川靖嗣、宝生欣哉、野村萬斎ほか 3/25 友枝昭世、友枝雄人、大日方寛ほか | 3/24 能面・装束体験 3/25 能楽に使われる楽器演奏 | 公益財団法人十四世六平太記念財団 | 全席指定 一般：3,000 学生：1,500 | 3/24 269 3/25 270 |
| 計 | | | | | | | | 886 |

【参加者の声】

- みんなで楽しむ日本舞踊の世界～The 日本～
 - ・初めてでも楽しむことができ、素晴らしかった。解説も分かりやすかった。また参加したい。（40代・女性）
 - ・長唄も義太夫もとても面白かったです。是非また来たいと思いました。（20代未満・男性）
 - ・体験が良かった。内容が盛りだくさん。（40代・女性）
 - ・内容がとても素晴らしい。素人にも分かりやすく、日本の伝統文化・芸能に触れるこのような企画がもっと数多くあると良いと思います。（60代・女性）
 - ・外国人に対しては日本の紹介、日本人に対しては日本の伝統の再認識になると思います。（60代・女性）
- 芝能 ～日本の雅、東京から世界へ～
 - ・初めに解説があったので、後から観た能がよく分かった。面白かった。（30代・女性）
 - ・舞台と庭園の松の木が調和していることがとても印象的でした。最初から最後のクライマックスまで舞台の世界に引き込まれ、非常に素晴らしい時間でした。（40代・男性）
 - ・楽器体験をさせていただき楽しかったです。お天気にも恵まれて清々しい気分です。後ろの松が荘厳で神様も喜んででしょう。楽器の音、リズム、全て新鮮でした。室内ばかりでなく、屋外で能楽を五感で楽しみたいです。ありがとうございました！（50代・女性）

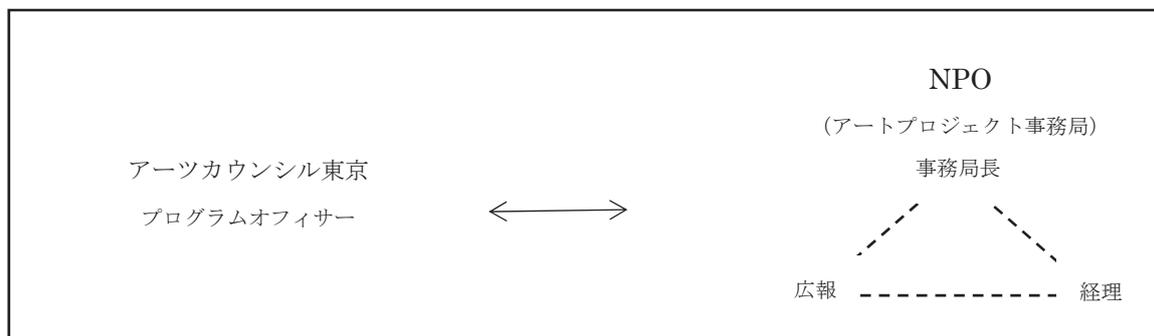
東京アートポイント計画 東京における文化創造拠点の形成

東京アートポイント計画は、地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す事業です。

日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクト。東京アートポイント計画では、平成21年度から現在（平成29年3月）までに、NPOを中心に43団体と34件のプロジェクトを共催してきました。本事業で目指すのは、日常や社会に芸術文化が根付き、長期的な東京の魅力創造につながっていくこと。そのために、アートプロジェクトを担う人材の育成や活動基盤の整備も重視しています。

東京アートポイント計画の各アートプロジェクトは、東京都およびアーツカウンシル東京とNPOとの「共催事業」として実施しています。東京アートポイント計画のプログラムオフィサーが各プロジェクトに伴走し、情報、スキル、ネットワーク等をNPOに提供する点が特徴です。

各アートプロジェクトの体制イメージ



【発行物】

東京アートポイント計画が、アートプロジェクトを運営する「事務局」と話すときのことは。
の本<増補版>

30

TERATOTERA

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | 杉並区、武蔵野・多摩エリア |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、一般社団法人Ongoing |
| 後援 | 三鷹市、武蔵野市[TERATOTERA祭り2016 Involve - 価値観の異なる他者と生きる術 -] |
| 協力 | 株式会社ビデオインフォメーションセンター[アートプロジェクトの0123]、株式会社リライト[TERATOTERA SOUND FES. - ヒガコ、高架下の夕立ち -]、flower cafe コリウス武蔵境[トークイベント 暮らすアート]、喫茶上床、グランキオスク、永谷商事、東海大学松前柔道塾、株式会社まちづくり三鷹、武蔵野タワーズ団地管理組合、UR都市機構[TERATOTERA祭り2016 Involve - 価値観の異なる他者と生きる術 -] |
| 入場者数 | 5,828人 |

【事業趣旨（目的）】

古くから多くの芸術家や作家が居住し、近年は若者の住んでみたいまちとしても不動の人気を誇るJR中央線高円寺駅～国分寺駅区間を中心とする杉並、武蔵野、多摩地域に点在しているアートスポットをつなぎながら、現在進行形のアートを発信するための様々なプログラムを展開。

【開催状況】

(1) TERATOTERA SOUND FES. - ヒガコ、高架下の夕立ち -

東小金井駅の高架下にある「コミュニティステーション東小金井」で個性的なアーティスト5組が演奏や音を使用したパフォーマンスを行った。声で、楽器で、そして身体全体から発する音で、観客を魅了した。

開催日 8月20日（土）・21日（日）

会場 コミュニティステーション東小金井

出演 Aokid、センチメンタル岡田、ラッキーオールドサン、川村美紀子×HIKO、宇治野宗輝

入場者数 96人

(2) トークイベント 暮らすアート

暮らしの中にあるアートや表現について語り合う「暮らすアート」を開催。ホームレス生活を行いながら表現活動を行うアーティストいちむらみさこ、障害者支援を行う社会福祉法人が運営する「みずのき美術館」を拠点に様々な活動を行うキュレーター奥山理子、アーティストの作品をワンピースとタイツに落とし込むブランドを展開するデザイナー米田年範の3人をゲストに迎え、分野の垣根を超えて人々の生活におけるアートについてそれぞれの観点から議論を展開した。

開催日 8月26日（金）

会場 flower cafe コリウス武蔵境

ゲスト いちむらみさこ（アーティスト）、奥山理子（みずのき美術館キュレーター）、米田年範（ワンピースとタイツデザイナー）

料金 500円

入場者数 19人

(3) 西荻映像祭2016 —あなたとわたしの間のこと—

新進気鋭のアーティスト3組が、西荻窪駅周辺の店舗を舞台に作品をつくり、各店舗で3日間限りの上映会を開催。今回は「あなたとわたしの間のこと」をテーマに、個人の空想、人と人との間に生まれる感情や関わり、そして社会の中の個人など、わたしたちを取り巻く関係性を探った。

開催日 9月9日（金）～11日（日）

会場 ビリヤード山崎、旅の本屋のまど、フジクリーニング

アーティスト 林千歩、秋山由希、キュンチョメ

入場者数 392人

(4) TERATOTERA祭り2016 Involve - 価値観の異なる他者と生きる術 -

「TERATOTERA 祭り」は、まちなかでのアート展をはじめ、音楽ライブやパフォーマンスなどを盛り込んだ大規模展覧会。10月8日～10日の3日間、三鷹駅周辺の空き店舗など10か所を舞台に開催した。今年度は「involve」をテーマとし、現代美術の分野で活躍するアーティストたちが、来場者参加型の新作を発表。「楽しかった」だけでは終わらない、TERATOTERAならではの作品体験をつくり出した。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | 参加アーティスト | 参加者 (人) |
|---------|-------------|--|---|--|---------|
| 10/8～10 | Art | 三鷹駅周辺の空き店舗、駅周辺広場、喫茶店など10か所に、気鋭のアーティスト10人の作品が出現。作家たちは「観客を何らかの形で巻き込む」展示を目指した。観客は会場をめぐるたびに、それぞれの作家が提示する様々な価値観に巻き込まれ、非日常の体験につながる3日間となった。 | 三鷹駅北口交番横、三鷹第一アパート、レストラン喫茶 上床、玉川上水緑道、三協ビル3階、三鷹中央ビル1・2階、三鷹駅南口 テッキ広場 | 浅井裕介、うらあやか、遠藤一郎、利部志穂、河口遙、田中義樹、永畑智大、橋本聡、東野哲史、ハンバーグ隊 | 4,934 |
| 10/8 | Live | 窓から暖かい日差しが差し込む柔道場で、渋谷系クラブミュージシャンが登場し、非日常の空間をつくりだした。 | 東海大学望星学塾松前柔道場 | 渋谷サイファー、蜻蛉-TONBO、BATIC | 15 |
| 10/10 | Performance | TERATOTERA祭り最終日の夕刻、三鷹駅北口にあるタワーマンション前の広場で、屋外パフォーマンスを行った。黒いスーツに白塗りの身体をつつんだ姿で、哀愁漂うシャンソンをバックに展開する濃密なダンスは人々を魅了した。 | 武蔵野タワーズ スカイゲートタワー前広場 | 阿目虎南 (大駱駝艦) | 52 |
| 10/10 | Talk | 文化人類学者の上田紀行をゲストに招き、参加アーティスト4人と小川希ディレクターとともに、TERATOTERA祭りの締めくくりとしてトークイベントを開催した。他者との関わりや、アートの可能性に焦点をあて、議論を展開した。 | 三鷹北口共同ビル2階 | 利部志穂、河口遙、田中義樹、橋本聡 ゲスト：上田紀行 (文化人類学者) | 23 |

(3) TERATOSEA (テラトセア)

東南アジア諸国で活躍する注目の若手アーティストを招聘し、滞在および制作、作品発表までをサポートする国際アートプロジェクト「TERATOSEA」。第一弾はタイのアーティスト、ターウィーパツ・プレーヌーンが、日本とタイの歴史を題材とした作品を発表する展示「Brackish Tomorrow」を開催。最終日にはタイの政治情勢を専門とする浅見靖仁を招き、トークイベントを開催した。

アーティスト滞在期間：12月13日 (火)～2月20日 (月)

| 開催日 | プログラム名 | 会場 | 入場料 (円) | アーティスト | 参加者 (人) |
|-------|---------|--------------------|---------|--|---------|
| 2/1～5 | 展示 | Art Center Ongoing | 400 | ターウィーパツ・プレーヌーン | 189 |
| 2/5 | トークイベント | | 1,000 | ターウィーパツ・プレーヌーン ゲスト：浅見靖仁 (政治学者・社会学者) | 8 |

(4) 人材育成プログラム

■TERAKKO (テラッコ) 屋

TERATOTERAの活動を推進する人材を1年間かけて育成するプログラム。平成28年5月に新たなボランティアスタッフ「TERAKKO」を募集。『TERAKKO屋』では、開催するプロジェクトに向け、進捗状況の確認を行った。また、毎回各プロジェクトへの参加アーティストの作品紹介や講座を設け、現場以外の知識も身につけることを目指した。TERAKKOは、記録、広報、SOUND FES.、西荻レヂデンス、それぞれチームに分かれ、各イベントにおける企画から実施までを実践した。

開催回数 9回

新規参加者 18人

コアメンバー 18人

■(座学編/実践編)「アートプロジェクトの0123 (オイッチニーサン)」

アートプロジェクトを学ぶ講座「0123」は多種多様なゲストが授業を行うゼミ型の連続講座。美術史を学ぶところからアートプロジェクトの現場の話、アーティストからの赤裸々なトークや美術評論の書き方まで、濃密な内容を学ぶ場となった。

開催期間 7月8日～3月3日 全17回
会場 吉祥寺 グランキオスク
講師 小川希 (TERATOTERAディレクター)
ゲスト 遠藤一郎 (未来美術家)、小鷹拓郎 (アーティスト)、松本哉 (素人の乱)、福住廉 (美術評論家)、服部浩之 (インディペンデント・キュレーター)、芹沢高志 (P3 art and environment 統括ディレクター)、佐脇三乃里 (認定NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター アシスタントディレクター)
受講料 30,000円 (学生15,000円)
受講人数 15人

■ (実践編) 「TERA English」

アート作品の説明や現場で必要となる会話など、様々なシチュエーションを想定した連続講座。初級、中級、上級とクラスを分け、生徒たちのレベルや学習目的に沿って開催。上級クラスでは、ネイティブの講師による授業と生徒たちによるプレゼンテーションをメインで行い、より実践的な英語学習を目指した。

開催期間 【初級クラス】 7月13日～3月8日 隔週水曜日 全15回
【中級クラス】 7月20日～2月15日 隔週水曜日 全15回
【上級クラス】 7月7日～3月1日 隔週木曜日 全15回
会場 アーツカウンスル東京 ROOM302
講師 弘川有希絵、本村桜アリス
受講料 50,000円
受講人数 【初級】 11人 【中級】 29人 【上級】 9人

【参加者の声】

● TERATOTERA SOUND FES.

・あの場所は風を感じながら音楽を聴くのに適した場所だと思いました。

● TERATOTERA祭り

・素っ気ない空間を豊かに演出しているのが良かった。
・駅前でマップを頂いたり、手が空いているスタッフに案内してもらったり。人生初の「三鷹」のイメージがアップしました。

● TERATOSEA

・制作背景だけでなくタイの政治情勢を知ることができた。期待以上に面白かった。トークゲストの先生との相乗効果でかなり奥深い内容でした。

【発行物】

TERATOTERA DOCUMENT 2016



TERA English



TERATOTERA SOUND FES. ラッキーオールドサン Photo: Takafumi Sakanaka



TERATOTERA祭り2016 うらあやか「ビーズのネックレスがほどけて」 Photo: Hako Hosokawa

31

小金井アートフル・アクション！

【事業概要】

| | |
|------|---|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | 小金井市 |
| 主催 | 東京都、小金井市、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、NPO法人アートフル・アクション |
| 共催 | 小金井市民交流センター指定管理者 こがねいしてい共同事業体[小金井と私 秘かな表現] |
| 助成 | 一般財団法人地域創造、平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推事業 |
| 入場者数 | 約1,203人 |

【事業趣旨（目的）】

市民がアートと出会うことから、日常生活の暮らしの中に新たな発見や自らの潜在能力に可能性を見出すことにより、心豊かな生き方を追求するきっかけをつくりだすことを目指す。すべての事業を人材育成と位置づけ、市民が主体となった事業推進の体制づくりと創造的な文化政策の提言組織としての成長に向けた事業に取り組む。

【開催状況】

(1) 学校連携事業

市内の小中学校・幼稚園や保育園で、表現に関するワークショップを実施。それぞれの活動の成果をまちなかで展示した。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | 講師、アーティスト | 参加者（人） |
|-----------------------|----------------------|--|-------------------------------------|-----------|--------|
| 1/20、23、27 2/3 | 草や布をねじる、組む、そして空間を編む | 日常の中に何気なく存在する「紐」をテーマにしたアート活動。日常生活のとらえ方やものの見方など、新たな発見をする体験をし、それが心の豊かさを追求するきっかけとなることを目指した。 | 小金井市立第四小学校 図書室、三楽公園 | 下中菜穂 | 93 |
| 2/7、9、14、 16、21、23 | 前原たてもの園をつくろう！ | 大きい生のままの扱いにくい材料をグループで用いながら、大きな空間を作ることを通じて実感のある体験ができるプログラムを実施した。身体を大胆に使う、初めての道具を使うなど、図工の授業では体験しにくい活動となった。 | 小金井市立前原小学校 図書室、校庭 | 前田幸則、瀧本広子 | 84 |
| 2/15、22 3/1、15 | 「6年生のわたし」本町小 自画像展 | いまの自分と向き合い、自分とは何か、描くことを通じて考えるプログラムを実施した。野外展示では見せることにも意識を向け、自分を表現することを考えた。児童の中で普段とは違う新たな自分と出会うきっかけとなることを目指した。 | 小金井市立本町小学校 多目的室、住宅供給公社本町アパート内の公園 | いちむらみさこ | 81 |

■小学校の先生を対象としたワークショップ

今年度の学校連携事業で行った授業を主題として、小学校の教諭、参加アーティスト、サポートした市民スタッフと振り返りのワークショップを実施した。また、専門家として西村徳行（東京学芸大学准教授）をゲストに招き、学校連携事業の可能性についての提起があり、参加者でディスカッションを行った上で、成果や課題について議論した。

開催日 2月14日（火）
会場 アートスポットシャトー小金井2F
講師 西村徳行（東京学芸大学准教授）、学校連携事業参加アーティスト
入場者数 28人

(2) 愛の園保育園 『ぼくの、わたしの、「あきのようせい」みつけた！』

保育園父母会による恒例行事「あきまつり」におけるホールイベントの一つとして実施。園児や保護者の交流の幅を広げ、「秋」をテーマにすることで、季節を感じ、楽しむ体験とした。準備の段階から園との打合せを重ね、園職員には素材のひとつである切り紙制作の協力を依頼、保護者には素材となる木の実や紙袋収集の協力を呼びかけるなど、負担の少ない形でプログラム運営に関わる工夫をした。

開催日 10月31日(月)、11月12日(土)
 会場 愛の園保育園
 出演 松村拓海、清水達生、西尾健一
 入場者数 約60人

(3) 小金井と私 秘かな表現

アーティストのアサダワタルをディレクターに迎え、日常の暮らしの中の発見や気づきを大切に、市民の表現に育む試み。8月は「小金井と私 秘かな表現 市民生活展 想起のボタン」を開催し、11月からは「小金井と私 秘かな表現 ワークショップ」を開催した。まちとまちに暮らす人々の記憶をテーマにすることで、来場者や参加者が心の奥にそっとしまっている、ささやかな、けれど大切な記憶を思い起こすような空間をつくることを目指した。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | アーティスト | 参加者(人) |
|-----------------------------|----------------------------|---|---|---|--------|
| 8/23、28 | 小金井と私 秘かな表現 市民生活展 「想起のボタン」 | 「小金井で、今はもうないけれど大切な「モノ」や「場所」についてのエピソード。」というテーマの1st button。小金井市民のインタビューがまとめられた冊子と、そのインタビューで印象に残ったモノが再現された2nd button。小金井や小金井に暮らす人々の記憶に寄り添いながら表現へと変換した3rd buttonの3部構成で行われた。 | 小金井宮地楽器ホール 地下市民ギャラリー | アサダワタル トークゲスト：松本篤 (NPO法人記録と表現とメディアのための組織 [remo])、野口由紀子 (『武蔵野から』編集長) | 約800 |
| 11/13、12/4、1/15、28、2/19、3/5 | 小金井と私 秘かな表現 ワークショップ | 日々暮らしている小金井というまちに実際に出かけ、小金井のあたらしい魅力を発見し、まちを楽しむとともに、生活の中にあふれているそれぞれの「秘かな表現」でアクションを起こすことを考えた。 | 前原暫定集会所、小金井市民交流センター、シャトー2Fギャラリー、マロンホール、上之原会館、婦人会館 | アサダワタル | 13 |

【参加者の声】

●学校連携事業

- ・少しやんちゃだったり、もしくは、自分の考えをもう常にもち大人の信頼を少し斜に構えてる女子がいた。けど、最後には「あーこれがこの子の顔なんだな」というのに出会える。それが嬉しい。(市民スタッフ)

●小金井と私 秘かな表現

- ・一つ一つの言葉の重みを感じるとともに、言葉ではない感覚的なものもけっこう好きになれるものですね。
- ・震災により実家がなくなり、過去の記憶がなくなりましたが、記憶を残すことそのとりくみに必要性を感じます。

32

としまアートステーション構想

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | 豊島区内各所 |
| 主催 | 東京都、豊島区、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、一般社団法人オノコロ |
| 協力 | 日本大学佐藤信也研究室 [アートステーション構想推進課 パフォーマンス窓口] |
| 参加者数 | 5,329人 |

【事業趣旨（目的）】

豊島区民をはじめとする多様な人々が、区内の魅力あふれる地域資源を活用し、当事者として主体的にアート活動を行うことで、その活動がさらに多くの人々の主体性を生み出す。そのような公共活動のあり方を目指し、個々人の自発的なアート活動を支援することで、地域や人々の想いをつなげるシステムづくりを目的とする事業を実施するとともに、その立ち上げや運営の活動プロセスを今後の参考資料となるよう記録する。としまアートステーションZを様々な人に開かれた交流拠点として運営する。また、豊島区内の様々な場に、アーティストやオノカラーが出向いてプロジェクトを実施することによって、その場をテンポラリーなアートステーションとする。

【開催状況】

(1) アートステーション構想推進課 パフォーマンス窓口

居間theaterが豊島区役所に仮想の「課」を設け、区役所の窓口という形式を用いたパフォーマンス「アートステーション構想推進課 パフォーマンス窓口」を実施。としまセンタースクエア内に「アートステーション構想推進課」の窓口を出現させ、「アート」「ステーション」「構想」についての説明がオノカラーや俳優によって行われた。また、窓口を通過した観客は「アートステーション構想」がどのようなものを理解した上で「エキシビション」、「デモンストレーション」、「クエスション」、「ドキュメンテーション」、「シミュレーション」という5つのパートに分けられた場へ向かい、アートステーションという概念や事例に触れた。

開催日 7月1日（金）・2日（土）

会場 豊島区役所1階としまセンタースクエア ほか庁舎内各所

出演 有澤京香、伊東歌織、イマシアター楽団、E KOMO MAI、小山衣美、学習院大学手話サークル“のぞみ”、角鍋真美、きゅつきゅ 8企画 ∞マーブルポケット∞、京極朋彦、金雀、Jamine、スマイルサカス、大正大学書道研究部、Ballet Project、福田毅 ほか

参加者数 783人

(2) としまアートステーション W パフォーマンス待合室

としまアートステーション構想の事業終了にともない、「アートステーション」とは何であったのか、どのように終わりを迎えるのかをアーティストの居間 theater とともに考え、提示したプロジェクト。としまアートステーションZを「待合室」に見立て、何かを待つ場所をつくりあげた。としまアートステーション構想の拠点であり、ゆくゆくは自分なりのアートステーションを見出していくであろう区民の準備や最初の一步を支援してきた場所であるととしまアートステーションZを、「待合室」と名付け、待つというふるまいを演出することによって、このプロジェクトは、アートステーションを生み出す際に「待つ」という姿勢が持つ意味や役割について思いを巡らせる機会をつくり出した。

開催日 12月17日（土）・18日（日）

会場 としまアートステーションZ

出演 角鍋真美とイマシアター楽団、EAT&ART TARO、福田毅、金光佑実、山崎朋

参加者数 484人

(3) オノカラープログラム

平成26年度より、としまアートステーション構想の活動に参加しながら、ゆくゆくは自発的に活動をはじめた人を「オノカラー」と名付けて募集し、アートステーションの立ち上げや運営を体験できる機会を提供している。平成

28年度は、平成27年度より継続するオノコラーと新規のオノコラーを募集し、作品制作のサポート、企画の立案と実施、拠点の運営体験を通して学ぶ機会をつくる。これによって、将来的に、アート活動を支える人、自分の興味関心を活かして地域で活動する人、活動拠点の運営を担う人が、豊島区内に増えることを目指した。

参加者数 168人

■共通プログラム

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 |
|---|------------------------------------|---|----------------|
| 5/25、28 | 説明会 | 昨年度からの継続希望のオノコラーに向けて、今年度のとしまアートステーション構想のプロジェクトについての説明や、参加アーティストの発表、オノコラー向けのプログラムについての説明を行った。 | としまアートステーション Z |
| 6/2、12、15、19、7/10、11/20 | 「としまアートステーションYのつくりかた」カードゲームワークショップ | 「としまアートステーションYのつくりかた」カードゲームを使って場や活動のつくりかたを考えるワークショップを行った。 | |
| 7/31 | レクチャー「アートの歴史ととしまアートステーション構想」 | アートがある場所の変遷と、アートと市民の関わりの変遷についての講義を行い、その文脈におけるとしまアートステーション構想の位置づけや、構想が目指すことについてのレクチャーを行った。 | |
| 7/31、8/1 | オノコラー活動紹介 | オノコラーはどんな活動をしているのか、事務局から説明を行うとともに、新規オノコラーに具体的な活動イメージを持ってもらえるように、昨年度から継続して活動しているオノコラーにインタビューを行った。 | |
| 5/25、28、8/7、9/30、10/27、11/24、1/12、2/23、3/30 | 交流会 | オノコラー、アーティスト、スタッフの親睦を深めるため、また、各プログラムの一か月間の活動の共有と翌月の活動の確認、告知のための交流会を実施した。交流会の中で、オノコラー一人ひとりの活動を紹介するポर्टフォリオとして、「オノコラーファイル」を各自作成し、「アートステーション構想推進課 パフォーマンス窓口」や「オノコラーフェス 2016」の会場に設置し、来場者が自由に閲覧できるようにした。 | |

■選択プログラム

アートマネジメントに興味がある人、アーティストと協同してプロジェクトを行いたいと思っている人に向け、アートプロジェクトの基礎知識や広報活動、当日運営についての勉強会や、自分の関わっているプロジェクトを対外的に説明するふるまいを身につける「窓口」ワークショップ、アーティストやスタッフとの企画会議など、知識や実践を交えて参加の機会をつくった。

開催期間 平成28年4月～平成29年2月 全21回

会場 としまアートステーション Z、豊島区役所

■オノコラーフェス2016

自分の好きなことや得意なことを活かして、地域資源や課題に対してアプローチしたい人、一人では始められないけれど、やってみたいことがある人や、そのような人をサポートしたい人に向け、リサーチからアイデア出し、チームやネットワークづくり、準備、実施、振り返りなど、地域の人や場と関わりながら企画をつくりあげた。

開催日 12月17日（土）・18日（日）（事前リサーチ・会議：5/28、31、6/26、9/1、8、30、10/27、11/24）

会場 くすのき荘、Planethand

参加者 539人

■としまアートステーション Z における創造活動

多様な人がともにいる場、多様な人が交わる場づくりに関心がある人に向け、としまアートステーション Z の運営、来場者との対話、活動の手伝い、活動の記録と SNS 等での情報発信など、様々な人が集い活動が生まれる場づくりを行った。運営ミーティングで、場づくりに対するアイデアを出してもらったり、事務局のサポートの下でアイデアを実践する機会をつくった。

開催日 平成28年4月～平成29年2月（オープン日数109日）

会場 としまアートステーション Z

参加者 3,271人

(5) シンポジウム「人とまちをつなぐアート／その実践と展望」

としまアートステーション構想事業を総括するシンポジウムを開催。2部構成とし、第1部では、事務局から、これまでの活動について報告した。第2部では、類似の文化事業の研究者・実践者によるパネルディスカッションを行っ

た。地域における区民の主体的な創造活動を支援する文化事業の意義と役割、可能性や限界を確認するとともに、類似する他の実践例も参照しながら、豊島区内外におけるアートステーションの展開可能性について議論した。

開催日 1月23日(月)

会場 雑司が谷地域文化創造館 第2練習室

モデレーター 熊倉純子(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授)

パネリスト 太下義之(三菱UFJリサーチ&コンサルティング、芸術・文化政策センター長)、鈴木一郎太(株式会社大と小レフ取締役)、藤浩志(美術家、秋田公立美術大学教授)

入場者数 84人

(6) としまアートステーションXのつくりかた

「としまアートステーションX」(平成27~平成28年度)の取り組みを紹介するとともに、としまアートステーション構想とは何を目指し、何を考え、何をしてきたのか、6年間の活動の総括としてまとめた一冊を発行。

発行日: 3月23日

判型: A5

頁数: 80ページ

【参加者の声】

●アートステーション構想推進課 パフォーマンス窓口

- ・窓口で説明を聞いて、エキシビションを見て、アートの幅広さを知りました。エキシビションのパスが素敵でした! ステージもどれも面白く、楽しかったです。
- ・オノコラーファイルの数々に大変興味がわいた。
- ・エキシビションが面白かったです。アートにも色々な形があると知ることができました。
- ・ふらっとこういうアート(?!、よくわからないもの)が現れると面白い。

●としまアートステーションW パフォーマンス待合室

- ・待つ時間が豊かでした。しかけられた待合室と知らず、時間をすごしているような、いないような混ざりかたが好きでした。
- ・若い人がアートを草の根で支えていることが分かった。一方で、豊島区としてどういうアート(アーティスト)を育て、支援していきたいのかを知りたくなった。

●オノコラープログラム

- ・アートの活動が多種で幅広いことに気づきました。
- ・絶対にまちですれ違っても話をしないタイプの人でもコミュニケーションがとれるのが面白かった。第一印象では怖そうと思っても、話してみるとみんな話せて、嫌な印象を持つ人がいなかった。
- ・人と人をつなげたり関わりを深くするには、それをつなぐ人の存在が大事。場所だけあってもだめ。事務局スタッフのふるまいを観察していて、自分もできるようになりたいと思った。

●シンポジウム

- ・近隣住民です。知っていましたよ。「Zよくなってきたよねー」とか「若い人たちがいろいろやっているらしいね」とかZの中に入ったことがない人たちがまが言っていましたよ。「Zが在る」ってことが近隣住民にとっても面白いことでした。終わってしまうのはザンネン。
- ・アートステーションZ・Y・Xとどれも興味深く、アートステーション構想が終わってしまうのはとても残念です。
- ・場づくり・人とつながる・色々と動いてみる・というキーワードは、これからも形を変えて表現してほしいと思います。

【発行物】

としまアートステーションXのつくりかた

33

アートアクセスあだち 音まち千住の縁

【事業概要】

| | |
|---------|---|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | 足立区千住地域 ほか |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区 |
| 協力 | カトリック梅田教会 [イミグレーション・ミュージアム・東京「フィリピンからの、ひとりひとりマキララ 一知り、会い、踊る」]、エンブレムホステル 西新井、株式会社おかだ、北千住サンロード商店街振興組合、北千住昭和会、喫茶室サンローゼ、コーヒーワークショップ シャンティ、作本洋服店、千住旭町商店街振興組合、千住東町商店会、千住いろは通り商店会、千住えびす会、千住大門商店街振興組合、千住ニコニコ商店会、千住本町商店街振興組合、大正通り商店会、日ノ出町商店街灯会、ホテル ココ・ルグラン北千住、ミリオン通り商店街、柳原商栄会、柳町仲通り電灯会、よしだや [イミグレーション・ミュージアム・東京「銭湯哀歌（エレジー）、人情屋台、消えゆく昭和 ～ケント・ダールが歩いた千住～」]、さいたまトリエンナーレ実行委員会、日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA[野村誠 千住だじゃれ音楽祭 第1回 だじゃれ音楽研究大会]、東京電機大学ロボット、メカトロニクス学科、千寿リーグ、千寿青葉中おやじおふくろの会、足立区立千寿青葉中学校PTA、足立区立千寿青葉中学校、足立区立千寿桜堤中学校PTA、開かれた学校づくり協議会、第5地区町会連合会、青少年対策第5地区委員会[大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住 2016 青葉」]、Institut Seni Indonesia Yogyakarta、Sunyata、Djohan、Sutanto、Memet Chairul Slamet、Haryanto、Gardika Gigih Pradipta、Gangsadewa、川村亘平斎[野村誠 千住だじゃれ音楽祭 国際交流企画第4弾：インドネシア調査篇 レクチャー&コンサート「ジャワで交流したんじゃわ」] |
| 助成 | 一般財団法人YS市庭コミュニティ財団 [イミグレーション・ミュージアム・東京 フィリピンからの、ひとりひとり マキララ 一知り、会い、踊る]、国際交流基金アジアセンター[野村誠 千住だじゃれ音楽祭 国際交流企画第4弾：インドネシア調査篇 レクチャー&コンサート「ジャワで交流したんじゃわ」]、平成28年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業 |
| 参加・来場者数 | 4,938人 |

【事業趣旨（目的）】

足立区制80周年を契機に、「音」をテーマとした多様なアートプログラムによって、地域のコミュニティ形成を目指すプロジェクト。足立区や東京藝術大学、NPO法人との連携で実施する。江戸四宿のひとつとして栄え、現在もその名残をとどめる下町情緒溢れるまちの地域資源と各地域の交流地としての文化の多様性を最大限に活かし、人と人、人と場所、人とアートの様々な「縁」を結び、足立区の魅力を創造発信する。

【開催状況】

(1) 大巻伸嗣「くろい家」

地域の空き家を使った展覧会形式の単年度プログラム「くろい家」を昨年度に続いて実施。大巻の「Memorial Rebirth 千住」（＝市民参加型アート）とは異なる側面（＝彫刻家）を紹介することによって、地域内で「Memorial Rebirth 千住」の理解を深める機会とした。また、業界内で評価の高まっている大巻の「家プロジェクト」の新作を千住地域で発表することによって、これまで本事業に参加したことのない現代アートファン層へ向けてアプローチした。

開催期間 4月2日～5月8日（会期中土日・祝日のみ開催）

会場 くろい家

ゲストキュレーター 難波祐子

入場者数 639人

(2) イミグレーション・ミュージアム・東京

美術家の岩井成昭が監修を務める「イミグレーション・ミュージアム・東京（以下IMM）」は、地域に暮らす市民が中心となり、外国人の語る日本での経験や疑問を素材にした作品制作を行うことによって、地域における日本人と

外国人、そして外国人同士のネットワークを育てていくプロジェクトである。

■「フィリピンからの、ひとりひとり マキララー知り、会い、踊る」

演出家の阿部初美を招聘し、地域に暮らす外国人の暮らしや彼らの思いをアーティストの視点と手法で作品化し、作品に関わった在日外国人コミュニティと来場者の間に交流を生み出すことを試みた。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | アーティスト | 来場者(人) |
|-----------------------|---|--|---------------------|--|--------|
| 9/10~19 (会期中6日間公開) | 映像展示:「知る」 Their history, to be our story | アーティストの視点と手法で9人のフィリピンにルーツを持つ人物たちのインタビュー映像を中心に、在日フィリピン人たちから語られた彼らのライフストーリーを映像として作品化した。 | 仲町の家 | 阿部初美(構成・演出)、富田了平(映像)、日本大学佐藤慎也研究室(会場構成) | 240 |
| 9/11、18 | ワークショップ:「会う」 なにが気になる? | 映像展示の感想をはじめとして、在日外国人の日本での暮らしに関する疑問や、異文化に触れたそれぞれの経験談などを共有するワークショップを行った。 | 仲町の家 | 阿部初美(ファシリテーター) | 17 |
| 9/17 | パーティー:「踊る」 フィリパビポ!! | 誰でもあたたかく迎え入れ包み込むフィリピンのパーティー文化に着目し、教会内外の交流で知り得た彼らのパーティーのテクニックをふんだんに盛り込み、国籍問わず、近隣地域の子供から年配者まで様々な人々に開かれたパーティーを開催した。 | 東京藝術大学千住キャンパス 第7ホール | | 124 |

■写真展「銭湯哀歌(エレジー)、人情屋台、消えゆく昭和 ~ ケント・ダールが歩いた千住～」

デンマーク出身、足立区千住在住のジャーナリストであるケント・ダールが、1990年から2000年代に撮りためた膨大な数の千住のまちの写真素材に、岩井成昭企画・監修のもと写真展「銭湯哀歌(エレジー)、人情屋台、消えゆく昭和 ~ ケント・ダールが歩いた千住～」やトーク・プログラムなどの関連企画を行った。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | アーティスト | 来場者(人) |
|-----------------------|-----------|---|---|---|--------|
| 10/1~17 (会期中9日間公開) | 写真展 | ケント・ダールが千住のまちの特徴であり、徐々に数が少なくなりつつある銭湯に着目してきたことや、90年代に入っても昭和を感じさせる風景に対し、様々な発見を交えながら写真に収めてきていたことを、50点にのぼる写真を通じて紹介した。 | 仲町の家 | ケント・ダール(写真)、岩井成昭(企画・監修) | 619 |
| 10/1、2、16 | トーク・プログラム | 写真展会期中の週末に3回開催。長年住んでいる千住のまちへの目線やジャーナリストとしての興味の背景、展示構成やIMMの企画位置付けに関する講評を兼ねたトークを行った。 | 仲町の家 | ケント・ダール(ジャーナリスト)、岩井成昭(イミグレーション・ミュージアム主宰)、住友文彦(アーツ前橋館長)、熊倉純子(東京藝大教授)、舟橋左斗子(町雑誌千住編集人) | 58 |
| 10/2、9、15 | 写真屋台 | ダールとレトロ撮影会のカメラマンスタッフなど音まち関係者が屋台とともに千住のまちを巡った。屋台と同時に実施したレトロ撮影会では、展示写真と同じ場所で通行人の方をモデルに撮影したり、子供をモノクロ写真で収めたりした。 | 宿場町通り~ココ・グラン北千住~大門商店街、千寿青葉中学校、千住曙児童遊園~学園通り商店街よしだや | 華山萌(撮影スタッフ) | 179 |
| 10/1~17 | ここでも展示!! | 駅前の大型喫茶店や足立区内の外国人向けホテルでも会期中同時に展示を行い、より広い層に目を向けてもらえるようにした。 | 喫茶室サンローゼ、エンブレムホテル西新井 | - | - |
| 10/1 | 昭和歌謡パーティー | 喫茶室サンローゼの一部エリアを貸し切り開催。DJセットとスピーカーとミラーボールを設置し、昭和歌謡とレトロな喫茶店の雰囲気で実施。 | 喫茶室サンローゼ | DJ Dandy、DJ Marie Kimishima | 65 |

■リサーチプロジェクト

イミグレーション・ミュージアム・東京(IMM)の基礎となるリサーチ。浅草や代々木上原のモスク、群馬県太田市のブラジルコミュニティ、神奈川県横浜市・いちょう団地内の児童館など、実際に外国人の多く暮らすエリアでフィールドワークを行い、日本に暮らす外国人が自国の文化を日本の文化と融合させ生み出してきた文化をリサーチした。またこのリサーチプロジェクトから派生して、子供と演劇づくりを行う企画を中心に、多文化共生や演劇、教育の視点で多角的に活動を振り返る勉強会を開催した。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | 講師 | 来場者(人) |
|----------|-------------------|---|-------------------------|---|--------|
| 9月~12月 | 横丁演劇部ワークショップ | 千住の横丁で出会った在留外国人の子供との会話をきっかけに立ち上げたプロジェクト。子供たちがダンスや演技を好んだことから、小さな演劇づくりを行うこととして、役者志望の学生や、ダンス・美術・音楽バンドなどに携わるメンバーを募集し、活動を行った。 | 東京藝術大学千住キャンパスプロジェクトルーム | 柏木陽(演劇家)、飛田勘文(芸術教育学/英国ウォーリック大学博士) | 10 |
| 12/17、18 | 横丁演劇部発表・インスタレーション | 小学2年の子供3人と、大人メンバー4人が出演し、20mほどの室内空間の中で、観客が立ったまま囲んで見る形式で発表会を行った。また、制作過程をテキストに記録したものをインスタレーションとして、演劇の美術セットとした。 | 東京藝術大学千住キャンパスプロジェクトルーム3 | 飛田勘文(芸術教育学/英国ウォーリック大学博士) | 120 |
| 1/28 | 横丁演劇部勉強会 | 多文化コミュニティ内で演劇づくりを手がけている田室寿見子をゲストに迎え、演劇づくりの過程をメンバーが時系列に振り返った。参加したメンバー自身が意識の変化や発見したことを共有しながら、可児市で行われている演劇の状況やコミュニティの背景も聞いた。 | 東京藝術大学千住キャンパスプロジェクトルーム | 田室寿見子(プロデューサー・演出家"Sin Titulo"主宰、可児市文化創造センター「多文化共生プロジェクト」ディレクター) | 5 |

(3) 大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住」

現代アートの手法を用いながら新住民と旧住民を「縁」で繋げるプラットフォームをつくることを目的として実施している「Memorial Rebirth 千住」。6年目となる今回は、中学校の生徒自身が、企画段階から参加者と一緒に運営する方法を考え、活動を展開していくことで、中学生と地域の人による世代間での交流や新たな縁を生み出すことを目指し、初めて中学校で開催した。また、本番前には7月と9月にプレ企画を計2回実施した。その他、昨年度「しゃボンおどり」の先導役として結成した「踊り手モデル」を、今年度は踊りの先導役だけではなく、ワークショップも行うチーム「しゃボンおどり盛り上げ隊」としてリニューアルメンバーを公募した。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | 出演 | 来場者(人) |
|-----------|-----------------------------|---|------------------|--|--------|
| 7/30、9/24 | ふわり◎シャボン玉 | 7月に千住大川町の公園での夏祭り、9月に千寿桜堤中学校で開催されたチェリーフェスタの2回実施した。大川町では祭り自体にまちの方々が多く集まっていることで、多くの方へのPRは勿論、実際にシャボン玉に触れることのできる良い機会となった。 | 千住公園、足立区立千寿桜堤中学校 | しゃボンおどり盛り上げ隊 | 1,123 |
| 10/9 | Memorial Rebirth 千住 2016 青葉 | 昼の部では、「しゃボンおどり」を実施。また、「花」をテーマにしたアクセづくりワークショップなども行った。夜の部ではLEDライトと無数のシャボン玉によって幻想的な空間を演出し、音まちビッグバンドとくるくるチャーミーが大巻指揮のもと即興でパフォーマンスを行った。 | 足立区立千寿青葉中学校 | 大巻伸嗣、くるくるチャーミー[大西健太郎、富塚絵美、松岡美弥子]、桔梗みすず、音まちビッグバンドほか | 1,288 |

(4) 野村誠 千住だじゃれ音楽祭

作曲家の野村誠と公募で集まった市民による音楽団体「だじゃれ音楽研究会」(以下、だじゃ研)が、多様な人々とのコラボレーションを通じて、だじゃれと音楽が結びついた「だじゃれ音楽」を深めていくプロジェクト。今年度は、2つのプログラムを実施した。1つ目は、だじゃれ音楽の目的や活動内容を周知し、多様な人々の参加を促すことで、だじゃれ音楽の可能性を拡げていく試みとして「第1回だじゃれ音楽研究大会」を実施。2つ目は、野村誠とだじゃ研がインドネシア・ジョグジャカルタへ遠征し、現地の市民との音楽による交流を行った成果を共有するレクチャー&コンサートを開催した。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | 出演 | 来場者(人) |
|-------|--|--|----------------------|--------------------------------|--------|
| 10/22 | 第1回だじゃれ音楽研究大会 | 学会大会の形式をもじって、基調講演、分科会、シンポジウムなどを実施。コンサートや観客を交えた大合奏なども行った。基調講演では、「だじゃれ音楽とは何か?」について語り、分科会では会場を「楽器演奏」、「知る・学ぶ」、「工作」の3つのテーマごとに分けて全19講座を実施した。 | 東京藝術大学千住キャンパススタジオAほか | 野村誠、だじゃれ音楽研究会 | 63 |
| 2/19 | 国際交流企画第4弾:インドネシア調査篇レクチャー&コンサート「ジャワで交流したんじゃわ」 | 東南アジアの人々との交流を深め、新たな音楽の創造に繋げていくべく、インドネシア・ジョグジャカルタへのツアーを敢行し、その成果を千住地域の人々とも共有する、映像・トーク・演奏・展示を交えた公演を開催。 | 東京藝術大学千住キャンパススタジオA | 野村誠、佐久間新、だじゃれ音楽研究会 映像:甲斐田祐輔 | 90 |

(5) 千住・縁レジデンス 友政麻理子「知らない路地の映画祭」

若手アーティストによる滞在制作を通して、千住ならではの「場」や「人」とのリアルなコミュニケーション（縁）を深めることを目的とした「千住・縁レジデンス」事業。2年目となる今回は昨年度に引き続き、美術家・友政麻理子が、まちの人たちと一緒に作り上げる自主映画制作プロジェクト「知らない路地の映画祭」を実施した。映画は参加者である各監督の主導のもと、撮影場所を探すため千住のまちのリサーチや、脚本執筆、録音、映像編集、さらにキャスティングの交渉なども行い、趣向を凝らした作品をつくり上げた。また、地元の商店会の協力によって映画祭の告知フラッグの設置や、映画祭テーマソングとなる音楽を使った告知音源を商店街放送で流すなど、プロジェクトが地域の方々と多様な関わりもつ契機となった。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | アーティスト | 来場者(人) |
|---------|----------------------------|---|--------------------|--------|--------|
| 8/27 | 自主映画制作プロジェクト参加者募集説明会 | 単なる自主映画制作の場ではなく、参加者それぞれの立場で映画祭そのものをつくり上げることや、千住のまちの魅力を発見していくことを参加希望者に伝える会となった。説明会後は、昨年度の参加者と今年度の参加者が交流する機会を設けた。 | 東京藝術大学千住キャンパス第1講義室 | 友政麻理子 | 15 |
| 2/24~26 | 千住・縁レジデンス友政麻理子「知らない路地の映画祭」 | 6作品を7回にわたり上映。映画祭の当日の運営では、参加者が司会や進行管理、来場者の誘導などを行った。また、撮影場所の提供や役者として参加した周辺地域の店主が参加したトークイベントや、「千住ちんどん」による映画祭のPRを目的とした街歩きなど様々な方が参加するイベントとなった。 | 仲町の家 | 友政麻理子 | 185 |

(6) アサダワタル「千住タウンレーベル」

千住で生活してきた市井の人々の人生譚（記憶）、千住のまちならではの風景や人間模様につつまれるエピソード、千住に根つき息づく音楽など、これらすべてをテキスト（文字）だけではなく、「音楽」として編集し、まちなかの拠点を編集室（スタジオ）として、発信・アーカイブしていくプロジェクト。公募で集まった参加者とともに、千住のまちなかで収集された「音」と「記憶」を通して、新たなまちの捉え方を探求するとともに、地域における「ローカルメディア」の在り方や、CDやレコードといった「サウンドメディア」の可能性を探るとともに、次年度以降にローカルサウンドメディア『音盤千住』を定期的にリリースすることを目指し活動した。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | ディレクター | 来場者(人) |
|---------------|--|---|---------------------------|---|--------|
| 11/23 | タウンレコーダー 募集説明会 | ディレクターのアサダワタルからの企画概要説明やミニライブを通じて、本プロジェクトの理解を深めることを目的に実施した。 | 東京藝術大学 千住キャンパス 第1講義室 | アサダワタル | 24 |
| 12/11 | 第1回 勉強会「“編集” 行為の幅を知って、言葉と音楽を使いこなそう！」 | 岩淵拓郎をゲストスピーカーに招き、今後千住タウンレーベルでまちと音を「音盤千住」というメディアに落とし込む際に、どのような「編集」という視点が必要になるのかについてレクチャーを行った。 | 東京藝術大学 千住キャンパス 第1講義室 | アサダワタル ゲストスピーカー：岩淵拓郎（編集者・mediapicnic 主宰） | のべ25 |
| 12/17 | 第2回 勉強会「音のメディアの変遷を歴史から学ぼう！」 | 渡辺裕をゲストスピーカーに招き、これまでどのような音メディアが存在していたのか、また、音メディアが果たしてきた役割の変遷などについて学び、本プロジェクトを歴史的文脈から汲み取る取り組みを行った。 | 東京藝術大学 千住キャンパス スタジオA | アサダワタル ゲストスピーカー：渡辺裕（聴覚文化論・音楽社会史・東京大学教授） | |
| 1/7、8 | 第3回 ワークショップ「かんがえてみる」 | 事前にディレクターから出された宿題（「まちあるいは生活」をテーマに編集された音作品、音楽、としてイメージに一番近い音源を持つてくる）の共有と、千住のまち歩きを通して実際の「まち」のイメージを育んだ。 | 東京藝術大学 千住キャンパス 第1講義室 | アサダワタル | |
| 1/21、22、2/4、5 | 第4回 ワークショップ「きいてみる」 第5回 ワークショップ「つくってみる 発表会に向けた最終制作編」 | 事前にディレクターから出された宿題（発表会に向けてのデモトラック案を考える）の共有をし、それぞれが提出したトラックのさらなる展開の可能性や、その面白さについてタウンレコーダー内でディスカッションをした。 | 仲町の家、東京藝術大学 千住キャンパス 第1講義室 | アサダワタル | |
| 2/26 | 試作品（デモ）発表会 | タウンレコーダー9組によるデモ音源の発表とその講評を中心に、アサダワタルによる企画概要の説明や会場となった安養院の住職による千住のまちの話を展開した。 | 安養院 | アサダワタル | 49 |

【参加者の声】

●くろい家

・素晴らしいかったです。保存希望。（都内／女性／40代）

- フィリピンからの、ひとりひとり マキララー 知り、会い、踊る—
・普段生活している中でなかなか考えないことを、このような芸術を通して考える機会をつくってくれると思うと、心が豊かになるものだと思います。日々、忙しくすきまの持てない人たちに特にこのような場に来てほしいと思いました。(都内／男性／20代)
- 大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住」
・地域の中学校で、子供たちの歓声を聞きながら不思議な30分間でした。(都内／女性／50代)
- 野村誠「千住だじゃれ音楽祭」
・「だじゃれ音楽」という言葉だけを聞いていたので、いったいどういうものかと思っていたら、さまざまなものの垣根を崩していくことなのかと感じた。(都内／男性／30代)
- 千住・縁レジデンス 友政麻理子「知らない路地の映画祭」
・映画制作は途中で何度もくじけそうになって、自分だけだったらやり通せなかったと思います。制作に多くのひとが関わってくれたことで最後までがんばることができ、自分がこんなにも映画祭に情熱を燃やすことができるとは思ってなくて、大変なこともたくさんあったけれどとても楽しい時間を過ごすことができました。(参加者：50代男性)
- アサダワタル「千住タウンレーベル」
・音(トラック)のつくりかたの幅が広くて「ほほう、そういう方法で来たか」と思うものもたくさんありました。まちってこういうことだよなーと思いました。個人的には、商店街通りのまんなかにかぶ台かコタツをもってきて、レコードプレイヤーを乗せてそれを囲んで聞きたいです。このメディアができれば、そのPRをしたい。自転車の人を呼びとめて良さを伝えたり。(都内／女性／40代)



イミグレーション・ミュージアム・東京「フィリピンからの、ひとりひとり マキララー 知り、会い、踊る—」映像展示：Their history, to be our story



イミグレーション・ミュージアム・東京 写真展「銭湯哀歌(エレジー)、人情屋台、消えゆく昭和 ～ケント・ダールが歩いた千住～」



大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住 2016 青葉」



野村誠 千住だじゃれ音楽祭「第1回 だじゃれ音楽研究大会」

34

汐入タワープログラム

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催日 | 平成28年（2016年）8月7日 |
| 会場 | 都立汐入公園 汐入タワー |
| 主催 | 東京都、荒川区、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、一般社団法人CIAN |
| 後援 | リバーパーク汐入町会 |
| 協力 | 東京藝術大学大学院映像研究科 |
| 入場者数 | 122人 |

【事業趣旨（目的）】

本事業は、22年度から25年度にかけて展開した「川俣正・東京インプログレス—隅田川からの眺め」の一環として、都立汐入公園（荒川区）内に制作された「汐入タワー」において実施するプロジェクト。アーティストと地域住民による制作を通して、地域の風景に新たな物語を生み出すことを目指す。

【開催状況】

(1) 汐入タワープログラム2016 おとのね

大きな木に見立てた汐入タワー内外に、音楽をきいて育つマスキングテープの根を張り巡らせ、新たな風景をつくりだすワークショップとライブペインティングを行った。参加者とともに作り出した空間はプログラム実施後、7日間展示として公開した。近隣住民をはじめ、東京インプログレスの参加者や、アーティストのファンなど子供から大人まで幅広い世代の方々が参加した。

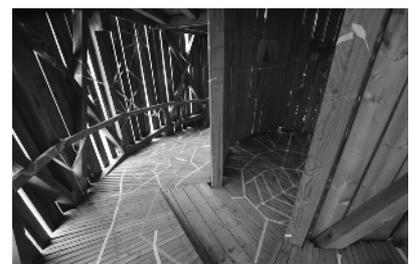
| | |
|------|--|
| 開催日 | 8月7日 ワークショップ&ライブペインティング 8月7日~14日 展示 |
| 会場 | 汐入タワー（都立汐入公園内） |
| 出演者 | 川俣正（アーティスト）、浅井裕介（アーティスト）、古川麦（ミュージシャン） |
| 入場者数 | 122人 |



撮影：renko isowa



撮影：田口まき



撮影：田口まき

35

Art Bridge Institute

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | アーツ千代田3331、P3 art and environment ほか |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、特定非営利活動法人 Art Bridge Institute |
| 入場者数 | 92人 |

【事業趣旨（目的）】

Art Bridge Instituteは、アートが現代社会においてジャンルを横断しながら、人と人のつながりをつくり出してゆくことについて、その研究や実践に取り組んでいる。機関誌『ART BRIDGE』の発行、ウェブサイトの運用、またこれらのメディアと連動したイベント（トークイベントやインタビュー、ネットワークづくりを目的としたイベントなど）を開催。また『ART BRIDGE』を読み合う、リーディンググループや、手渡しで広めていく配付活動もプログラムの一環として取り組む。

【開催状況】

(1)ブリッジトーク

社会、まち、アートを巡るさまざまなものをつなげていくためのトークシリーズ。独自のネットワークづくりの実践として、来場者とのface to faceでの交流の場作りも大切に運営した。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | ゲスト | 参加者（人） |
|------|--|--|---------------------------|--|--------|
| 7/8 | ブリッジの作り方シリーズ11「トランスコンセプトUALー移動と創造の方法編」 | ロサンゼルスと日本を拠点に、キュレーター、アーティスト、エディターとして幅広い活動をするキオ・グリフィスをゲストに迎え、常に移動しながら、アート、デザイン、サウンドと領域を横断する氏の活動を紹介しながら、年間200に及ぶ企画を世界各地で進める、その驚異的な創造性に迫った。 | アーツ千代田3331 1Fラウンジ | キオ・グリフィス (アーティスト、インディペンデントキュレーター) | 34 |
| 12/8 | ブリッジの作り方シリーズ12「トリエンナーレ・シンδροーム編」 | 国内外を問わず増加する国際芸術祭。あいちトリエンナーレ2016の現場で活躍した二人をゲストに迎え、同トリエンナーレの芸術監督を務めた港千尋とともに、芸術祭の現実と「その先」を展望した。 | P3 art and environment | 清澤暁子（あいちトリエンナーレ2016 コーディネーター）、 工藤千愛子（あいち トリエンナーレ 2016広報） | 39 |

(2) BRIDGE STORY（ウェブコンテンツ）

活動を通して出会ったアートの実践者を中心に、「自身の活動報告」「最近注目している活動」などについて、原稿執筆を依頼。つながりが新たなつながりを生む、クリエイティブな情報交換の場として、ウェブサイトに原稿を掲載した。

期 間 6月～3月（毎月30日更新）

ライター 瀬尾夏美（画家、作家）、ぬか つくるとこ、辻田美穂子、坂田太郎、アルカディリ・モニラ（アーティスト）、キオ・グリフィス（アーティスト、インディペンデントキュレーター）

(3) インターンプログラム

Art Bridge Institute事業の運営補助、月1回の勉強会・情報交換会、インターン発信のメディアの制作などを通して、Art Bridge Instituteを含むアートプロジェクトの現場で活動できる人材を育成した。

開催期間 6月～3月 全14回

会場 アーツ千代田3331 ほか

参加人数 15人

(4) 機関誌『ART BRIDGE』発行

Art Bridge Instituteの機関紙『ART BRIDGE』を年2回発行した。

| 発行日 | タイトル | 内容 | 仕様 | 制作チーム |
|-------|------------------------------------|--|-------------------------------|--|
| 11/18 | ART BRIDGE04 「創る 集まる 変えて みる」 | あいちトリエンナーレを入りに、共同創造の試みについて紹介した。特集は、東アジアのコレクティブについて取り上げた。 | B4サイズ、48ページ(+表紙4ページ)、1,500部発行 | 編集長：港千尋 編集：関川歩、川村庸子、江上賢一郎 アートディレクション&デザイン：加藤賢策 (LABORATORIES) デザイン：北岡誠吾 (LABORATORIES) |
| 3/23 | ART BRIDGE05 「Transit Republic」 | 平成29年1月にロサンゼルスで開催したTransit Republicのレポートを中心に、ロサンゼルスやメキシコのアートやコミュニティ、社会変動を紹介した。 | B4サイズ、32ページ(+表紙4ページ)、1,500部発行 | 編集長：港千尋 企画・制作：キオ・グリフィス、江上賢一郎、服部浩之、関川歩 編集：川村庸子 アートディレクション&デザイン：加藤賢策 (LABORATORIES) デザイン：北岡誠吾 (LABORATORIES) |

(5) ネットワーカープログラム

『ART BRIDGE』を場所や人に届けながら、新しいネットワークの種を拾っていくプログラム。活動の様子をレポートと写真にまとめ、ウェブサイトや、誌面「ART BRIDGEに連れて行ってもらった」コーナーに掲載した。ネットワーカープログラムがきっかけとなり、新潟「写真の町シバタ」と福島「はま・なか・あいづ連携プロジェクト」による連携トークイベントが開催された。

開催期間 4月～3月

会場 全国各地

参加者 4人(新潟、沖縄、東京、台南を拠点にするネットワーカー)

【参加者の声】

●ブリッジの作り方シリーズ11「トランスコンセプトチュアルー移動と創造の方法編」

・キーワードが散らばっていて、とても面白かったです。言葉を発するときのバックグラウンド(国籍、性別、その他)が意味するところに興味が出てきました。

●ブリッジの作り方シリーズ12「トリエンナーレ・シンドローム編」

・芸術祭に関わっているかたたちは、様々な現場で経験を積んだかたたちが短期間で積み上げられているものだということがよくわかりました。

●インターンプログラム

・アートが媒介となり、若い方たちと交流ができ、一緒に活動できたこと。レターを作り上げる作業をしたことが楽しかった。

【発行物】

ART BRIDGE 04 Autumn 2016、ART BRIDGE 05 Spring 2017、TRANSIT REPUBLIC | 01—ART BRIDGE-special edition zine

36

トッピングイースト

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | 東東京エリア |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、特定非営利活動法人トッピングイースト |
| 後援 | 墨田区教育委員会、一般社団法人墨田区観光協会[ほくさい音楽博] |
| 協賛 | 東京東信用金庫、J:COMすみだ・台東、国技館通り商店会、回向院[ほくさい音楽博] |
| 協力 | 陸奥部屋[ほくさい音楽博]、日本大学佐藤慎也研究室[BLOOMING EAST] |
| 入場者数 | 2,707人 |

【事業趣旨（目的）】

多様な参加型音楽プログラムを用いて、墨田区を中心とした地域住民が交流できる場を生み出し、その活動を東東京全域へ広げていくことを目的としたプロジェクト。音楽を単に「鑑賞」するだけではなく、当事者として積極的に関わることでできる仕組みを検討し、実践していく。

【開催状況】

(1) ほくさい音楽博

世界に名を轟かせた葛飾北斎への尊敬の念も込めて、生誕地でもある墨田区周辺地域を拠点として、子供たちに世界中の響きの美しい楽器に触れてもらい、練習を重ね、発表会を行った。また、音楽を媒介に地域と子供との接点を生み出し、従来型の音楽教室とは異なる、地域が見守り、応援する、新しい音楽プログラムの在り方を提案していくことを目指した。

■募集プログラム

墨田区および東東京地域の小学生を対象に、各音楽プログラム参加者の事前公募を行い、発表会に向けた練習を実施した。

募集期間 9月10日～11月11日
参加費 3,000円+衣装代2,000円

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | アーティスト | 参加者（人） |
|---------------------------------------|-------------------|--|-----------|--------------------------|--------|
| 12/11、25、 1/15、29、 2/11 | プログラムA スティールパン | ドラム缶を逆さまにして音が鳴るようにした、カリブ海に浮かぶ島トリニダード・トバゴ共和国から産まれた20世紀最後の最高の生楽器。日本の第一人者ともいえる原田芳宏率いるPanorama Steel Orchestraを講師に迎え、12人編成のスティールパン・チームを結成。 | トッピングイースト | Panorama Steel Orchestra | 12 |
| 11/27、 12/4、18、 1/8、22、 2/12 | プログラムB 義太夫 | 歌舞伎や文楽でもおなじみの、江戸時代の音楽「義太夫」を通じて、腹から声を出す気持ち良さや日本語の楽しさ、美しさを体験。今年度は、「五条橋の段」に挑戦。 | | 竹本京之助（太夫）、 鶴澤弥々（三味線） | 15 |
| 12/11、25、 1/15、29、 2/11 | プログラムC ウクレレ | 弾きながら歌うことをテーマに、講師久保田ガス誠と一緒に、子供たち同士がアイデアを出しあいながら演奏曲を決め、個人・チームで発表。 | | 久保田ガス誠 | 29 |

■「ほくさい音楽博」説明会

開催日 9月10日（土）
会場 トッピングイースト
入場者数 18人

■プレトークイベント「この街の音楽の未来を語ろう」

本事業を地域住民により深く知っていただくため、公募プログラムで小学生の音楽指導にあたった講師のほか、地域の文化芸術振興・音楽教育の現場からゲストを招き、地域×子供×音楽をテーマに、トークイベントを実施した。

開催日 1月21日
会場 すみだ北斎美術館 MARUGEN100（講座室）

登壇 原田芳宏（スティーロパン講師）、竹本京之助（太夫講師）、鶴澤弥々（三味線）、久保田ガズ誠（ウクレレ講師）、上野喜浩（墨田区文化振興財団 音楽事業課音楽事業係長）、相澤佐和子（墨田区外手児童館 館長）、清宮陵一（特定非営利活動法人 トッピングイースト理事長）
 ファシリテーター 白井隆志（ワークショッププランナー）
 入場者数 40人

■発表会「ほくさい音楽博」

公募プログラムに参加した子供たちの[発表会]をメインに、当日の来場者が気軽に参加できる[体験会]、プログラムの講師等による[ライブ]という3つの要素で構成する音楽博覧会を開催。

開催日 2月19日

会場 回向院

出演 Panorama Steel Orchestra（スティーロパン）、竹本京之助（義太夫）、鶴澤弥々（三味線）、久保田ガズ誠（ウクレレ）、浦風富道（相撲体操・相撲甚句）、アダチ正芳（サンバ）、志人（詩人）、小学生による「義太夫」「スティーロパン」&「ウクレレ」チーム

入場者数 1,746人

(2) 和田永「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」

古い電化製品を使ってオリジナルな楽器を産み出してきたアーティストの和田永が、あらゆる人を巻き込みながら新たな楽器を創作し、量産し、奏法を編み出し、徐々にオーケストラを形づくっていくプログラム。平成27年2月の『滞在制作篇』からスタートし、同年、11月23日の『初合奏遭遇篇』の開催を契機に「NICOS LAB（ニコスラボ）」が発足。今年度は「NICOS LAB」の情報発信や自律的な組織運営を目指した。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | 出演 | 参加者（人） |
|---------------|------------------------------------|--|------------|--|--------|
| 7/2 | NICOS LAB オープンミーティング | 新たなNICOS LABメンバーの募集イベントとして開催。多数のゲストを迎え、新たな楽器の開発についての討論、NICOS LABの発展可能性について来場者と対話しながら探った。 | WIRED Lab. | 和田永、若林恵（WIRED日本版 編集長）、有坂庄一（Tech Shop Japan 代表取締役社長）、会田大也（ミュージアムエデュケーター）、若部玲奈（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）、清宮陵一（特定非営利活動法人 トッピングイースト理事長） | 38 |
| 7/16、17、23、24 | トッピングイースト トライアルレジデンス < NICOS LAB > | 「NICOS LAB」によるオリジナル楽器開発を実施。活動日は一般公開し、様々な人と交流しながら「NICOS LAB」オリジナル楽器開発を行った。 | トッピングイースト | | 62 |
| 8/6、7 | Maker Faire Tokyo 2016 出展 | トッピングイースト トライアルレジデンス < NICOS LAB > 期間中に開発したオリジナル楽器を、Maker Faire Tokyo2016にて出展、発表した。 | 東京ビッグサイト | | 639 |

(3) 東京総舞台化計画「BLOOMING EAST」

BLOOMING EASTは、風情風流・粋色気の息づく隅田川を背骨とした東京の東側において、音楽家・地域住民・学生らが協同しながらリサーチ～実験～検証を行い、種をまくように水をやるように、様々な場へ「音の花」を咲かせていくプロジェクト。今年度は音楽家・コトリングをゲストアーティストに迎え、公共空間における音の展開可能性を学生や一般参加者とともにリサーチを実施した。

■リサーチ

開催期間 9月9日～3月2日 全10回

会場 トッピングイースト、アーツ千代田3331 ROOM302 ほか

アーティスト コトリング

参加人数 22人

■BLOOMING EAST オープンキャンパス

これまでのリサーチのプロセスをパネルや映像、音声で公開し、プロジェクトメンバーやゲストから見たBLOOMING EASTをトークプログラムで振り返った。また、リサーチプロセスでできたコトリングプロデュース

の音源「公園と地下街のためのサウンドトラック」を視聴できるQRコードを来場者に配布した。

開催期間 3月3日～5日（トークプログラム全5回）

会場 トッピングイースト

登壇者 コトリンゴ（アーティスト）、佐藤慎也（日本大学理工学部建築学科教授）、プロジェクト参加メンバー、根木龍一（microAction代表／「橋の下世界音楽祭」主催）、安澤太郎（こいのぼり株式会社代表／「TAICOCLUB」主催）、清宮陵一（トッピングイースト理事長）、東彩織（BLOOMING EAST 記録）、芦部玲奈（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）、上地里佳（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）

参加人数 65人

（3）拠点形成事業「トッピングイースト トライアルレジデンス」

拠点形成事業の一環として、より地域に開いた拠点以外の活用方法を検討すべく、「トライアルレジデンス」として、「音」や「音楽」で様々な活動や試みをしている人を迎え、実験や試作を通して拠点形成の可能性を探った。

■音と穴の実験室

「ほくさい音楽博」の当日ワークショップ「楽器作り体験」で、講師として参加しているおといる園藝舎と、拠点を利用した新たな楽器づくりを実験・検討した。レジデンス最終日には近隣の子供たちを集めて、「音と穴の実験室」を開催。楽器づくりの新たな可能性を子供たちと一緒に実験を行った。

開催期間 5月12日、16日、28日、6月5日 全4回

会場 トッピングイースト

アーティスト おといる園藝舎（磯辺綾子、水竹康夫）

参加人数 21人

■NICOS LAB

和田永「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」を協働している参加型ラボ「NICOS LAB」の新たな試みとして、「NICOS LAB」によるオリジナル楽器開発を様々な人と交流しながら実施した。

【参加者の声】

●ほくさい音楽博

・スタッフの皆様がとても親切で、初めて演奏する楽器を前に四苦八苦している子供に、優しく指導していただけたと思っています。子供にとって本当に良い経験になったと思っています。

●BLOOMING EAST

・空間、土地や、日々暮らしていく中で聞こえてくる音について、こんなにいいねいに考えたことが今までなかったので、とても興味深く、また音に対して興味をもって色々試みているプロジェクトの皆さんの姿勢に感動しました。私もこれからますます音に興味をもって暮らしていけそうな気がしました。東東京もより楽しくなっていくといいなと思います。

37

三原色〔ミハライロ〕

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | 大島各所、コミュニティスペース「kichi」 |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、NPO法人kichi |
| 入場者数 | 36人 |

【事業趣旨（目的）】

東京都の島しょ部である大島を舞台に、学び、気づきの場を提供するプロジェクトを展開する。『島の人々が島に誇りを持ち、自信をもって島の魅力を伝えられる』といった人々を増やすために、島の文化・風習をエッセンスとして取り込み、現代的な「デザイン」や「アート」と結びつけた活動を行う。

【開催状況】

(1) キッズプログラム

文化に触れる機会が少ない離島で、それらに幼少から多く触れられるよう、島外から様々なジャンルのアーティストを招き、つくる、知る、発見する、見る、を親子で味わい感じるプログラム。親子の絆を深め、親子で視野を広げながら、離島という環境の中に文化の芽を育てていく事を目的として実施した。また、子育て世代が集う場として伊豆大島で生まれ育った人、戻ってきた人、新しくやってきた人、島のこれからを担うネットワークが生まれることを目指した。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | 講師 | 料金（円） | 参加者（人） |
|-------|------------------------------------|---|-------------------|-------------|-------|--------|
| 10/29 | キッズプログラム vol.4「自然素材でかわいいクッキーを作ろう！」 | クッキーを親子で手作りし、自然素材の飾りや色で絵を描く。自由な発想で色と形を楽しむとともに、自然素材への親しみを深めることを目標に取り組んだ。講師から素材についてのレクチャーもあり、親子で楽しみながら学ぶ内容となった。 | コミュニティスペース「kichi」 | 石井織絵（パティシエ） | 1,200 | 17 |
| 2/5 | キッズプログラム vol.5「ドリームキャッチャーを作ろう！」 | 大島にある自然素材（貝、蔦、石など）を使い制作した。自然への親しみ・共存の意識を深めながら、親子での制作を楽しむことを目標に開催した。 | コミュニティスペース「kichi」 | 浅葉和子 | 1,500 | 19 |

(2) フリーペーパー『12class』発行・「12class」公式ウェブサイトの運営

島内での取材をメインに、地域間ネットワークの形成「三原色〔ミハライロ〕」の活動周知のためのフリーペーパー『12class』を発行した。周知・告知以外に、「三原色〔ミハライロ〕」の活動への参加者を募ることも目的とした（年2回発行）。公式ウェブサイトでは、「三原色〔ミハライロ〕」の紹介、イベントの告知やレポートなど、フリーペーパー『12class』のweb版として誌面内容と連動したコンテンツを公開した。

発行回数 2回（特集：島キャンプ、島の食卓）
 仕様 A5サイズ、16ページ冊子、フルカラー
 発行部数 各5,000部
 配布場所 都内各店舗（飲食店、雑貨屋など）、島内各店舗等

【参加者の声】

- キッズプログラム vol.4「自然素材でかわいいクッキーを作ろう！」
- ・お料理に興味を持ち始めた娘が、できる作業で楽しんでいた。（島内40代女性、自営業）
- ・色の付け方や食材のことなどとても勉強になりました。（島内40代女性、会社員）

【発行物】

12Class 2016秋号、12Class 2017春号

38

リライトプロジェクト

【事業概要】

| | |
|-------|--|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | 六本木ヒルズけやき坂《Counter Void》前、アーツカウンシル東京ROOM302 ほか |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、NPO法人インビジブル |
| プログラム | みやちよう [Relight Days] |
| 特別協力 | MEDIA AMBITION TOKYO [Relight Days] |
| 入場者数 | 600人 |

【事業趣旨（目的）】

六本木けやき坂のパブリックアート《Counter Void》を再点灯させると同時に、未来の生き方や人間のあり方を考えるプラットフォーム形成を目指すプロジェクト。東日本大震災をきっかけに、作者であるアーティスト・宮島達男の手によって消灯された《Counter Void》を、3.11の記憶をとどめ、社会に問いかけ続けるための装置と位置づけ、様々なプログラムを展開。

【開催状況】

(1) Relight Days

人間の「生と死」をテーマにした宮島達男のパブリックアート作品《Counter Void》を再点灯する（そして再消灯する）3日間のイベント。会期中、《Counter Void》前に設置したCounter Counterにおいて「3.11が■ている。」やRelight Committeeが企画したワークショップを開催した。

開催日 3月11日～13日
会場 六本木ヒルズけやき坂《Counter Void》前
入場者数 170人

(2) Relight Committee

「社会彫刻家（※）の輩出を目的とした少人数制の市民大学。実践的な力を身につけ、アートの持つ可能性を知り、自らの領域を切り開く人を育成する学びの場を形成した。アートと社会に紐づく国内外の事例を活用したレクチャーや、「社会彫刻家」を招いたトーク、多角的なディスカッション、学び合いの場を組み込んだプログラムを展開。最終的に受講生それぞれが主体となったプロジェクト（Relight Action）を実践した。

※リライトプロジェクトでは、ヨーゼフ・ボイスが提唱した「社会彫刻」の概念をベースに、「アートが持つ創造性や想像力を用いて、自らの生活や仕事に新たな価値をつくり続け、行動する人」を「社会彫刻家」と定義している。

開催期間 7月3日～3月18日 全9回
会場 アーツカウンシル東京ROOM302、アーツカウンシル東京
ファシリテーター 菊池宏子（NPO法人インビジブル クリエイティブ・ディレクター）
受講料 50,000円
受講人数 8人

(3) Relight Archive（アーカイブ）

リライトプロジェクトの活動プロセスの公開を目的として、公式ウェブサイト上に「Archive」ページを新設し、平成27年度も含むこれまでのRelight Committeeの活動写真などを一覧化した。また、Relight Committeeメンバーそれぞれが実行した「Relight Action」を記録するページも新設。メンバーそれぞれのActionや、Actionの企画・実行に至るまでの思考のプロセスも含めて掲載した。

そのほか、Instagramアカウント、アートマネジメント総合サイト「ネットTAM」での連載、冊子『Relight Committee Book 2015-2016』など、複数のメディアを駆使して活動プロセスの記録・発信に注力した。

活動期間 4月～3月

(4) 地域連携

リライトプロジェクトでは港区立筈小学校と連携している。今年度は昨年度のワークショップに参加した児童が学内に「リライトプロジェクト実行委員会」を発足。4年生の図工の授業では全校生徒へ配布するリライトプロジェクトのチラシを制作した。そしてリライトプロジェクト実行委員会（5年生の有志10人）が4年生のサポートを行いながら、給食の時間を使ってチラシの配布と、リライトプロジェクト、Relight Daysについての説明を行った。またRelight Days会期中の3月13日には児童が授業の一環として《Counter Void》を鑑賞に訪れ、作者の宮島達男と交流を行った。

会 場 港区立筈小学校、六本木『Counter Void』前
参加児童数 422人

【参加者の声】

● Relight Days 参加者

・3.11の津波発生時と同時刻の今日、再点灯したと聞いて。ポケーっと見てる間にもいろんな人や車が目の前を通過して、沢山の人が生活している中の、自分も一人なんだと認識すると同時に、色んな考えが頭を巡って、素敵な作品だと思いました。

● Relight Committee 受講生

・Relight Committeeに参加して、人を見るときの見方がすごく変わったし、自分が何かをするときにすごく考えるようになった。「ただただやる」という生き方をしてきたが、何のためにやるのか、それが他人からはどう見えるのか、それによることで誰が巻き込まれるんだろうということや、誰を巻き込みたいんだろうことを考えるようになった。また他人のアクションに対しても、この人は誰を巻き込みたいのかな、それによって何を訴えようとしているのかななどを考えるようになり楽しくなった。

● 港区立筈小学校児童

・私は今まで「カウンターヴォイド」を見たことがありませんでした。3月12日に1度お母さんと一緒に見に行き、とてもすごかったです。今までは、六本木ヒルズのテレビ朝日のかべは普通のかべだと思っていました。ですが、「カウンターヴォイド」を見た時に、「ひみつの作品」のように面白かったです。



Relight Committee



『Relight Committee Book 2015-2016』



Relight Days

39

東京迂回路研究

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | 都内各所 ほか |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、NPO法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所 |
| 協力 | 芝の家、SHIBAURA HOUSE、就労継続支援B型事業所ハーモニー[東京迂回路研究オープンラボ] |
| 入場者数 | 162人 |

【事業趣旨（目的）】

現代社会において、生きることの多様化が大きな意味を持つ一方、実際にはいまなお多くの線引きがあり、人々は同化と排除のはざまで苦しんでいる。本事業は、社会における人々の「多様性」(diversity)と「境界」(division)に関する諸問題に対し、フィールド調査、その報告と対話、アーカイブ・情報発信等の事業を通じて、“生き抜くための技法”としての「迂回路」(diver-sion)の研究を行う。

【開催状況】

(1) [調査研究] もやもやフィールドワーク 調査編・報告と対話編

「もやもやフィールドワーク」は、平成26年度に「調査編」と「報告と対話編」を、平成27年度はさらに「分析編」を加え開催した。今年度は再び、「調査編」と「報告と対話編」の構成で行い、調査・報告・対話・分析のサイクルを通じ、様々な場を捉え直すことを試みた。

①調査編

医療・福祉施設やケアに関わる団体、活動現場を訪れ、参与観察と聞き取りを行った。過去2年間を踏まえ、より長期的・継続的な調査を行った。

開催期間 5月～10月 全14回

調査先 就労継続支援B型事業所「ハーモニー」(東京都世田谷区)、地域作業所カブカブ/新井英夫ダンスワークショップ(神奈川県横浜市)、NPO法人スウィング(京都府京都市)、エコゾフィー研究会「共有空間の獲得」(京都府京都市)、釜ヶ崎芸術大学・大学院2016「詩」(大阪府大阪市)、caféここいま(大阪府堺市)、たんぼぼの家/ひるのダンス、演劇ワークショップ(奈良県奈良市)

②報告と対話編

調査編の報告とそれに基づいたテーマ設定による対話を行い、多様性と境界に関わる活動とそれをめぐる状況への考察を深めた。

会場 芝の家

| 開催日 | 回数 | 内容 | 参加者(人) |
|-------|------|---|--------|
| 5/26 | 第11回 | 第1部 報告:「JOURNAL 東京迂回路研究 2」について 第2部 対話:哲学カフェ「わかりあう」ってどういうこと? | 13 |
| 8/25 | 第12回 | 第1部 報告:アクションリサーチの試みーハーモニーとの協働から(中間報告) 第2部 対話:哲学カフェ「わかりあえない」から何がはじまる? | 8 |
| 11/24 | 第13回 | 第1部 報告:アクションリサーチの試みーハーモニーとの協働から(中間報告・その2) 第2部 対話:哲学カフェ「遊び」は何を生み出す? | 13 |
| 2/23 | 第14回 | 第1部 報告:アクションリサーチの試みーハーモニーとの協働から(最終報告) 第2部 対話:哲学カフェ「人は一人では生きていけない?」 | 15 |

(2) [ゼミナール] 現場から言葉をつむぐゼミナール

「東京迂回路研究」では、「対話型実践研究」として、多様な人々とともに考えることを通じて、自らの「当たり前」としている視点に気づき、他者の視点を組み入れ、新たな視点からものごとを捉え直すこと、そうしてしままで見えていなかったありようを明らかにし、丁寧に言葉にすることを大切にしている。こうした考えから、ケア、アート、教育、地域、家庭や職場などの多様な人々が関わり合う分野で、参加者自身が関心を寄せる活動や現場について「他

者と共に考え、言葉にすること」に取り組むゼミナールを開講した。

開催日 6月3日、24日、7月1日、15日、8月5日、9月2日

会場 アーツカウンシル東京ROOM302

講師 梶谷真司（東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属 共生のための国際哲学研究センター（UTCP）センター長）

発表会 コメンテーター アサダワタル（事編kotoami）

受講者数 16人

(3) [実践研究] 東京迂回路研究 オープンラボ

多様な背景や経験を抱える者がともにあるとき、伝わらなさを認めたいうえで、そこからはじまる関係を一緒に探求していくことが必要なのではないかという問題意識から、「言葉を交わし、言葉をつむぐ、5日間」というテーマを設定し、活動報告とディスカッション、ワークショップやライブなど計6つのプログラムを行った。実施後は、各プログラムについて、研究員と来場者がそれぞれレポートを執筆。ウェブサイトで発信した後、「JOURNAL 東京迂回路研究3」に収録した。問題提起、応答としての実践、その検証のサイクルで実施することを意図した。

| 開催日 | プログラム名 | 会場 | ゲスト | 参加者（人） |
|-------|--|--------------------------|-----------------------------------|--------|
| 10/26 | オープンミーティング&ワークショップ「ハーモニー」 | 就労継続支援B型事業所ハーモニー | ハーモニーのメンバーとスタッフ、ワークショップ開発チーム | 14 |
| 10/27 | 中間報告&ワークショップ「もやもやフィールドワーク調査編：ハーモニー」 | 芝の家 | ハーモニーのメンバーとスタッフ、ワークショップ開発チーム | 6 |
| 10/28 | 活動報告&ディスカッション「東京迂回路研究」 | アーツカウンシル東京ROOM302 | | 8 |
| 10/29 | ワークショップ「こころのたねとして：齋藤陽道さんの写真から@東京迂回路研究」 | SHIBAURA HOUSE 3階 | 上田假奈代（詩人） | 11 |
| 10/29 | スライドショー&ライブ「詩・写真・声—ここから言葉をつむぐということ」 | SHIBAURA HOUSE 5階 バードルーム | 山崎阿弥（声のアーティスト）、スライド作品提供：齋藤陽道（写真家） | 5 |
| 10/30 | トークセッション「“いたみ”の共有は可能か？」 | アーツカウンシル東京ROOM302 | 西村高宏、近田真美子（てつがくカフェ@せんだい） | 18 |

(4) [活動報告・論考] JOURNAL 東京迂回路研究3 発行

今年度の活動と論考をまとめたジャーナル。B5変型版、1,000部発行。

(5) [活動報告] JOURNAL 東京迂回路研究3 発行記念イベント：生き抜くための“迂回路”をめぐって

第1部：ジェスチャーかるた大会では、3グループに分かれ、それぞれにファシリテーターが入り、「ジェスチャーかるたゲーム」を実施、最後に感想を共有した。第2部：トークセッション「迂回路をつくるということ」では、ゲスト、進行も交え車座になり、トークをスタート。冒頭、ゲストに各10分で活動紹介をしていただき、その後「迂回路」をキーワードに、それぞれの活動の相違点を探っていった。また参加者からも意見や感想をいただきながら、みんなで考え、話し合った。

開催日 3月17日

会場 アーツカウンシル東京ROOM302

ゲスト ワorkshop開発チーム、新澤克憲（就労継続支援B型事業所ハーモニー施設長）、鈴木励滋（地域作業所カブカブ所長/舞台表現批評）、小川貞子（NPO法人kokoima理事長）、アサダワタル（事編kotoami）

参加者数 35人

【参加者の声】

● [調査研究] もやもやフィールドワーク 報告と対話編

・研究経過としての報告は、今後の活動を期待させるものでした。対話の時間は、皆それぞれの考え、経験が聞けて楽しかった。

● [ゼミナール] 現場から言葉をつむぐゼミナール

・ゼミナールに所属していた4ヶ月間は、自分の言葉の可能性と限界を目の当たりにする4ヶ月間でした。自分の可

能性を知るというのは新しい扉がバンバン開くような喜びに満ちた経験でしたが、自分の限界に向き合うというのはなかなかしんどいものでした。

● [実践研究] 東京迂回路研究 オープンラボ

- ・多様性ということばそのものがなくなる世界をめざしているんだと思った。ウカイロということばをより深く理解したいと思った。

【発行物】

JOURNAL 東京迂回路研究3 (多様性と境界に関する対話と表現の研究所)



現場から言葉をつむぐゼミナール



東京迂回路研究オープンラボ
撮影：雷田了平



東京迂回路研究オープンラボ
撮影：雷田了平

40

東京スープとブランケット紀行

【事業概要】

| | |
|------|---|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | 練馬区江古田、アーツ千代田3331 |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、一般社団法人指輪ホテル |
| 参加者数 | 46人 |

【事業趣旨（目的）】

演出家・劇作家の羊屋白玉を中心に、日本の来るべき人口減少社会と向き合い、生活圏に起こるものごとの「終わり方」や「立ち上げ方」を追求するアートプログラムを展開する。また、様々なコラボレーションのもと、テーマの追求を可能にするネットワーク形成を目指す。

【開催状況】

(1) リサーチプログラム「江古田スープ」

江古田駅周辺を中心に、定期的にエリアリサーチを行った。定期的な集まりとして月に一回集まり、まちに関わること、またそこで生活することへのフォーカス、そして江古田市場が閉場した跡地だけでなく、エリアの中での変化を共有し、それらの変化と自分たちがどういう関わり方をしてきたのかを話し合った。これらの活動の中で新しく出来た関わりや、既存の活動の中で関わってきた人との協働の糸口を探った。

開催期間 5月11日～3月8日 全11回

対象エリア 江古田（練馬区）ほか

ゲスト 小山田徹（美術家）、狩野哲郎（美術作家）、冠那菜奈（としまアートステーション構想）、南部昌平（入船屋煎豆店）、阿部健一（演劇活性化団体uni）、リャオ・プエイティン（劇作家）

(2) トークプログラム「対談紀行」

「終わり方」や「立ち上げ方」をテーマに、話者の独自の手法や問題点を探るトークシリーズ。各プログラムの成果報告を中心に、羊屋白玉との対談、あるいはコラボレーターを含めた鼎談を実施。紫陽花篇では、江古田より古道具店「ガラクタやネバーランド」を営む安藤仁美、そして美術家の小山田徹を迎え、秋桜篇では青ヶ島より荒井智史、ペピン結構設計・劇作家の石神夏希を迎えて対談を実施した。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | ゲスト | 参加者（人） |
|-------|------------------|--|-----------------------|--|--------|
| 6/12 | 対談紀行2016 紫陽花篇 | ゲストに江古田のお店の店主、安藤仁美と、江古田の外から美術家の小山田徹を迎え、これまでの活動に触れながら、拠点である江古田を、内と外との視点から捉え、本プロジェクトのテーマでもある「終焉」の、その後先を考える鼎談を行った。 | アーツカウンシル東京 ROOM302 | 小山田徹（美術家）、 安藤仁美（ガラクタ やネバーランド店主） | 24 |
| 11/13 | 対談紀行2016 秋桜篇 | 会場を江古田に移し、青ヶ島でお世話になった荒井智史と、地域を題材にした演劇作品をつくる劇作家の石神夏希をゲストに迎え、土地の移り変わりをどのように乗り越えてゆけるのか、青ヶ島の「還住」の歴史と現在から、そして、さまざまな土地で人と出会いから生まれた作品を通して、鼎談を行った。 | イベントスペース 甲子 | 荒井智史（青ヶ島在住・還住太鼓奏者）、 石神夏希（劇作家・ ペピン結構設計） | 22 |

【参加者の声】

●対談紀行 2016紫陽花篇

- ・「モノ」の巡り方と「ヒト」の残り香のようなものには昔から魅かれるところがあり。自分が死んで自分が手にすることを意識してどこかで繋がることをひっそりと楽しみたい。そんなことを今日は思いました。
- ・今日映像を見て、お話を聞いて羊屋さんがとんでもないことにチャレンジしているのがわかりました。死を語る女性の横でもりもりとご飯を食べる羊屋さんとの構図がすごくこのプロジェクトを象徴している気がしました。

【発行物】

東京スープとブランケット紀行「お迎えの時」

41

東京ステイ

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）7月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | 東京都内各所 |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、NPO法人場所と物語 |
| 参加者数 | 46人 |

【事業趣旨（目的）】

「ステイ」という体験によって東京の様々な場所に眠る物語を掘り起こそうとする試み。「ステイ」は、必ずしも宿泊だけを意味せず、通り過ぎてしまう風景や失われつつある営みを前に足を止め、しばし佇んでみることも「ステイ」と捉えている。都市に潜在する、経済的指標だけでは捉えがたいオルタナティブな価値を見つめ、言葉を紡ぐことを目指している。

【開催状況】

(1) 場所の発掘・調査

都内約20サイトのフィールドワークを通して、「ステイ」をどう定義づけるのか、フィールドリサーチの手法はどうあるべきなのか、といった問いを議論した。東京全体の地図を広げて自分たちが気になる場所をマッピングし、その場所に足を運んでみて「そこから見えてくる“ステイ体験”や“東京”」を言語化してみる、という帰納的手法を採った。

開催日 8月10日～2月25日

対象エリア 柴又→京成立石、高円寺、日暮里、谷中、根津、千駄木、福生、青梅、雑司ヶ谷、築地、合羽橋、大森、平和島、蒲田、伊勢佐木町、北品川、赤羽、北千住、下北沢、新宿

(2) 「東京の物語にチェックインする」 東京ステイ トークセッション&ワークショップ

都内約20か所のリサーチの報告とトークセッションを行った。特異な歴史-別の視点から見れば非常に“東京的”ともいえる成り立ちを持つ大森・平和島エリアを会場に、参加者には実際にフィールドワークも行ってもらい、実践的にこれからの「東京ステイ」を一緒に考える参加型報告会を実施した。

開催日 3月11日

会場 BIG FUN 平和島

登壇者 石神夏希（NPO法人 場所と物語 代表）、今田素子（株式会社インフォバーン）、岩岡孝太郎（株式会社ロフトワーク）、小田雄太（株式会社まちづくりエイティブ）、神本豊秋（株式会社再生建築研究所）、河野慎平（合同会社ワンダフォーブリッジ）、小松平佳（一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパン）、下田寛典（ペピン結構設計）、林厚見（東京R不動産）、林千晶（株式会社ロフトワーク）、吉里裕也（東京R不動産）ほか

ゲスト 神野真実（株式会社ロフトワーク）、田中開（The OPEN BOOK）、湊三次郎（梅湯）

料金 500円

参加者数 46人

【参加者の声】

●大森・平和島周辺のフィールドワーク

・普段なかなか注目されないエリアで私自身行ったことがなかったが、チェックポイントはどれも個性あり面白い場所で楽しかったです。(20代・男性)

●トークセッション&ワークショップ

・4時間ものトークセッション&ワークショップってあまりないと思うのですが、それぞれに面白く、あっという間に時間が過ぎてしまいました。とくにゲスト座談会と神野さんによるトークが勉強になりました。(30代・女性)

42

Betweens Passport Initiative

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）6月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | 新宿区ほか都内各所 |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、一般社団法人kuriya |
| 入場者数 | 62人 |

【事業趣旨（目的）】

『移民』の若者たち（以下「ユース」）を異なる文化をつなぐ社会的資源ととらえ、フィールドワークとその結果を踏まえたワークショップや、アートプロジェクトを行うことを通じて、ユースへのエンパワメントを目的とする。これらによりユースを「社会問題」ではなく「社会のポテンシャル」として捉え、移民・外国人への偏見やステレオタイプといった価値観に働きかけ、多様性を豊かさに創り上げることの出来る人材を育成する。

【開催状況】

(1) パイロットプログラム

マレーシアからアーティストのOkui Lalaを迎え『移民』の生活のフィールドワークとワークショップ形式のアウトリーチ活動等を行った。東京における『移民』の人々の生活や多文化コミュニティのリサーチをユースとともに進めていくことで、ユースの育成や社会参加の機会につながるプログラムの開発を目的として実施した。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | アーティスト | 参加者（人） |
|--------|--------------------------|--|-------|-----------|--------|
| 8/7～20 | 東京の多文化をめぐる旅「Secret Tour」 | 東京における多文化コミュニティや移民が多く働く職場を訪問し、東京の多文化を取り巻く環境の把握を試みた。同時に、参加したユースに好きな場所や思い出の場所を2か所紹介するツアーを組み立ててもらい、その様子を「パスポート」サイズのノートに写真や絵でまとめ、ウェブサイト上の公開も行った。 | 東京近郊 | Okui Lala | 4 |
| 2/8、10 | 定時制高校：「言葉」のワークショップ | 第1回目での実践を踏まえ、移民の若者達に通う定時制高校にてワークショップを実施した。東京のイメージを多言語で表現するアクティビティを通じて、若者たちの日常生活のリサーチを行った。2回目は移民の高校生だけでなく、日本人の高校生も参加した。 | 定時制高校 | Okui Lala | 13 |
| 2/17 | 学校外活動：多文化ルービックキューブをつくる旅 | 多文化コミュニティや移民が多く働く職場が集まる新宿エリアのまちを歩きながら、ユースとともにまちの多様な文化を象徴する写真を撮影し、その後撮影した写真をそれぞれの文化ごとに並べ、そのまちを反映したルービックキューブを作成した。 | 東京近郊 | Okui Lala | 8 |

(2) ワーキングチームの運営

パイロットプログラムの実践から得た知見について、実践者や有識者、アーティストなど多様なプレーヤーとともに、国内海外での事例紹介、関連する事業の実践者とのディスカッションやリサーチを交えながら、評価・検証を行った。実践と相互に連携させていくことで、多様な文化のあり方についてより学びを深め、より効果的な『移民』の若者たちの人材育成（エンゲージメント、エンパワメント）参加プログラムづくりを試みた。

また、パイロットプログラムの活動、今年度の総括事業としてシェアリングセッション（Sharing Session）を実施した。移民の若者たちのエンパワメントについて研究している徳永智子をモデレーターに、今年度の実践プロジェクトをともに行ったOkui Lalaをゲストに迎え、記録映像を交えながら多文化な現場をつくるアウトリーチのプロセスを深めた。

開催日 9月25日、2月10日、17日
入場者数 6人

・シェアリングセッション（Sharing Session）

開催日 2月25日
会場 ナングロガル（大久保ネパール料理店）
モデレーター 徳永智子（慶應義塾大学国際センター特任講師）

ゲスト Okui Lala (アーティスト)
入場者数 23人

(4) 人材育成プログラム

ユースを対象にアートプロジェクトをはじめとした活動（パイロットプログラムへの参加や、写真・映像、記録、企画の立ち上げなど）を通じて、様々な人と接することで社会とのつながりをつくり、同時に運営能力やスキルを身につける機会を提供した。

開催期間 9月～3月 全16回
参加人数 8人（延べ60人）

【参加者の声】

●パイロットプログラム

・日本人が撮影したコーヒーのロゴや電話ボックスなど、外国人からは一見それが日本の文化とは分からないものが多くて驚いた。

●Sharing Session

・これまでずっと長く日本にいますが、いつも外国人/日本人というふうに固定化したアイデンティティに分けられていると感じていた。しかしこのイベントでは、自分も日本社会の一部なんだと思うことができた。外国人・日本人ではなく、東京人 or 東京の人というアイデンティティを初めて感じることができた。（アメリカ人日本滞在歴20年）

●ワーキングチーム

・福祉や支援のような支援者・被支援者という形が、アートだからこそ作れる対等な関係性だと思った。

43

Artpoint Meeting

【概要】

開催日 平成28年（2016年）6月26日（日）、平成29年（2017年）2月12日（日）
 主催 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
 参加者数 124人

【事業趣旨（目的）】

「まち」をフィールドに、人々の営みに寄り添い、アートを紹介して問いを提示するアートプロジェクト。Artpoint Meetingは、アートプロジェクトに関心を寄せる人々が集い、社会とアートの関係性を探り、新たな「ことば」を紡ぐイベント。東京アートポイント計画の発信を目的に、各回テーマに関わるゲストを招き、東京アートポイント計画のディレクターやプログラムオフィサーがホストを務める形で2回実施した。

【開催状況】

(1) Artpoint Meeting #01 -アートの2020年問題-

東京2020オリンピック・パラリンピックまであと4年。社会とアートを考えるとき、2020年とはどんな契機になるのか。まちとアート、東京と東北、日本とアジア、これからの公共性などの切り口でトークセッション&パフォーマンスを開催した。

開催日 6月26日（日）
 会場 MACRI 神保町
 ゲスト 馬場正尊（建築家）、矢部佳宏（西会津国際芸術村）、小川希（Art Center Ongoing）、EAT&ART TARO（アーティスト）、三澤真也（森のはこ舟アートプロジェクト）
 モデレーター 森司（アーツカウンシル東京）
 参加者 57人

(2) Artpoint Meeting #02 -公（おおやけ）をつくる-

社会の状況に呼応しながら、多様な人とともに作りあげるアートプロジェクトにとって「みんなのもの」は重要な概念。独自のアプローチで仕組みや場をつくり、新しい「公」の姿を更新している3人をゲストに迎え、まち・ひと・活動の未来について考察した。

開催日 2月12日（日）
 会場 Startup Hub Tokyo
 ゲスト 田口幹也（城崎国際アートセンター）、西村佳哲（神山つなぐ公社）、長島剛（多摩信用金庫）
 プレゼンター 佐藤李青（アーツカウンシル東京）
 聞き手 上地里佳、芦部玲奈、中田一会（アーツカウンシル東京）
 モデレーター 森司（アーツカウンシル東京）
 参加者 67人

【参加者の声】

- ・様々な形でアートを使っただけの地域づくりが行われていますが、そのことを捉え直すことができました。乱立しているようにどうしても思っていたのですが、その中で行われていることを精査していく必要があると思いました。
- ・テーマ設定に大変関心があり、参加させていただきました。自分がこれからどう“主体”になれるのか改めて考えていきたいです。



「Artpoint Meeting #01-アートの2020年問題-」



「Artpoint Meeting #02-公（おおやけ）をつくる-」



アートプロジェクトに関心のある人が集い、交流した

44 東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 Art Support Tohoku-Tokyo

【事業概要】

| | |
|------|---|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | 岩手県、宮城県、福島県の各所 |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、特定非営利活動法人@リアスNPOサポートセンター、特定非営利活動法人いわて連携復興センター、つながる湾プロジェクト運営委員会、えずこ芸術のまち創造実行委員会、福島県、いわき市、特定非営利活動法人Wunder ground、いわき芸術交流館アリオス、森のはこ舟アートプロジェクト実行委員会 |
| 協力 | 社会福祉法人愛泉会・かまいしこども園[ぐるぐるミックスin釜石]、特定非営利活動法人 @リアスNPOサポートセンター・こよみのよぶね実行委員会・宝来館・一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校・釜石まちづくり株式会社・一般社団法人チームスマイル[とうほくのこよみのよぶね]、ビルドフルーガス・一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ[つながる湾プロジェクト]、下神白団地自治会、NPO法人3.11被災者を支援するいわき連絡協議会[ラジオ下神白一あのときあのまちの音楽からいまここへ] |
| 協賛 | 日本たばこ産業株式会社 [森のはこ舟アートプロジェクト2016] |
| 助成 | 文化庁 [森のはこ舟アートプロジェクト2016] |
| 協力 | 心の復興推進コンソーシアム [森のはこ舟アートプロジェクト2016] |
| 入場者数 | 4,317人 |

【事業趣旨（目的）】

東日本大震災により甚大な被害を受けた地域に、東京や被災地の芸術文化を活用し、被災地のアートNPO等と連携して、地域コミュニティを再興するため、様々な人々との交流プロセスを重視したアートプログラムや、その実施を支える仕組みづくりを支援する。

【開催状況】

プログラム構成：

（1）ぐるぐるミックスin釜石（岩手）

〈谷中のおかって〉とアーティストのきむらとしろうじんじんが協働開発したこども創作教室「ぐるぐるミックス」を、平成27年度に開設したかまいしこども園と協働して実施した。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | アーティスト | 参加者（人） |
|------|---------------|--|----------|--|--------|
| 8/30 | プレゼンテーション | 本事業の経緯や、谷中に取り組んでいる「ぐるぐるミックス」についての紹介を行った。特に、活動の大きな特徴であるゲストを招いたプログラムに関してや、活動の趣旨について様々な事例を交えて紹介し、こども園の職員の方々に「ぐるぐるミックス」について知ってもらう機会となった。 | | 大西健太郎、渡邊梨恵子 | 8 |
| 10/4 | 「不思議生物ジャージ」 | カラータイツに綿を詰めたものに、羊毛フェルトやモール、ビニールテープなどを接着し、架空の生き物「ジャージ」を制作した。 | | 大西健太郎、きむらとしろうじんじん、安川雄基（アトリエカフエ主宰）、渡邊梨恵子 | 46 |
| 1/31 | 「自分シール・自分マーク」 | 片面にあらかじめ両面テープが貼ってある画用紙に、ペンで描き、ハサミで切り抜きシールにする。好きなもの・こと・人・欲しいものなど何でもマークにして自分に貼って遊んだ。ゲストにもシールを使って自己紹介してもらい、遊びを通じてゲストと子供との交流を図った。 | かまいしこども園 | 大西健太郎、きむらとしろうじんじん、松原清（大館町）、渡邊梨恵子 | 46 |
| 2/14 | 「ぐるぐるねんど」 | 白土・赤土2種類の粘土を用いた遊び。粘土に触ることに慣れるところから始め、その感触や特性に触れ、思い思いに粘土遊びを楽しんだ。 | | 大西健太郎、きむらとしろうじんじん、松原清（大館町）、阿部智子（大館町）、森下響（東京藝術大学）、渡邊梨恵子 | 46 |

(2) 記憶と記録のプロジェクト：ノコノコスコープ in 釜石・大槌（岩手）

震災5年目までの記録や発信のあり方と、6年目以降のそれらのあり方の違いや意義について、議論し、整理した。それを踏まえて、@リアスNPOサポートセンターが取り組む「復興カメラ」のデータベースに保管されている写真・映像の活用のあり方について検討し、NPO法人remoが考案・実施している映像による定点観測「ノコノコスコープ」の試行や、復興カメラのプレゼンテーション・ツール（ポストカード）の開発を行った。

開催日 6月1日～3月23日

会場 岩手県釜石市および大槌町

企画運営 特定非営利活動法人記録と表現とメディアの組織 [remo]、特定非営利活動法人@リアスNPOサポートセンター

(3) とうほくのこよみのよぶね（岩手）

今回で5回目となる「とうほくのこよみのよぶね」。ワークショップ参加者とともに、数字の行灯を制作したり、行灯を彩る折り紙かざりをつくった。鎮魂の祈りを込めてつくられた「3.11」の数字の形をした行灯に光を灯し、海の上に浮かべた。

開催日 3月11日

会場 釜石情報交流センター 釜石PIT、岩手県釜石市鶴住居町根浜海岸

アーティスト 日比野克彦

参加者数 約230人

(4) つながる湾プロジェクト（宮城）

本事業は松島湾とその沿岸地域の文化を再発見し、味わい、共有し、表現することで、地域や人・時間のつながりを「陸の文化」とは違った視点でとらえなおすことを試みた。それによって、この地域の若者や地域の文脈に興味を持つ他地域の人々が、その文化に誇りを持ち、内外へ発信していく土壌を育むことを目指した。

■湾域のリサーチ

湾の文化を伝えるプログラムとして企画した「松島湾とハゼ」実施のため、七ヶ浜町に住むハゼ漁の名人・佐藤啓一へのヒアリング、それに付随して仙台うみの杜水族館にて調査を行った。また、今後の展開の可能性を探るため、浦戸諸島野々島、東松島市宮戸島にてフィールドワークを行った。

開催日 10月20日～2月12日 全5回

場所 野々島、浦戸小中学校、七ヶ浜町 佐藤啓一宅、宮戸島、仙台市、仙台うみの杜水族館

■松島湾とハゼ

松島湾の生活に根付いてきたハゼの文化を体験し、次世代に継承していくきっかけづくりを目指して「数珠釣り」「焼き干しづくり」「仙台雑煮づくり」の3回シリーズでワークショップを行った。「数珠釣り」「焼き干しづくり」は、ハゼ釣り名人の佐藤啓一に講師をお願いし、松島湾に伝承されている方法を学び、体験した。「仙台雑煮づくり」では、「みやぎの食を伝える会」代表の中村みき子を講師に招き、仙台雑煮づくりの手順を参加者とともに実習し、試食するとともに、宮城の食文化に関する講演も行った。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 |
|-------|--------------|--|---------------|
| 10/30 | 数珠釣り | ハゼの伝統漁法「数珠釣り」の方法を学び、実際に釣りをした。 | 松島湾 |
| 11/13 | ハゼの焼き干しづくり | 雑煮の出汁用に、ハゼを捌いて炭火で焼き、藁で結んで干す技術を学んだ。 | islands court |
| 1/29 | ハゼ出汁の仙台雑煮づくり | 「焼き干しづくり」で作った焼きハゼを用いて出汁をとり、「仙台雑煮」を作った。 | islands court |

■海底タイムカプセル松島湾

参加者が自分に宛てて書いた手紙をカプセルに入れて松島湾に沈め、未来に届けるプログラム。海と関わらない日常生活の中でも海に意識を持ち続けられる関係性を創った。今年度は、昨年度開催した「海辺の記憶をたどる旅展2015」で集まった手紙と、東北工業大学の学生に募集した手紙を新たなタイムカプセルに封入し、沈めた。

開催日 10月23日
場 所 くろしおマリーナ

■湾域のネットワーキング

湾の文化を地域全体の財産としていくために今後協働できる可能性がある団体との対話および運営協力を行った。

| 開催日 | 内容 | 会場 |
|------------|--|---------------|
| 8/19、10/10 | 「松島湾アマモ場再生会議」が主催するイベント「親子で学ぶ松島湾の海辺（8/19）」「アマモ移植会（10/10）」に運営協力した。 | 塩竈市浦戸 |
| 1/15 | 今後の連携の可能性を探るため、石巻蛤浜周辺のリサーチおよびはまぐり堂店主と意見交換会を行った。 | 石巻蛤浜 |
| 2/9 | 「松島湾の海域環境復興を考えるシンポジウム」（主催：松島湾アマモ場再生会議）にて、「松島湾とハゼ」の取り組みについて紹介した。 | islands court |

(5) こどもを対象としたワークショップ（宮城）

本事業は、宮城県の特定被災地方公共団体、大河原町、村田町の子供たちを対象に、コミュニケーションワークショップ、演劇体験教室、ダンスワークショップ、3つのワークショップを開催し、子供たちの心と体のケアをするとともに、創造性を引き出し、一人一人の子供たちが活性化していくことにより、心の復興、地域の復興へと繋げていくことを目的に展開した。

■心のケアハウス・コミュニケーションワークショップ

「だるまさんが転んだ」を様々なバリエーションに展開し遊ぶワークショップなどを実施した。動物や家具や文房具の真似をしたり、2人～3人組で様々な形を作ったり、自分を表現すること、誰かと協力して創造的な時間を過ごすことで、子供たちは徐々に心も体も解放され、和やかな笑顔と笑い声が会場を満たしていた。

開催日 1月5日、14日、21日
会 場 おおがわら子どもの心のケアハウス
講 師 柏木陽（演劇家）
入場者数 76人

■こころとからだをつなぐ演劇体験教室2017

運動会、夏休みのプール、スポーツ少年団での思い出など、「6年生との思い出」を題材に、子供たち同士でアイデアを出しながら振り付けを考え、後日、6年生を送る会で発表した。また、「20年後への自分にエールを送る」というメニューでは、子供たちが書いたメッセージを岩淵が朗読し、涙ぐむ子供も見られた。

開催日 2月23日・24日
会 場 村田町立村田小学校
講 師 岩淵吉能（舞台俳優）
入場者数 104人

■ココロがおどるえずこでおどる～楠原竜也とダンスせいじんたちの舞～

アイコンタクトを大切にしながらも全身を思いっきり使ってみなとコミュニケーション。思い思いの自由なダンスで自然に笑顔が広がった。最終日にはホールでの20周年記念事業である「えずこせいじん祝賀祭」で、二日間で作った作品を発表。自身の体をペンに見立てた「ボディペイント」で、20歳を迎えたホールへ、お祝いのメッセージを描いた。まだ肌寒い空の下、外庭からホワイエ、中庭へと場所を移しながら元気いっぱい表現をする子供たちのパワーあふれる祝賀祭の幕開けとなった。

開催日 3月2日～4日
会 場 えずこホール（仙南芸術文化センター）
講 師 楠原竜也（ダンサー、演出家）
入場者数 32人

(6) 学校連携共同ワークショップ（福島）

3人の県内在住のアーティストが学校に出向いて子供たちと交流しながら創作活動を行うワークショップを幼稚園から高校まで全14か所で実施した。「アーティスト」と「学校の先生」と「美術館」の三者で話し合いながらワークショップの内容をみんなで考えていった。制作したすべての作品は、平成28年12月20日（火）～平成29年1月15日（日）（平成28年12月26日～平成29年1月6日を除く）の15日間、福島県立美術館に展示した。

開催日 8月31日～12月23日

会場 学校法人堀内学園富岡幼稚園、二本松市立塩沢幼稚園、福島県立福島東高等学校、川俣町立川俣南幼稚園、福島市立森合幼稚園、白河市立関辺幼稚園、学校法人松韻学園蓬莱もみじ幼稚園、福島市立福島養護学校高等部、学校法人鏡石学園 岡ノ内幼稚園、三春町立三春中学校、会津若松市立第一中学校、福島市立金谷川幼稚園、二本松市立渋川小学校

アーティスト アサノコウタ（建築家）、佐藤香（画家）、FRIDAY SCREEN（鈴木孝昭／坂内まゆ子）

参加者数 459人

(7) マナビバ。～文化政策から、地域の未来をつくる～（福島）

「マナビバ。」は、震災がもたらした地域の課題について、その解決策を、文化・芸術・アートの視点から可能性を探り、これからの福島について、考え・学び・話し合う場です。震災復興における文化政策の意義や役割を考えるためのセミナーとなり、いわき市が目指す「文化のまちづくり」とはどうあるべきか、そのために必要なことは何か、様々なゲストのお話を伺いながら、参加者とともに理解を深めた。

| 開催日 | プログラム名 | 内容 | 会場 | ゲスト | 参加者（人） |
|-------|-----------------------------|---|-------------------------|--|--------|
| 11/9 | トーク「文化の対象は、どこまで広がっているのか？」 | 近年、文化政策の対象は芸術や文化の振興だけでなく、まちづくりや福祉など多様な分野へと広がってきている。最近の動向を学び、文化政策の分野を「横断する力」を活かすために、どのような役割が必要なのかを学んだ。 | いわき芸術文化交流館 アリオス カンティナーネ | 大澤 寅雄（文化生態観察／ニッセイ基礎研究所） | 30 |
| 11/30 | ディスカッション「地域の多様性を大切にするためには？」 | ひとつの地域には、様々な文化的な背景をもった人々が共に住んでいる。その多様な「違い」を包み込むような文化政策は、どうすれば実現できるのか。国内外の理念や事例を学ぶことから、これからのいわき市に必要な文化政策のありようを議論した。 | いわき芸術文化交流館 アリオス カンティナーネ | 長嶋由紀子（文化政策研究者）、鈴木一郎太（株）大と小とレフ取締役 | 33 |
| 12/18 | フォーラム「なぜ、文化に政策が必要なのか？」 | 文化政策は、地域の未来を考えるうえで、どのような意義をもつのか。震災からの復興や「文化のまちづくり」として、どのような取り組みが必要となり、その担い手としての行政や市民は、どのような役割を果たすことが必要となるのか。文化政策の理念と、全国各地で展開される先駆的な実践例の両面から考えた。 | いわき産業創造館 企画展示ホール | 小林真理（東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻教授）、宮道成彦（神戸市市民参画推進局文化交流部 文化創生都市づくり担当部長）、佐藤栄介（大分市 商工労働観光部 商工労政課 アートを活かしたまちづくり担当）、モデレーター：森司（アーツカウンシル東京事業推進室 事業調整課長） | 58 |
| 3/2 | マナビバ。番外編：オノコロ勉強会（福島） | いわきのアートプログラムや文化事業に、市民が参加できる手法を考えるため、いわき市、コーディネーターを対象に、具体的なアートプログラムの実践手法などについて学ぶ勉強会を開催した。 | いわき市 アートスペースもりたか屋 | 石幡愛（一般社団法人オノコロ事務局 長）、冠那奈菜（一般社団法人オノコロコーディネーター） | 5 |

(8) ラジオ下神白一あのときあのまちの音楽からいまここへー

「ラジオ下神白」という架空のラジオ番組を、復興公営住宅のある下神白地域の住民と招聘アーティストのアサダワタルが協働制作する。下神白団地とその周辺の住民を対象に、昭和10～30年代の懐かしの音楽を聴きながら、それをきっかけに話されたエピソードと思い出の曲にナレーションを付けてラジオ番組風に仕上げ、1枚のCDにまとめた。完成したCDは、取材対象者のイラスト入りの解説書や葉書と一緒に配布した。今年度はパイロットプログラムとして実施。住民説明用のデモ版を作成し、取材対象者や関係者に配布し意見を伺った。

開催期間 12月20日～3月16日 全10回
会場 いわき市小名浜下神白 地内
アーティスト アサダワタル（日常編集家）
参加者数 196人

(9) 森のはこ舟アートプロジェクト2016

森林文化をテーマとして会津地域5エリアと南相馬市でプロジェクトを展開した。事業は3年で終了となり、東京でのクロージングフォーラムも開催した。

会場 福島県喜多方市、西会津町、三島町、猪苗代町、北塩原村、南相馬市、アーツカウンシル東京 ROOM302 ほか
参加者数 2,792人

【参加者の声】

●とうほくのこよみのよぶね

- ・小学生の時に津波を経験してから、ボランティアに時々参加してきた。今日の活動はいつもと違った感じで、芸術に関わった気持ちになった。これからは、災害関係とは直接関係ないボランティアにも参加していきたい。（高校二年生男性）
- ・3・11の灯りを見た時は、亡くなった人のいい思い出が蘇って、少しだけ心が安らいだ。海の上に浮かぶ温かい光は、本当に美しかった。今までは亡くなった娘に「申し訳ない」との気持ちで一杯だったが「お母さん、もう私の事は心配しなくていいよ」と言ってくれた気がした。ちょっとだけ気持ちが楽になった。来年も、その先も、この淡い灯りで娘を迎えて欲しい。
- ・あっという間の6年間だった。苦しい時ばかりだったと思う。こうして、明かりを見てあの時を想うと辛いけど、明日からは少し力を抜いて頑張ろうと思う。（地元男性）

【発行物】

2016 学校連携共同ワークショップ 報告書（学校連携共同ワークショップ）
潮目の町から一文化政策の可能性と、いわきの多様性（マナビバ。－mana viva－）
森のはこ舟アートプロジェクト2016 活動報告書（森のはこ舟アートプロジェクト）
松島湾のハゼ図鑑（つながる湾プロジェクト）
ノック！－足もとの暮らしを楽しくするヒント10（つながる湾プロジェクト）

45

タレンツ・トーキョー 2016

【概要】

| | |
|------|--|
| 開催期間 | 平成28年11月21日（月）～26日（土） |
| 会場 | 有楽町朝日ホールスクエア |
| 主催 | 東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、国際交流基金アジアセンター、タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス） |
| 提携 | ベルリン国際映画祭（ベルリナーレ・タレンツ） |
| 協力 | 東京ドイツ文化センター |
| 参加者数 | タレンツ15人、エキスパート（講師）計9人 |

【事業趣旨（目的）】

映画分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能（＝Talents, タレンツ）」を育成することを目的に、映画監督やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に集めて実施する。

【開催状況】

国際的に活躍するプロフェッショナルをエキスパート（Main Experts、Master Class Experts、Experts）として迎え、レクチャーや企画合評会を実施した。第一線で活動する人材の視線に晒されることにより、タレンツに強烈なインスパイアを受ける体験を促すとともに、タレンツやエキスパート間、さらには映画祭「東京フィルメックス」に集まる映画作家たちとの交流も生まれるなど、参加者それぞれのネットワークを国際的に広げることができた。

参加タレンツ

Kavich Neang（カンボジア）
 Jie Cai（中国）
 Jinjin Mo（中国）
 Timothy Yeung（香港／カナダ）
 Shalahuddin Siregar（インドネシア）
 Yusuke Kinoshita（日本）
 Mayu Nakamura（日本）
 Sein Lyan Tun（ミャンマー）
 Martika Escobar（フィリピン）
 Cha Escala（フィリピン）
 Tongpong Chantarangkul（タイ）
 Duc Doan（ベトナム）
 Binh Giang Le（ベトナム）
 Yang Li（中国）
 Gita Fara Praditya（インドネシア）

46

アーツアカデミー

【事業概要】

| | |
|------|-------------------------------|
| 開催期間 | 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月 |
| 会場 | アーツカウンシル東京、東京芸術劇場、ワテラスコモンホール |
| 主催 | アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） |
| 参加者数 | 計119人 |

【事業趣旨（目的）】

芸術文化の創造・発信を担う人材を育成するプログラムを実施する。

〈調査員制度〉では、若手人材を調査員として委嘱し、事業の視察やレポート作成および研修会などを通じて調査や研究活動を行う。芸術文化活動の支援のあり方についての知見を深める機会を提供し、今後東京の芸術文化の振興を担う人材として育成する。

〈実演とお話による伝統芸能パースペクティブ＜第4回＞〉では、次代の芸術表現を創造するアーティストや制作を支える人材の育成につながる講座を実施する。

〈東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修〉（東京芸術劇場への執行委任事業）では、劇場をはじめとする公立文化施設等の運営やフェスティバルなど事業実施の中核となる若手人材の育成を目的とした、OJT研修を実施する。

【開催状況】

〈調査員制度〉コースでは、「東京芸術文化創造発信助成」等における助成事業や関連事業を視察し調査レポートを作成する調査業務、有識者を招いたレクチャーやディスカッションや演習などを実施し、年度末には事業報告会を開催。

〈実演とお話による伝統芸能パースペクティブ＜第4回＞〉では、企画監修に安田登氏を迎え、伝統文化・芸能の世界で新たな道を切り開いている実践者を迎えて、実演と講座を実施した。（企画監修：安田登）

〈東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修〉コースでは、本格的な音楽、演劇・舞踊等の専用ホールおよびスタッフを有し、積極的な創造発信を行う東京芸術劇場の特性を活かした現場研修を行った。また、レクチャーやゼミ、現場での実務研修を通して、それぞれの業務に必要な知識や技能を付与するとともに、他の劇場関係者とのネットワークをつくる機会も提供した。

47

Tokyo Art Research Lab

【事業概要】

開催期間 平成28年（2016年）4月～平成29年（2017年）3月
 会場 アーツカウンシル東京 ROOM302 ほか
 主催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、一般社団法人ノマドプロダクション
 入場者数 265人

【事業趣旨（目的）】

アートプロジェクトの現場の課題に対応したスキルの提供や開発、人材の育成を行い、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指す。

【開催状況】

（1）思考と技術と対話の学校

アートプロジェクトの担い手の育成を目指し、26年度より「思考と技術と対話の学校」を実施。アートプロジェクト運営に欠かせない3つの基礎力を3年かけて身に付ける「基礎プログラム」ほか、基礎プログラム受講生以外でも単発で受講できる集中講座や研究・開発プログラムの報告会も開催した。

■基礎プログラム1、2、3

アートプロジェクトに携わることのできる「思考」「技術」「対話」力を身につけるための人材育成プログラムを開催した。

開催期間 6月～2月

参加費 一般60,000円、学生40,000円（通期）

参加者数 32人

スクールマネージャー 坂本有理、佐藤季青、嘉原妙（アーツカウンシル東京）、橋本誠（アートプロデューサー）、及位友美（voids/コーディネーター）、坂田太郎（P3 art and environment リサーチャー、サイト・イン・レジデンス）、阿比留ひろみ、野崎美樹（一般社団法人ノマドプロダクション）、家入建生（アーツ前橋）

●ガイダンス（基礎プログラム1、2、3共通）

6月28日（日）13:00～17:00

ゲスト 椿昇（コンテンポラリー・アーティスト）、Nadegata Instant Party（中崎透+山城大督+野田智子）

ホスト 森司（Tokyo Art Research Lab ディレクター/「思考と技術と対話の学校」校長/東京アートポイント計画ディレクター）

参加人数 55人

●基礎プログラム1 [思考編]

| 開催日 | 前半 | 後半 |
|------|--|---|
| 7/2 | アートプロジェクト概論1 | アートプロジェクト概論2 |
| 7/16 | 仕事を知る① アートNPO事務局の仕事——行政、市民、場をつなぐ ゲスト：宮下美穂（NPO法人アートフル・アクション 事務局長） | 思考を深める/想像を広げる① アジアを巡るオルタナティブな実践——表現と拠点/コレクティブの未来 ゲスト：岩井優（美術家）、江上賢一郎（アート・アクティビズム研究/写真家） モデレーター：小川希（TERATOTERA ディレクター/Art Center Ongoing 代表） |
| 8/6 | 仕事を知る② コミュニティアートの実践例 ゲスト：藤原ちから（批評家、編集者、BricolaQ主宰） | 思考を深める/想像を広げる② 場所の感覚 ゲスト：松田法子（建築史・都市史研究者/京都府立大学専任講師）、遠山昇司（映画監督/プロデューサー） モデレーター：芹沢高志（P3 art and environment 統括ディレクター） |
| 9/3 | アートプロジェクト概論3 | 思考を深める/想像を広げる③ 生と死をめぐる表現——イメージ、ことば、ふるまい ゲスト：金菱清（東北学院大学 教養学部地域構想学科教授）、菅原直樹（俳優/介護福祉士） モデレーター：石幡愛（としまアートステーション構想事務局長/一般社団法人オノコロ） |

| 開催日 | 前半 | 後半 |
|-------|---|---|
| 9/24 | 仕事を知る③ ゲスト：立石沙織（認定NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター 広報） | 現場に立ち会う 中間まとめ、グループワーク |
| 10/8 | 仕事を知る④ 立ち上げから評価・検証までを見据えたプロジェクト運営 ゲスト：小林瑠音（文化政策研究者／神戸大学大学院博士後期課程） | グループワーク② |
| 10/29 | 仕事を知る⑤ 展覧会・芸術祭運営の現場を生き抜くためのスキルとは ゲスト：細川麻沙美（プロジェクト・コーディネーター） | 思考を深める／想像を広げる④ 公共空間をつくる／つかう——公と私のあいだの場所 ゲスト：アサタワタル（文化活動家／アーティスト）、小野田泰明（東北大学大学院 都市・建築学専攻 教授／同 災害科学国際研究所 教授） モデレーター：佐藤慎也（日本大学教授／建築家） |
| 11/19 | 仕事を知る⑥ アートプロジェクトの涉外とチームビルディング ゲスト：林曉甫（NPO法人インビジブル マネージング・ディレクター） | 思考を深める／想像を広げる⑤ 音／音楽のバックグラウンド ゲスト：朝比奈尚行（音楽家／演出家／俳優）、渡辺裕（聴覚文化論：音楽社会史／東京大学教授） モデレーター：長島確（ドラマトウルク／翻訳家） |
| 12/10 | 仕事を知る⑦ 領域を横断するアートの仕事 ゲスト：古原彩乃（アートコーディネーター） | 思考を深める／想像を広げる⑥ ゲスト：川口隆夫（ダンサー／パフォーマー）、山田創平（社会学者／京都精華大学人文学部総合人文学科長・准教授） モデレーター：大澤寅雄（ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室／文化生態観察） |
| 1/14 | 修了課題の発表 | まとめ／修了式 |

●基礎プログラム2 [技術編]

| 開催日 | 前半 | 後半 |
|-------|---|--|
| 7/9 | アートプロジェクト概論1 | アートプロジェクト概論2 |
| 7/10 | アートプロジェクトを立ち上げるための準備運動① 自由な発想でアイデアの種をかたちにする ゲスト：長島確（ドラマトウルク／翻訳家） | アートプロジェクトを立ち上げるための準備運動② 現場を体感することから場づくり／関係づくりを学ぶ ゲスト：谷中のおかつ（大西健太郎、渡邊梨恵子） |
| 7/30 | アートプロジェクトを立ち上げるための準備運動③ アートプロジェクトとは？を言語化する | アートプロジェクトを立ち上げるための準備運動④ 5年後の東京を見据えた上で、いま取り組むべきプロジェクトを考える |
| 8/20 | アートプロジェクトを立ち上げるための準備運動⑤ 芸術・文化をめぐるお金のあり方を考える ゲスト：若林朋子（プロジェクト・コーディネーター／プランナー） | アートプロジェクトを立ち上げるための準備運動⑥ 5通りの設定を通してきくことは大事、ということを知る ゲスト：西村佳哲（リビングワールド代表） |
| 8/21 | アートプロジェクトを動かすために必要なことを知る① ディベートの実践を通して自分の立ち位置の文脈を試みる ゲスト：菊池宏子（アーティスト／コミュニティデザイナー／NPO法人インビジブル クリエイティブ・ディレクター／クリエイティブ・エコロジー代表） | チームビルディング、“わたしの企画”を深める |
| 9/10 | アートプロジェクトを動かすために必要なことを知る② 場づくりに必要な視点、プロジェクトを動かす際のスキルについてディスカッションする ゲスト：松尾真由子（Breaker Project 事務局長） | チームで目的を共有する |
| 9/11 | アートプロジェクトの伝え方・残し方について考える① カードゲームを通してプロジェクトの記録について考える ゲスト：石橋愛（としまアートステーション構想事務局長／一般社団法人オノコロ） | 思考を深める／想像を広げる⑤ 実施予定プログラムの広報計画を考える ゲスト：四元朝子（コーディネーター） |
| 10/15 | グループワーク リサーチの共有 | グループワーク チームならではの企画を立ち上げる |
| 11/26 | アートプロジェクトの伝え方・残し方について考える③ 校正・広報計画の策定を通して言葉を磨く ゲスト：中田一会（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー／コミュニケーション・デザイン担当） | アートプロジェクトの伝え方・残し方について考える④ プロジェクトを簡潔な言葉で表現する ゲスト：多田智美（編集者／MUJESUM） |
| 11/27 | アートプロジェクトの伝え方・残し方について考える⑤ ゲスト：山城大督（美術家／映像ディレクター／ドキュメント・コーディネーター／山城美術代表）、吉澤弥生（共立女子大学文芸学部准教授／社会学者／NPO法人地域文化に関する情報とプロジェクト [recip] 理事／NPO法人アートNPO リンク理事） | プレゼンテーションを準備する |
| 12/17 | 事業計画発表 | アートプロジェクトの続け方・終わる方について考える・まとめ・修了式 ゲスト：芹沢高志（P3 art and environment 統括ディレクター） |

●基礎プログラム3 [対話編]

| 開催日 | 前半 | 後半 |
|------|---|----|
| 6/25 | オリエンテーション① ガイダンス ゲスト：Nadegata Instant Party（中崎透＋山城大督＋野田智子） | |
| 6/26 | オリエンテーション② プレインストーミング ゲスト：Nadegata Instant Party（中崎透＋山城大督＋野田智子） | |

| 開催日 | 前半 | 後半 |
|---------|--|--|
| 7/23 | ゲストトーク ゲスト：藤井光（アーティスト）、Nadegata Instant Party（中崎透+山城大督+野田智子） | ゲストトーク ゲスト：戸舘正史（文化政策／アートマネジメント）、西川美穂子（東京都現代美術館 学芸員）、Nadegata Instant Party（中崎透+山城大督+野田智子） |
| 7/24 | 企画を動かす① プレインストーミング ゲスト：Nadegata Instant Party（中崎透+山城大督+野田智子） | |
| 8/20、21 | 企画を動かす② 合宿（フィールドワーク） ゲスト：Nadegata Instant Party（中崎透+山城大督+野田智子） | |
| 9/19 | 企画を動かす③、④ フィールドワーク、企画会議 ゲスト：Nadegata Instant Party（中崎透+山城大督+野田智子） | |
| 11/13 | 企画を動かす⑤ 企画会議 ゲスト：Nadegata Instant Party（中崎透+山城大督+野田智子） | |
| 12/3 | 企画を動かす⑥ 運営会議・準備 ゲスト：Nadegata Instant Party（中崎透+山城大督+野田智子） | |
| 12/23 | 企画実践 「プレイパーク・パーティーを考える日」 ゲスト：滝沢達史（美術家）、Nadegata Instant Party（中崎透+山城大督+野田智子） | |
| 1/28 | まとめ・修了式 ゲスト：Nadegata Instant Party（中崎透+山城大督+野田智子） | |

■集中プログラム「アートプロジェクトが向かう、これからの在り方」

アートプロジェクトが向かう、これからの在り方をテーマに、2回の集中講座を実施。1回目は、平成28年に別府で開催された個展形式の芸術祭「in BEPPU」の仕掛け人山出淳也、現代芸術活動チーム「目」をゲストに迎えこれからの芸術祭のあり方を問う講座を実施。2回目はアッセンブリッジ・ナゴヤのプログラムディレクターや市の担当職員をゲストに迎え、持続可能なアートプロジェクトのあり方について考える講座を実施した。

| 開催日 | プログラム名 | 会場 | 入場料 | ゲスト | 参加者（人） |
|------|---|-----------------------|-----|---|--------|
| 1/29 | なぜ個展形式の芸術祭が生まれたのか～ 「目 In Beppu」から紐解く、これからの芸術祭の在り方～ | アーツカウンシル東京 ROOM302 | 無料 | 山出淳也（NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事／アーティスト）、目（現代芸術活動チーム） | 59 |
| 2/11 | アートプロジェクトの適正規模とは？ ～「アッセンブリッジ・ナゴヤ」から紐解く、まちなかアートプロジェクトの仕掛け方～ | アーツカウンシル東京 ROOM302 | 無料 | 青田真也（美術家／MAT, Nagoya プログラムディレクター）、吉田祐治（名古屋市文化振興室職員）、吉田有里（アートコーディネーター／MAT, Nagoya プログラムディレクター） | 19 |

（2）研究・開発

専門家との協働により、専門的な知見や課題の整理と発信、アーカイブの手法をまとめた冊子やシステムの開発を行った。

■『幸せな現場づくり』のための研究会

「文化」「文化事業」「アート」「アートプロジェクト」の現場の環境改善および人材育成（キャパシティ・ビルディング）・キャリア形成の前提となる条件を洗い出し、文化創造基盤の充実および担い手の専門性の向上、職域の認知向上に必要な言説とメソドロジーを提示することを目指し研究会を実施。アート・コーディネーター、プランナー、コミュニティデザイナー、会計士という専門性の異なる4人の研究会メンバーによって、現在進行形の現場の課題や可能性について議論し、その一連を記録した。また、今年度は、研究会から発見された知識や視点を1冊の書籍として言語化・ビジュアル化することで、これからのアートの現場に必要な「共通認識」の形成に寄与することを目指した。

期 間：7月～12月

研究会メンバー：帆足亜紀（アート・コーディネーター／横浜トリエンナーレ組織委員会事務局プロジェクト・マネージャー）、菊池宏子（コミュニティデザイナー／アーティスト／米国・日本クリエイティブ・エコロジー代表）、若林朋子（プロジェクト・コーディネーター、プランナー）、山内真理（公認会計士・税理士／Arts and Law代表理事）

編 集 川村庸子（編集者）

記 録 高橋かおり（早稲田大学文学学術院助手／社会学者）

報告会：

『幸せな現場づくり』のための研究会 報告会 ～異なる立場で働く4人が伝えたいメッセージ～

日 程：12月6日（月）

会 場：アーツカウンシル東京 ROOM302

参加費：無料

参加人数：44人

■旅するリサーチ・ラボラトリーⅢーフィールドワークと表現

アートの現場におけるフィールドワーク的实践に着目し、旅を通してリサーチやアウトプットの手法、それらにまつわる作法に関するグループリサーチを行った。プロジェクト3年目となる28年度のキーワードは「Nodus（ノドス）」。（「Nodus」とは、「接点、結び目、もつれ、難曲」など複層的な意味を含むラテン語。）独自のクレオールの多様性、「Nodus」を含んだ小笠原にて、ゲストのリサーチ・ディレクターを迎え、複数のリサーチャーによるそれぞれの視点と考察の違い、それらが接触・交換する時に生まれる化学反応を観察・記録することに取り組んだ。

期 間 9月～3月 ※リサーチ期間12月5日～16日

ディレクション 森司（Tokyo Art Research Lab ディレクター／「思考と技術と対話の学校」校長／東京アートポイント計画ディレクター）

リサーチ mamoru（サウンドアーティスト）、下道基行（美術作家／写真家）、EAT&ART TARO（アーティスト）

記 録 川瀬一絵（写真家）

コーディネート 浅井聖（プロジェクト・コーディネーター）

デザイン 丸山晶崇（デザイナー）

報告会：

「旅するリサーチ・ラボラトリーⅢーフィールドワークと表現ー」活動報告会

日 程：2月5日

会 場：アーツカウンシル東京 ROOM302

参加費：無料

参加人数：36人

■ALTERNATIVE ASIA PLATFORM

Art Center Ongoingの小川希を中心に形成されてきた東南アジアのインディペンデントな拠点やオルタナティブな活動のネットワークをもとに、情報のプラットフォーム形成を試みた。またテキストは英訳も行うことで、各地の現場の担い手の双方向のネットワーク形成を目指した。その成果として『東南アジアリサーチ紀行ー東南アジア9か国・83か所のアートスペースを巡る』を発刊した。

企画監修・執筆 小川希（TERATOTERA ディレクター／Art Center Ongoing 代表）

翻訳監修 弘川有希絵（Art Center Ongoing）

デザイン 原田光丞（グラフィックデザイナー）

■芸術祭のためのノート

これから芸術祭を担う人々が議論を重ねるための共通の基盤づくりを目指した。いま、芸術祭に取り組むことに、どのような意義があるのか。国際的な時流を読み解きながら、どのような方法を重視し、現場を組み立てていくべきなのか。あいちトリエンナーレ2016の芸術監督を務めた港千尋が、その経験と思考をまとめた『芸術祭ノート』を制作した。

企画監修・執筆 港千尋

■アートプロジェクトの「言葉」に関するメディア開発：メディア／レターの届け方

アートプロジェクトから生まれた「言葉」（報告書やドキュメントブックなどの発行物）の届け方の手法の研究・開発を目指した。とくに今年度はアーツカウンシル東京の取り組みから「東京アートポイント計画」「Tokyo Art Research Lab」「Art Support Tohoku-Tokyo（東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業）」「TURN」

を取り上げ、その発行物を届けるためのメディア開発（『Words Binder 2016/Box+Letter』）を行った。

開発メンバー：川村格夫（デザイナー）、川村庸子（編集者）、佐藤恵美（編集者／ライター）、佐藤李青（アーツカウンシル東京プログラムオフィサー）、中田一会（アーツカウンシル東京プログラムオフィサー／コミュニケーション・デザイン担当）

■『アーツカウンシル東京ROOM302 アートプロジェクト検索サイトβ版 SEARCH302』

昨年度からの持ち越しであったDrupal からWordPress へのデータ移行作業が完了し、リニューアルサイト『アーツカウンシル東京ROOM302アートプロジェクト検索サイトβ版 SEARCH302』を公開することができた。また、本ウェブサイトの公開により、本アーカイブ・センターの存在を広く広報することができた。また、検索サイトをDrupal からWordPress へ移行したことにより、ページデザインの改善や利便性の向上だけでなく、専門家に頼ることなく事務局のスタッフが、直接データの移行作業から、ページの更新や修正が行えるようになった。

企画制作：アート&ソサエティ研究センター

(3) TARL 公式ウェブサイトリニューアル

平成29年2月にTARL公式ウェブサイトのリニューアルを行った。過去に「思考と技術と対話の学校」に招いたゲストのプロフィールが一覧できる「PEOPLE」ページの新設をするなど、これまでの活動をより見やすくし、アーカイブとして機能の充実も図った。

アートディレクション 加藤賢作（LABORATORIES）
 サイトデザイン&プログラミング 伊藤博紀（LABORATORIES）
 編集 川村庸子、柴原聡子、橋場麻衣

【参加者の声】

●「思考と技術と対話の学校」説明会

- ・講座のイメージが具体的に持てたことに加えて、実際にアーティストさんから、現場のお話や、アートプロジェクトの考えを伺えてとても充実していました。

●『幸せな現場づくり』のための研究会

- ・アートマネジメンの語られてこなかったハードの部分の部分を専門家の方々から聞くことができたこと。私は大学生なので、もし次回があればこれから業界に入っていく若者向けにデザインされたレクチャーetcを拝聴したいです。

●集中講座第一回 なぜ個展形式の芸術祭が生まれたのか～「目 In Beppu」から紐解く、これからの芸術祭の在り方～

- ・運営側とアーティスト両面から話を伺うことができて良かった。

●集中講座第2回 アートプロジェクトの適正規模とは？～「アッセンブリッジ・ナゴヤ」から紐解く、まちなかアートプロジェクトの仕掛け方～

- ・問題に直面したときの話にリアリティがあり、プロジェクトの連携による解決が素晴らしいと思った。

【発行物】

Tokyo Art Research Lab「思考と技術と対話の学校」基礎プログラムアニュアルレポート2016（思考と技術と対話の学校）

基礎プログラム1 [思考編]「思考を深める／想像を広げる」講義録 2016（思考と技術と対話の学校）

基礎プログラム1 [思考編]「仕事を知る」講義録 2016（思考と技術と対話の学校）

アートプロジェクトの現場で使える27の技術（思考と技術と対話の学校）

プレイ・パーク・パーティーを考える日ーTokyo Art Research Lab「思考と技術と対話の学校」基礎プログラム3 [対話編] 実践プログラムドキュメント（思考と技術と対話の学校）

東南アジアリサーチ紀行ー東南アジア9カ国・83カ所のアートを巡る（研究・開発：Alternative Asia Platform）

Traveling Research Laboratory（研究・開発：旅するリサーチラボラトリーⅢーフィールドワークと表現ー）

48

アーツカウンシル・フォーラム オープン・フォーラム2017 「新たなアイデアへの挑戦-文化プログラムに活かせる価値転換の取組-」

【事業概要】

| | |
|------|-----------------------------|
| 開催日 | 平成29年（2017年）3月4日（土） |
| 会場 | アーツカウンシル東京 会議室 |
| 主催 | アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） |
| 参加者数 | 60人 |
| 参加料 | 無料（事前申込制） |
| 言語 | 日英同時通訳付 |

【事業趣旨（目的）】

海外の芸術文化団体や文化施設とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力を高めていく。

【開催状況】

東京都は2020年に向け、文化のレガシーを2020年以降に継承し、文化の魅力であふれる都市東京の実現をめざし、2016年秋から「東京文化プログラム」をスタートした。東京2020大会に向けて繰り広げられる文化プログラムは、社会課題に正面から取り組んだり、東京から未来に向けた新しいチャレンジや考え方を示す絶好の機会となる。本フォーラムでは、従来の考え方を新しい発想に基づきどう「価値転換」を行っていくのか、それらを実践している国内外のゲストを招き、2020年以降にも繋がる価値転換の可能性を探った。

プレゼンター

アンソニー・サージェント [Luminato Festival CEO]
クリスティン・O・ジョーンズ [San Francisco Opera 創客部ディレクター]
黄姍姍 [忠泰建築文化芸術基金・忠泰美術館 主任]

パネリスト

遠山正道 [株式会社スマイルズ 代表取締役社長]

モデレーター

芹沢高志 [P3 art and environment 統括ディレクター]

構成：

- 第1部 事例紹介
3人のプレゼンターによる事例紹介
- 第2部 パネルディスカッション
プレゼンターとパネリスト、およびモデレーターによる討論

【参加者の声】

来場者アンケート集計結果 回答数31件

- ・イベント満足度について
「大変期待に沿うものであった」 9
「期待に沿うものであった」 21
「期待に沿うものではなかった」 1
→「期待に沿うものであった」と回答した人があわせて97%であった。
- ・イベント内容の質について
「大変質の高い内容であった」 7
「質の高い内容であった」 21
「質の高い内容ではなかった」 3
→「質の高い内容であった」と回答した人があわせて90%であった。

49

企画戦略事業

【概要・事業趣旨（目的）】

東京の芸術文化環境を向上させるため、主に助成制度を基軸としてさまざまなテーマに基づいた調査や研究、シンポジウムなどを実施するとともに、多彩な東京の芸術文化の魅力およびアーツカウンシル東京の取り組みを国内外に発信する。

【開催状況】

音楽・演劇・舞踊・美術・映像および伝統芸能分野を中心とした国内外の事業視察や調査、主催事業としてシンポジウムの開催や研究会等を実施した。

(1) メディアアート国際シンポジウム「“アート&テクノロジー” ー時代の変遷、同時代の動向、これからのプラットフォームー」

“アート&テクノロジー”の動向を地域的、歴史的な観点から再検証することで、現在と未来、社会と芸術、個人と公共を繋ぐ芸術文化における新たなプラットフォームのあり方についてのシンポジウムを実施した。

登壇者 真鍋大度（アーティスト/ライゾマティクス）、アンドレアス・シアギャン（アーティスト、エンジニア/ライフパッチ）、ジェフリー・ショー（アーティスト）、阿部一直（山口情報芸術センター副館長）、島中実（NTTインターコミュニケーション・センター [ICC] 主任学芸員）、イヴォンヌ・シュピールマン（メディア学者、芸術学者）

開催日 7月9日（土）

会場 NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]

主催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、国際交流基金アジアセンター

特別協力 NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]

参加者数 245人

参加費 無料

(2) 障害とパフォーマンス・アーツ研究会

障害者の多様な芸術活動について、パフォーマンス・アーツ（舞台芸術）分野における実践者のネットワーク形成、今後の課題解決に向けた取り組みについて研究会を実施した。

開催期間 通年

会場 東京芸術劇場

主催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

(3) 舞踊分野の振興策に関するヒアリング調査および研究会

今後の舞踊分野に対する支援策について、有識者を対象とするヒアリング調査の実施および舞踊関係者による研究会を実施した。

開催期間 通年

主催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

50

広報活動

【概要・事業趣旨（目的）】

アーツカウンシル東京の個別事業に関する広報を個々の実施団体が中心となって行っている一方で、アーツカウンシル東京として統一のイメージを構築し、発信力を強化するため、メディアをはじめ一般に認知を広めることを目的とした広報活動を行っている。

具体的には、プレスリリースの発行に加え、媒体各社を訪問して記者との対話の中から記事化を目指すキャラバン活動やメディアの方々とアーツカウンシル東京事業についての意見交換を行う記者懇談会の開催など、様々な手法によるパブリシティ活動を中心としている。また、適宜媒体を選択してタイアップ記事も展開している。さらに、広報紙「TOKYO PAPER for Culture」やラジオ番組、ウェブサイト、SNSなど独自媒体を持ちコンスタントに情報発信を行っている。また、首都圏の芸術文化団体の広報担当を主な対象者とし、「Arts Council Tokyo Bridge Meeting（芸術文化団体広報ネットワーク会）」を実施している。

●公式ウェブサイト（日本語・英語対応）

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/> <https://www.artscouncil-tokyo.jp/en/>

ユーザーが必要とする情報にいち早くアクセスできるよう分かりやすさを重視して使い勝手の向上に努めた。さらに、アーツカウンシル東京が主催するプログラムにライターが出向き、現場をレポートするブログで事業の詳細を広く紹介したり、カウンシルボード委員が執筆するアカデミックなコラムにより、ユーザーの興味、関心の喚起に努めた。また、広報紙である「TOKYO PAPER for Culture」がウェブでも楽しめるようにウェブマガジンとしても展開した。

●SNS（Facebook、Twitter）

アーツカウンシル東京の公式FacebookおよびTwitterページから様々な情報を写真も交えて随時発信した。

| | 登録者数（人） |
|-----------------|---------|
| Facebook（「いいね」） | 6,964 |
| Twitter（フォロワー） | 7,323 |

※平成29年3月31日現在

●メールニュース

アーツカウンシル東京が主催・共催するイベントや公募等の最新情報やニュースを定期的にお知らせするため、月2回メールニュース（日英バイリンガル）を配信した。

配信件数 1,077人

※平成29年3月31日現在

●PR活動

「年間ラインアップ発表」、「東京2020大会の気運を高める新しい助成プログラムの公募を開始『東京文化プログラム助成：気運醸成プロジェクト支援』」「リオデジャネイロにおける文化事業の実施『東京キャラバン』、『TURN』、『TOHOKU&TOKYO in RIO』」など計17本のプレスリリースを日本語（16本）、英語（1本）で発行し、国内外に配信すると同時にメディアキャラバンを展開した。また、記者懇談会を開催するなど、アーツカウンシル東京の浸透を図り取材誘致やパブリシティ獲得へと繋げた。さらに、今年度は海外広報の強化にも取り組み、韓国、台湾の雑誌メディアやウェブサイト、インフルエンサーを使ったSNSでの発信に力を入れた。

【記者懇談会】

平成28年度の新規トピックスである「東京文化プログラム助成開始」や、リオデジャネイロ2016大会における現地での「東京キャラバン」、「TURN」、「TOHOKU&TOKYO in RIO」の報告、秋に展開されるフェスティバル事業の発表を中心に、記者懇談会を開催。東京の文化政策の目標実現において一翼を担うアーツカウンシル東京に対する理解・共感を深めていただくことを目的に、意見交換を行った。

開催日 9月7日（水）

会場 アーツカウンシル東京

プレス出席者 16社／19人

【広報紙】

「東京の文化を研究するためのフリーペーパー」とのコンセプトのもと、平成25年度より発行（4回／年）している広報紙「TOKYO PAPER for Culture」。国内外の方々により楽しんでいただけるよう、注目度の高い気鋭のアーティストを起用し、企画力、デザイン力共に高いクオリティを保ちながら、コンテンツの充実を図った。今年度はオリンピックイヤーということもあり、紙面にスポーツのマインドを取り入れ、より幅広い人々にアプローチできるよう、人選、デザインでポップなメジャー感を目指しリニューアルした。事業会場をはじめ、都立文化施設や観光案内所、都営地下鉄等で配布し、広く情報発信を行った。

| | テーマ | 頁数 | 発行日 | 発行部数 |
|------|--------------------|----|------|--------|
| 第十三号 | エンターテイナーの条件 | 8 | 7/27 | 50,000 |
| 第十四号 | 映画と音楽が教えてくれる、本当の身体 | 16 | 9/14 | 50,000 |
| 第十五号 | 今、信じるべき肉体感覚 | 8 | 12/7 | 50,000 |
| 第十六号 | 拡張していく身体感覚 | 8 | 3/8 | 50,000 |

【TOKYO PAPER “Remix”】

広報紙「TOKYO PAPER for Culture」を広く周知し、アーツカウンシル東京の認知度向上を目指して、トーク企画を開催。

「TOKYO PAPER for Culture」のリニューアルに伴い、今年度から展開する新コンセプトおよび東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えたこれからの東京の文化などについてトークを行った。また、会場内で「TOKYO PAPER for Culture」の配布を行った。

| 開催日 | 会場 | ゲスト |
|-----|----------|--|
| 8/6 | パークホテル東京 | 水島七恵 (TOKYO PAPER for Culture編集ディレクション) 山野英之 (TOKYO PAPER for Cultureアートディレクション、TAKAIYAMA inc.) 森隆一郎 (TOKYO PAPER for Cultureディレクター、アーツカウンシル東京 広報調整担当課長 ※司会進行) |

【出広告実績】

今年度は、昨年度作成した2種類の広報動画を広めるために、ウェブ媒体での発信を行った。また、コーポレートブランディングの一環として、AERA、Japan Todayで機構長のインタビュー記事を掲載。また、訪日外国人旅行者や国内在住外国人への情報発信も視野にいれ、影響力を持つTime Out Tokyoと3か月にわたる長期のタイアップを展開。東京の観光公式サイト「GO TOKYO」でのバナー広告を実施した。また、アジアを中心とした海外媒体において雑誌とウェブと連動した形でのタイアップに注力した。さらには、メディア以上に影響力を持つと言われるブロガーと組むことで発信力強化を図った。

媒体10件

| ジャンル | 日付 | 媒体 | 言語 | 内容 |
|--------|----------|---------------------------|-----|--|
| 雑誌 | 10/8発行号 | AERA | 日 | 4C2P 機構長インタビュー |
| 雑誌・ウェブ | 9月～2月 | Travie 雑誌およびウェブ | 韓 | 4C 1/3P 9月「アンサンブルズ東京」 10月「東京キャラバン、TURN」 11月「タレンツ・トーキョー」 12月「東京芸術祭」 1月「外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム」 2月「キッズ伝統芸能体験」 |
| | 9月～11月 | Anywhere 雑誌およびウェブ | タイ | 4C 1/2P 9月「アンサンブルズ東京」 10月「東京大茶会」 11月 大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住 2016 青葉」 |
| | 10月～12月 | PPAPER 雑誌およびウェブ | 台 | 4C1P 10月「アンサンブルズ東京」 11月「東京大茶会」 12月 大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住 2016 青葉」 |
| ウェブ | 4/1～3/31 | GO TOKYO | 日・英 | バナー広告 |
| | 6/17 | anntena | 日 | 動画配信 |
| | 6/30 | grape | 日 | 動画配信 |
| | 10/12～25 | Japan Today | 英 | 機構長インタビュー |
| | 8月～10月 | Time Out Tokyo ウェブ サイト | 日・英 | 秋の事業を3か月にわたって19本掲載 |
| ウェブ | 9月～12月 | Tiewyeepoon | タイ | 1回目「アンサンブルズ東京」 2回目「東京大茶会」 3回目「Arts Council Tokyoの活動」 4回目「Memorial Rebirth Senju 2016 Aoba」 5回目「Shibuya StreetDance Week」 6回目「外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム」 |
| | 9月～11月 | ブロガー発信 | 韓 | 秋のイベント紹介、動画配信 |
| | 9月～10月 | ブロガー発信 | 台 | 秋のイベント紹介、動画配信 |

【ラジオ放送実績】

アーツカウンシル東京の各事業のPRを通して、アーツカウンシル東京を戦略的かつ積極的に発信し、広く周知することを目的に、平成25年度より開始したラジオ情報番組「ARTS COUNCIL TOKYO CREATIVE FILE」。多彩なゲスト出演者により、リスナーの興味、参加意欲の向上に努めた。また、アーツカウンシル東京の取り組みについて外国人を対象に積極的かつ定期的に発信し、ブランドイメージの浸透を図ることを目的として、インターネットラジオチャンネルTOKYO FM WORLDにて、英語番組「TOKYO ART BLOOM」の配信を行った。東京に暮らし文化や芸術の分野で活躍する外国人の方などを招いたゲストトークと、アーツカウンシル東京が展開する事業の紹介により構成。広く世界各国のリスナーへ情報発信することができた。

(1) J-WAVE「ARTS COUNCIL TOKYO CREATIVE FILE」

平成28年度 アーツカウンシル東京提供ラジオ番組 J-WAVE「ARTS COUNCIL TOKYO CREATIVE FILE」放送実績（毎週土曜日／午前11時35分ごろから10分間放送）

| No. | OA | 事業名 | タイトル/放送内容 | ゲスト出演者 |
|-----|-------|--------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1 | 4/2 | アーツカウンシル東京の今年度の取り組みについて | | 森隆一郎（アーツカウンシル東京広報調整担当課長） |
| 2 | 4/9 | TACT/FESTIVAL 2016 | | 前田圭蔵（東京芸術劇場広報営業係長） |
| 3 | 4/16 | 伝統文化・芸能体験プログラム | 演芸プログラム | 林家花（紙切り芸人） |
| 4 | 4/23 | Music Program TOKYO | 小曽根真&ゴンサロ・ルバルカバ "Jazz meets Classic" with 東京都交響楽団 | 小曽根真（ピアニスト） |
| 5 | 4/30 | ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2016 | | 林田直樹（音楽ジャーナリスト） |
| 6 | 5/7 | タレント・トーキョーについて | | 森隆一郎（アーツカウンシル東京広報調整担当課長） |
| 7 | 5/14 | Tokyo Art Research Lab | 思考と技術と対話の学校 説明会 | 嘉原妙（アーツカウンシル東京 東京アートポイント計画プログラムオフィサー） |
| 8 | 5/21 | TERATOTERA | TERAKKO 募集 | 小川希（TERATOTERAディレクター） |
| 9 | 5/28 | 芸劇セレクション | ロベール・ルバージュ「887」 | 前田圭蔵（東京芸術劇場広報営業係長） |
| 10 | 6/4 | アーツカウンシル東京の広報メニューについて | | 森隆一郎（アーツカウンシル東京広報調整担当課長） |
| 11 | 6/11 | TURN | トークシリーズ「私があなたにTURNする7日間」 | 日比野克彦（アーティスト） |
| 12 | 6/18 | アンサンブルズ東京 | ワークショップ参加者募集 | トクマルシューゴ（アーティスト） |
| 13 | 6/25 | としまアートステーション構想 | アートステーション構想推進課 パフォーマンス窓口 | 冠那菜奈（としまアートステーション構想事務局） |
| 14 | 7/2 | 夏休みに親子で楽しめるイベント情報 | | 森隆一郎（アーツカウンシル東京広報調整担当課長） |
| 15 | 7/9 | 大江戸寄席と花街のおどり その六 | | 尾上菊紫郎（日本舞踊家） |
| 16 | 7/16 | Museum Start あいうえの | あいうえのファミリー | 稲庭彩和子（東京都美術館アート・コミュニケーション担当係長） |
| 17 | 7/23 | 小金井アートフル・アクション! | 小金井と私 秘かな表現 | 荒田詩乃（小金井アートフル・アクション!事務局） |
| 18 | 7/30 | キッズ伝統芸能体験 | | 小畔香子（生田流箏奏者） |
| 19 | 8/6 | TOKYO PAPER for Culture | | 森隆一郎（アーツカウンシル東京広報調整担当課長） |
| 20 | 8/13 | 伝統文化体験プログラム in 原宿 | | 大森有一（アーツカウンシル東京事業推進課長） |
| 21 | 8/20 | Music Program TOKYO | プラチナ・シリーズ 第2回 浜田理恵 ~言葉は歌い、音楽は語る~ | 三ツ石潤司（作曲家、ピアニスト） |
| 22 | 8/27 | 芸劇セレクション | あの大鴉、さえも | 前田圭蔵（東京芸術劇場広報営業係長） |
| 23 | 9/3 | アンサンブルズ東京 | | 大友良英（音楽家、アンサンブルズ東京芸術監督） |
| 24 | 9/10 | アンサンブルズ東京 | 当日の振り返り | 森隆一郎（アーツカウンシル東京広報調整担当課長） |
| 25 | 9/17 | アートアクセスあだち 音まち千住の縁 | イミグレーション・ミュージアム・東京「フィリピンからの、ひとりひとりマキララー知り、会い、踊る」 | 阿部初美（演出家） |
| 26 | 9/24 | 東京芸術祭 | | 植松侑子（東京芸術祭事務局） |
| 27 | 10/1 | 日本橋 熙代祭 江戸あそび~伝統文化フェスティバル~ | | 坂本彩（日本橋文化交流フェスティバル実行委員会） |
| 28 | 10/8 | アートアクセスあだち 音まち千住の縁 | イミグレーション・ミュージアム・東京 写真展「銭湯哀歌（エレジー）、人情屋台、消えゆく昭和~ケント・ダールが歩いた千住~」 | 岩井成昭（美術家、イミグレーション・ミュージアム・東京主宰） |
| 29 | 10/15 | 秋のイベント紹介 | | 森隆一郎（アーツカウンシル東京広報調整担当課長） |
| 30 | 10/22 | 六本木アートナイト2016 | | 南條史生（六本木アートナイト実行委員長） |
| 31 | 10/29 | 芸劇セレクション | ロミオとジュリエット | 藤田貴大（演出家、俳優、劇作家） |
| 32 | 11/5 | ケルティック 能「鷹姫」 | | マイケル・マクグリ（アヌーナリーダー、音楽ディレクター） |
| 33 | 11/12 | 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2016 | | 尻流複写二（落語パフォーマンス）、日置圭子（企画） |
| 34 | 11/19 | Shibuya StreetDance Week 2016 | | BOW、MARIE（東京ゲゲゲイ） |
| 35 | 11/26 | 伝承のたまてばこ~多摩伝統文化フェスティバル2016~ | | 米倉楽（八王子市学園都市文化ふれあい財団） |
| 36 | 12/3 | 東京芸術祭 | トークシリーズ「0場（ゼロバ）」 | 森隆一郎（アーツカウンシル東京広報調整担当課長） |

| No. | OA | 事業名 | タイトル/放送内容 | ゲスト出演者 |
|-----|-------|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 37 | 12/10 | としまアートステーション構想 | オノコラーフェス2016、としまアートステーションW パフォーマンス待合室 | 冠那葉奈 (としまアートステーション構想事務局) |
| 38 | 12/17 | 東京芸術祭 | ノイズの海 | 岸本匡史 (あうるすぽっと、プロデューサー) |
| 39 | 12/24 | Music Program TOKYO | まちなかコンサートVol.3「ムジカ・アモーレ」 | 瀧村依里 (ヴァイオリニスト)、コハーン・イシュトヴァーン (クラリネット奏者) |
| 40 | 12/31 | 2016年の振り返り、J-CULTURE FEST—にっぽん・和心・初詣— | | 森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長) |
| 41 | 1/7 | 新年のご挨拶、TOKYO PAPER for Culture | | 森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長) |
| 42 | 1/14 | Art Support Tohoku-Tokyo | | 佐藤李青 (アーツカウンシル東京 東京アートポイント計画プログラムオフィサー) |
| 43 | 1/21 | 東京アートポイント計画 | | 芦部玲奈 (アーツカウンシル東京 東京アートポイント計画プログラムオフィサー) |
| 44 | 1/28 | 芸術セレクション | コドモ発射プロジェクト「なむはむだはむ」 | 岩井秀人 (劇作家、演出家、俳優) |
| 45 | 2/4 | まちのメディア、アサダワタル「千住タウンレーベル」試作品 (デモ) 発表会 | | 森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長) |
| 46 | 2/11 | 第9回恵比寿映像祭 | | 金氏徹平 (アーティスト) |
| 47 | 2/18 | トッピングイースト | ほくさい音楽博 | 清宮陵一 (NPO法人トッピングイースト代表)、竹本京之助 (女流義太夫) |
| 48 | 2/25 | TURN | TURN フェス2 | 奥山理子 (TURN コーディネーター) |
| 49 | 3/4 | MOT サテライト 2017春 往來往來 | | 藪前知子 (東京都現代美術館学芸員) |
| 50 | 3/11 | リライトプロジェクト | Relight Days | 宮島達男 (現代美術家)、菊池宏子 (リライトプロジェクト事務局) |
| 51 | 3/18 | TOKYO PAPER for Culture | | 森隆一郎 (アーツカウンシル東京広報調整担当課長) |
| 52 | 3/25 | Music Program TOKYO | ブラチナ・シリーズ | 里神大輔 (東京文化会館事業企画課事業係) |

(2) TOKYO FM WORLD 「TOKYO ART BLOOM」

| | 配信日 | トークゲスト | 紹介事業名等 |
|------|-------|-------------------------------------|---|
| 第5回 | 7/11 | Sakura Alice Motomura (油絵画家、研究者) | 平成28年度アーツカウンシル東京事業ラインアップ |
| 第6回 | 8/8 | Gui Martinez (写真家、DJ、ミュージシャン、エディター) | CULTURE & TOKYO in RIO 「TURN」・「東京キャラバン」、TOHOKU & TOKYO in RIO |
| 第7回 | 9/12 | Hello Sandwich (フロガー、デザイナー) | 東京大茶会2016 |
| 第8回 | 10/31 | Cyril Coppini (落語パフォーマー) | 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2016 |
| 第9回 | 2/20 | DJ Dandy (DJ) | 外国人を対象にした鑑賞・体験プログラム「みんなで楽しむ日本舞踊の世界～The 日本～」 |
| 第10回 | 3/31 | Åsa Ekström (漫画家) | TOKYO PAPER for Culture |

【Arts Council Tokyo Bridge Meeting (芸術文化団体広報ネットワーク会)】

首都圏内の芸術文化団体の広報担当を主な対象者とし、芸術文化施策の広報活動での課題などを抽出し、改善・解決方法などを共有するための情報交換の場とすることを目的に、今年度は6回開催。ゲストトークの他に、質疑応答や、参加者同士のグループディスカッション・発表を通して、活発な議論や交流が生まれた。芸術文化活動を牽引していく組織として、ネットワークを繋ぐ場を提供することで業界内でのプレゼンスを上げていくとともに、自らも広いネットワークを構築することができた。

| | 開催日 | 会場 | ゲスト | 参加団体数 |
|-----|------|-------------------|--------------------------------|-------|
| 第4回 | 7/20 | アーツカウンシル東京 | 栗田朋一 (東京PRアカデミー) | 21団体 |
| 第5回 | 9/28 | 3331 Arts Chiyoda | 松井直子 (FM江戸川 副局長 ジェネラルプロデューサー) | 21団体 |
| | | | 平井真央 (渋谷のラジオ 副理事長/総合プロデューサー) | |
| | | | 大木秀晃 (渋谷のラジオ 制作/編成) | |
| 第6回 | 12/2 | アーツカウンシル東京 | 塩谷舞 (フリーランス編集者・ライター/milieu編集長) | 26団体 |
| 第7回 | 1/25 | アーツカウンシル東京 | 伏谷博之 (タイムアウト東京 代表取締役) | 25団体 |
| | | | 古田大輔 (バスフィード・ジャパン創刊編集長) | |
| 第8回 | 2/15 | アーツカウンシル東京 | 田中佑典 (LIP代表) | 15団体 |
| 第9回 | 3/22 | 3331 Arts Chiyoda | 糸戸遊美 (3331 Arts Chiyoda) | 6団体 |

【THE TOKYO ART BOOK FAIR 2016 出展】

アジア最大規模のアートブックフェアで、8回目の開催を迎える「THE TOKYO ART BOOK FAIR 2016」において、アーツカウンシル東京のブースを出展し、広報紙「TOKYO PAPER for Culture」をメインに制作物(事業案内、各事業の成果物およびポスター、チラシ等)を展示および配布することでアーツカウンシル東京事業の周知を図るとともに、来場者・出展者との交流を通して、今後の展開のための意見交換を行うことができた。海外からの来場者も多かったことから、国内外問わず幅広い層にアピールすることができた。

編集…アーツカウンシル東京
制作／印刷…株式会社丸井工文社

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
〒102-0073
東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス 8 階
TEL : 03-6256-8430
FAX : 03-6256-8827
MAIL : info@artscouncil-tokyo.jp
URL : www.artscouncil-tokyo.jp



ARTS COUNCIL TOKYO

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス8階
TEL : 03-6256-8430 FAX : 03-6256-8827
www.artscouncil-tokyo.jp